
**刈谷市障害者計画・刈谷市障害福祉計画・
刈谷市障害児福祉計画策定にかかるアンケート
結果報告書**

令和5年3月

刈 谷 市

目次

1	調査の概要	1
	(1) 調査の目的	2
	(2) 調査の概要	2
	(3) 報告書の見方	3
2	調査結果	5
	(1) あなた（障害のあるご本人）の年齢、ご家族について	6
	(2) 障害の状況について	10
	(3) 生活支援について	19
	(4) 日中活動や雇用・就労について	26
	(5) 療育・教育・就学・就職について（障害児）	40
	(6) 相談状況や情報取得について	58
	(7) 保健医療について	65
	(8) 障害福祉サービス等について	70
	(9) スポーツ・文化芸術活動について	93
	(10) 権利擁護について	98
	(11) 地域の福祉について	107
	(12) 災害時のことについて	116
	(13) 障害者施策のことについて	120
	(14) 支援者について	140
3	調査票	148

1 調査の概要

(1) 調査の目的

このアンケートは、刈谷市障害者計画・刈谷市障害福祉計画・刈谷市障害児福祉計画の改定にあたり、各種施策の基礎資料として活用することを目的として実施しました。

(2) 調査の概要

■調査に関する事項（各調査共通）

区分	内容
調査票の配布・回収方法	郵送配布・郵送回収（一部WEB回答）
調査基準日	令和4年11月1日現在
調査期間	令和4年11月19日～令和4年12月9日

■配布・回収に関する事項

区分	障害者	障害児	
調査対象者	条件	障害者手帳所持者 障害福祉サービスなどを利用している 18歳未満	
	調査数	1,826人	524人
	所持者数	5,971人	771人
有効回収件数	964件（うちWEB 81件）	261件（うちWEB 47件）	
有効回収率	52.8%	49.8%	

(3) 報告書の見方

- 図表中の「N数 (number of case)」は集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を示しています。
- グラフ中の「%」は、小数第2位を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても合計が 100.0%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（いくつでも○をつけるものなど）は「N」に対する各選択肢の回答者数の割合を示しています。
- 図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載しています。
- 調査結果を図表で表示していますが、グラフ以外のクロス集計の表は、「不明・無回答」「その他」を除いて高い割合の第1位と第2位のものに網掛けをしています。（第1位：**濃い網掛けに白数字**、第2位：**薄い網掛けに黒数字**）ただし、N数が1桁のものは網掛けをしていません。
- クロス集計において、重複して手帳を所持している場合があるため、障害別のN数は有効回答件数と異なります。
- 比較分析において使用したデータの調査名は次の通りです。比較にあたっては、比較の条件を合わせるため、今回調査における障害者と障害児の回答者を合算しているため、今回調査のN数と異なります。なお、調査対象が異なっている設問等は、参考値として掲載しています。

■ 引用資料の概要

報告書中の 表記	資料名	調査概要			
		調査対象	配布数	回収数	回収率
H28年 調査	刈谷市障害者計画・刈谷市障害福祉計画策定にかかる市民意識調査 結果報告書 (平成29年3月、刈谷市) ※平成28年11月～12月調査	身体障害	1,000	592	59.2%
		知的障害	500	279	55.8%
		精神障害	500	263	52.6%

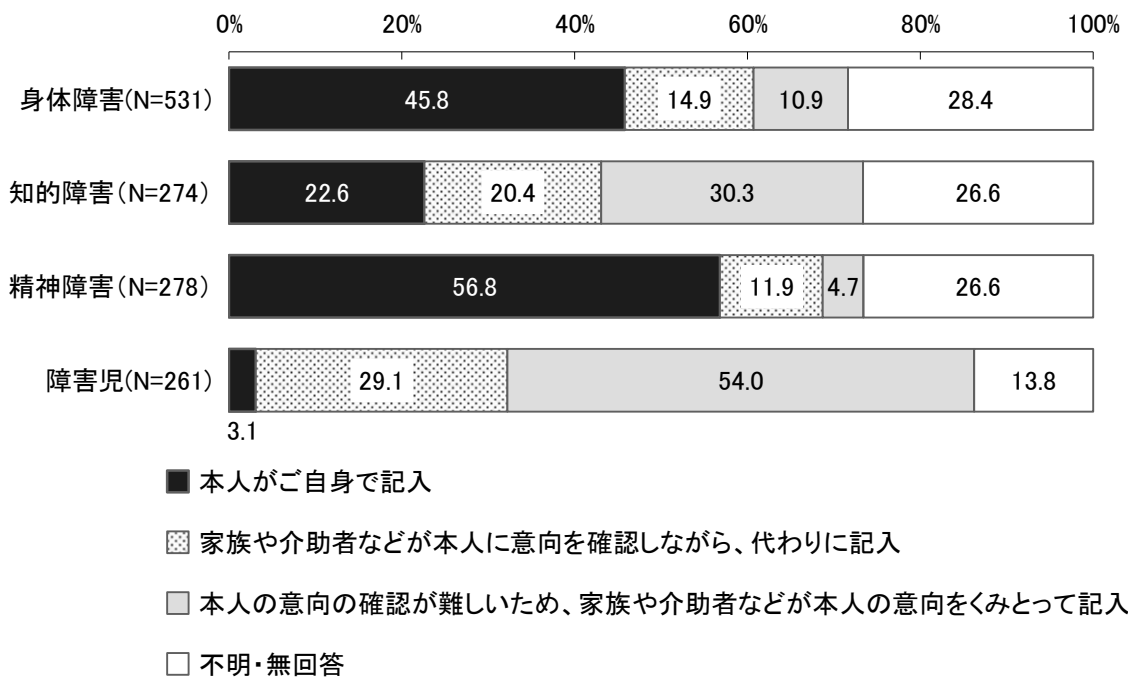
2 調査結果

(1)あなた(障害のあるご本人)の年齢、ご家族について

1 このアンケートの記入方法について、あてはまるものをお答えください。

(単数回答:障害者問1、障害児問1)

アンケートへの記入者は、「本人がご自身で記入」が身体障害で 45.8%、精神障害で 56.8%、「本人の意向が難しいため家族や介助者などが本人の意向をくみとって記入」が知的障害で 30.3%、障害児で 54.0%と、それぞれ最も高くなっています。

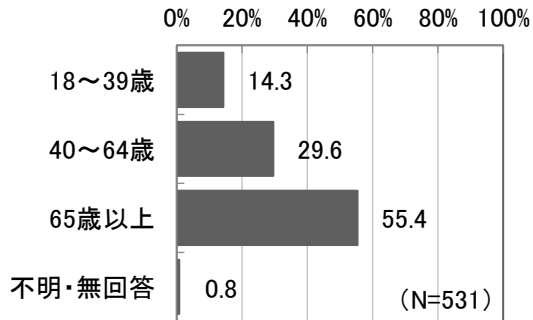


2 あなたの年齢をお答えください。

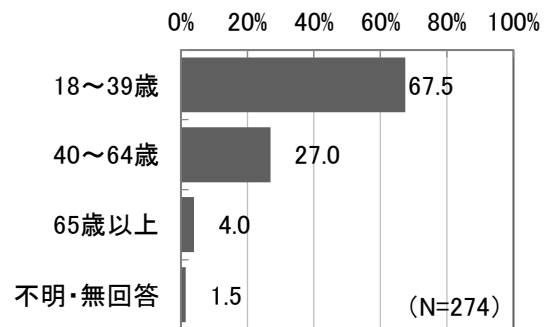
(数量回答: **障害者**問2、**障害児**問2)

年齢は、「65歳以上」が身体障害で55.4%、「18～39歳」が知的障害で67.5%、「40～64歳」が精神障害で56.5%、「6～12歳」が、障害児で50.2%と、それぞれ最も高くなっています。

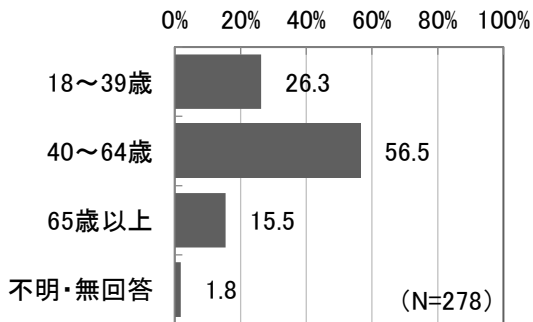
■身体障害



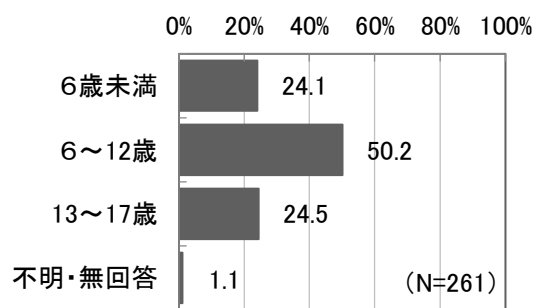
■知的障害



■精神障害



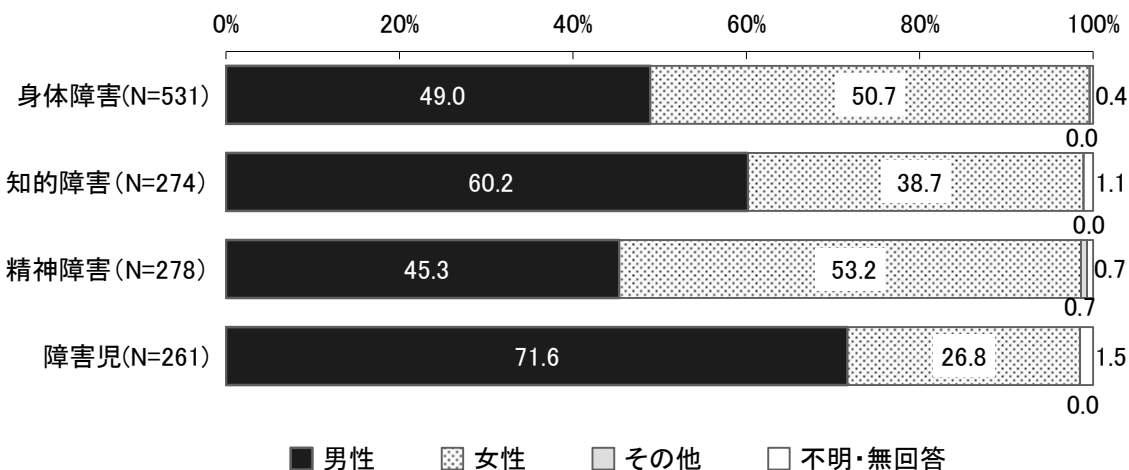
■障害児



3 あなたの性別をお答えください。

(単数回答: 障害者問3、障害児問3)

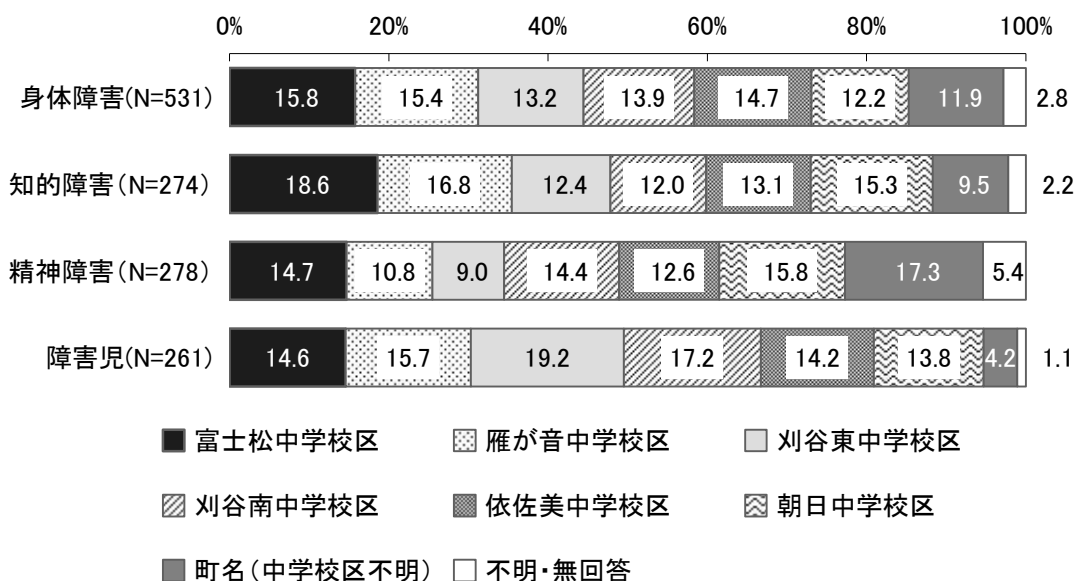
性別は、身体障害で「男性」が49.0%、「女性」が50.7%、知的障害で「男性」が60.2%、「女性」が38.7%、精神障害で「男性」が45.3%、「女性」が53.2%、障害児で「男性」が71.6%、「女性」が26.8%となっています。



4 あなたの居住地(中学校区別)は、次のうちどれですか。ご不明の場合は、お住まいの町名をお答えください。

(単数回答: 障害者問4、障害児問4)

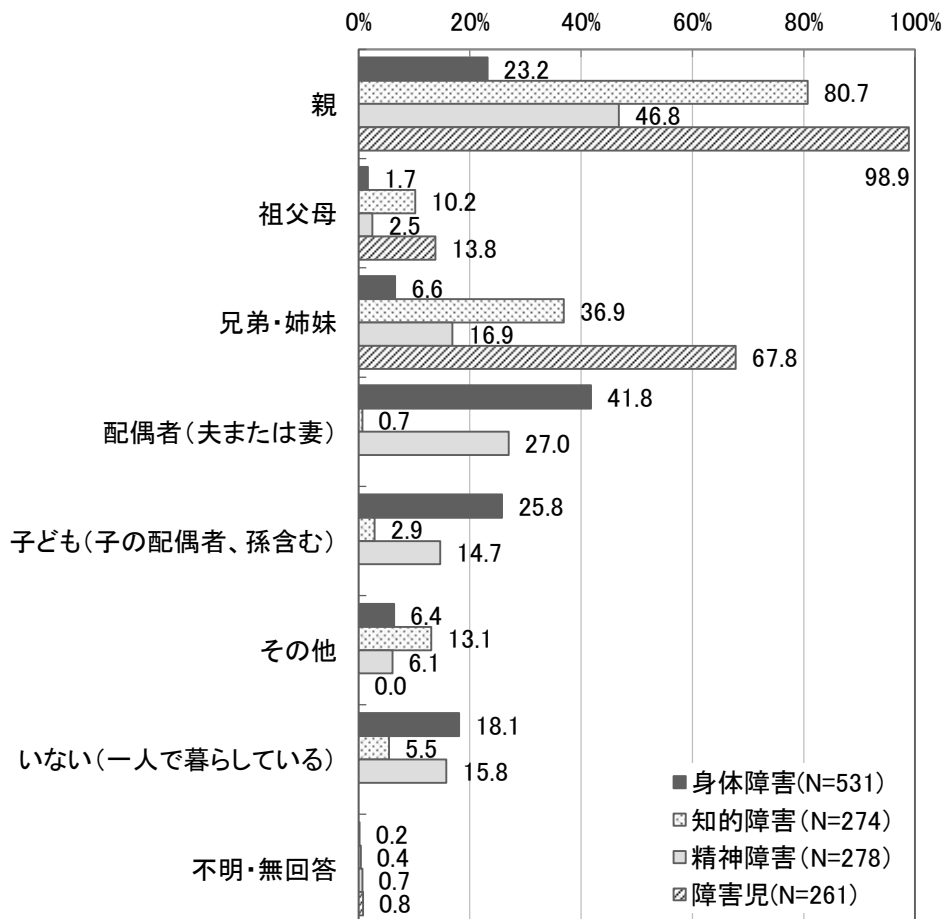
居住地(中学校区別)は「町名(中学校区不明)」を除いて、「富士松中学校区」が身体障害で15.8%、知的障害で18.6%、「朝日中学校区」が精神障害で15.8%、「刈谷東中学校区」が障害児で19.2%と、それぞれ最も高くなっています。



5 いま、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。

(複数回答: 障害者問5、障害児問5)

日頃、一緒に暮らしている人は、「配偶者(夫または妻)」が身体障害で41.8%、「親」が知的障害で80.7%、精神障害で46.8%、障害児で98.9%と、それぞれ最も高くなっています。



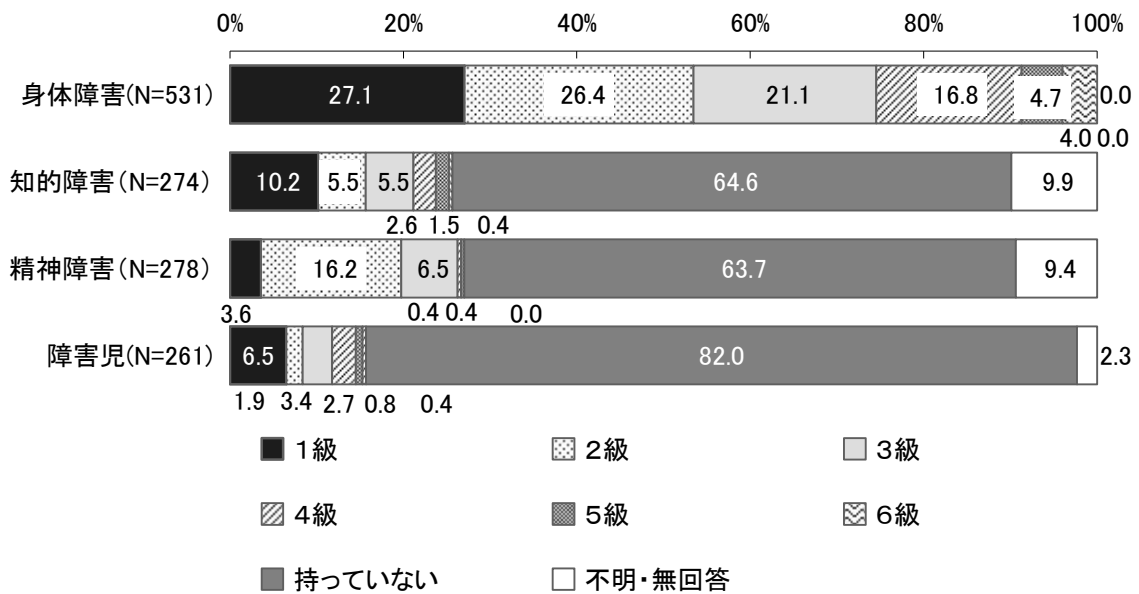
※障害児調査には「配偶者(夫または妻)」「子ども(子の配偶者、孫含む)」「いない(一人で暮らしている)」の選択肢なし。

(2) 障害の状況について

6 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。

(単数回答: 障害者問6、障害児問6)

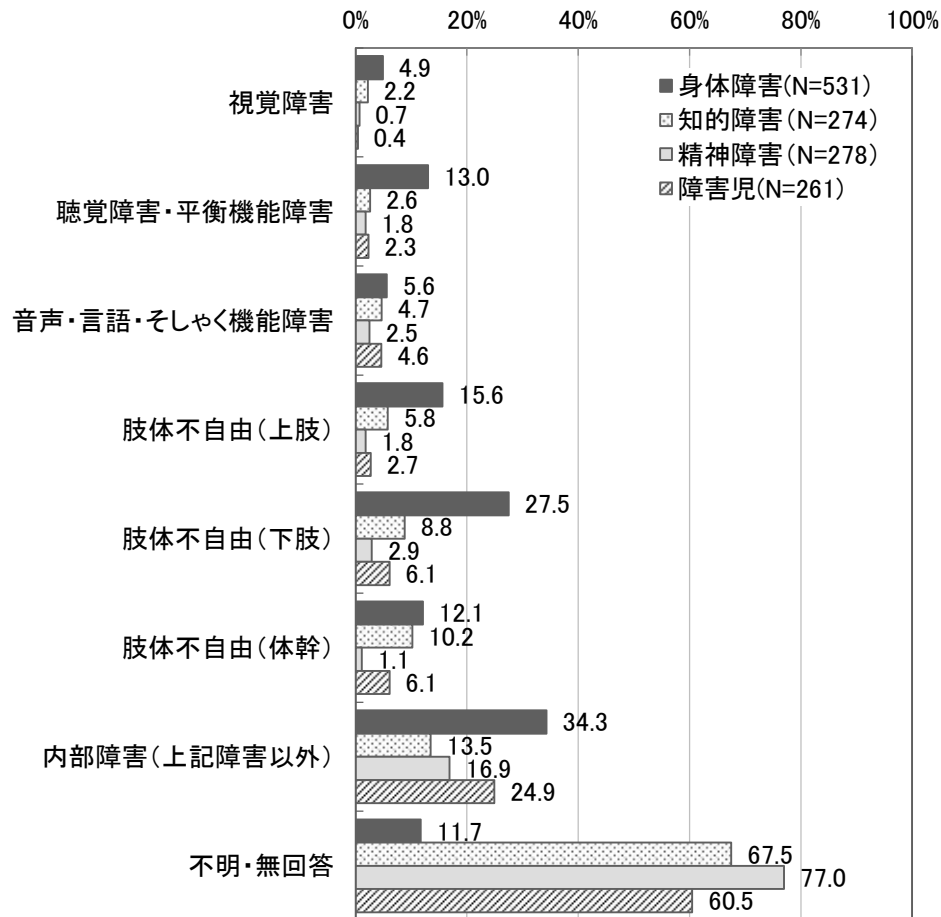
身体障害者手帳の等級は、「1級」が身体障害で27.1%と最も高くなっています。



7 あなたの障害はどのような障害ですか。身体障害者手帳の内容からお答えください。

(複数回答: 障害者問 7、障害児問 7)

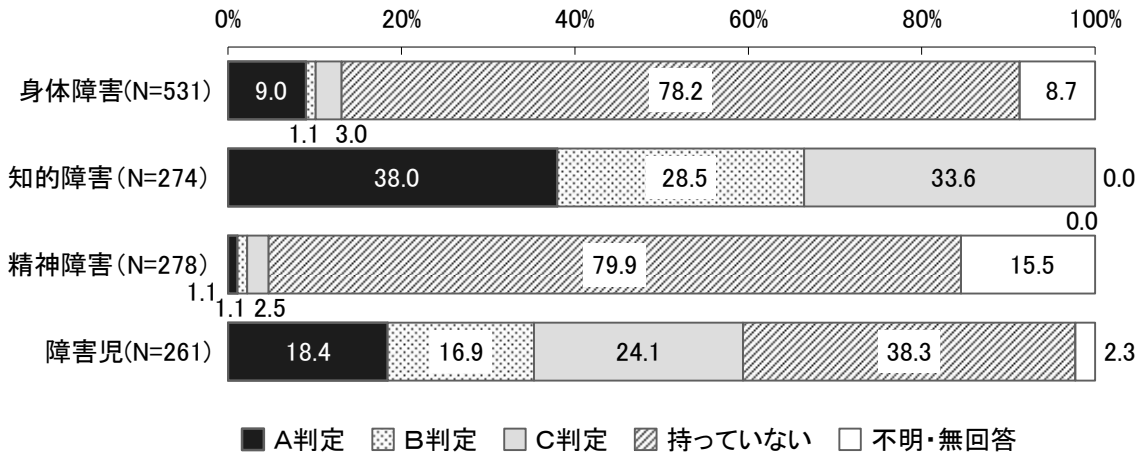
身体障害の区分は、「内部障害（上記障害以外）」が身体障害で 34.3%、知的障害で 13.5%、精神障害で 16.9%、障害児で 24.9%と、それぞれ最も高くなっています。



8 あなたは療育手帳をお持ちですか。

(単数回答: 障害者問8、障害児問8)

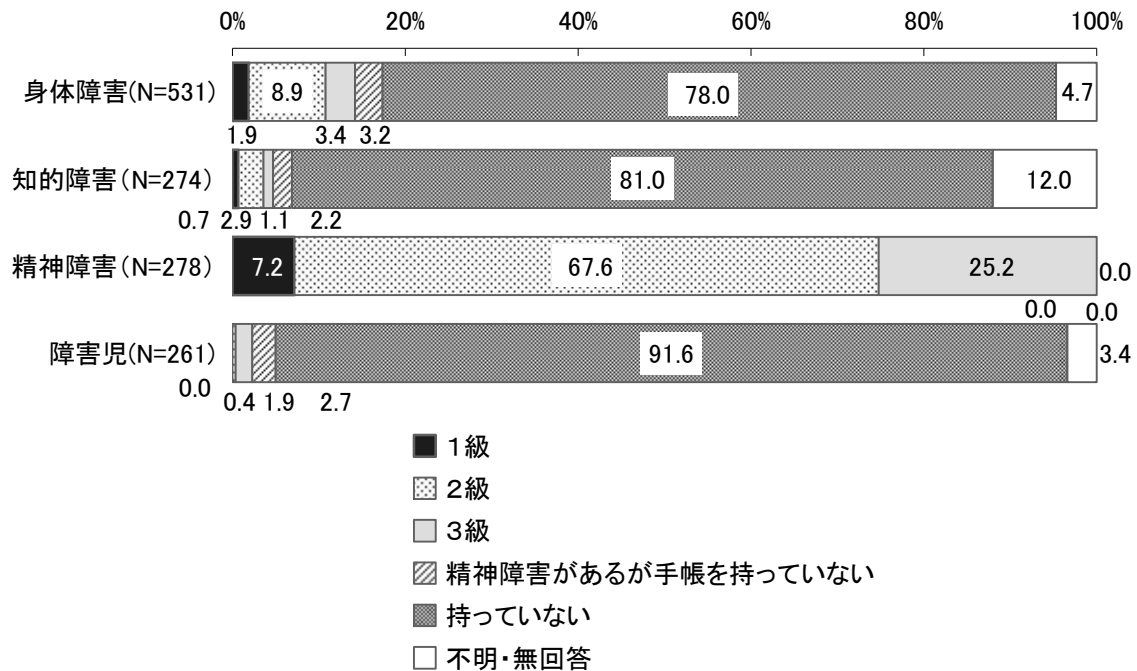
療育手帳の判定は、「A判定」が知的障害で38.0%と最も高くなっています。



9 あなたは、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。

(単数回答: 障害者問9、障害児問9)

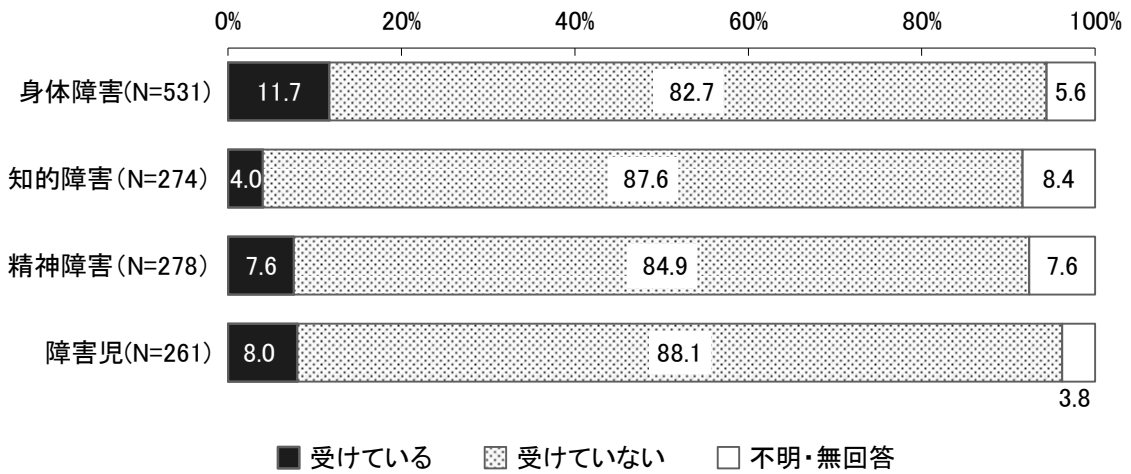
精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級」が精神障害で67.6%と最も高くなっています。



10 あなたは難病の診断を受けていますか。

(単数回答: 障害者問 10、障害児問 10)

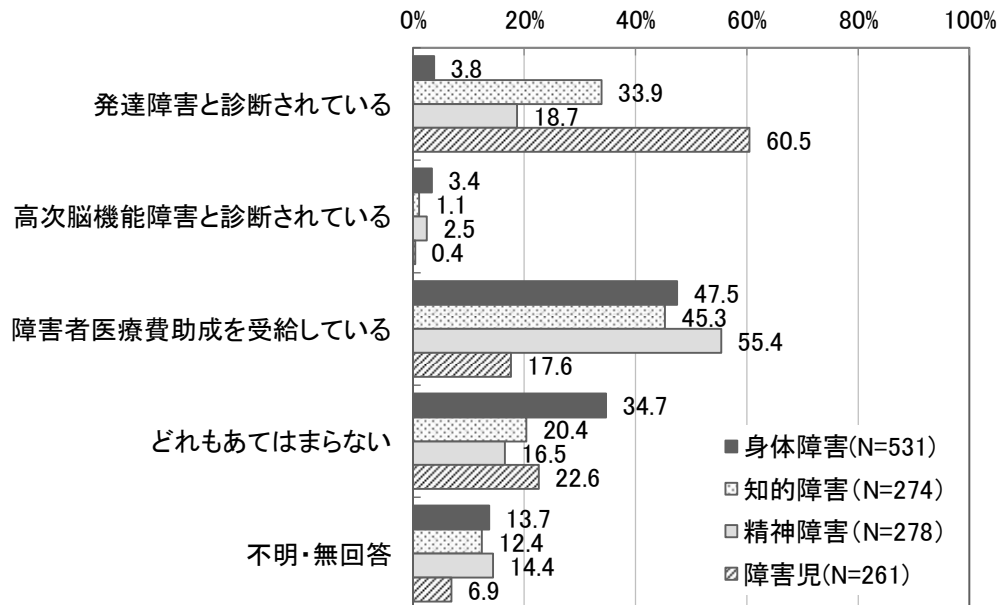
難病の診断は、身体障害で「受けている」が11.7%、知的障害で4.0%、精神障害で7.6%、障害児で8.0%となっています。



11 あなたの障害の診断、障害者医療の受給などについてお聞きします。

(複数回答: 障害者問 11、障害児問 11)

各認定の障害の状況や障害者医療の受給については、「障害者医療費助成を受給している」が身体障害で47.5%、知的障害で45.3%、精神障害で55.4%、「発達障害と診断されている」が障害児で60.5%と、それぞれ最も高くなっています。



12 高次脳機能障害と診断されている方で、関連障害をお答えください。

※11で「高次脳機能障害と診断されている」と回答した方

(複数回答: 障害者問 12、障害児問 12)

関連障害の状況は、身体障害で「肢体不自由(下肢)」が12件と最も高く、次いで「肢体不自由(上肢)」が11件となっています。

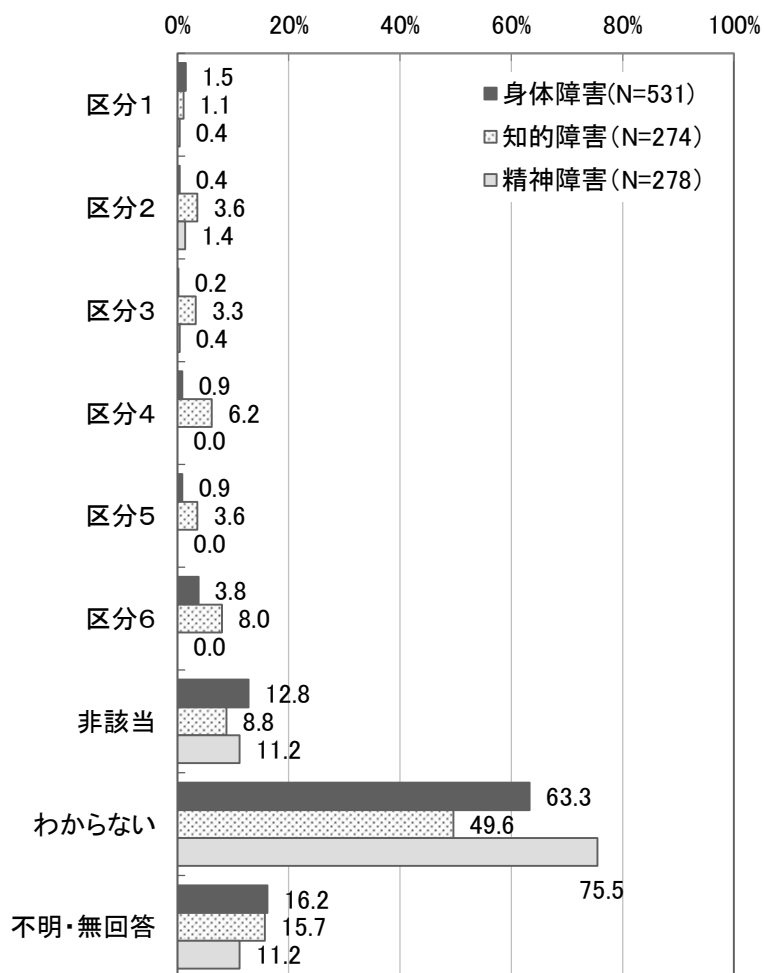
(単位: 件)

区分	視覚障害	聴覚障害	音声・言語・そしゃく機能障害	肢体不自由(上肢)	肢体不自由(下肢)	肢体不自由(体幹)	内部障害(上記障害以外)	どれもあてはまらない
【障害種別】								
身体障害(N=18)	5	1	5	11	12	5	3	0
知的障害(N=3)	0	0	1	1	2	1	2	0
精神障害(N=7)	2	1	4	1	2	1	3	0
障害児(N=1)	0	0	1	1	1	0	0	0

13 あなたは、障害者総合支援法の障害支援区分認定を受けていますか。

(単数回答: 障害者問 13)

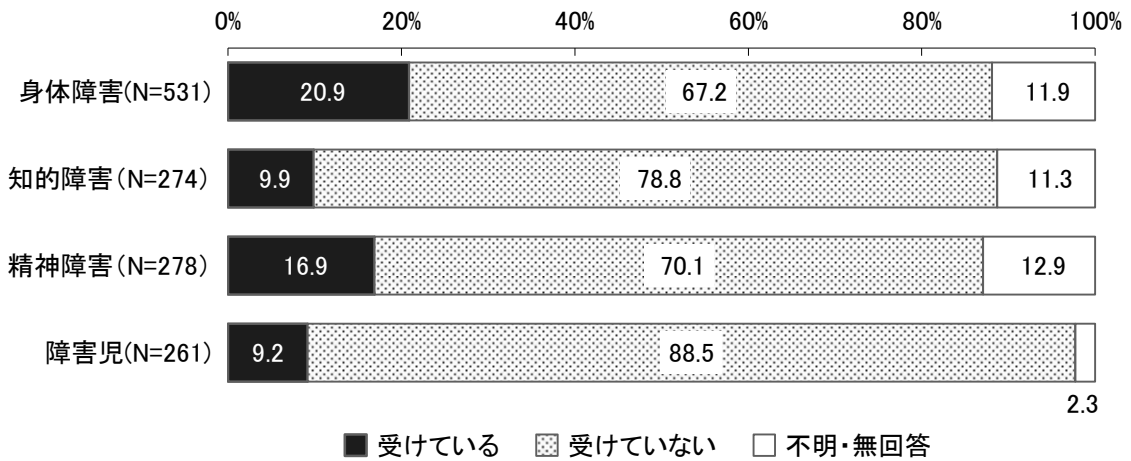
障害者総合支援法の障害支援区分認定の状況は、「わからない」が身体障害で63.3%、知的障害で49.6%、精神障害で75.5%と、それぞれ最も高くなっています。



14 あなたは、現在医療的ケアを受けていますか。

(単数回答: 障害者問 14、障害児問 14)

医療的ケアの状況は、「受けている」が身体障害で20.9%、知的障害で9.9%、精神障害で16.9%、障害児で9.2%となっています。

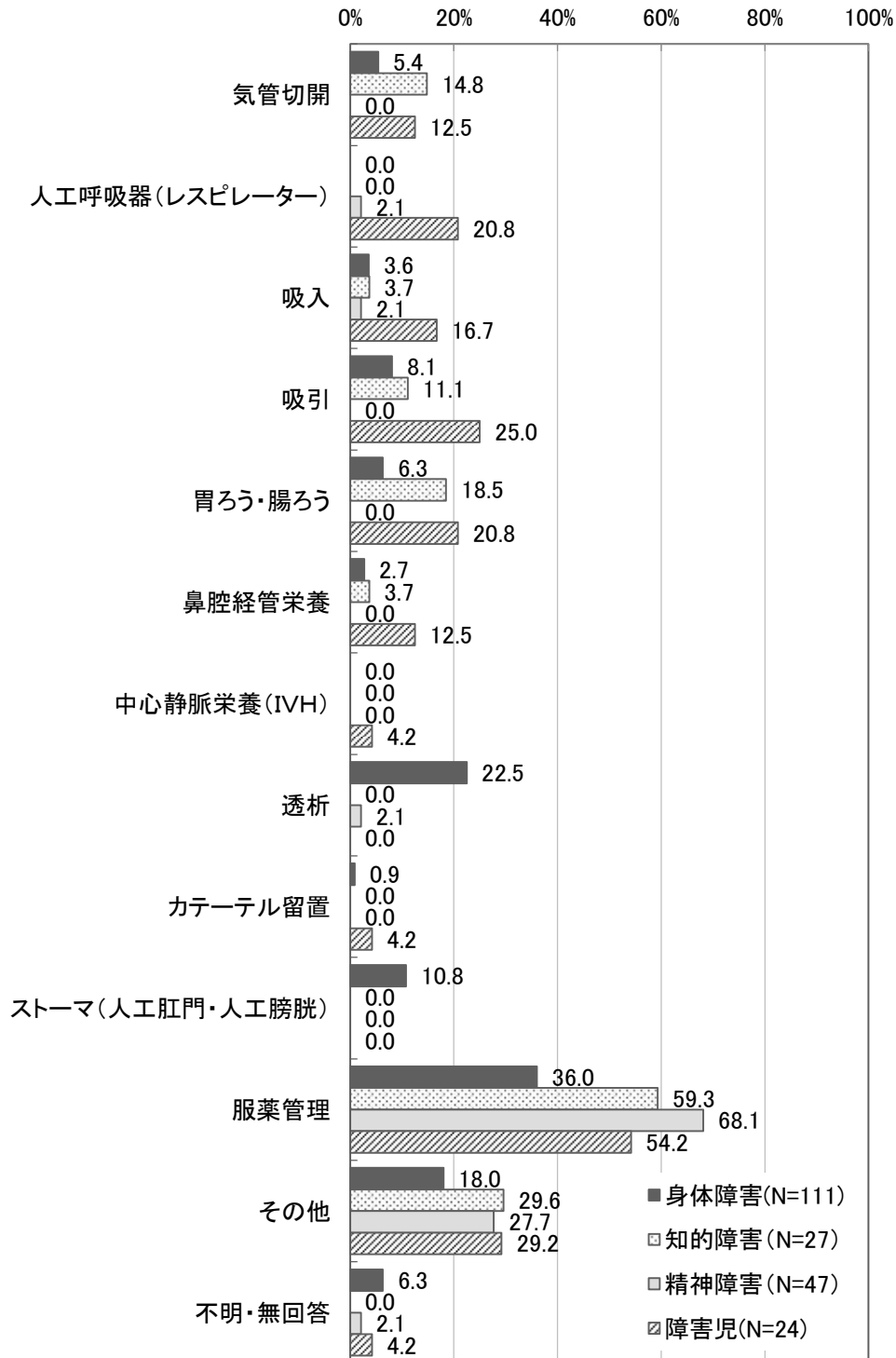


15 あなたが現在受けている医療的ケアをお答えください。

※14で「受けている」と回答した方

(複数回答: 障害者問 15、障害児問 15)

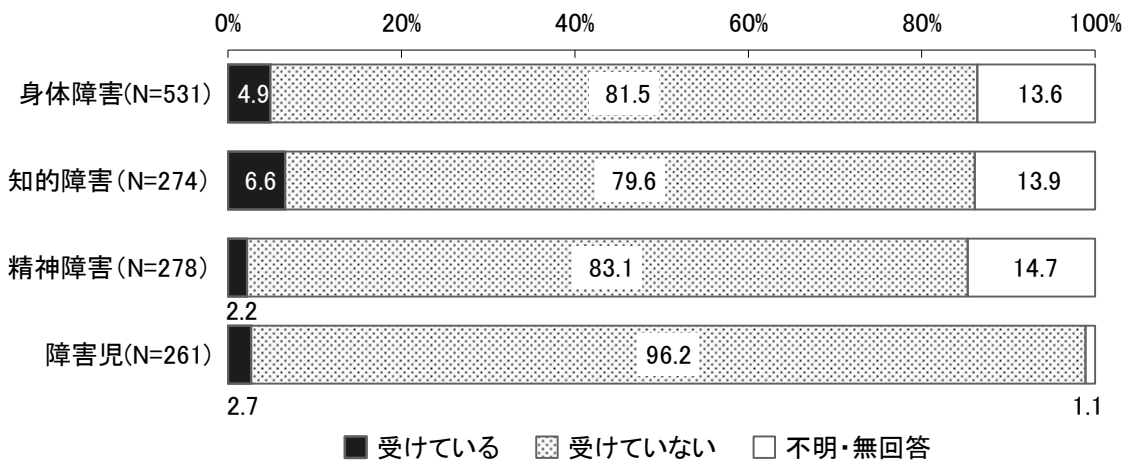
現在受けている医療的ケアは、「服薬管理」が身体障害で 36.0%、知的障害で 59.3%、精神障害で 68.1%、障害児で 54.2%と、それぞれ最も高くなっています。



16 あなたは重症心身障害の認定を受けていますか。

(単数回答: 障害者問 16、障害児問 13)

重症心身障害の認定の状況は、「受けている」が身体障害で4.9%、知的障害で6.6%、精神障害で2.2%、障害児で2.7%となっています。

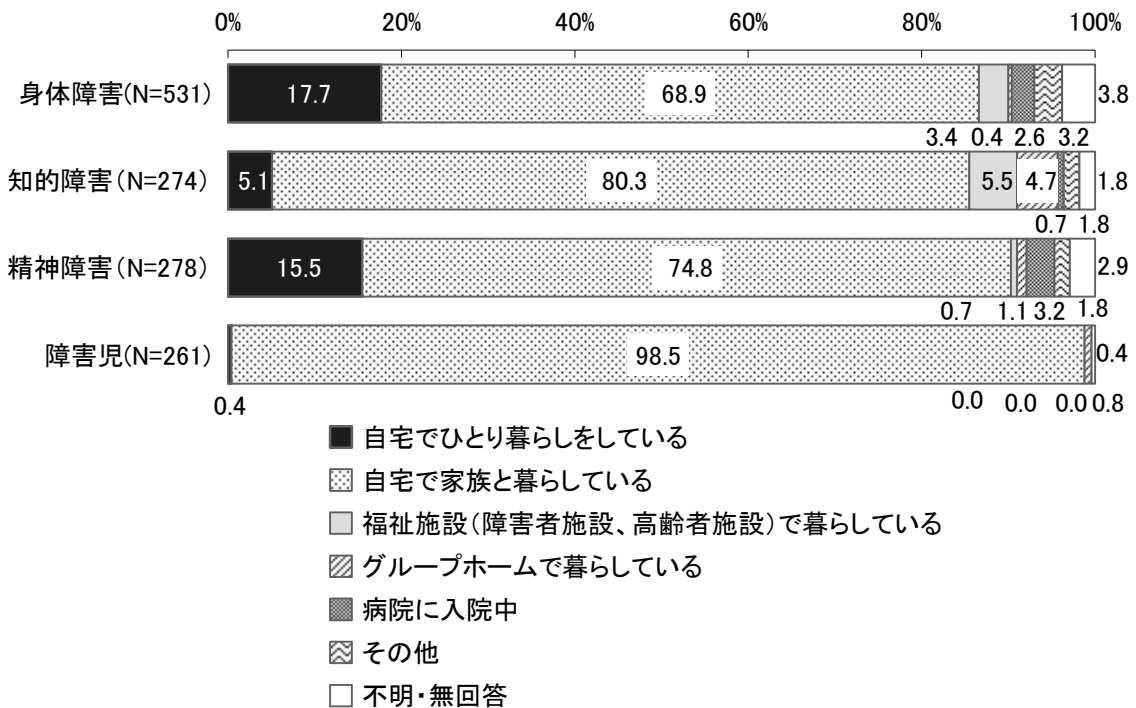


(3) 生活支援について

17 現在、どこで暮らしていますか。

(単数回答: 障害者問 17、障害児問 16)

どのように暮らしているかは、いずれの障害も「自宅で家族と暮らしている」が最も高くなっています。

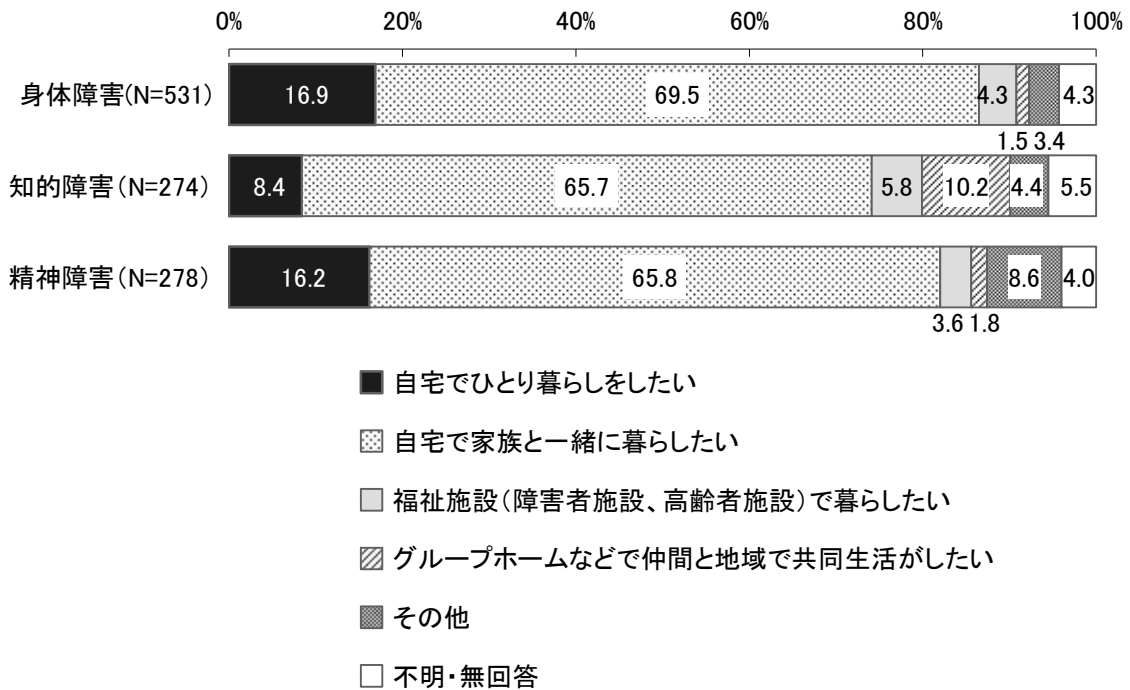


※障害児調査は選択肢「福祉施設(障害者施設、高齢者施設)で暮らしている」が「福祉施設(障害者施設)で暮らしている」である。

18 今後3年以内、どのような暮らし方を希望しますか。

(単数回答: 障害者問 18)

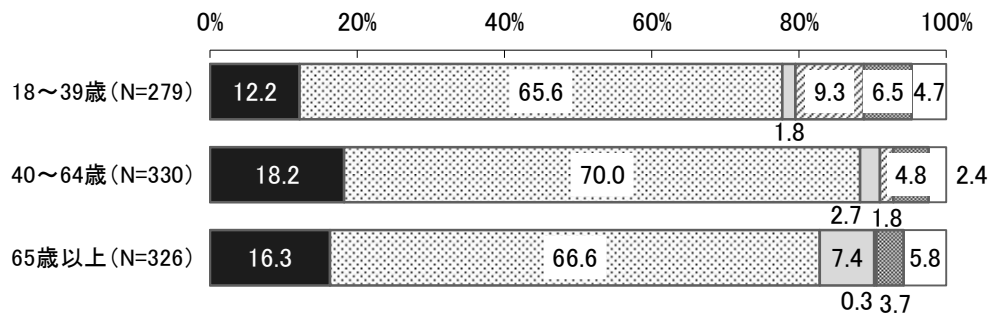
今後3年以内の希望する暮らし方は、「自宅で家族と一緒に暮らしたい」が身体障害で69.5%、知的障害で65.7%、精神障害で65.8%と、それぞれ最も高くなっています。



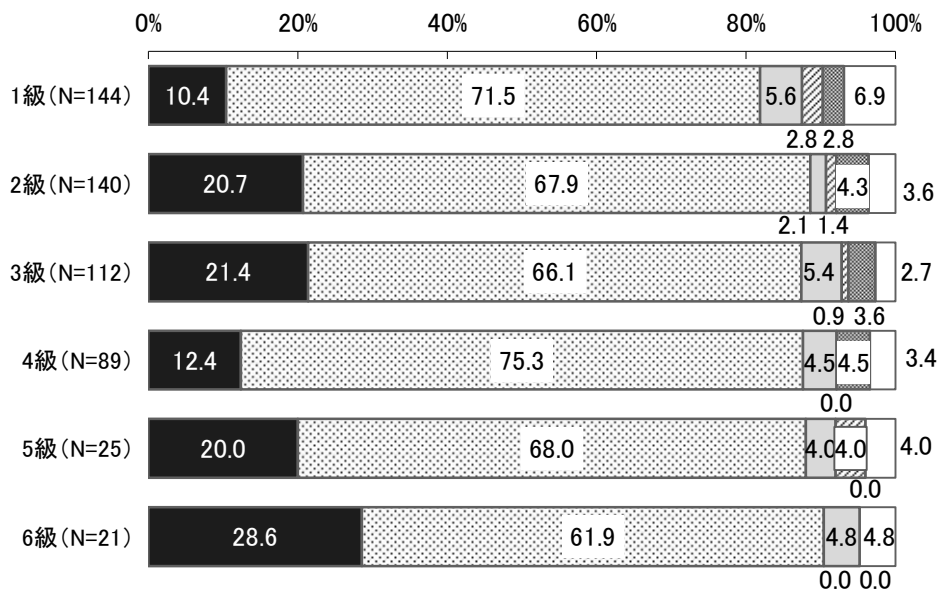
年齢別でみると、65歳以上で「福祉施設（障害者施設、高齢者施設）で暮らしたい」が7.4%と、他の年代と比べて高くなっています。

身体障害の等級別でみると、6級で「自宅でひとり暮らしをしたい」が28.6%と、他の等級と比べて高くなっています。

■年齢区分別クロス集計



■身体障害クロス集計

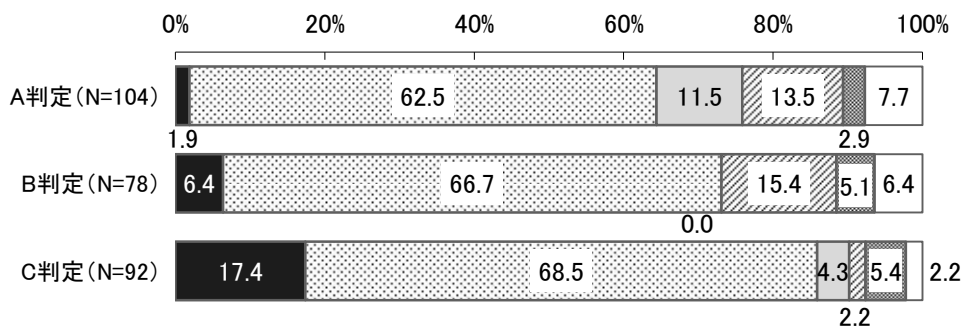


- 自宅でひとり暮らしをしたい
- ▨ 自宅で家族と一緒に暮らしたい
- 福祉施設（障害者施設、高齢者施設）で暮らしたい
- ▩ グループホームなどで仲間と地域で共同生活がしたい
- その他
- 不明・無回答

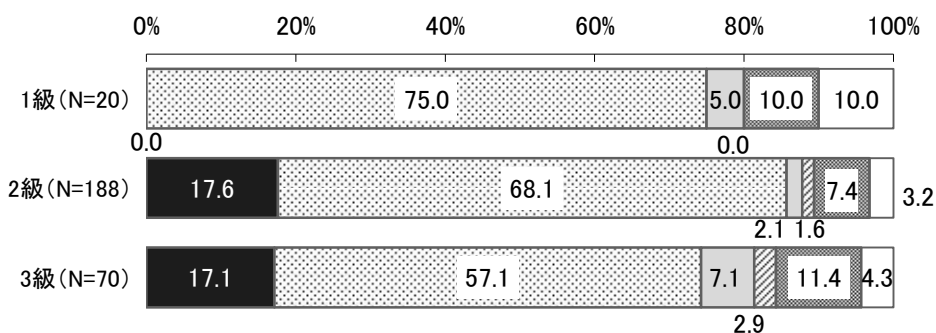
知的障害の判定別でみると、C判定で「自宅でひとり暮らしをしたい」が17.4%と、他の等級と比べて高くなっています。

精神障害の等級別でみると、2級及び3級で「自宅でひとり暮らしをしたい」がそれぞれ17.6%、17.1%となっています。

■知的障害クロス集計



■精神障害クロス集計

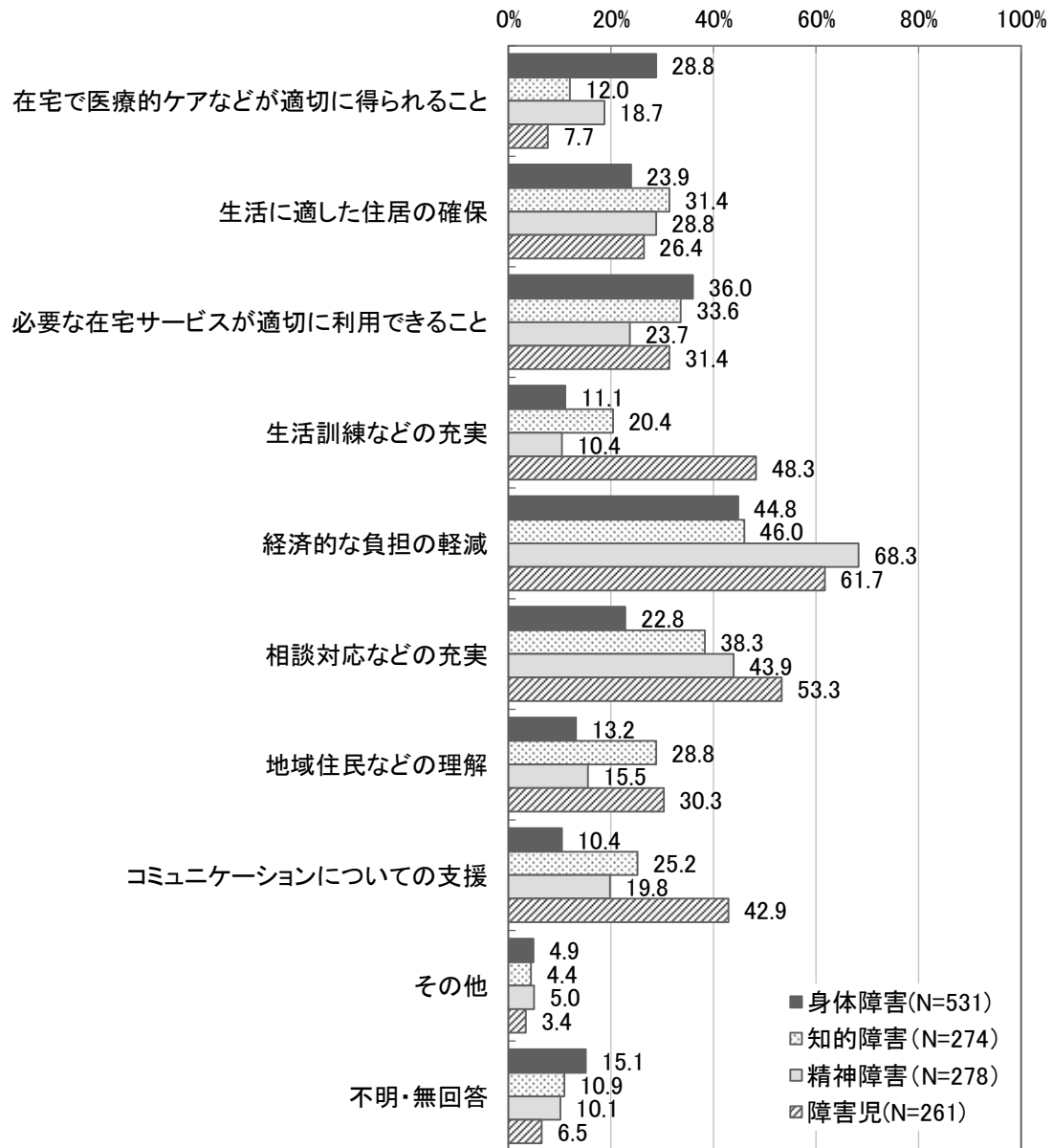


- 自宅でひとり暮らしをしたい
- ▨ 自宅で家族と一緒に暮らしたい
- ▩ 福祉施設(障害者施設、高齢者施設)で暮らしたい
- ▧ グループホームなどで仲間と地域で共同生活がしたい
- その他
- 不明・無回答

19 希望する暮らしを送るためには、どのような支援があればよいと思いますか。

(複数回答: 障害者問 19、障害児問 29)

希望する暮らしを送るための支援は、「経済的な負担の軽減」が身体障害で 44.8%、知的障害で 46.0%、精神障害で 68.3%、障害児で 61.7%と、それぞれ最も高くなっています。



年齢別でみると、65歳以上で「在宅で医療的ケアなどが適切に得られること」が35.3%と、他の年代と比べて高くなっています。

身体障害の等級別でみると、6級で「経済的な負担の軽減」が66.7%と他の等級と比べて高くなっています。

■年齢区分別クロス集計

(単位:%)

区分	在宅で医療的ケアなどが適切に得られること	生活に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練などの充実	経済的な負担の軽減	相談対応などの充実	地域住民などの理解	コミュニケーションについての支援	その他	不明・無回答
【年齢区分別】										
18～39歳(N=279)	9.7	33.3	27.2	19.4	56.6	42.7	29.4	29.4	5.4	9.0
40～64歳(N=330)	19.4	30.3	24.5	10.9	59.7	33.6	17.3	15.2	4.2	8.8
65歳以上(N=326)	35.3	16.9	39.6	9.5	40.5	19.6	7.4	7.4	4.6	18.7

■身体障害クロス集計

(単位:%)

区分	在宅で医療的ケアなどが適切に得られること	生活に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練などの充実	経済的な負担の軽減	相談対応などの充実	地域住民などの理解	コミュニケーションについての支援	その他	不明・無回答
【等級別】										
1級(N=144)	27.1	21.5	35.4	9.0	43.8	19.4	12.5	5.6	4.9	19.4
2級(N=140)	29.3	30.0	32.9	12.1	42.9	26.4	16.4	16.4	4.3	12.1
3級(N=112)	25.9	17.9	33.9	10.7	43.8	25.0	15.2	8.9	4.5	16.1
4級(N=89)	36.0	27.0	40.4	12.4	48.3	21.3	10.1	10.1	5.6	12.4
5級(N=25)	24.0	20.0	40.0	12.0	36.0	12.0	8.0	16.0	12.0	16.0
6級(N=21)	28.6	23.8	47.6	14.3	66.7	28.6	4.8	4.8	0.0	9.5

知的障害の等級別で見ると、A判定で「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が49.0%と他の等級と比べて高くなっています。

精神障害の等級別で見ると、3級で「経済的な負担の軽減」が75.7%、2級で「相談対応などの充実」が47.3%と、他の等級と比べてそれぞれ高くなっています。

■知的障害クロス集計

(単位：%)

区分	在宅で医療的ケアなどが適切に得られること	生活に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練などの充実	経済的な負担の軽減	相談対応などの充実	地域住民などの理解	コミュニケーションについての支援	その他	不明・無回答
【等級別】										
A判定(N=104)	21.2	33.7	49.0	26.9	42.3	36.5	30.8	23.1	3.8	9.6
B判定(N=78)	6.4	29.5	30.8	19.2	47.4	38.5	28.2	32.1	3.8	12.8
C判定(N=92)	6.5	30.4	18.5	14.1	48.9	40.2	27.2	21.7	5.4	10.9

■精神障害クロス集計

(単位：%)

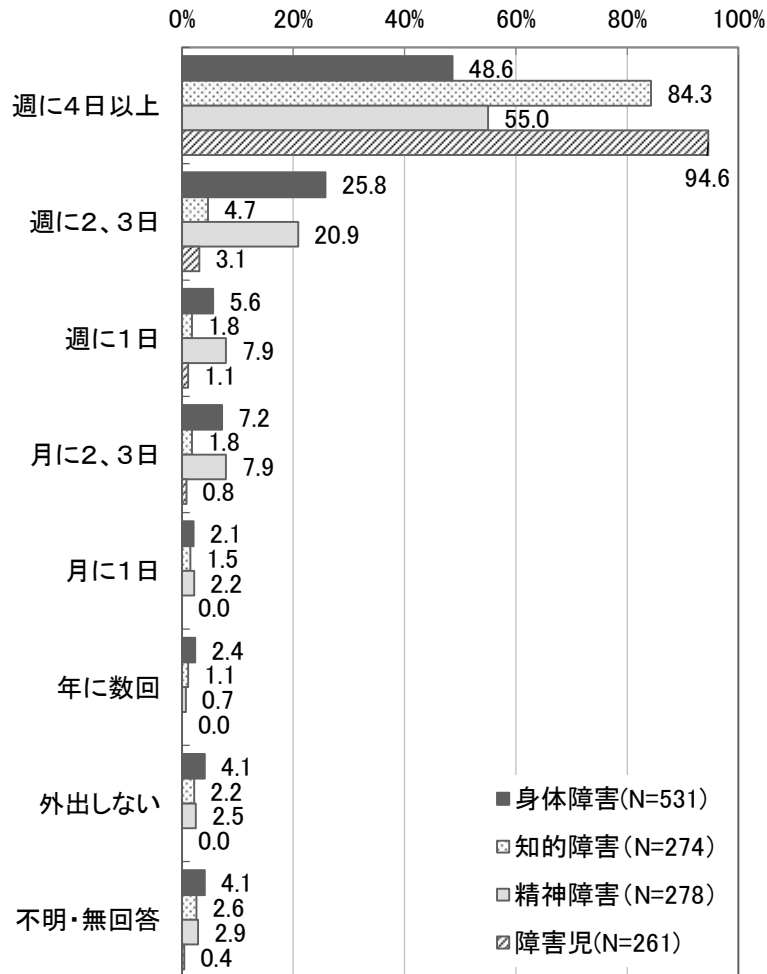
区分	在宅で医療的ケアなどが適切に得られること	生活に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練などの充実	経済的な負担の軽減	相談対応などの充実	地域住民などの理解	コミュニケーションについての支援	その他	不明・無回答
【等級別】										
1級(N=20)	15.0	10.0	25.0	0.0	45.0	30.0	15.0	5.0	5.0	25.0
2級(N=188)	19.7	31.9	23.9	10.6	68.1	47.3	16.5	22.9	5.9	8.0
3級(N=70)	17.1	25.7	22.9	12.9	75.7	38.6	12.9	15.7	2.9	11.4

(4) 日中活動や雇用・就労について

20 あなたはどれくらい外出していますか。

(単数回答: 障害者問 20、障害児問 19)

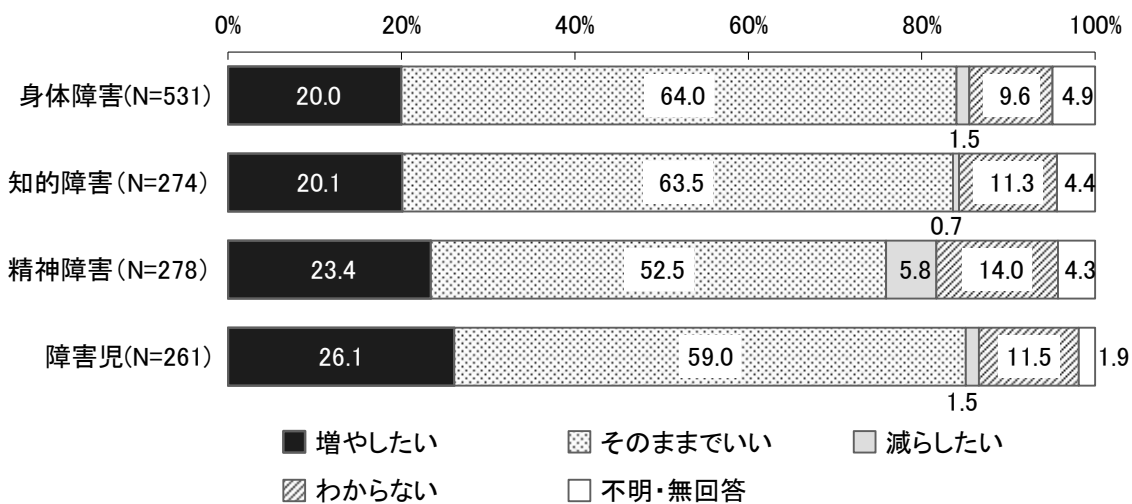
外出の頻度は、「週に4日以上」が身体障害で48.6%、知的障害で84.3%、精神障害で55.0%、障害児で94.6%と、それぞれ最も高くなっています。



21 あなたは外出を増やしたいと思いますか。

(単数回答: 障害者問 21、障害児問 20)

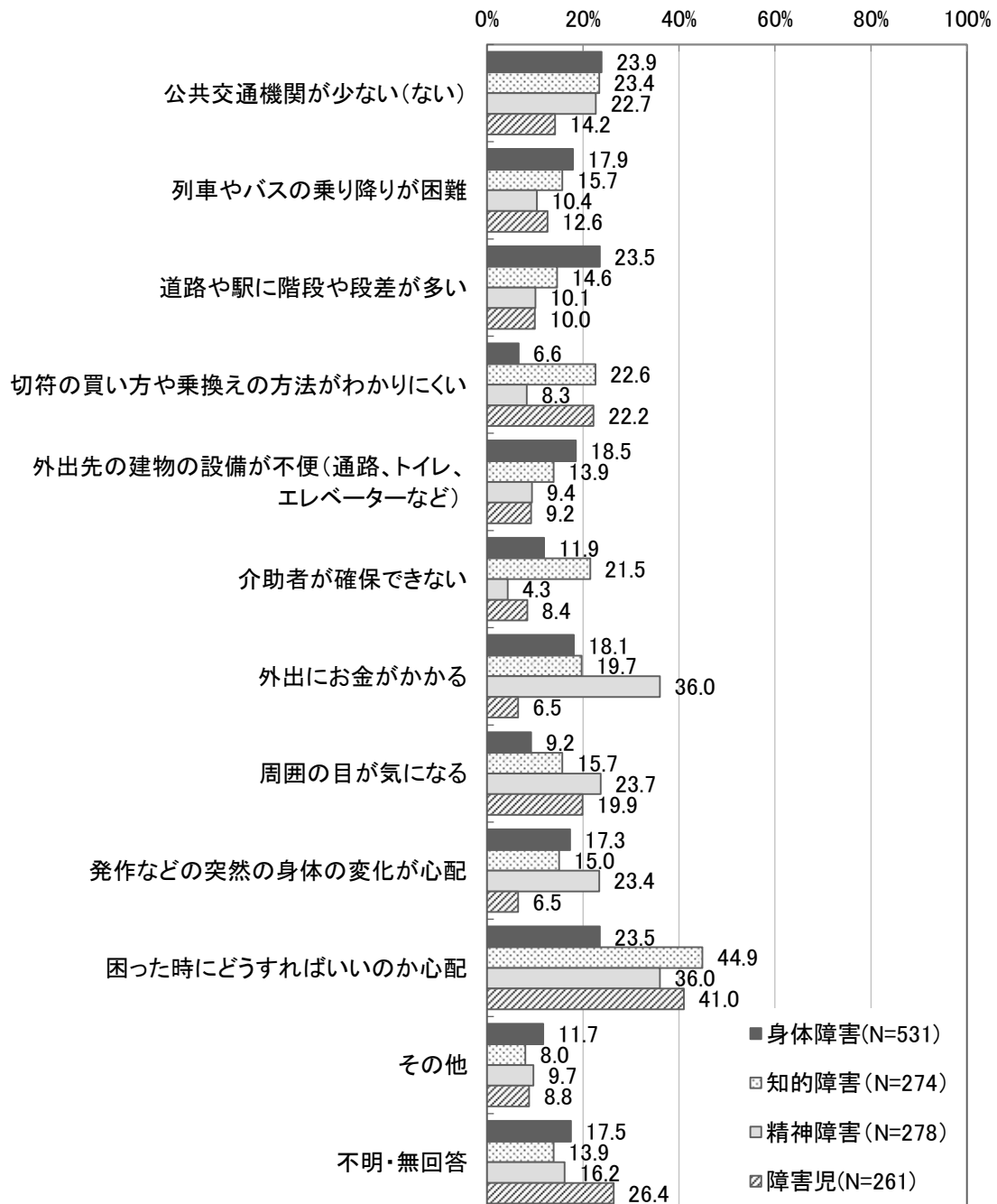
外出頻度の増加意向は、「そのままがいい」が身体障害で 64.0%、知的障害で 63.5%、精神障害で 52.5%、障害児で 59.0%と、それぞれ最も高くなっています。



22 あなたが外出するときに困っていることは何ですか。

(複数回答: 障害者問 22、障害児問 17)

外出時に困っていることは、「公共交通機関が少ない(ない)」が身体障害で23.9%、「困った時にどうすればいいのか心配」が知的障害で44.9%、障害児で41.0%、「外出にお金がかかる」「困った時にどうすればいいのか心配」が精神障害で36.0%と、それぞれ最も高くなっています。



年齢別で見ると、18～39歳で「困った時にどうすればいいの心配」が44.4%、65歳以上で「道路や駅に階段や段差が多い」が23.9%と、他の年代と比べて高くなっています。

■年齢区分別クロス集計

(単位：%)

区分	公共交通機関が少ない(ない)	列車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)	介助者が確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる
【年齢区分別】								
18～39歳(N=279)	20.4	14.3	11.8	18.3	13.3	15.1	25.8	20.1
40～64歳(N=330)	25.8	10.3	13.9	10.0	8.8	7.3	27.9	18.8
65歳以上(N=326)	22.1	17.2	23.9	4.0	19.3	11.7	15.6	4.9

区分	発作などの突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいの心配	その他	不明・無回答
【年齢区分別】				
18～39歳(N=279)	19.0	44.4	7.9	14.0
40～64歳(N=330)	19.1	29.1	12.7	16.1
65歳以上(N=326)	14.7	23.3	10.4	19.6

身体障害の等級別でみると、6級で「公共交通機関が少ない(ない)」「困った時にどうすればいいのかわかりにくい」がそれぞれ42.9%と、他の等級と比べて高くなっています。

■身体障害クロス集計

(単位：%)

区分	公共交通機関が少ない(ない)	列車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)	介助者が確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる
【等級別】								
1級(N=144)	20.8	17.4	19.4	3.5	18.8	16.0	16.0	5.6
2級(N=140)	28.6	17.9	19.3	9.3	18.6	10.7	25.0	14.3
3級(N=112)	20.5	25.0	30.4	6.3	17.9	13.4	11.6	11.6
4級(N=89)	19.1	11.2	24.7	5.6	19.1	7.9	19.1	7.9
5級(N=25)	32.0	12.0	32.0	8.0	20.0	8.0	4.0	0.0
6級(N=21)	42.9	19.0	28.6	14.3	14.3	4.8	33.3	4.8

区分	発作などの突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいのかわかりにくい	その他	不明・無回答
【等級別】				
1級(N=144)	24.3	16.7	9.0	20.8
2級(N=140)	14.3	32.9	10.0	16.4
3級(N=112)	17.9	23.2	9.8	17.9
4級(N=89)	13.5	20.2	19.1	15.7
5級(N=25)	4.0	8.0	20.0	8.0
6級(N=21)	19.0	42.9	9.5	19.0

知的障害の等級別でみると、A判定で「介助者が確保できない」が39.4%と、他の等級と比べて高くなっています。

■知的障害クロス集計

(単位：%)

区分	公共交通機関が少ない(ない)	列車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)	介助者が確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる
【等級別】								
A判定(N=104)	24.0	26.9	22.1	29.8	22.1	39.4	14.4	18.3
B判定(N=78)	24.4	10.3	9.0	21.8	10.3	14.1	23.1	7.7
C判定(N=92)	21.7	7.6	10.9	15.2	7.6	7.6	22.8	19.6

区分	発作などの突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいの心配	その他	不明・無回答
【等級別】				
A判定(N=104)	19.2	43.3	6.7	8.7
B判定(N=78)	14.1	52.6	9.0	17.9
C判定(N=92)	10.9	40.2	8.7	16.3

精神障害の等級別でみると、1級で「発作などの突然の身体の変化が心配」が45.0%と、他の等級と比べて高くなっています。

■精神障害クロス集計

(単位：%)

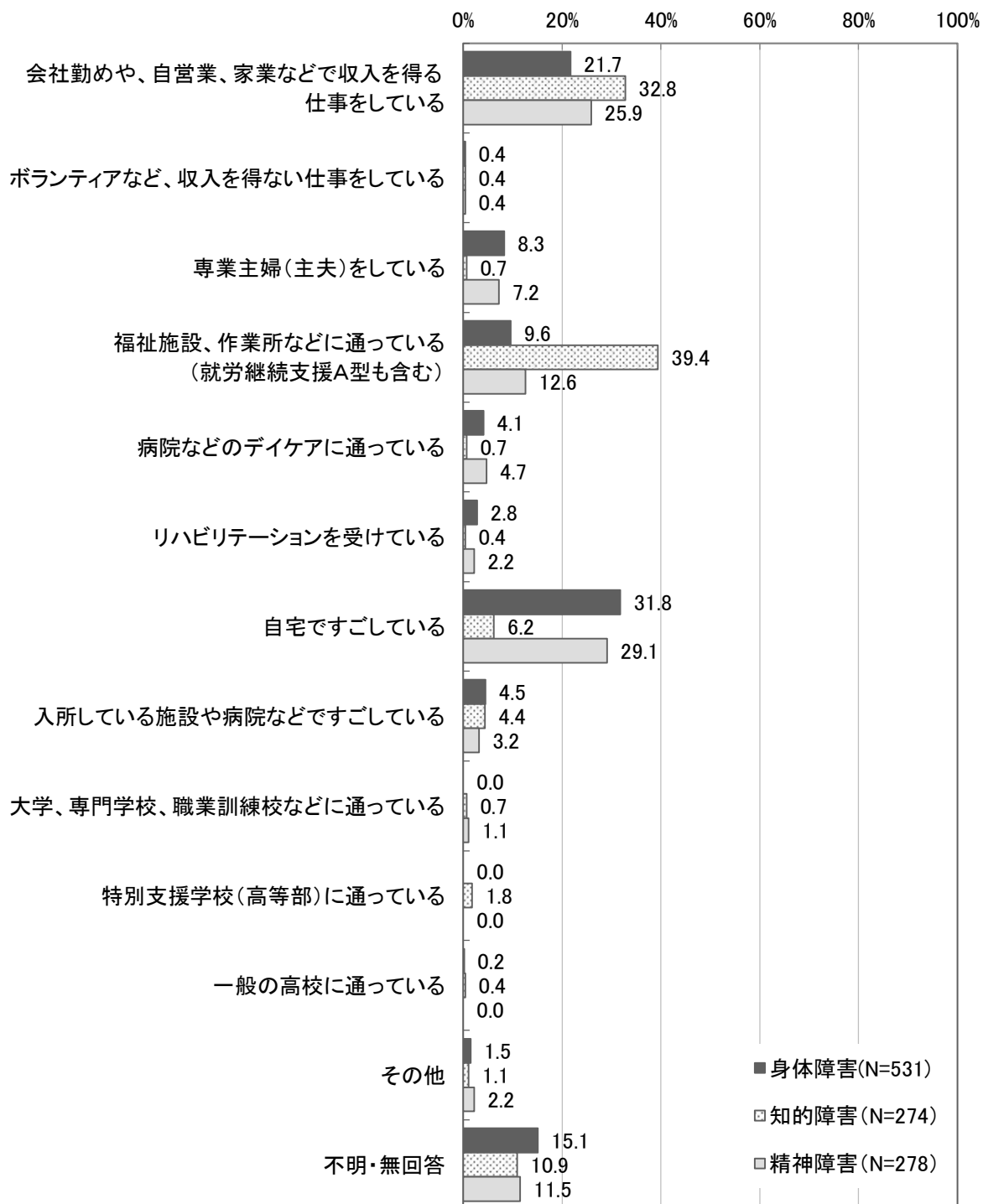
区分	公共交通機関が少ない(ない)	列車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)	介助者が確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる
【等級別】								
1級(N=20)	25.0	15.0	20.0	0.0	15.0	0.0	15.0	10.0
2級(N=188)	23.4	10.1	9.0	10.6	8.5	4.8	36.2	26.6
3級(N=70)	20.0	10.0	10.0	4.3	10.0	4.3	41.4	20.0

区分	発作などの突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいのかが心配	その他	不明・無回答
【等級別】				
1級(N=20)	45.0	30.0	5.0	15.0
2級(N=188)	20.2	35.6	10.6	15.4
3級(N=70)	25.7	38.6	8.6	18.6

23 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。

(単数回答: 障害者 問 23)

日中の主な過ごし方は、「自宅ですごしている」が身体障害で31.8%、精神障害で29.1%、「福祉施設、作業所などに通っている（就労継続支援A型も含む）」が知的障害で39.4%と、それぞれ最も高くなっています。



身体障害別・年齢別で見ると、65歳以上で「自宅ですごしている」が46.6%と、他の年代と比べて高くなっています。

■身体障害別・年齢別クロス集計

(単位：%)

区分	会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている	ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	専業主婦(主夫)をしている	福祉施設、作業所などに通っている(就労継続支援A型も含む)	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	自宅ですごしている
【身体障害別・年齢別】							
18～39歳(N=76)	43.4	1.3	0.0	42.1	1.3	0.0	3.9
40～64歳(N=157)	39.5	0.0	8.9	8.3	3.8	1.3	17.8
65歳以上(N=294)	6.8	0.3	10.2	1.7	5.1	4.4	46.6

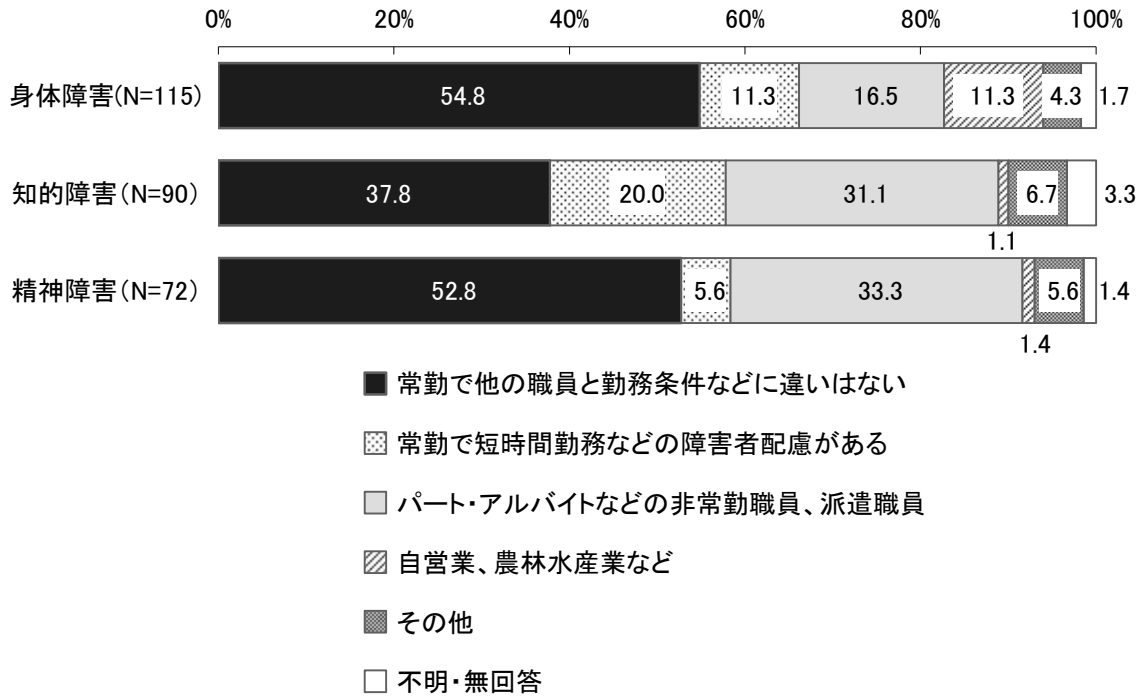
区分	入所している施設や病院などですごしている	大学、専門学校、職業訓練校などに通っている	特別支援学校(高等部)に通っている	一般の高校に通っている	その他	不明・無回答
【身体障害別・年齢別】						
18～39歳(N=76)	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
40～64歳(N=157)	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	17.2
65歳以上(N=294)	5.4	0.0	0.0	0.3	2.7	16.3

24 あなたはどのような勤務形態で働いていますか。

※23 で「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」と回答した方

(単数回答: 障害者問 24)

勤務形態は、「常勤で他の職員と勤務条件などに違いはない」が身体障害で 54.8%、知的障害で 37.8%、精神障害で 52.8%と、それぞれ最も高くなっています。

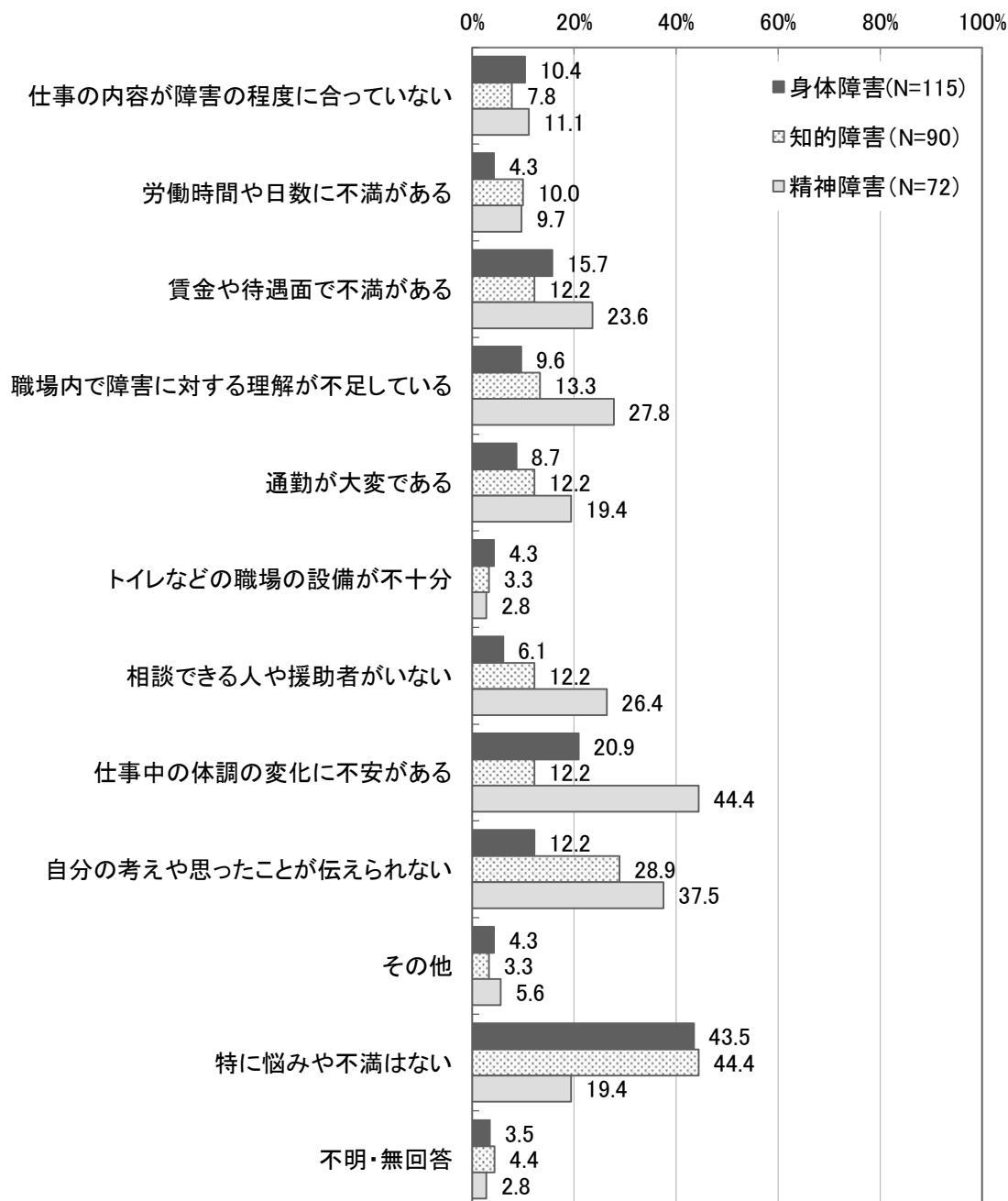


25 現在の仕事について、どのような悩みや不満がありますか。

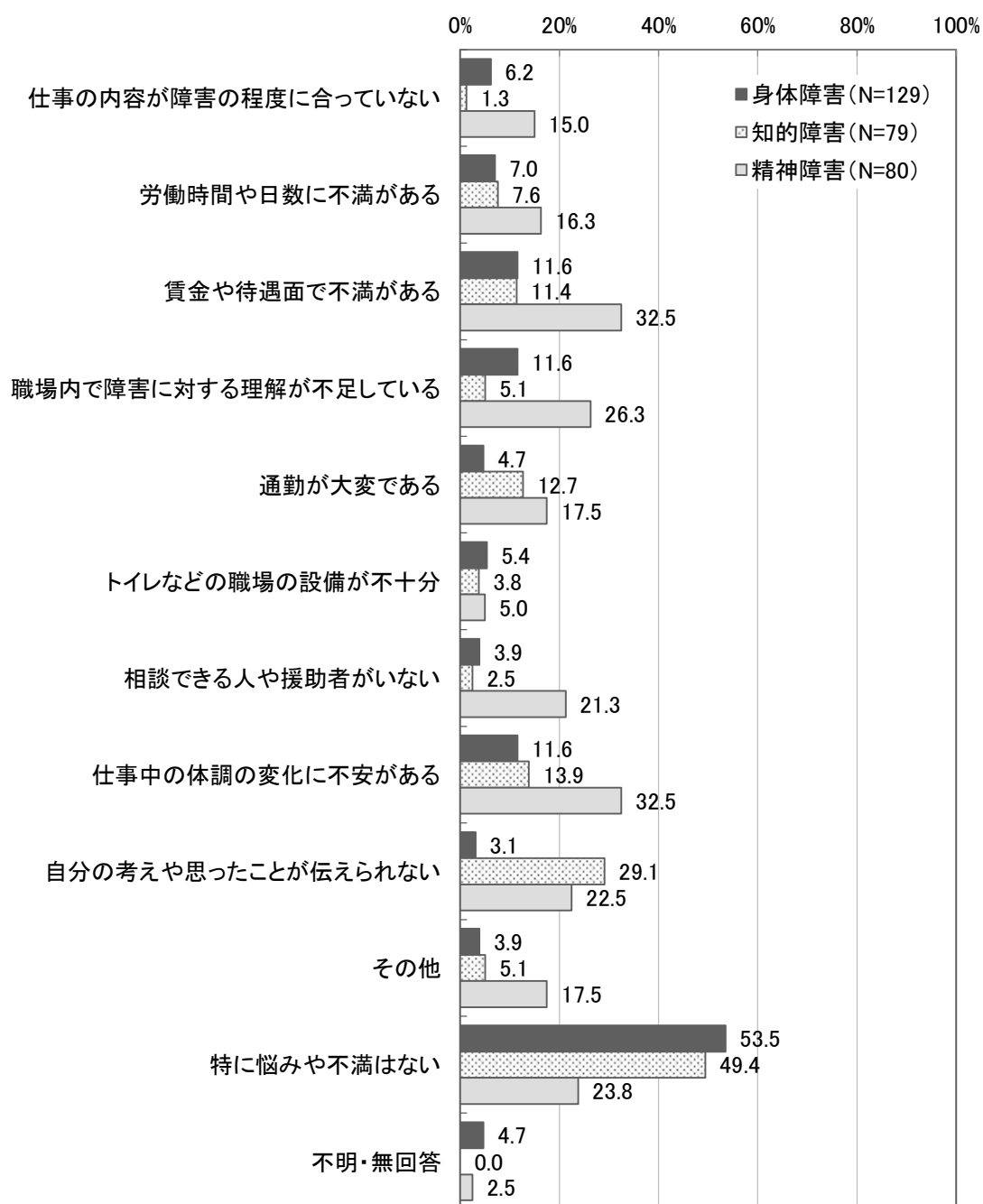
※23で「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」と回答した方

(複数回答:障害者問 25)

現在の仕事についての悩みや不満は、「特に悩みや不満はない」を除いて、「仕事中の体調の変化に不安がある」が身体障害で20.9%、精神障害で44.4%、「自分の考えや思ったことが伝えられない」が知的障害で28.9%と、それぞれ最も高くなっています。



◆H28 年調査(参考)



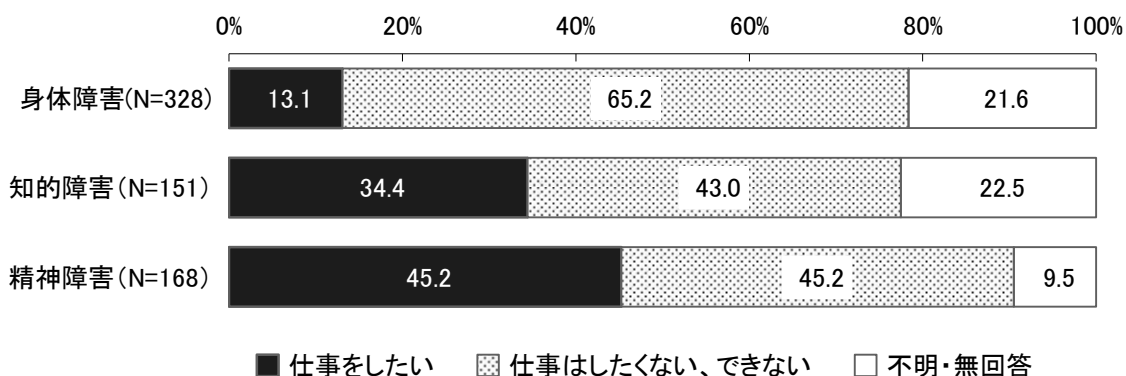
※調査対象が平成 28 年度調査は全年齢、今回調査は 18 歳以上と異なっているため、参考値として掲載。

26 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。

※23 で「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」「その他」以外を回答した方(不明無回答除く)

(単数回答:障害者問 26)

就労意欲については、「仕事はしたくない、できない」が身体障害で65.2%、知的障害で43.0%とそれぞれ最も高くなっています。「仕事をしたい」「仕事はしたくない、できない」が精神障害でそれぞれ45.2%となっています。

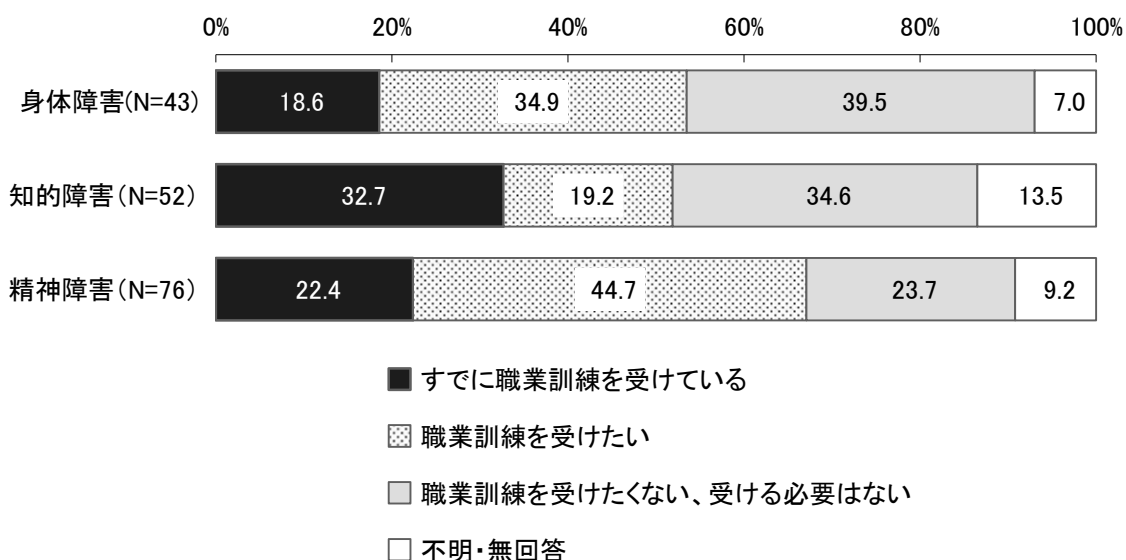


27 収入を得る仕事をするために、職業訓練を受けたいと思いますか。

※26 で「仕事をしたい」と回答した方

(単数回答:障害者問 27)

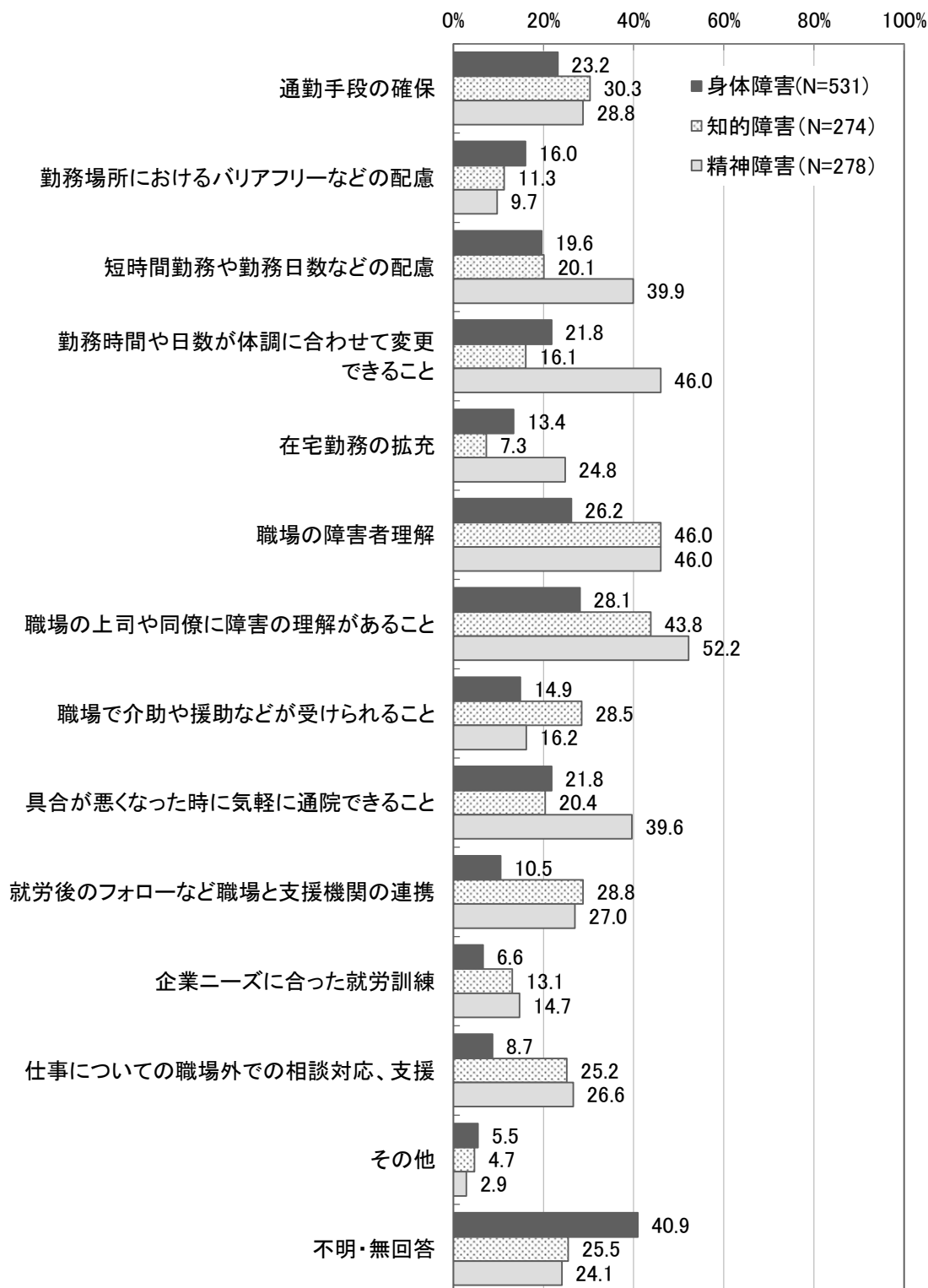
職業訓練については、「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が身体障害で39.5%、知的障害で34.6%、「職業訓練を受けたい」が精神障害で44.7%と、それぞれ最も高くなっています。



28 あなたは、障害者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。

(複数回答: 障害者問 28)

障害者の就労支援として必要なことは、「職場の上司や同僚に障害の理解があること」が身体障害で28.1%、精神障害で52.2%、「職場の障害者理解」が知的障害で46.0%と、それぞれ最も高くなっています。

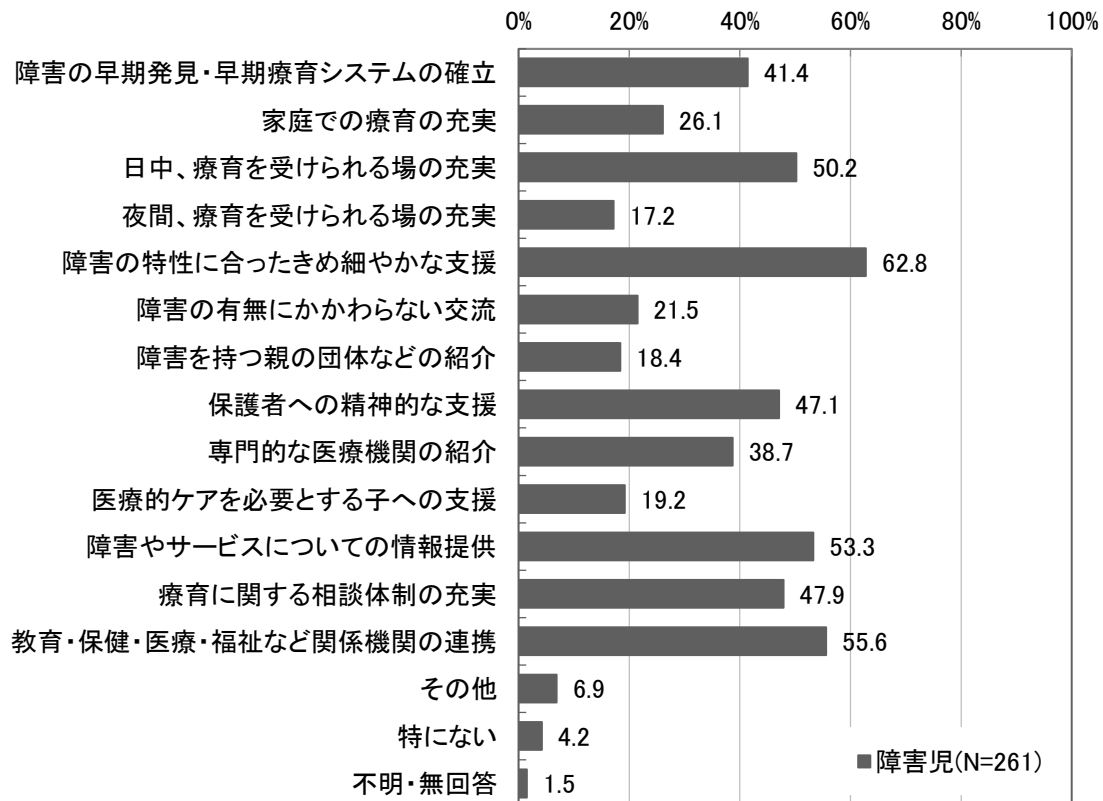


(5)療育・教育・就学・就職について(障害児)

29 あなたは療育についてどのようなことを求めますか。

(複数回答:障害児問 18)

療育について求めることは、「障害の特性に合ったきめ細やかな支援」が62.8%と最も高くなっており、次いで「教育・保健・医療・福祉など関係機関の連携」が55.6%となっています。



年齢別でみると、6歳未満で「医療的ケアを必要とする子への支援」が30.2%と、他の年代と比べて高くなっています。

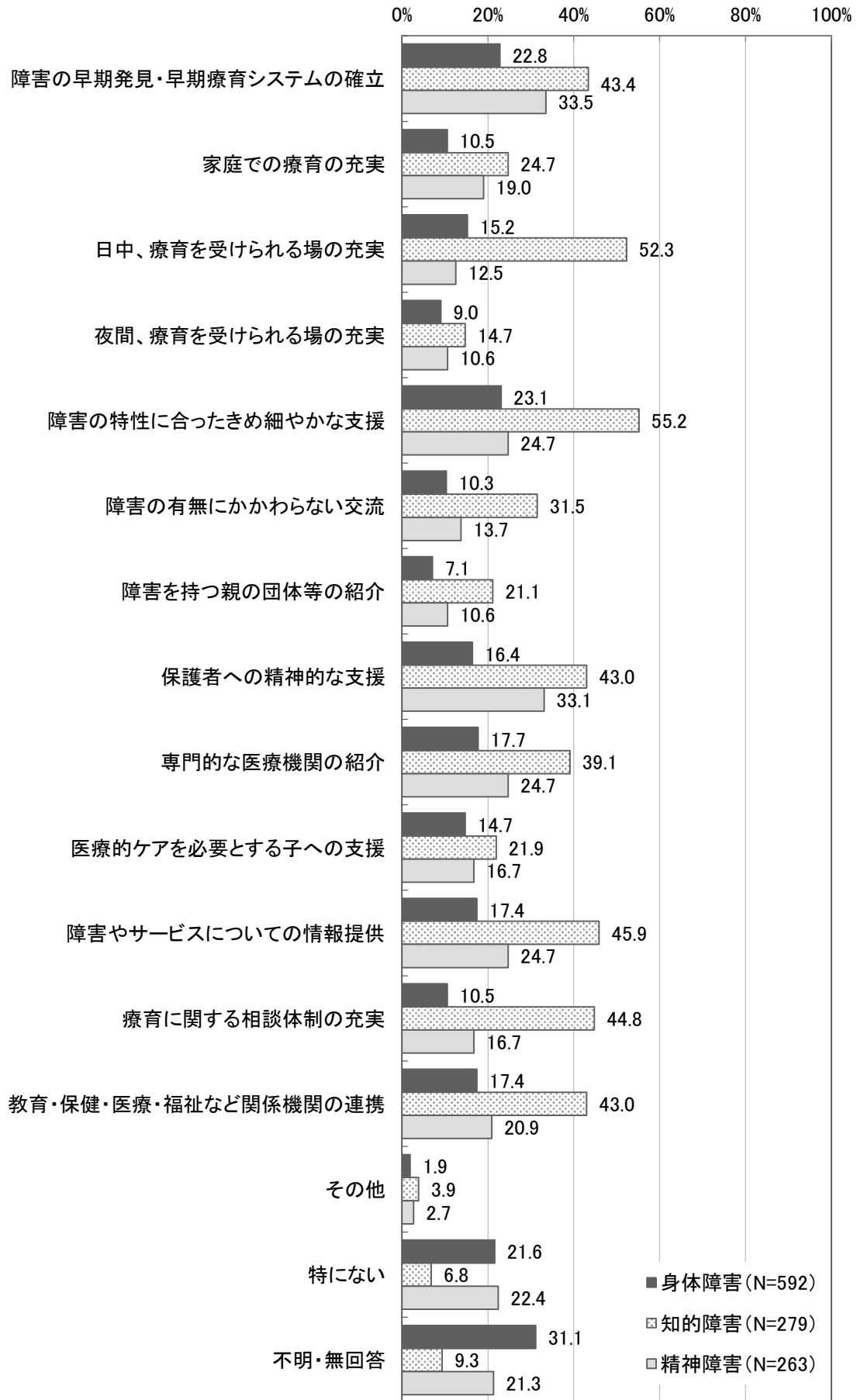
■年齢区分別クロス集計

(単位: %)

区分	障害の早期発見・早期療育システムの確立	家庭での療育の充実	日中、療育を受けられる場の充実	夜間、療育を受けられる場の充実	障害の特性に合ったきめ細やかな支援	障害の有無にかかわらず交流	障害を持つ親の団体などの紹介	保護者への精神的な支援
【年齢区分別】								
6歳未満(N=63)	49.2	30.2	60.3	20.6	60.3	14.3	22.2	44.4
6～12歳(N=131)	41.2	22.9	55.0	15.3	69.5	22.1	16.8	48.9
13～17歳(N=64)	34.4	28.1	31.3	17.2	50.0	26.6	18.8	46.9

区分	専門的な医療機関の紹介	医療的ケアを必要とする子への支援	障害やサービスについての情報提供	療育に関する相談体制の充実	教育・保健・医療・福祉など関係機関の連携	その他	特になし	不明・無回答
【年齢区分別】								
6歳未満(N=63)	41.3	30.2	60.3	49.2	60.3	1.6	1.6	0.0
6～12歳(N=131)	38.2	15.3	55.0	51.1	47.3	9.2	3.1	1.5
13～17歳(N=64)	37.5	15.6	42.2	40.6	65.6	7.8	9.4	3.1

◆H28 年調査(参考)

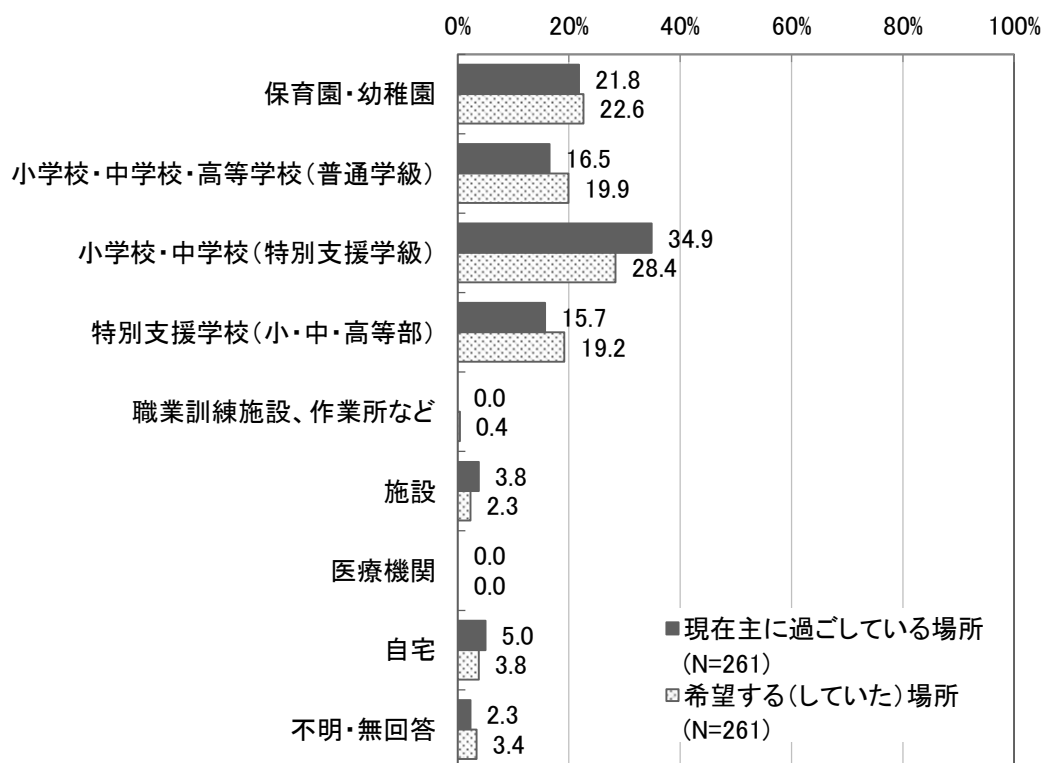


※調査対象が平成 28 年度調査は全年齢、今回調査は 18 歳以上と異なっているため、参考値として掲載。

30 あなたの日中の過ごし方について、(1)現在主に過ごしている場所と、(2)希望する(していた)場所についてお答えください。

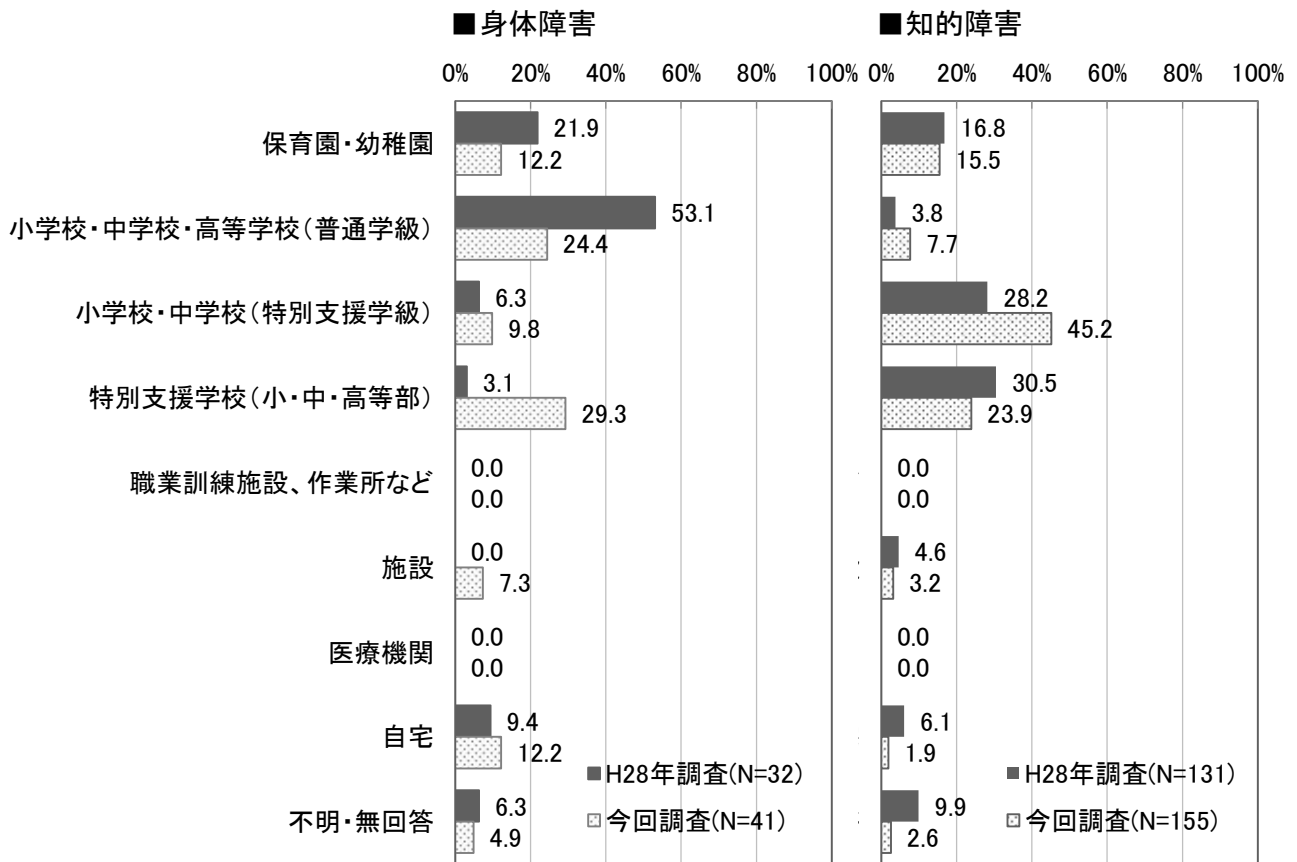
(単数回答:障害児問 21)

日中の過ごし方については、「小学校・中学校(特別支援学級)」が(1)現在主に過ごしている場所で34.9%、(2)希望する(していた)場所で28.4%と、それぞれ最も高くなっています。

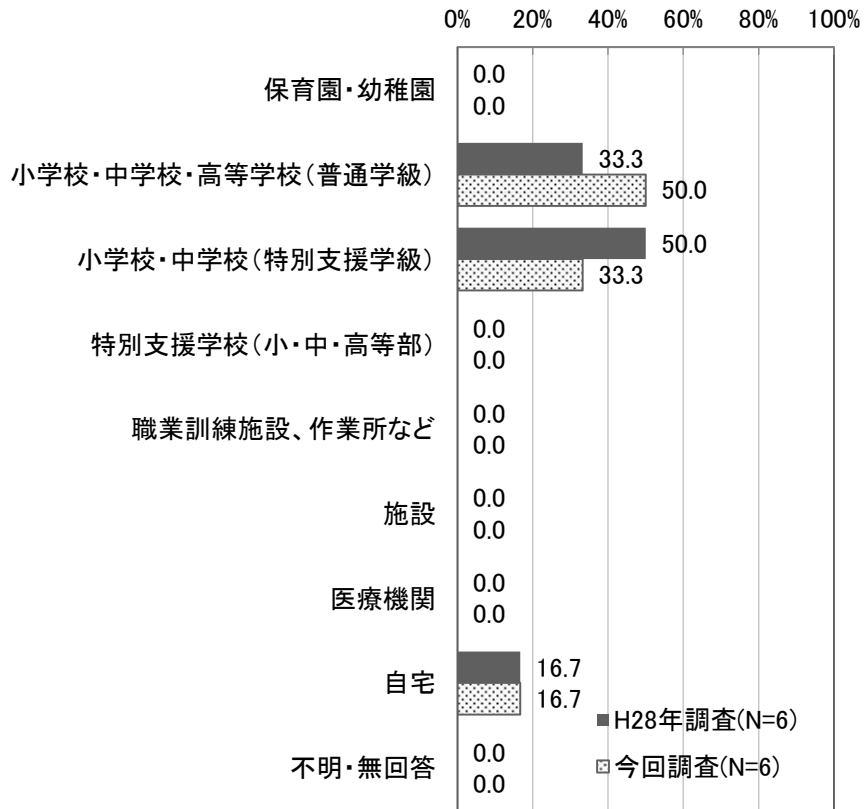


◆経年比較（1）現在主に過ごしている場所

H28年調査と比較すると、身体障害で「特別支援学校（小・中・高等部）」が26.2ポイント、知的障害で「小学校・中学校（特別支援学級）」が17.0ポイント、それぞれ高くなっています。

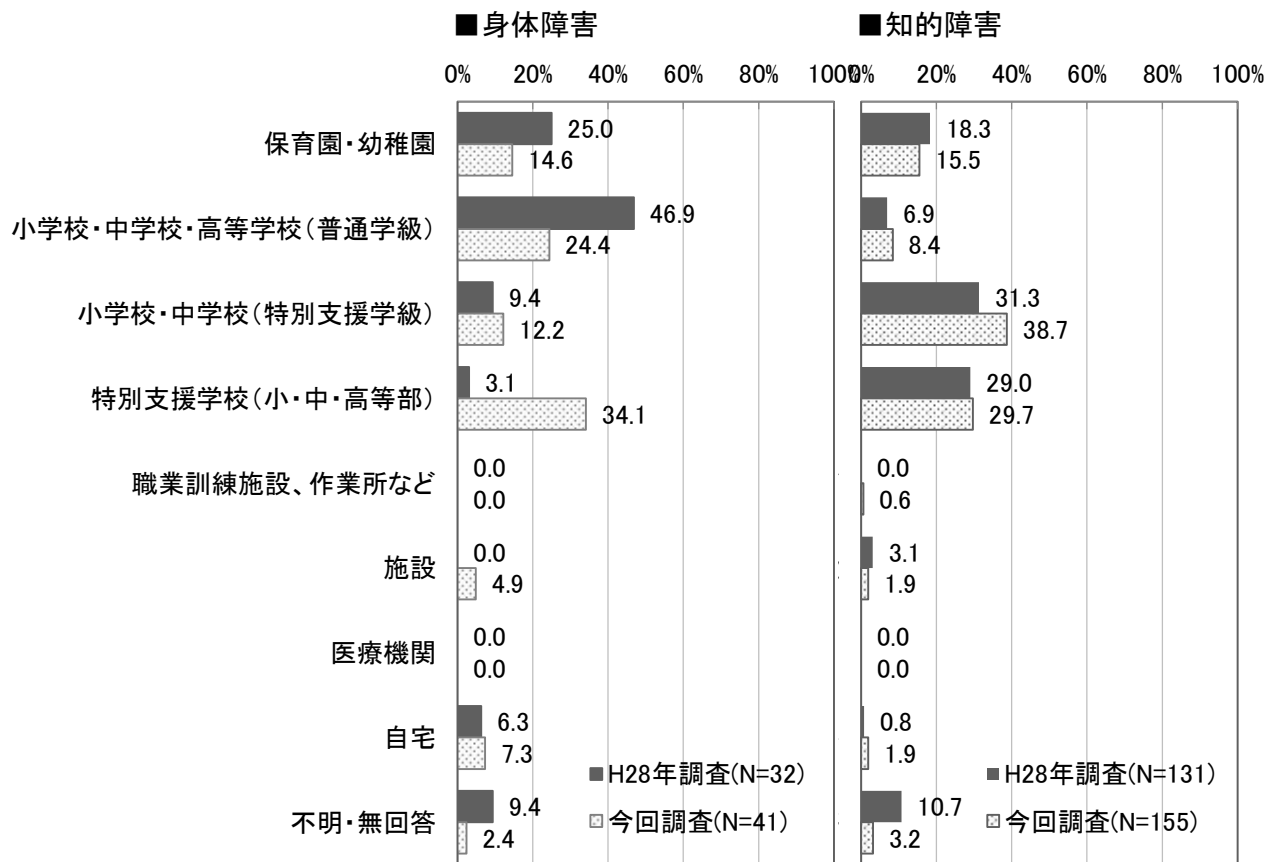


■精神障害

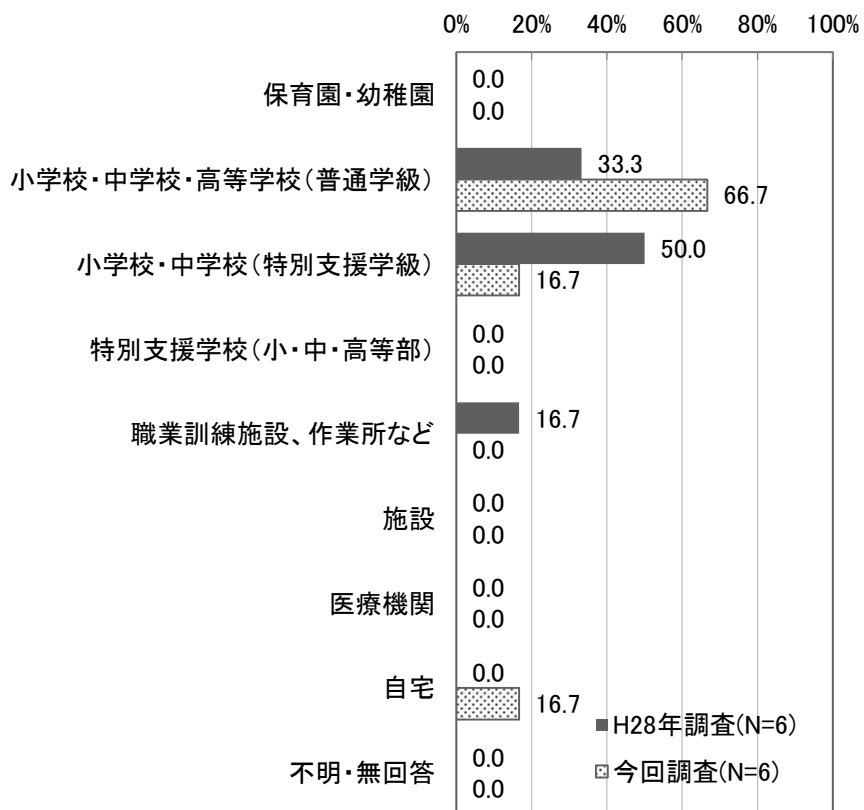


◆経年比較（2）希望する(していた)場所

H28年調査と比較すると、身体障害で「特別支援学校（小・中・高等部）」が31.0ポイント、知的障害で「小学校・中学校（特別支援学級）」が7.4ポイント、それぞれ高くなっています。



■精神障害

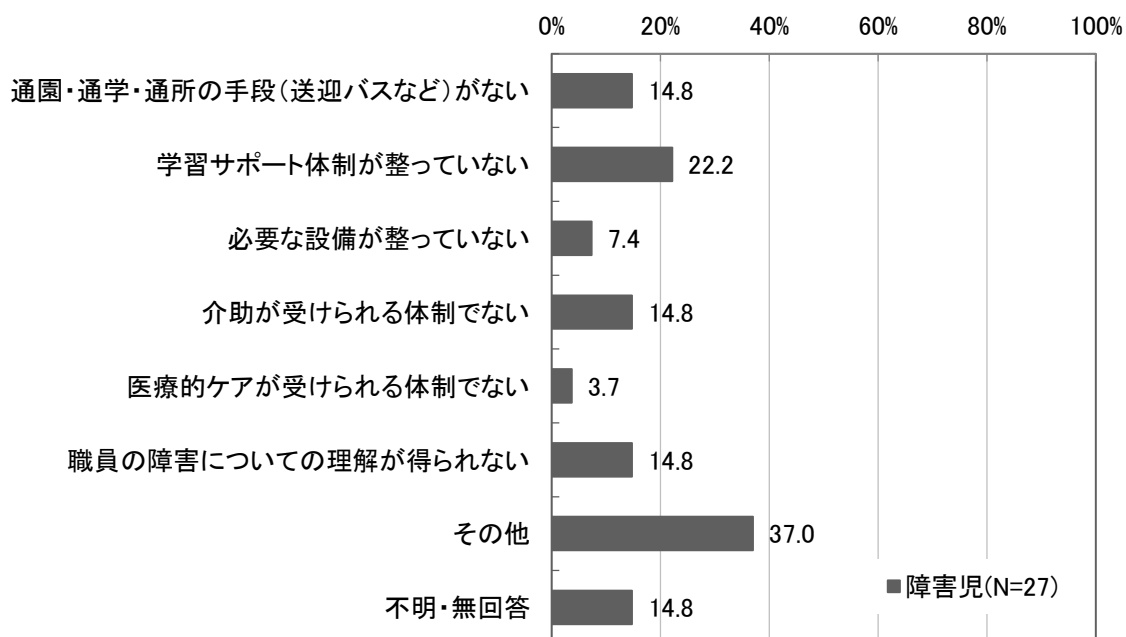


31 希望と違う場所で日中を過ごしている理由は、次のうちどれですか。

※30で「(1)現在と(2)希望」の回答が異なる方

(複数回答:障害児問 22)

希望と違う場所で日中を過ごしている理由は、「その他」を除いて、「学習サポート体制が整っていない」が22.2%と最も高くなっています。



希望と違う場所で日中を過ごしている方の現在主に過ごしている場所は、「小学校・中学校（特別支援学級）」が17件と最も高くなっています。

■希望と違う場所で日中を過ごしている方の現在主に過ごしている場所

(単位：件)

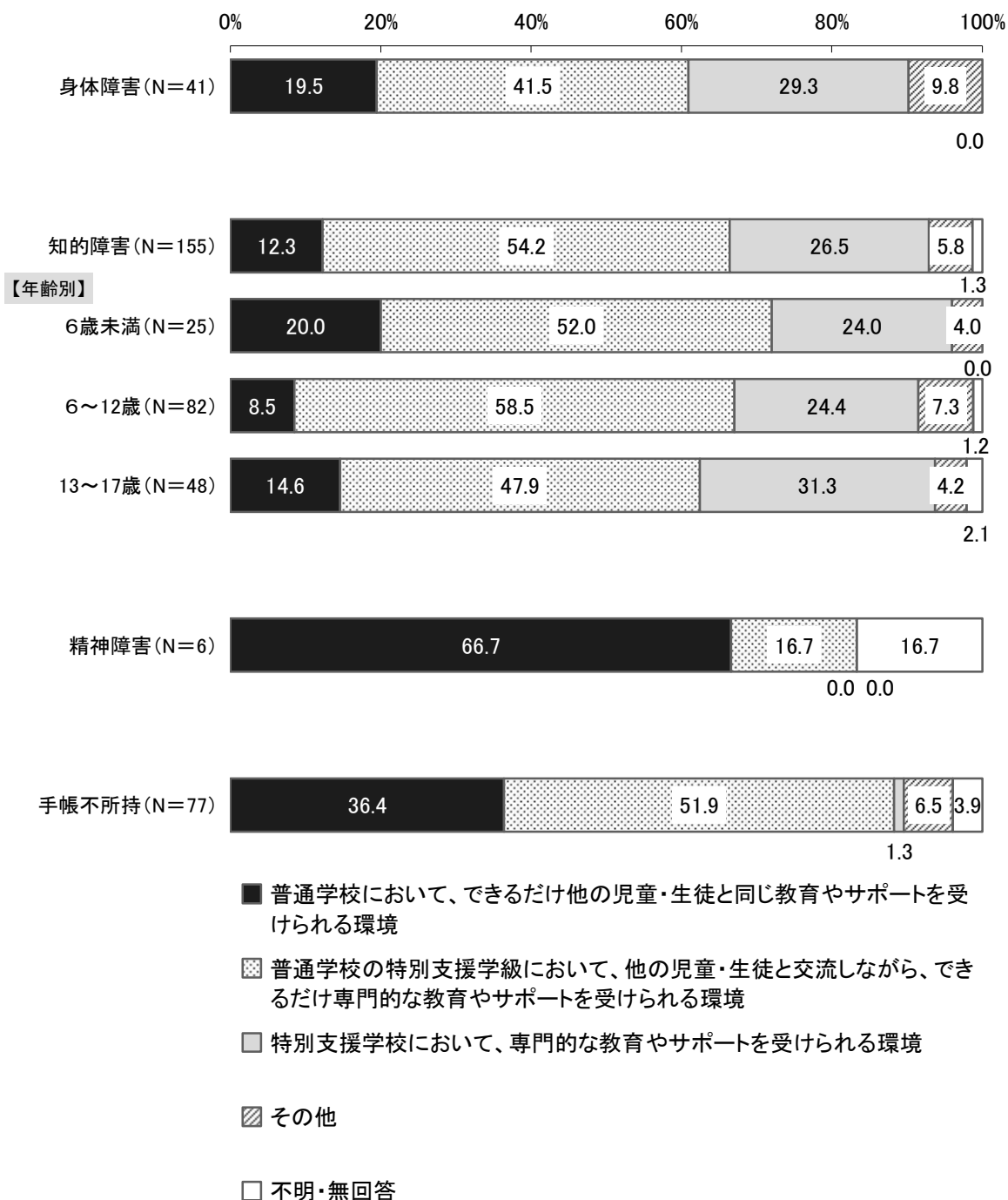
区分	保育園・幼稚園	小学校・中学校・高等学校(普通学級)	小学校・中学校(特別支援学級)	特別支援学校(小・中・高等部)	職業訓練施設、作業所など	施設	医療機関	自宅	不明・無回答
【障害種別】 「(1)現在と(2)希望」の回答が異なる方(N=27)	2	1	17	1	0	4	0	2	0

32 障害のある児童・生徒の就学環境として望ましいと思うものは、次のうちどれですか。

(単数回答: 障害児問 23)

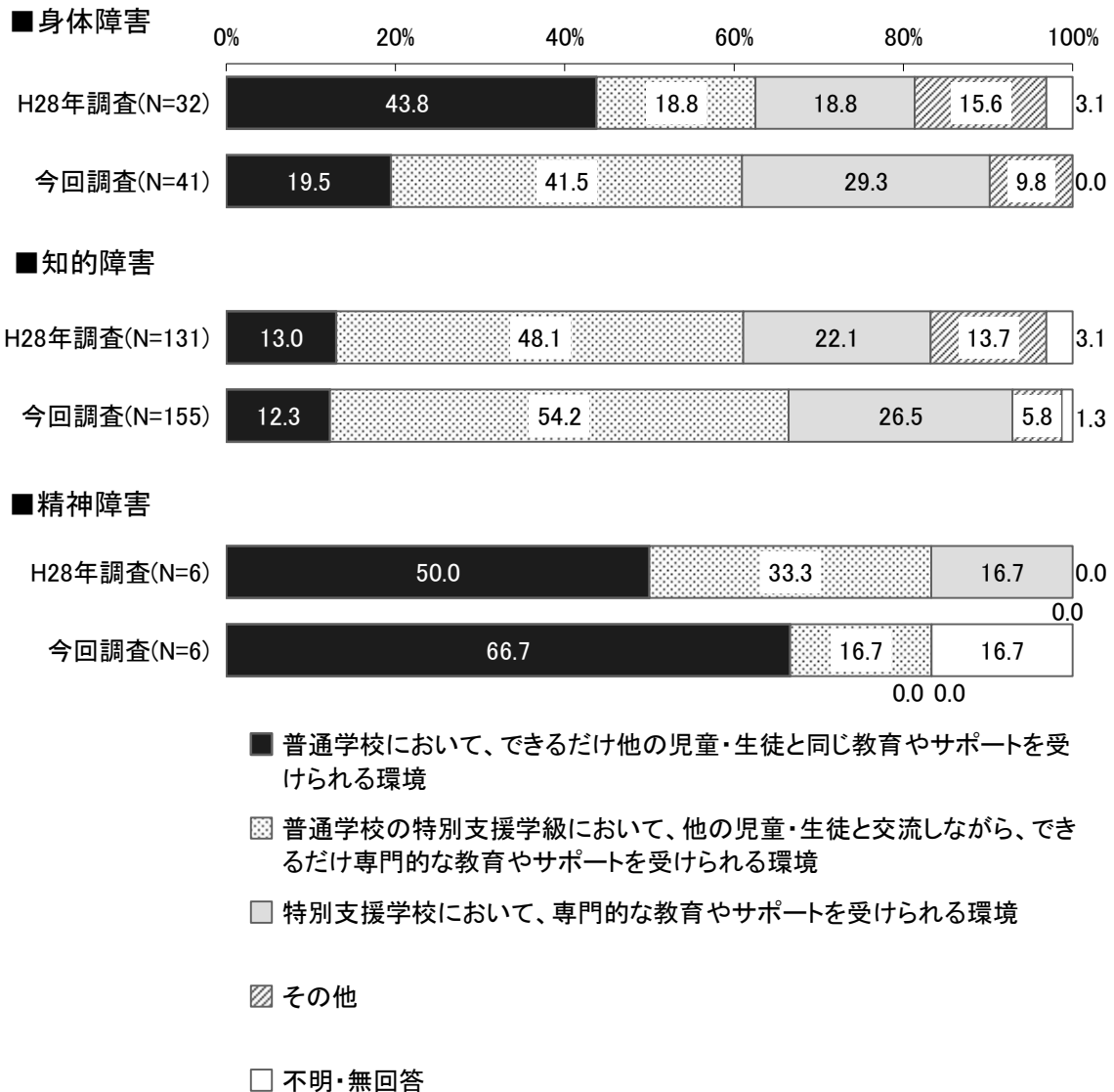
障害のある児童・生徒の就学環境として望ましいと思うものは、「普通学校の特別支援学級において、他の児童・生徒と交流しながら、できるだけ専門的な教育やサポートを受けられる環境」が身体障害で41.5%、知的障害で54.2%、手帳不所持で51.9%と、それぞれ最も高くなっています。

知的障害の年齢別でみると、「特別支援学校において、専門的な教育やサポートを受けられる環境」が13～17歳で31.3%と、他の年代と比べて高くなっています。



◆経年比較

H28年調査と比較すると、身体障害で「普通学校の特別支援学級において、他の児童・生徒と交流しながら、できるだけ専門的な教育やサポートを受けられる環境」が22.7ポイント、「特別支援学校において、専門的な教育やサポートを受けられる環境」が10.5ポイントそれぞれ高くなっています。

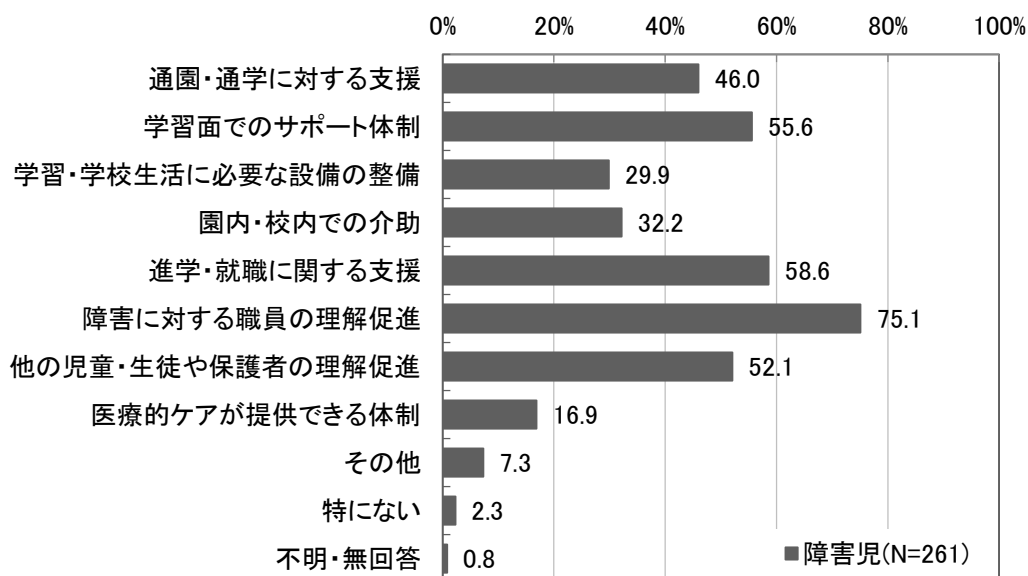


※H28年調査は本人の年齢で「18歳未満」と回答した方。

33 保育園や幼稚園、学校生活を送る上で充実してほしいことは、次のうちどれですか。現在学校などに通っている・いないにかかわらずお答えください。

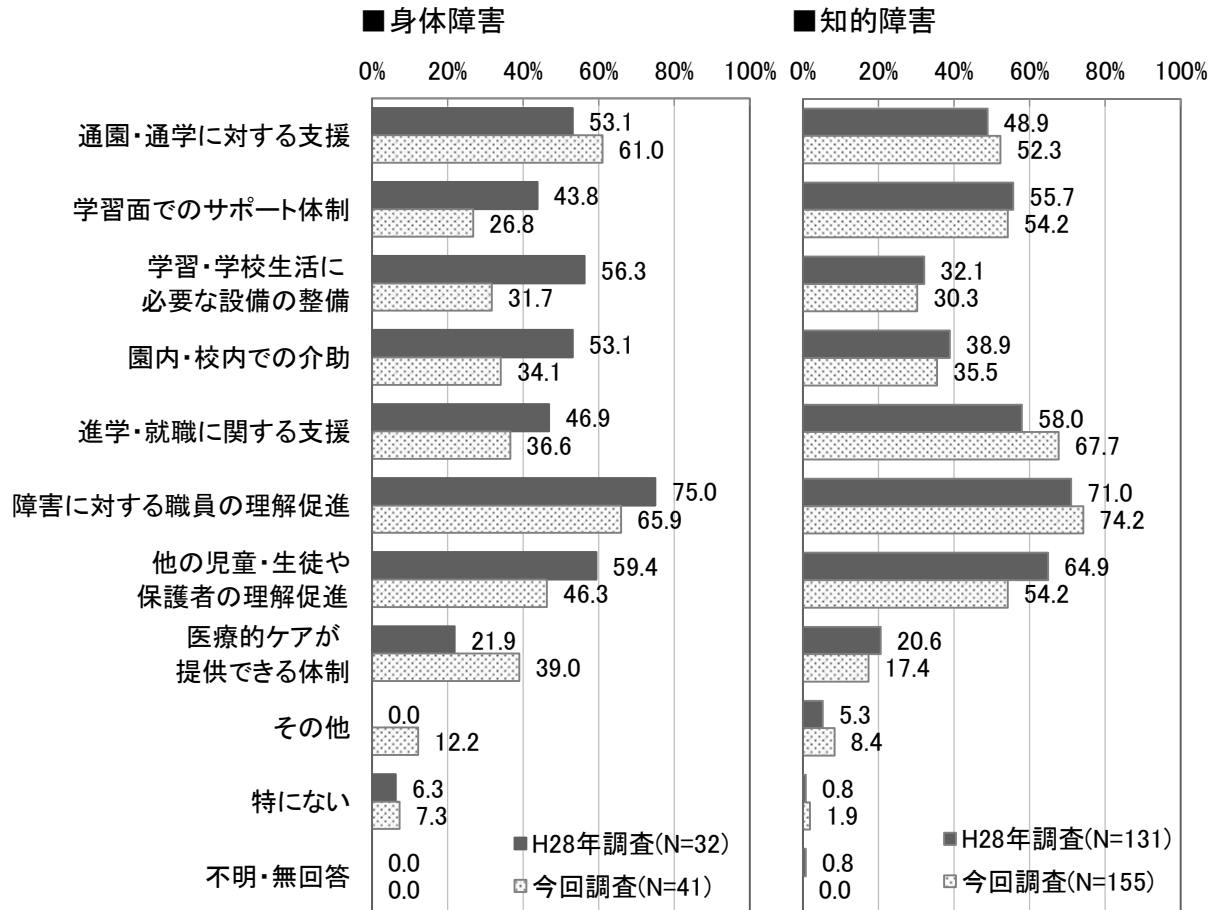
(複数回答:障害児問 24)

保育園や幼稚園、学校生活を送る上で充実してほしいことは、「障害に対する職員の理解促進」が75.1%と最も高く、次いで「進学・就職に関する支援」が58.6%となっています。



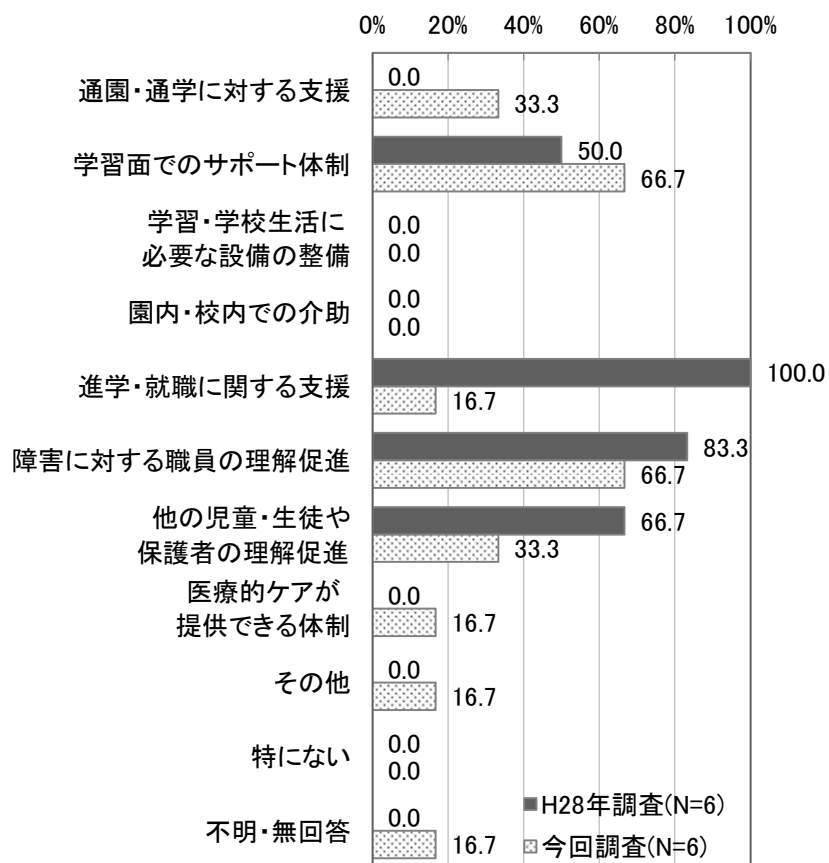
◆経年比較

H28年調査と比較すると、身体障害で「医療的ケアが提供できる体制」が17.1ポイント、知的障害で「進学・就職に関する支援」が9.7ポイントそれぞれ高くなっています。



※H28 調査は本人の年齢で「18歳未満」と回答した方。

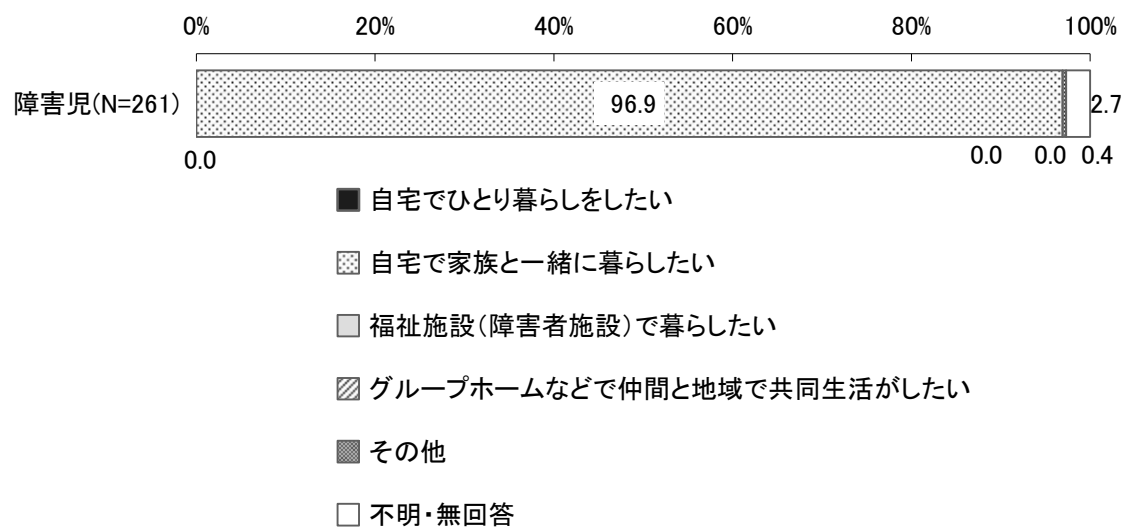
■精神障害



34 18歳になるまで、どのような暮らし方を希望しますか。

(単数回答: 障害児問 25)

18歳になるまでの希望する暮らし方は、「自宅で家族と一緒に暮らしたい」が96.9%と最も高くなっています。

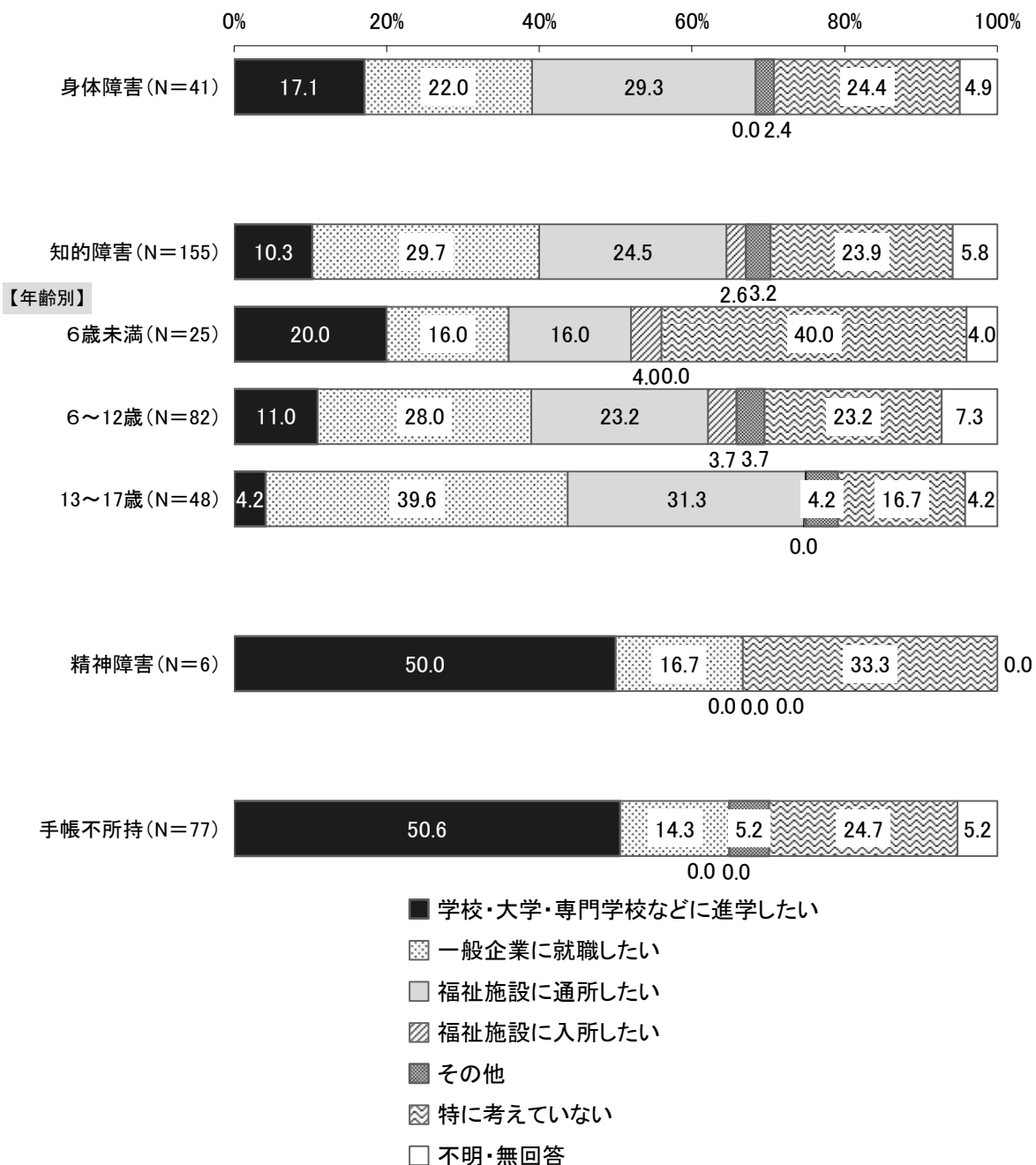


35 あなたが 18 歳になったとき、どのような進路を希望しますか。

(単数回答: 障害児問 26)

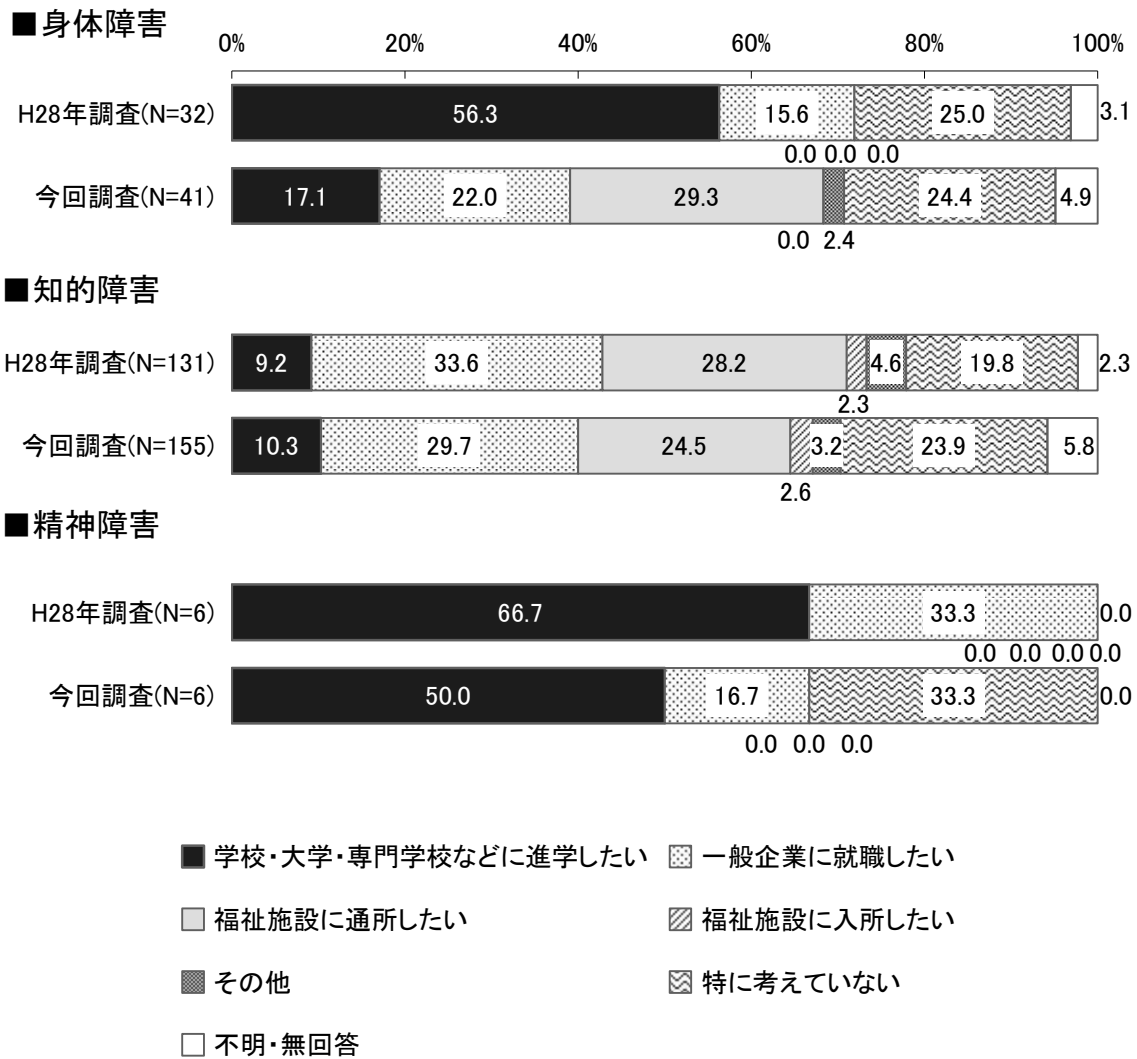
18 歳になったときの希望する進路は、「福祉施設に通所したい」が身体障害で 29.3%、「一般企業に就職したい」が知的障害で 29.7%、「学校・大学・専門学校などに進学したい」が手帳不所持で 50.6%と、それぞれ最も高くなっています。

知的障害の年齢別でみると、「一般企業に就職したい」が 13～17 歳で 39.6%と、他の年代と比べて高くなっています。



◆経年比較

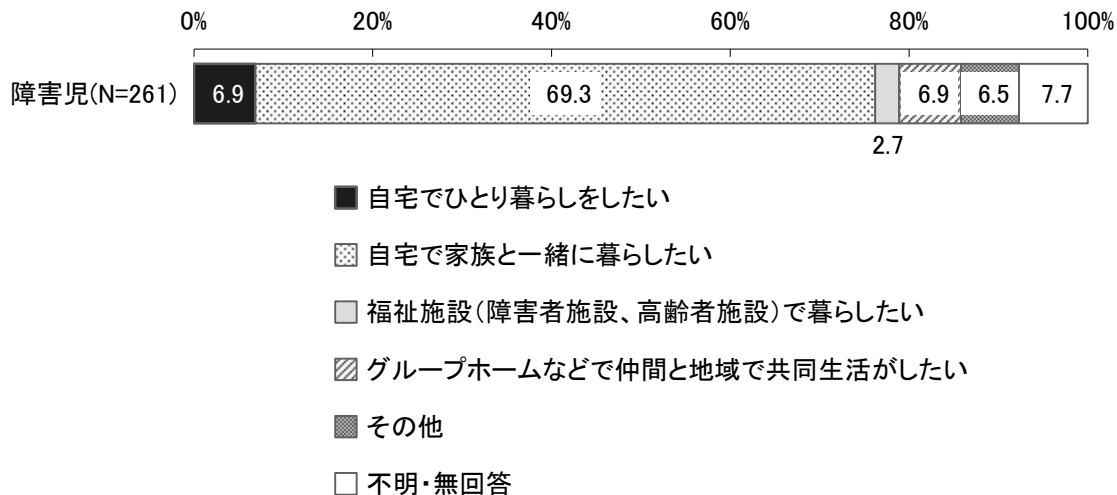
H28年調査と比較すると、身体障害で「福祉施設に入所したい」が29.3ポイント高くなっています。



36 18歳以降、どのような暮らし方を希望しますか。

(単数回答: 障害児問 27)

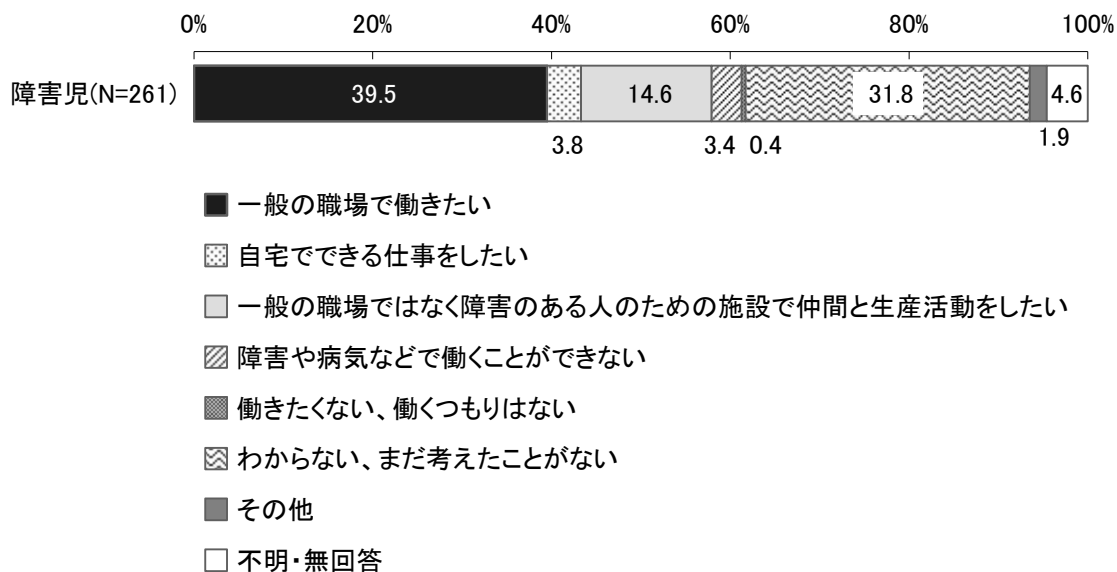
18歳以降の希望する暮らし方は、「自宅で家族と一緒に暮らしたい」が69.3%と最も高くなっています。



37 将来、働くことについて、どのようにお考えですか。

(単数回答: 障害児問 28)

将来の就労については、「一般の職場で働きたい」が39.5%と最も高く、次いで「わからない、まだ考えたことがない」が31.8%となっています。

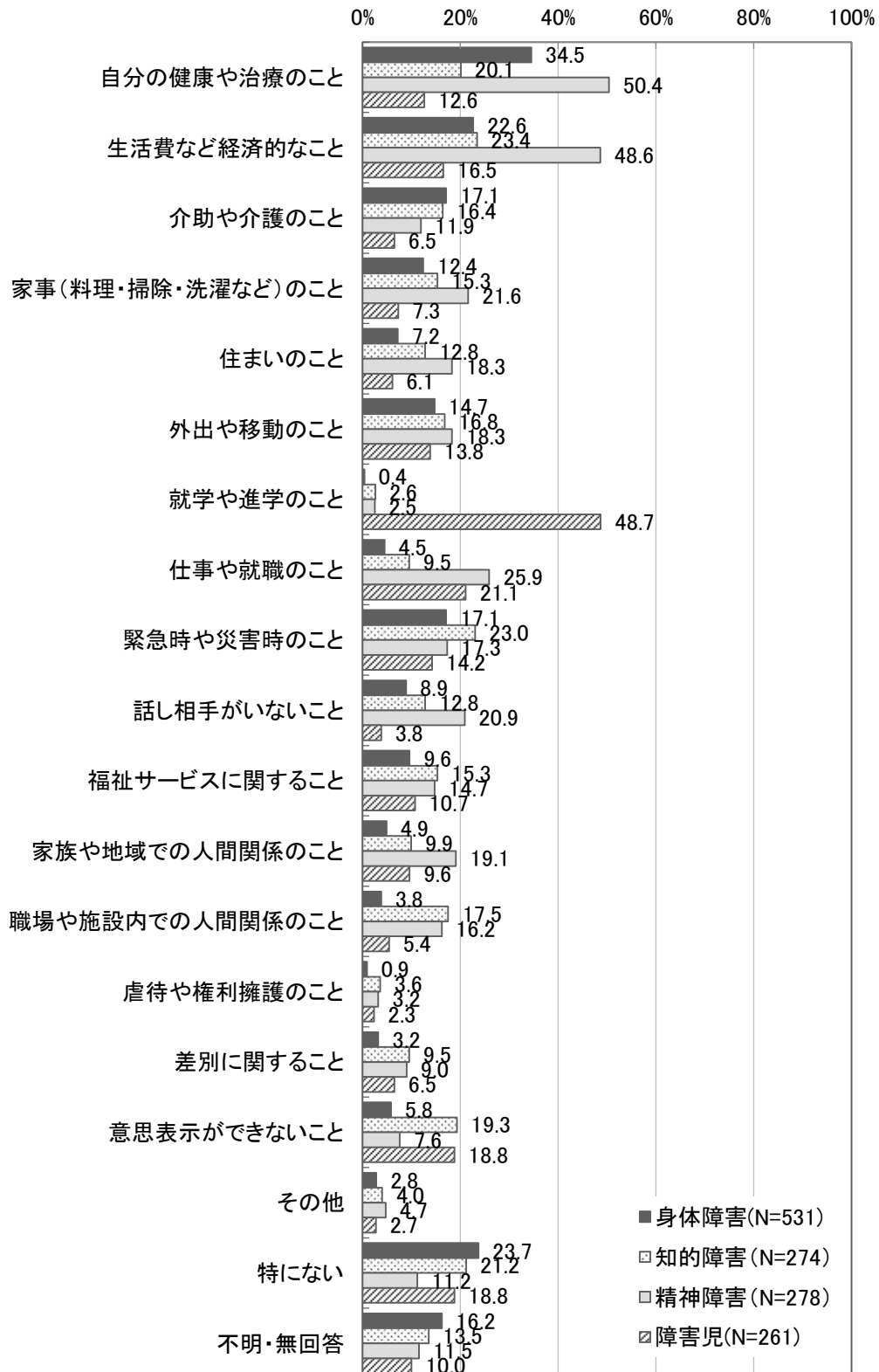


(6) 相談状況や情報取得について

38 現在、あなたは悩んでいることや相談したいことがありますか。

(複数回答: 障害者問 29、障害児問 30)

悩んでいることや相談したいことは、「自分の健康や治療のこと」が身体障害で 34.5%、精神障害で 50.4%、「生活費など経済的なこと」が知的障害で 23.4%、「就学や進学のこと」が障害児で 48.7%と、それぞれ最も高くなっています。



年齢別で見ると、18～39歳で「意思表示ができないこと」が17.2%と、他の年代と比べて高くなっています。

■年齢区分別クロス集計

(単位：%)

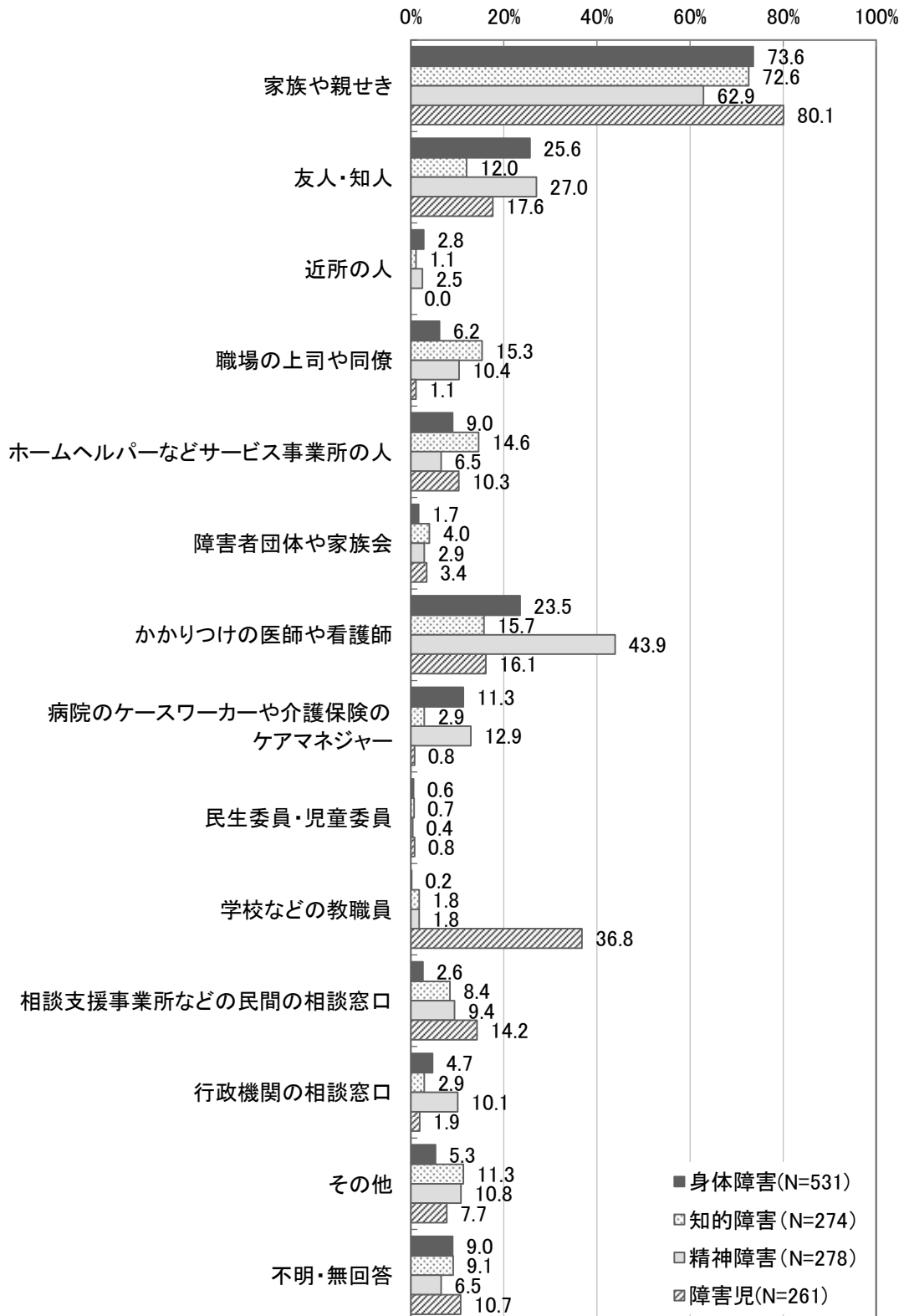
区分	自分の健康や治療のこと	生活費など経済的なこと	介助や介護のこと	家事(料理・掃除・洗濯など)のこと	住まいのこと	外出や移動のこと	就学や進学のこと	仕事や就職のこと	緊急時や災害時のこと	話し相手がないこと
【年齢区分別】										
18～39歳(N=279)	24.7	30.1	12.9	17.9	15.1	18.6	3.6	19.4	24.0	12.5
40～64歳(N=330)	41.2	36.7	9.7	16.7	13.9	12.4	1.2	15.5	17.3	15.5
65歳以上(N=326)	35.0	22.4	18.7	10.7	6.7	13.8	0.0	1.2	13.8	8.9

区分	福祉サービスに関すること	家族や地域での人間関係のこと	職場や施設内での人間関係のこと	虐待や権利擁護のこと	差別に関すること	意思表示ができないこと	その他	特になし	不明・無回答
【年齢区分別】									
18～39歳(N=279)	14.0	12.2	18.3	3.2	9.7	17.2	5.0	20.4	11.1
40～64歳(N=330)	11.8	13.3	12.7	2.7	6.7	7.0	3.6	18.8	11.2
65歳以上(N=326)	10.1	4.0	0.9	0.3	2.1	4.0	1.8	23.9	19.6

39 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。

(複数回答: 障害者問 30、障害児問 31)

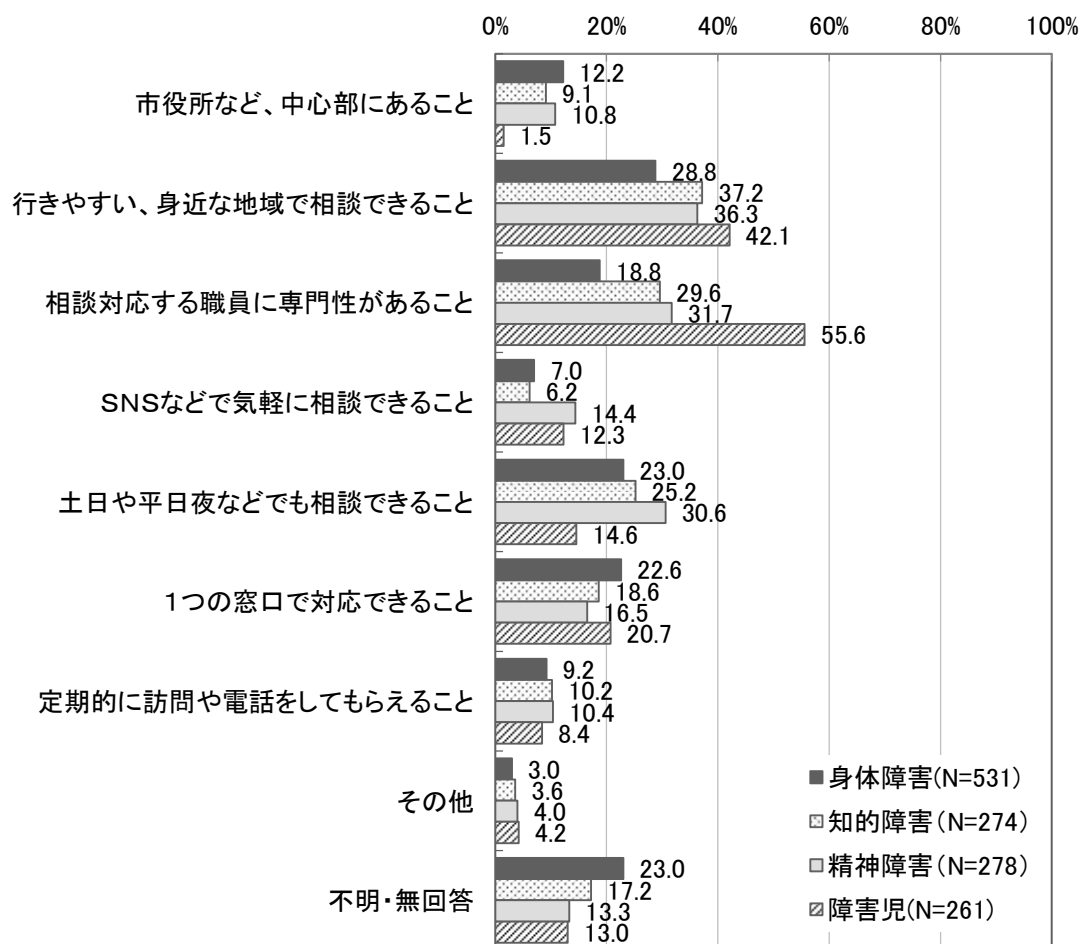
相談相手については、「家族や親せき」が身体障害で73.6%、知的障害で72.6%、精神障害で62.9%、障害児で80.1%と、それぞれ最も高くなっています。なお、精神障害で「かかりつけの医師や看護師」が43.9%、障害児で「学校などの教職員」が36.8%と、それぞれ高くなっています。



40 あなたが、生活上の悩みや不安を相談する場合、相談先に求めるものは何ですか。

(複数回答: 障害者問 31、障害児問 32)

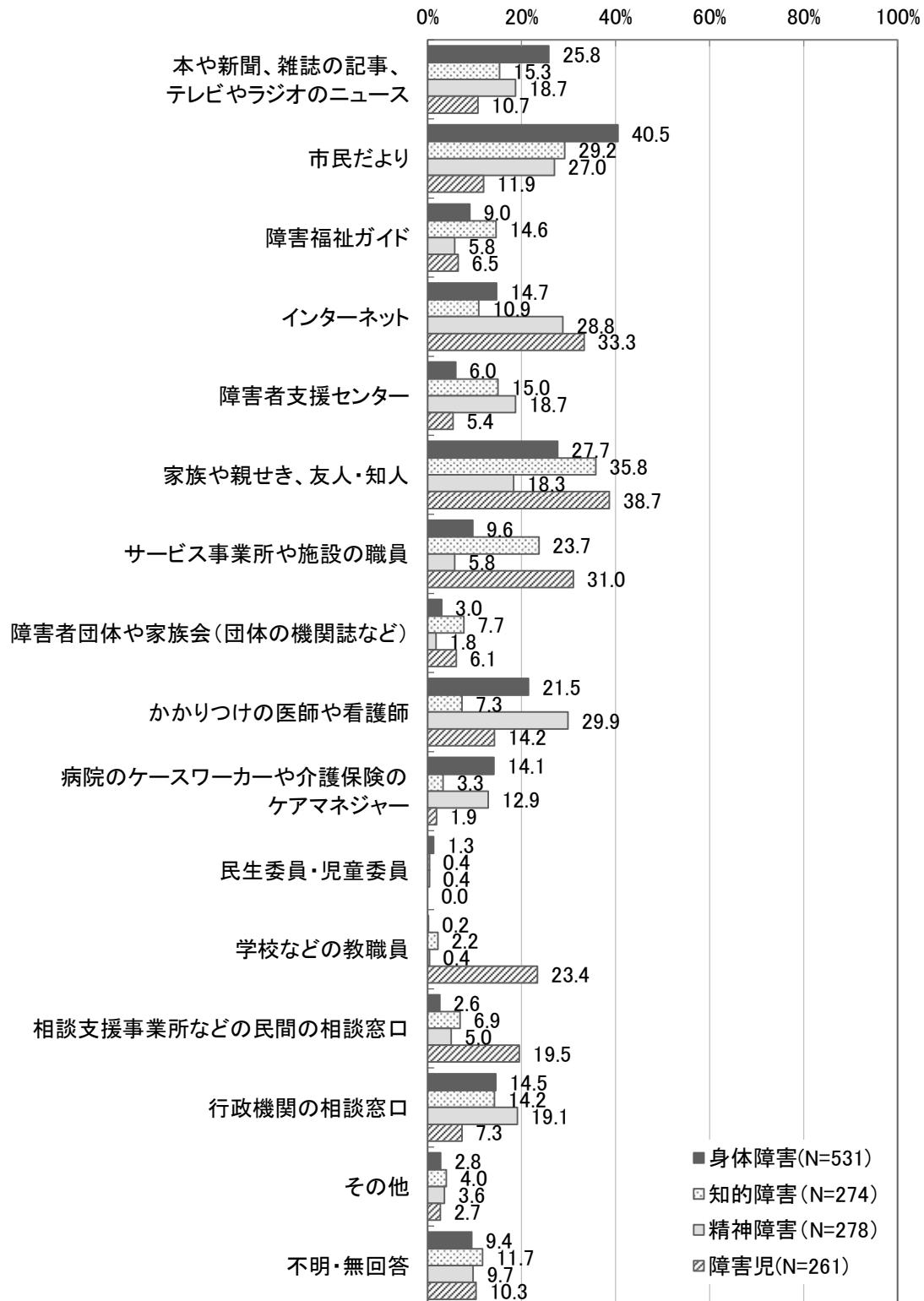
相談先に求めるものは、「行きやすい、身近な地域で相談できること」が身体障害で 28.8%、知的障害で 37.2%、精神障害で 36.3%、「相談対応する職員に専門性があること」が障害児で 55.6%と、それぞれ最も高くなっています。



41 あなたは、障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。

(複数回答: 障害者問 32、障害児問 33)

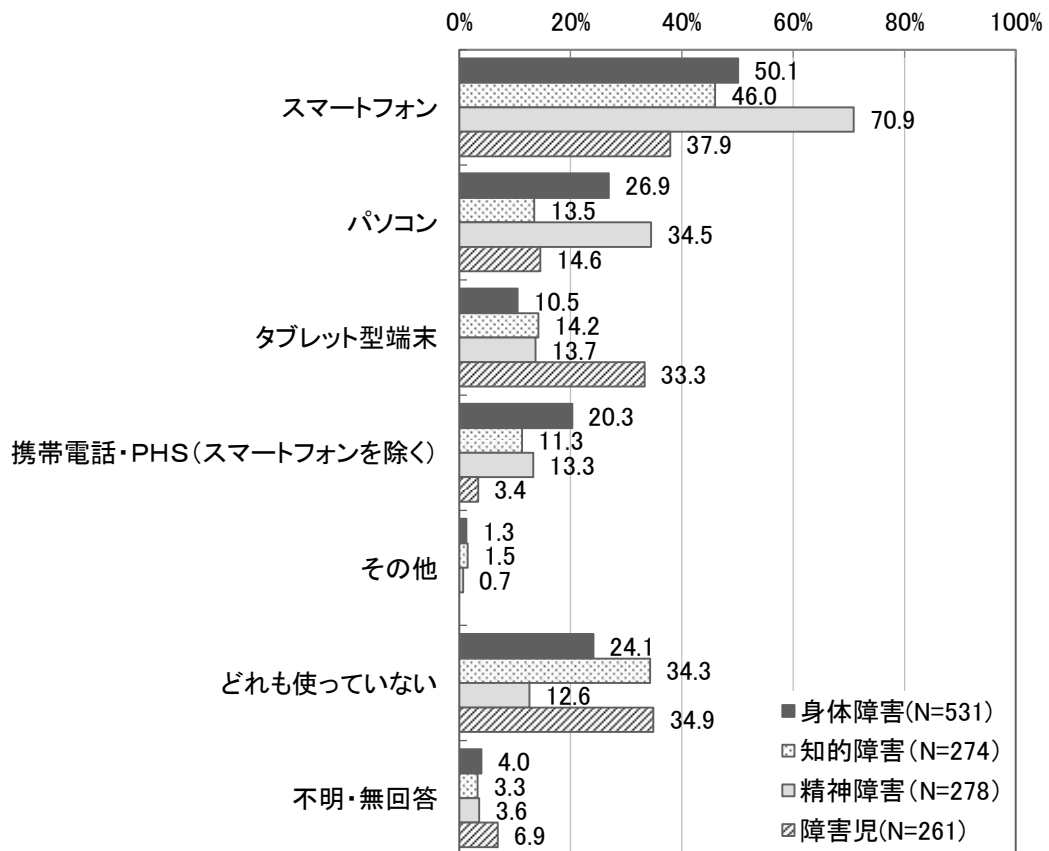
情報入手の方法は、「市民だより」が身体障害で 40.5%、「家族や親せき、友人・知人」が知的障害で 35.8%、障害児で 38.7%、「かかりつけの医師や看護師」が精神障害で 29.9%と、それぞれ最も高くなっています。



42 あなたは、次の機器を使っていますか。

(複数回答：障害者問 33、障害児問 34)

使用している機器は、「スマートフォン」が身体障害で 50.1%、知的障害で 46.0%、精神障害で 70.9%、障害児で 37.9%と、それぞれ最も高くなっています。

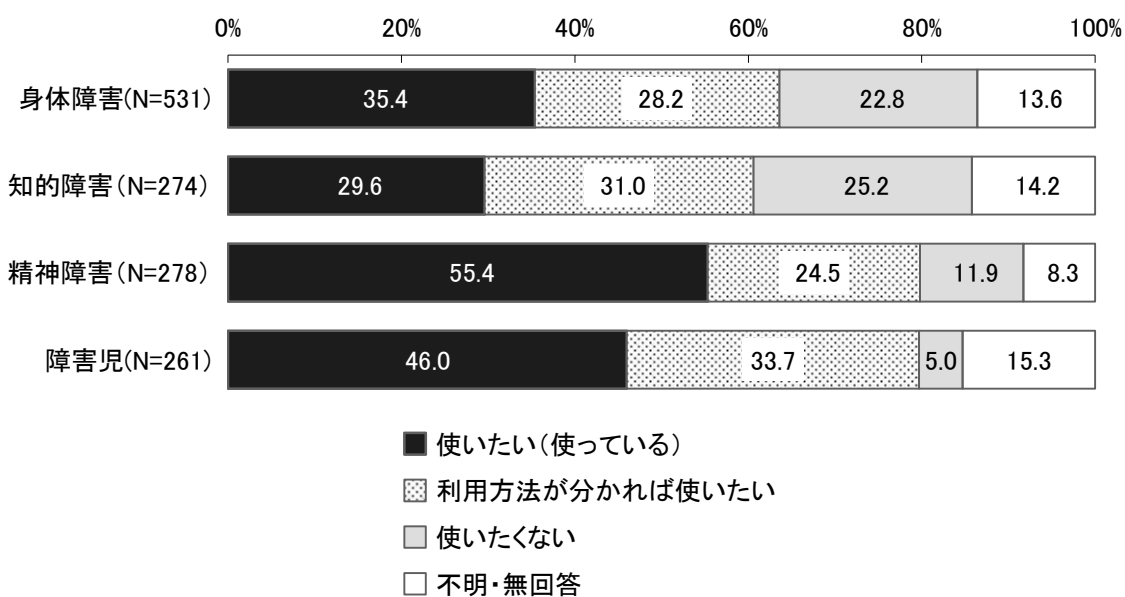


※障害児調査には「その他」の選択肢なし。

43 あなたは、障害のことや福祉サービスなどに関する情報を知るために、42 のような機器を使いたいですか(使っていますか)。

(単数回答:障害者問 34、障害児問 35)

情報入手のための利用意向は、「使いたい(使っている)」が身体障害で 35.4%、精神障害で 55.4%、障害児で 46.0%、「利用方法が分かれば使いたい」が知的障害で 31.0%と、それぞれ最も高くなっています。

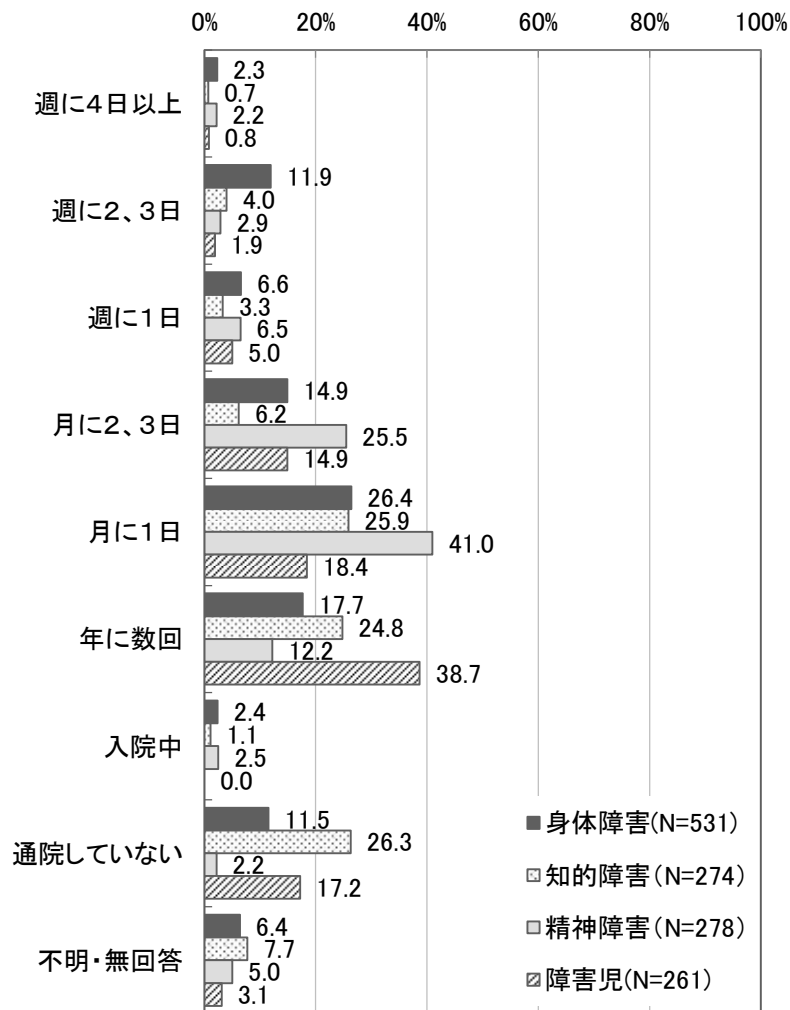


(7) 保健医療について

44 あなたの現在の通院状況(リハビリを含む)は次のうち、どれですか。

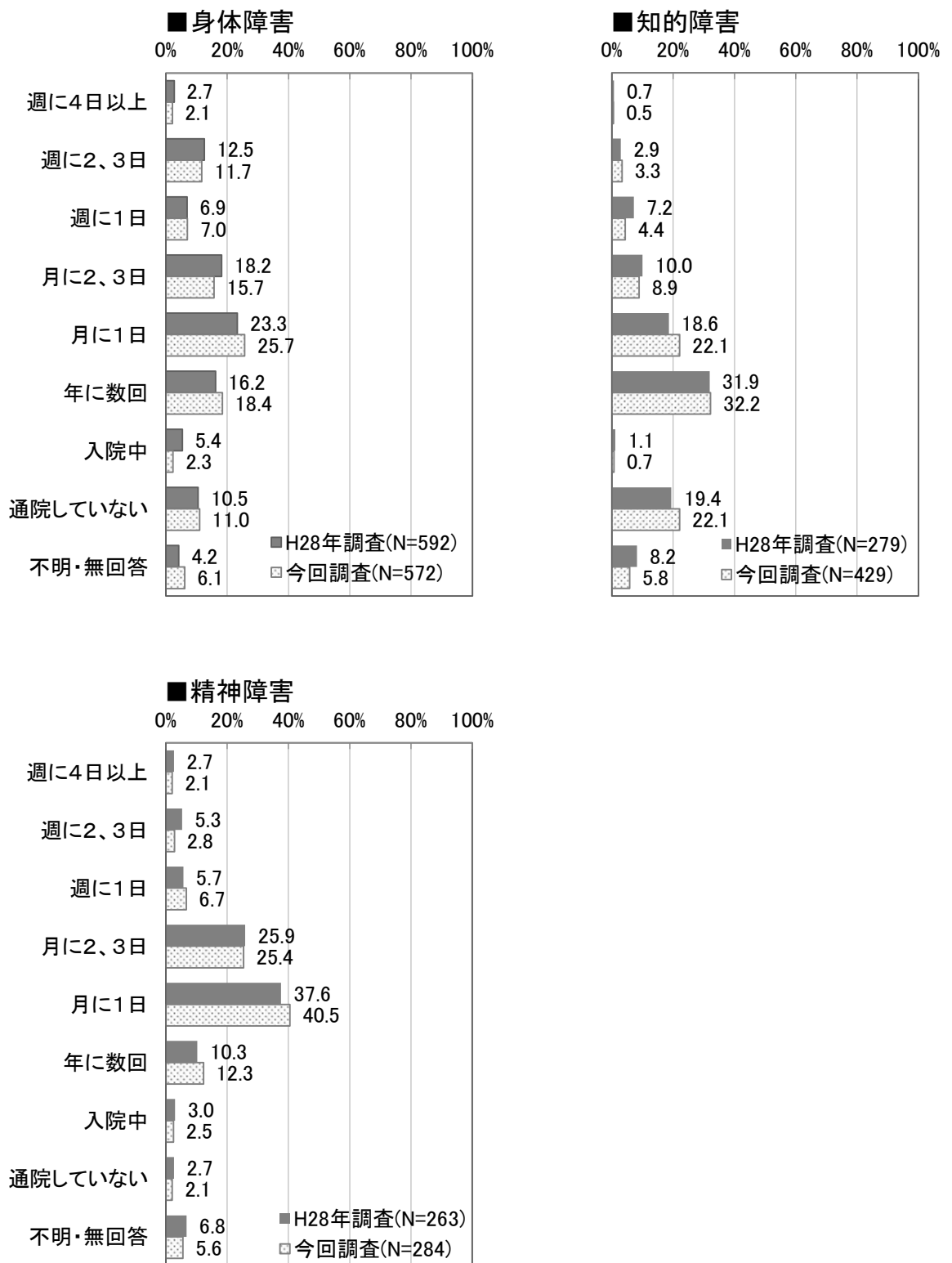
(単数回答: 障害者問 35、障害児問 36)

通院状況は、「月に1日」が身体障害で 26.4%、精神障害で 41.0%、「通院していない」が知的障害で 26.3%、「年に数回」が障害児で 38.7%と、それぞれ最も高くなっています。



◆経年比較

H28年調査と比較すると、知的障害で「月に1日」が3.5ポイント高くなっています。

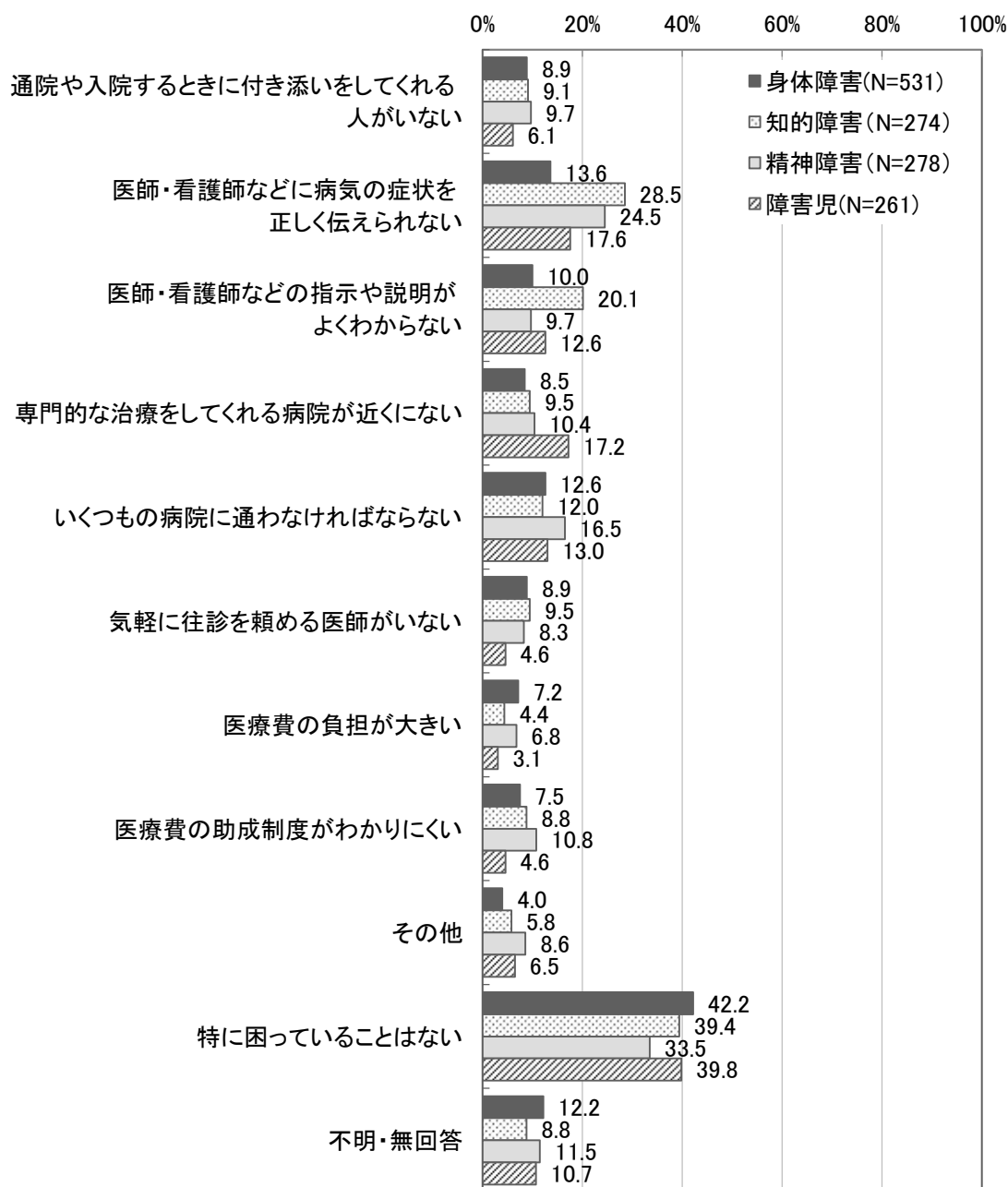


※今回調査における障害者と障害児の回答者を合算しているため、今回調査のN数と異なる。

45 医療を受ける上で、困っていることはありますか。

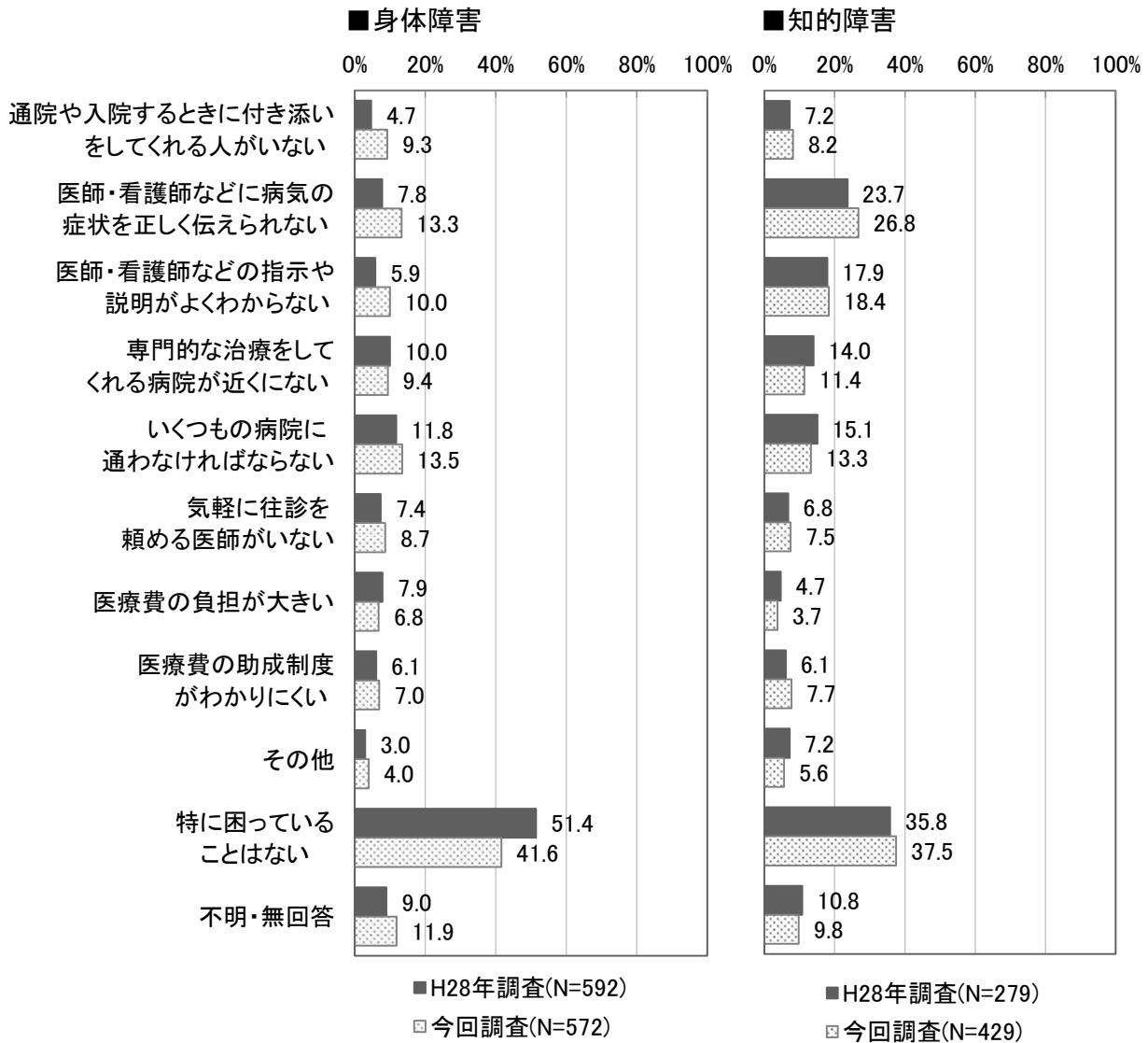
(複数回答: **障害者**問 36、**障害児**問 37)

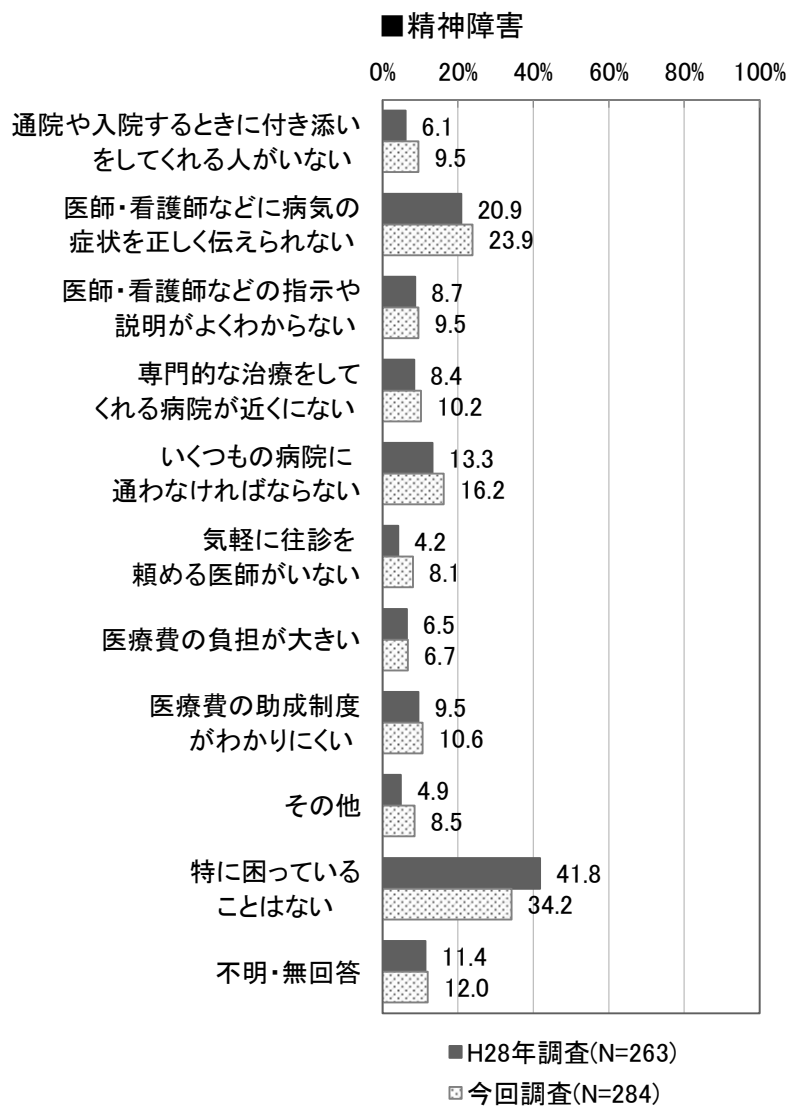
医療を受ける上での困りごとは、「特に困っていることはない」を除いて、「医師・看護師などに病気の症状を正しく伝えられない」が身体障害で 13.6%、知的障害で 28.5%、精神障害で 24.5%、障害児で 17.6%と、それぞれ最も高くなっています。



◆経年比較

H28年調査と比較すると、身体障害で「医師・看護師などに病気の症状を正しく伝えられない」が5.5ポイント高くなっています。





※今回調査における障害者と障害児の回答者を合算しているため、今回調査のN数と異なる。

(8) 障害福祉サービス等について

46 各サービスにおいて、現在のサービスの利用状況と今後の利用意向をお答えください。

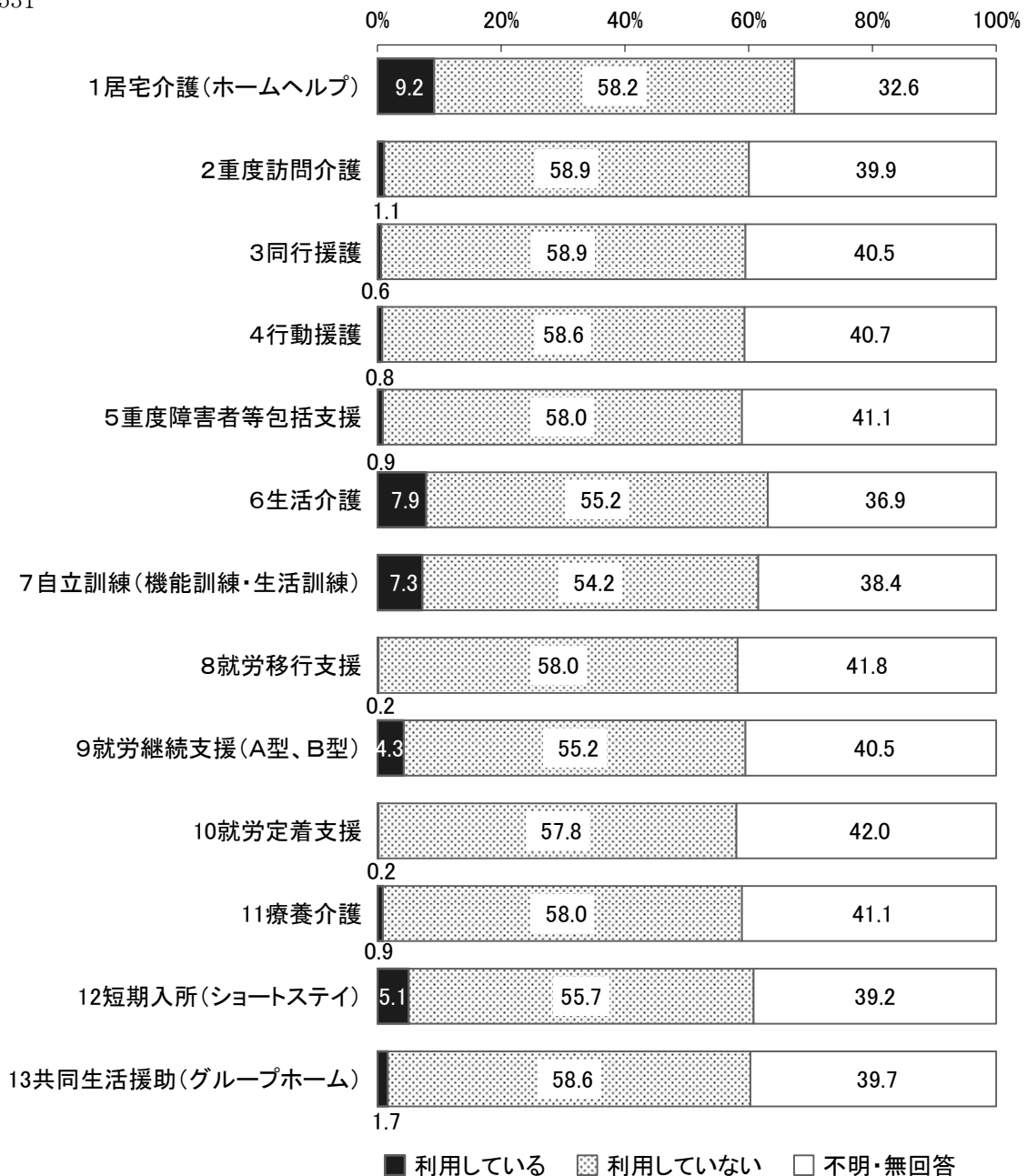
(単数回答: 障害者問 37、障害児問 38)

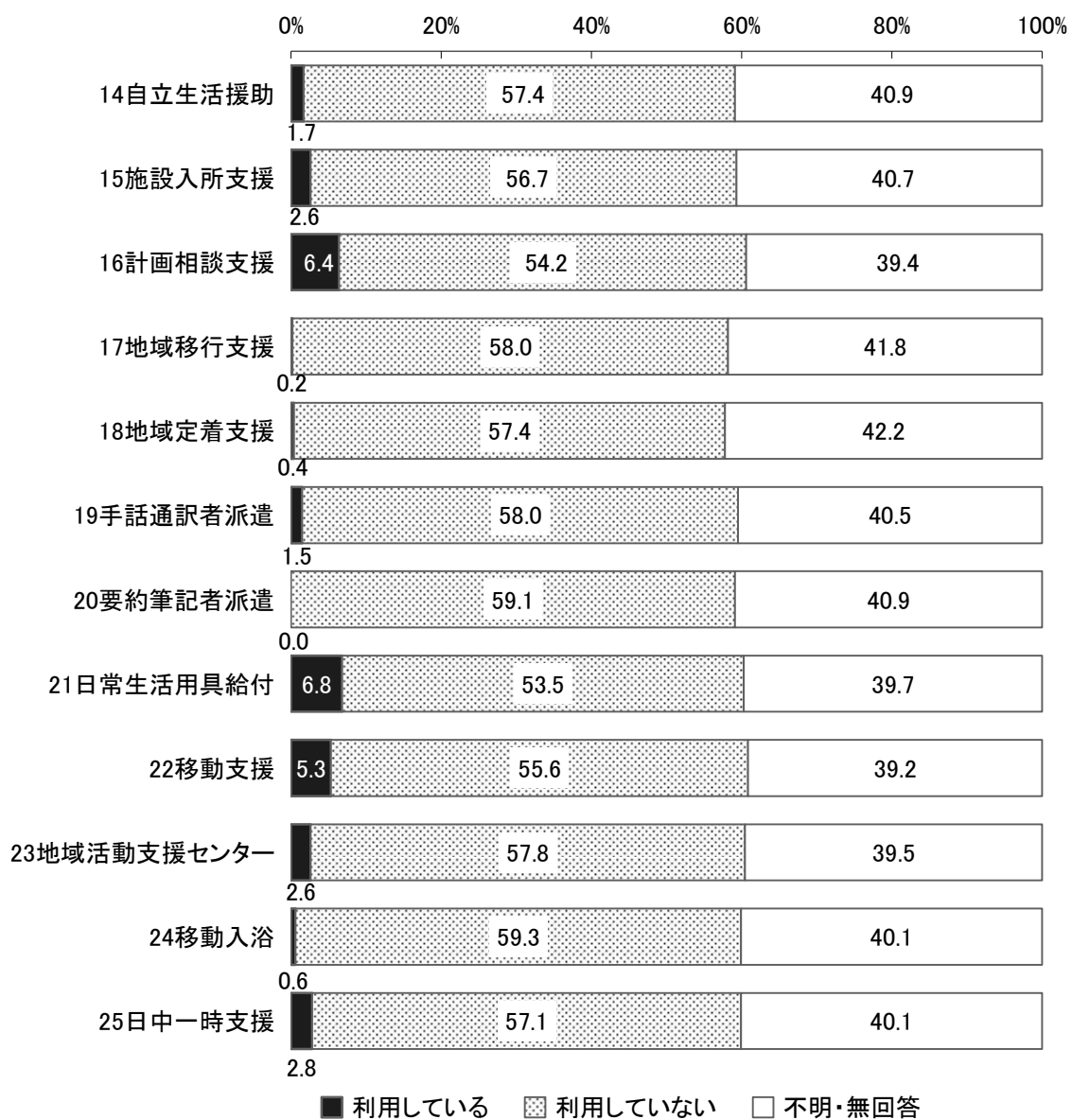
現在のサービス利用状況

身体障害における現在のサービスの利用状況は、「利用している」が「1 居宅介護（ホームヘルプ）」で9.2%と最も高く、次いで「6 生活介護」で7.9%となっています。

■身体障害

・ N=531

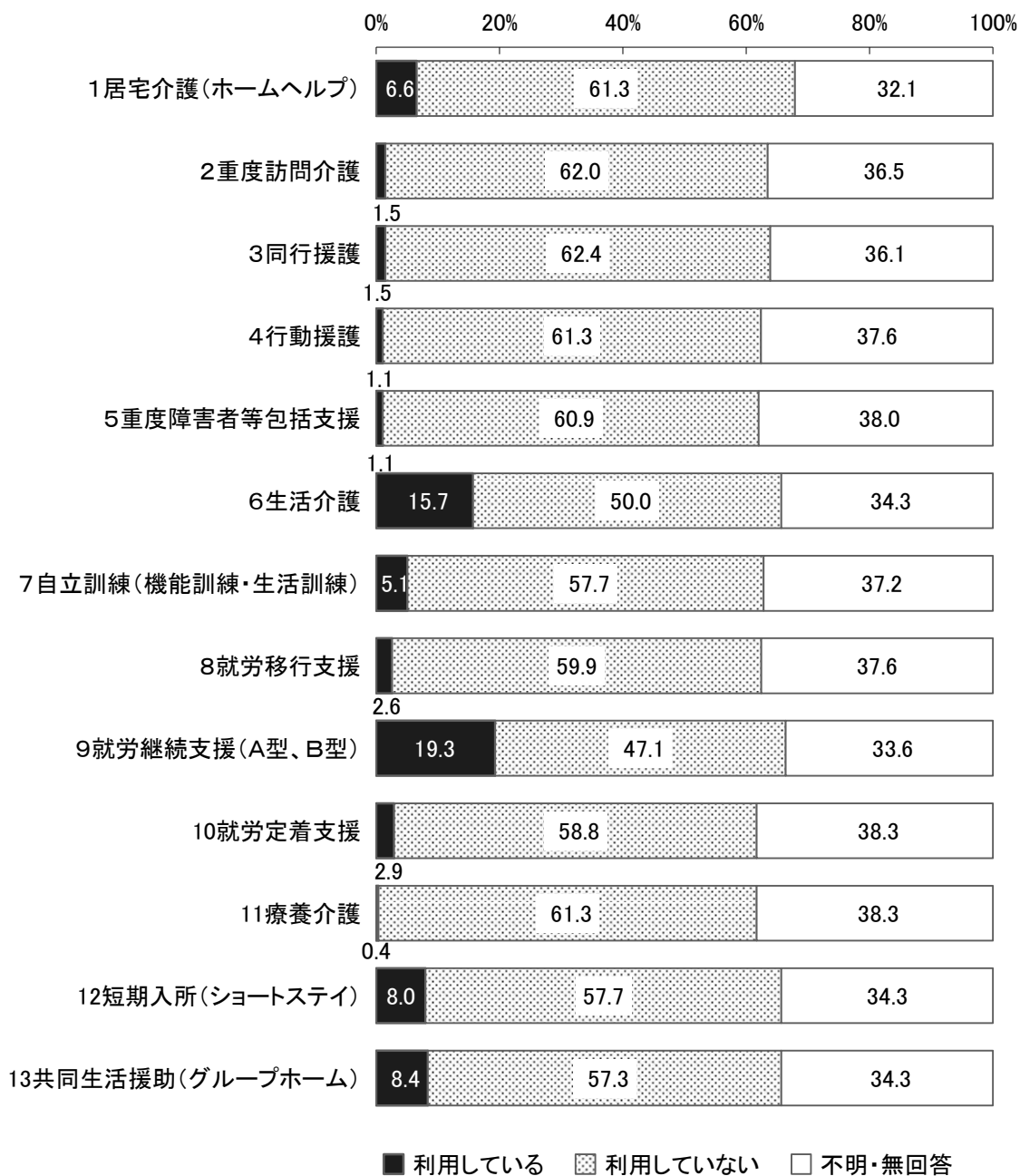


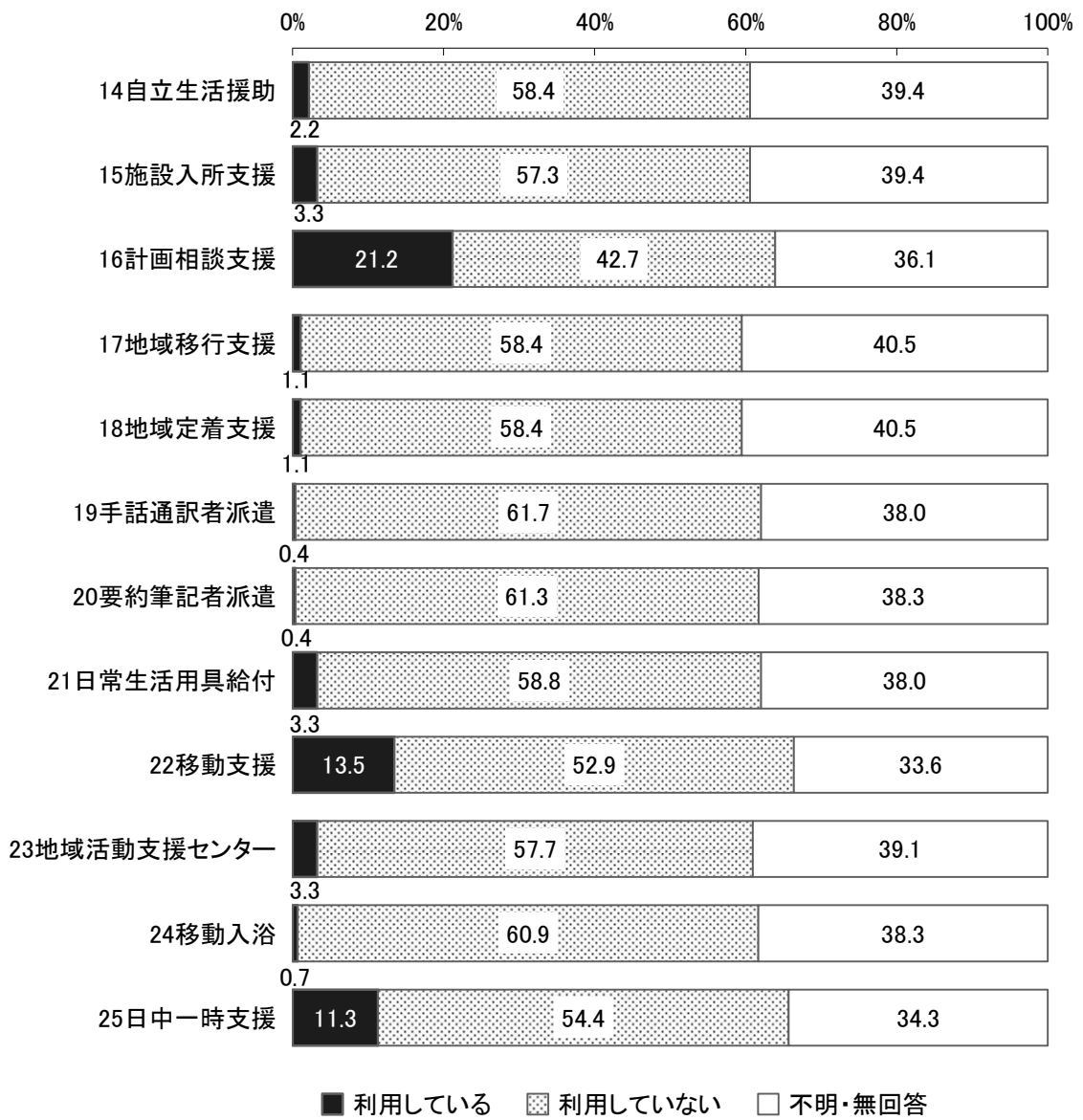


知的障害における現在のサービスの利用状況は、「利用している」が「16 計画相談支援」で21.2%と最も高く、次いで「9 就労継続支援（A型、B型）」で19.3%となっています。

■知的障害

・ N=274

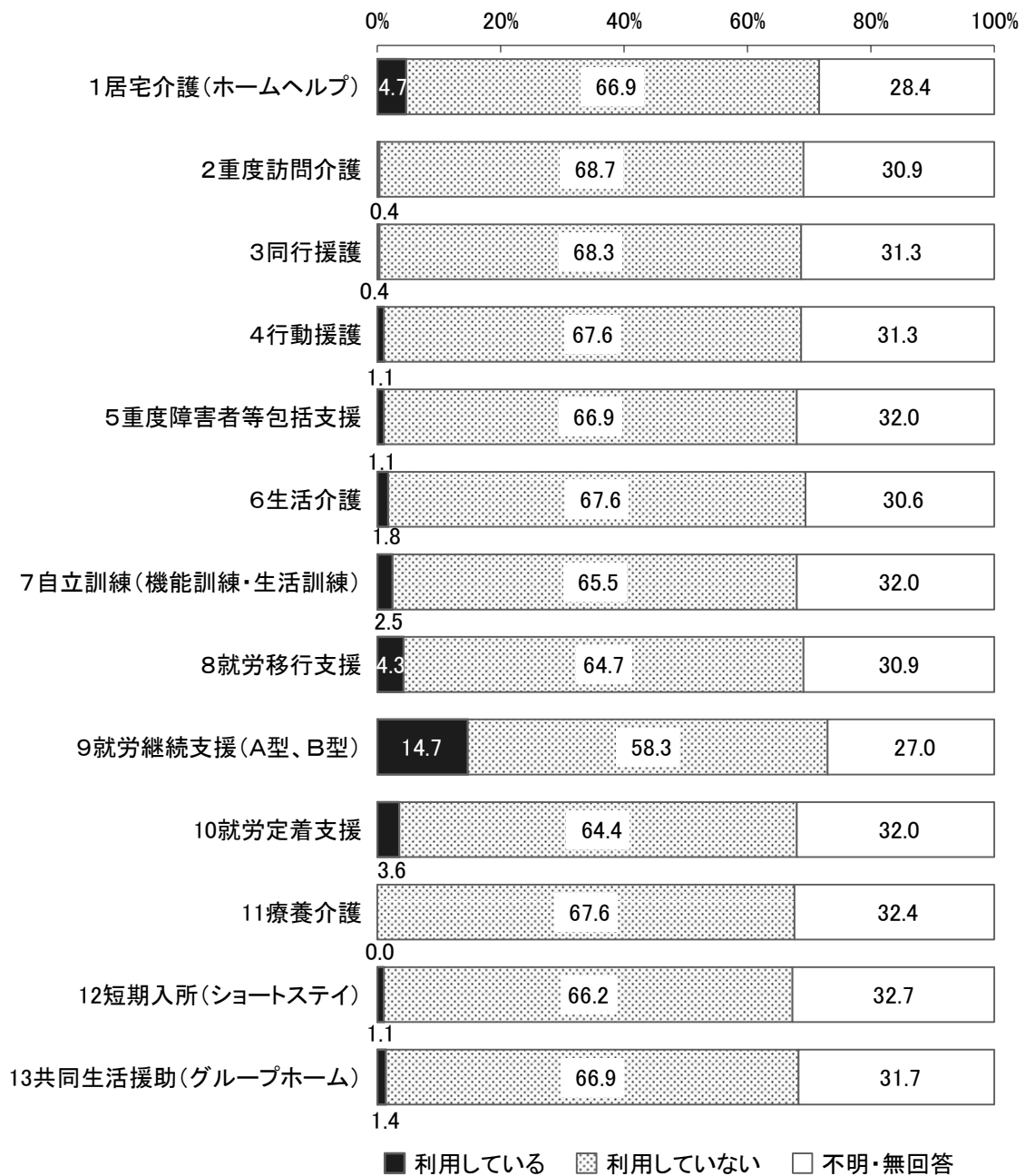


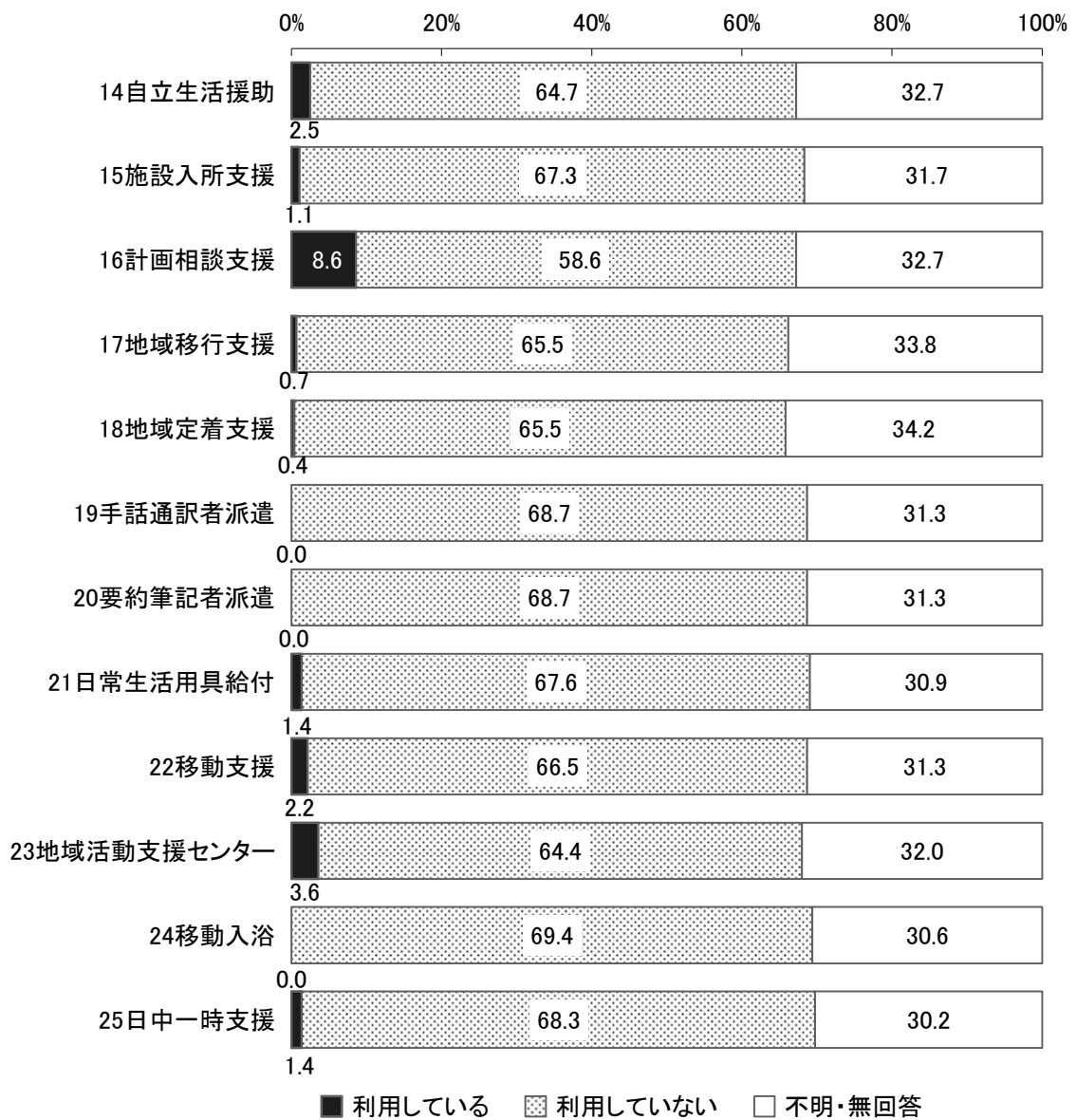


精神障害における現在のサービスの利用状況は、「利用している」が「9 就労継続支援（A型、B型）」で14.7%と最も高く、次いで「16 計画相談支援」で8.6%となっています。

■精神障害

・ N=278

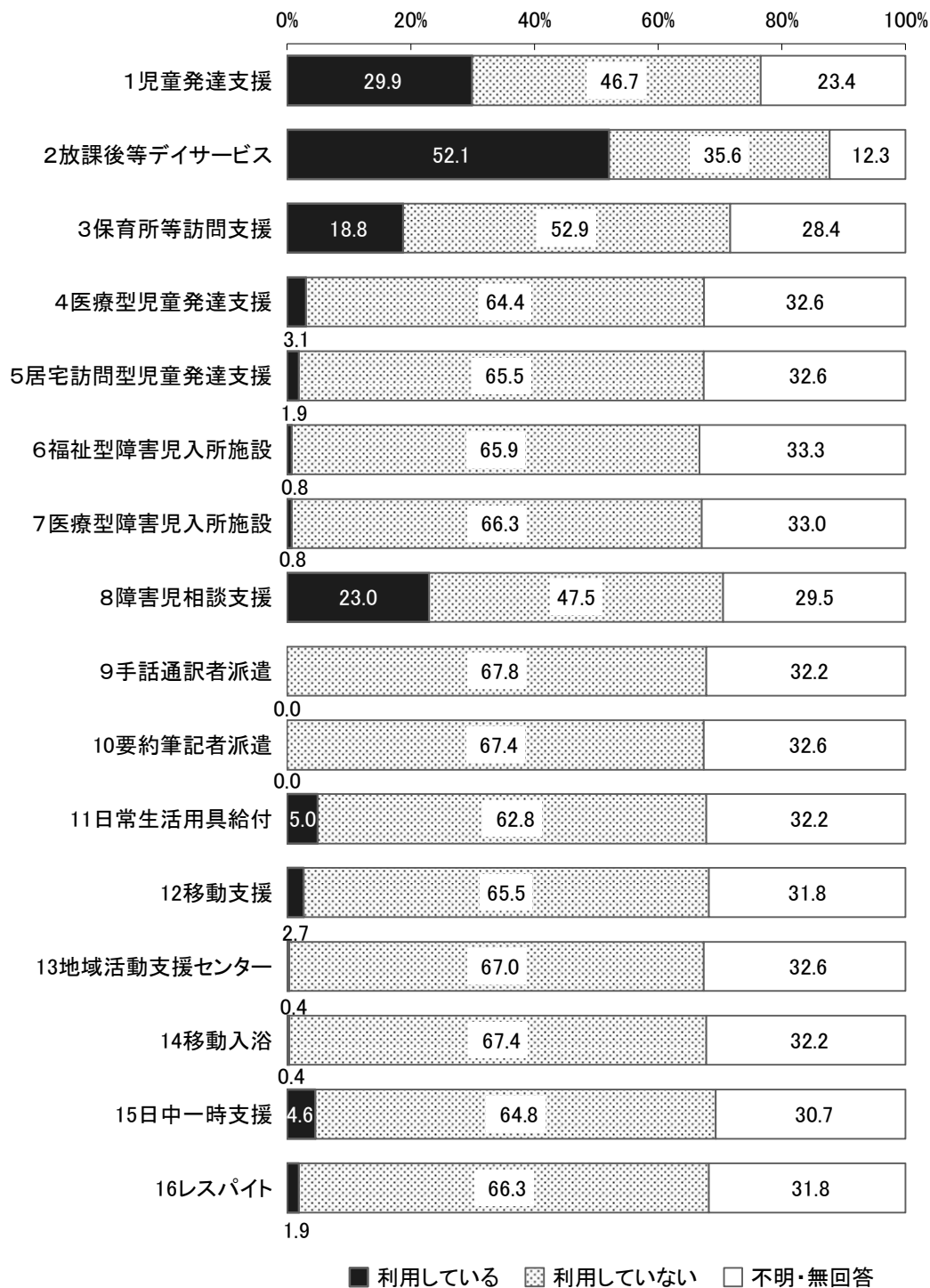




障害児における現在のサービスの利用状況は、「利用している」が「2 放課後等デイサービス」で52.1%と最も高く、次いで「1 児童発達支援」で29.9%となっています。

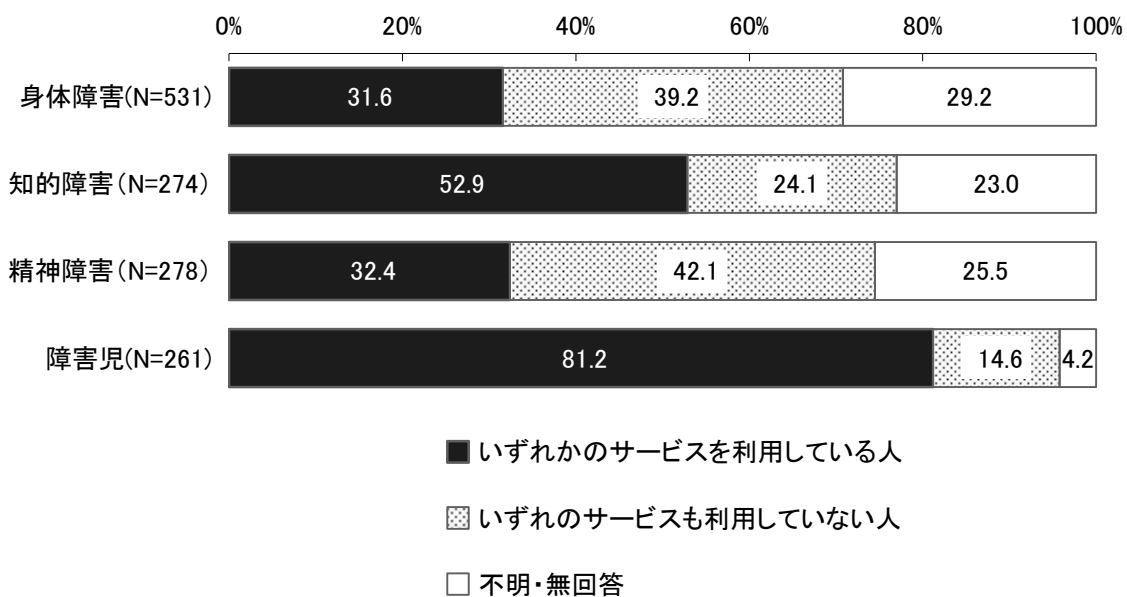
■ 障害児

・ N=261



全体でサービスを利用している割合

現在のサービスの利用状況のうち、「いずれかのサービスを利用している人」は障害児で81.2%、知的障害で52.9%と高くなっています。

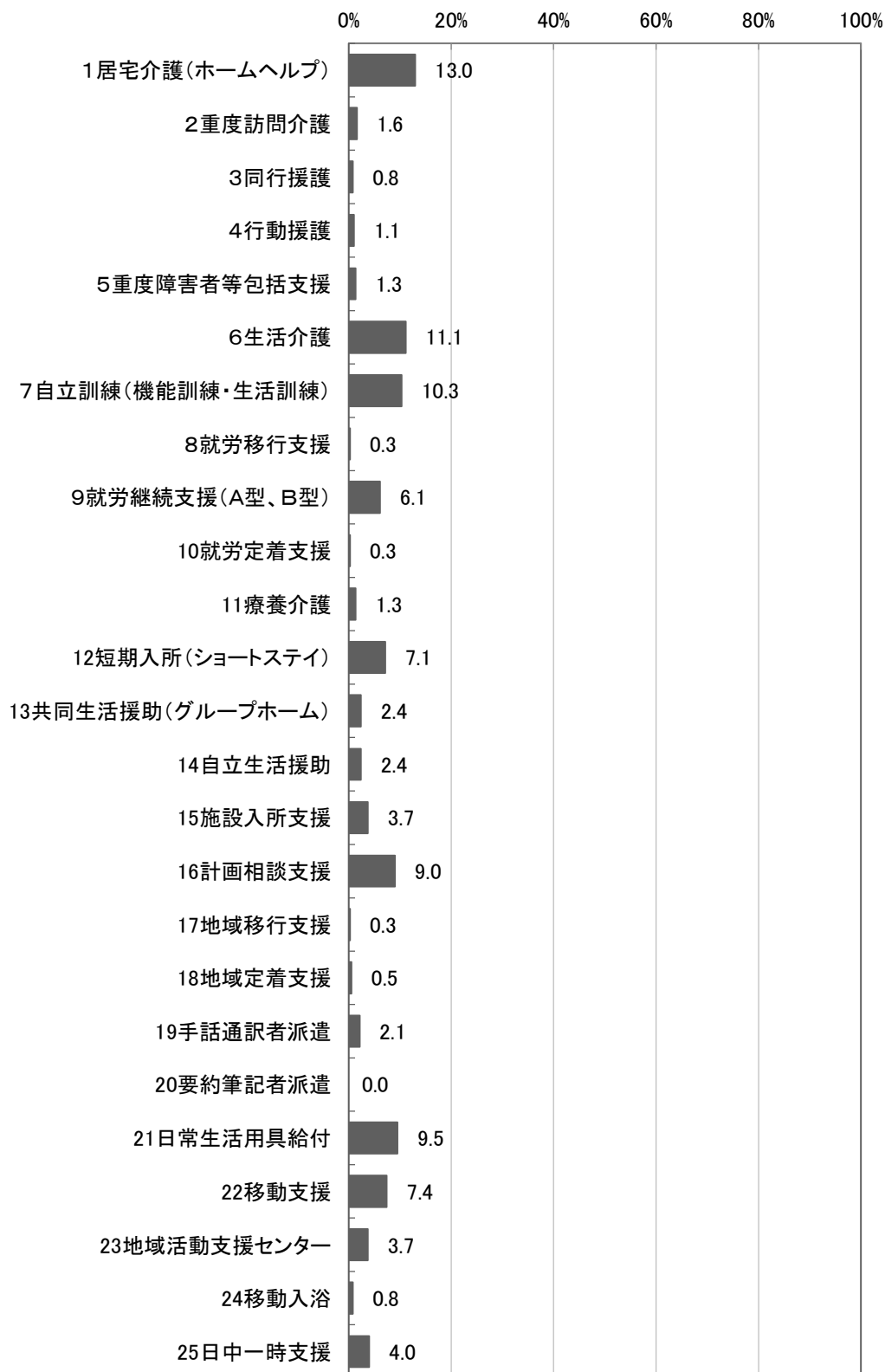


利用されているサービスの割合

利用されているサービスは、「1 居宅介護（ホームヘルプ）」が13.0%と最も高くなっており、次いで「6 生活介護」が11.1%となっています。

■身体障害

・ N=378

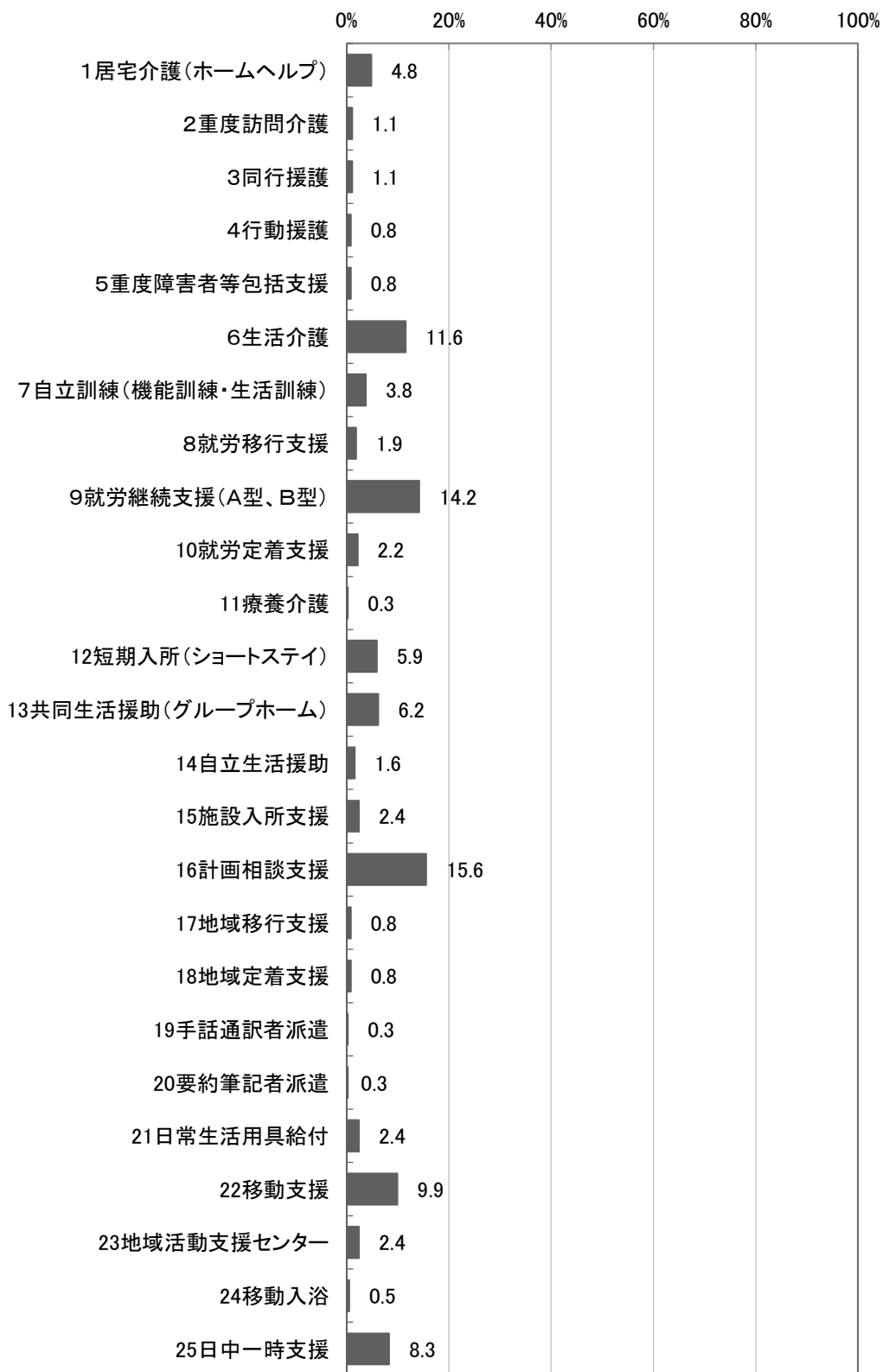


※N数は各サービスを「利用している」回答数の総数

利用されているサービスは、「16 計画相談支援」が 15.6%と最も高くなっており、次いで「9 就労継続支援（A型、B型）」が 14.2%となっています。

■知的障害

・ N=372

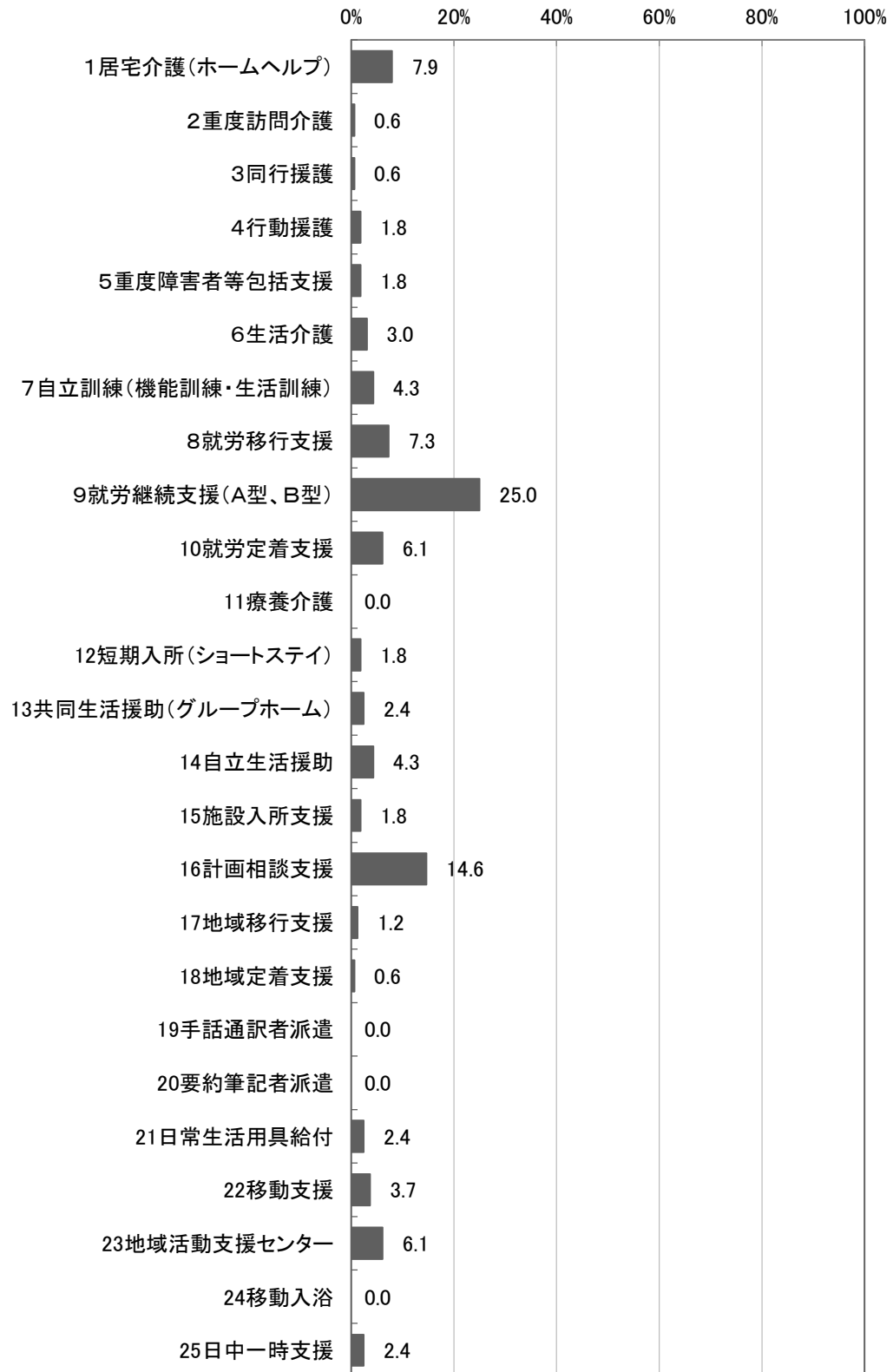


※N数は各サービスを「利用している」回答数の総数

利用されているサービスは、「9 就労継続支援（A型、B型）」が25.0%と最も高くなっており、次いで「16 計画相談支援」が14.6%となっています。

■精神障害

・ N=164

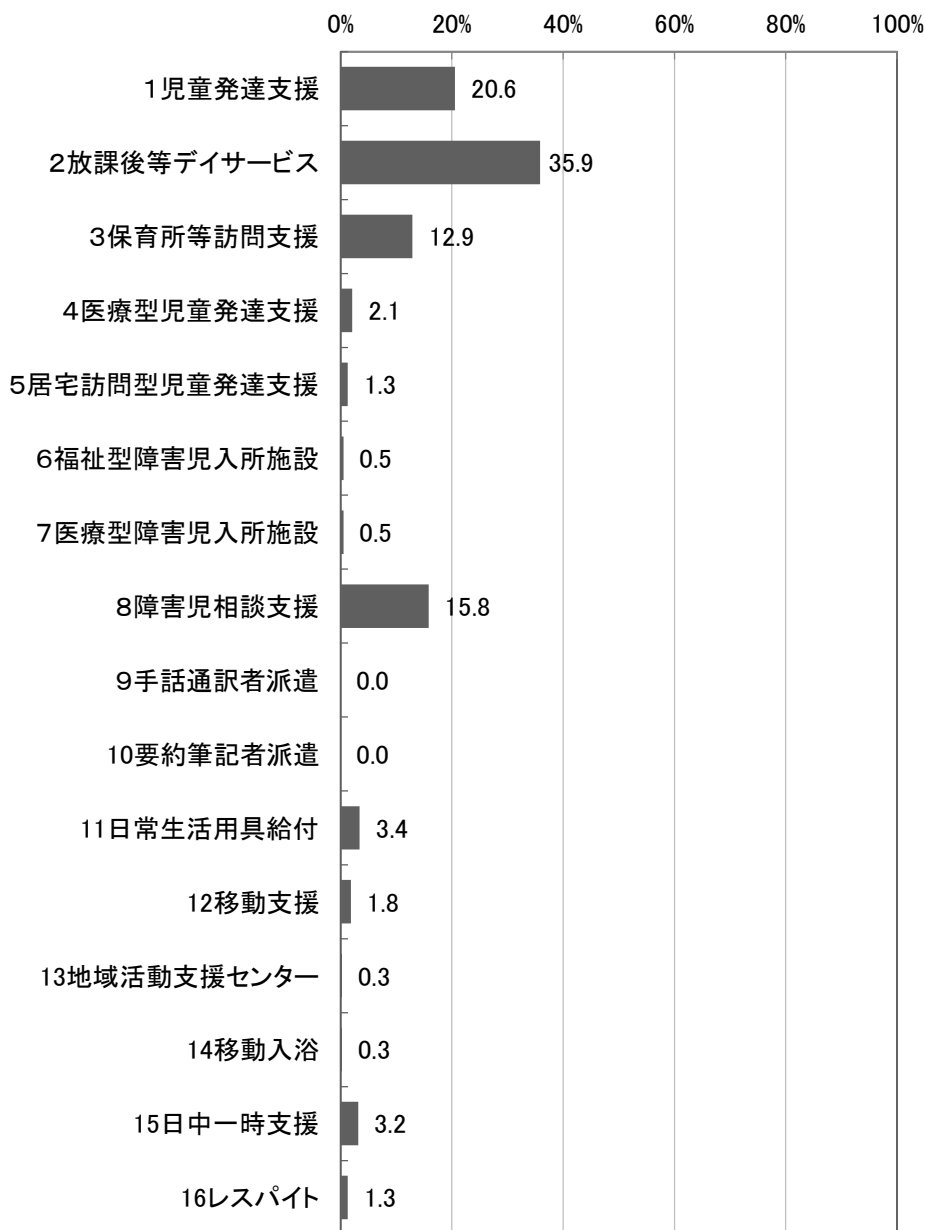


※N数は各サービスを「利用している」回答数の総数

利用されているサービスは、「2 放課後等デイサービス」が 35.9%と最も高くなっており、次いで「1 児童発達支援」が 20.6%となっています。

■障害児

・ N=379



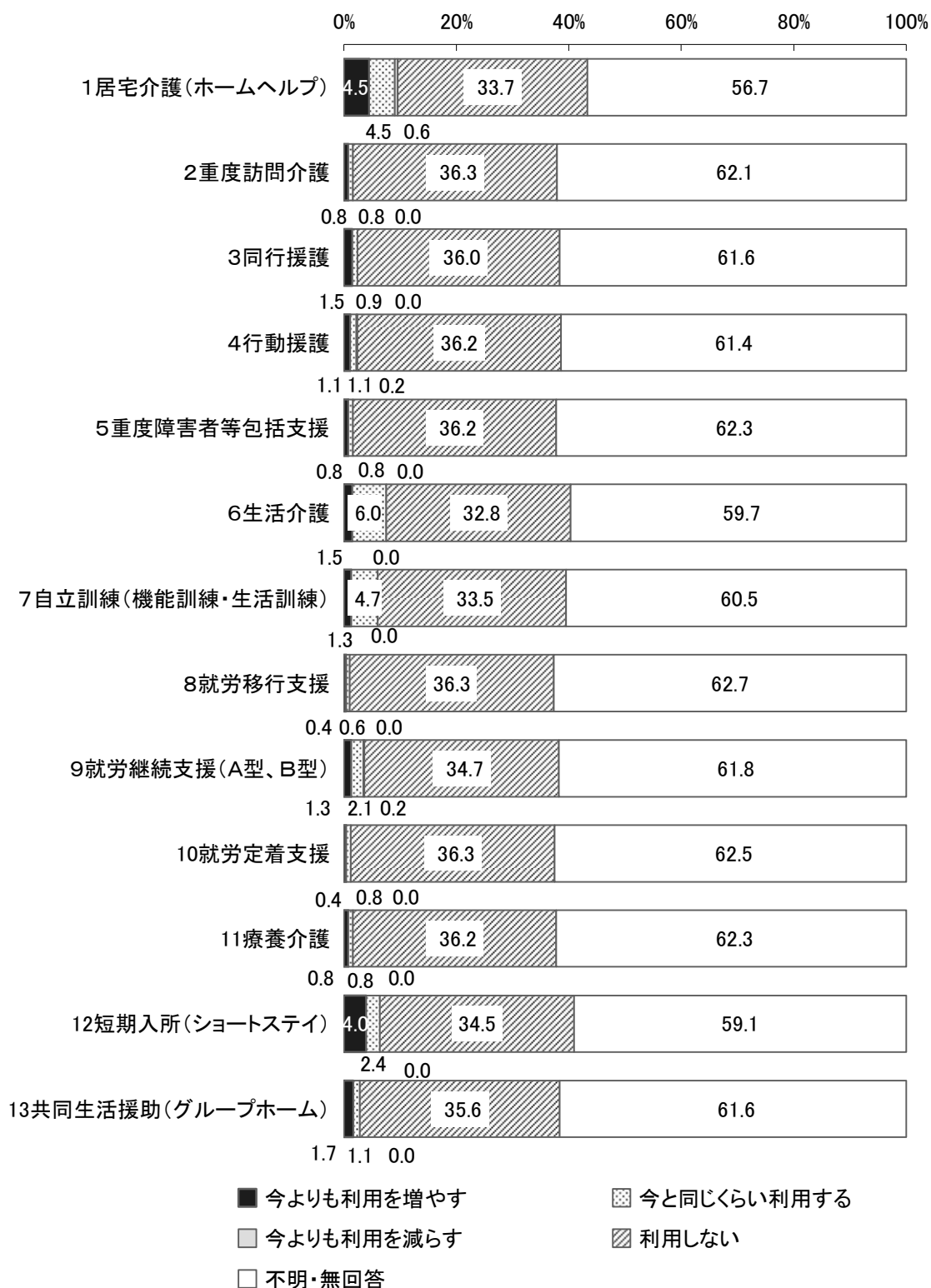
※N数は各サービスを「利用している」回答数の総数

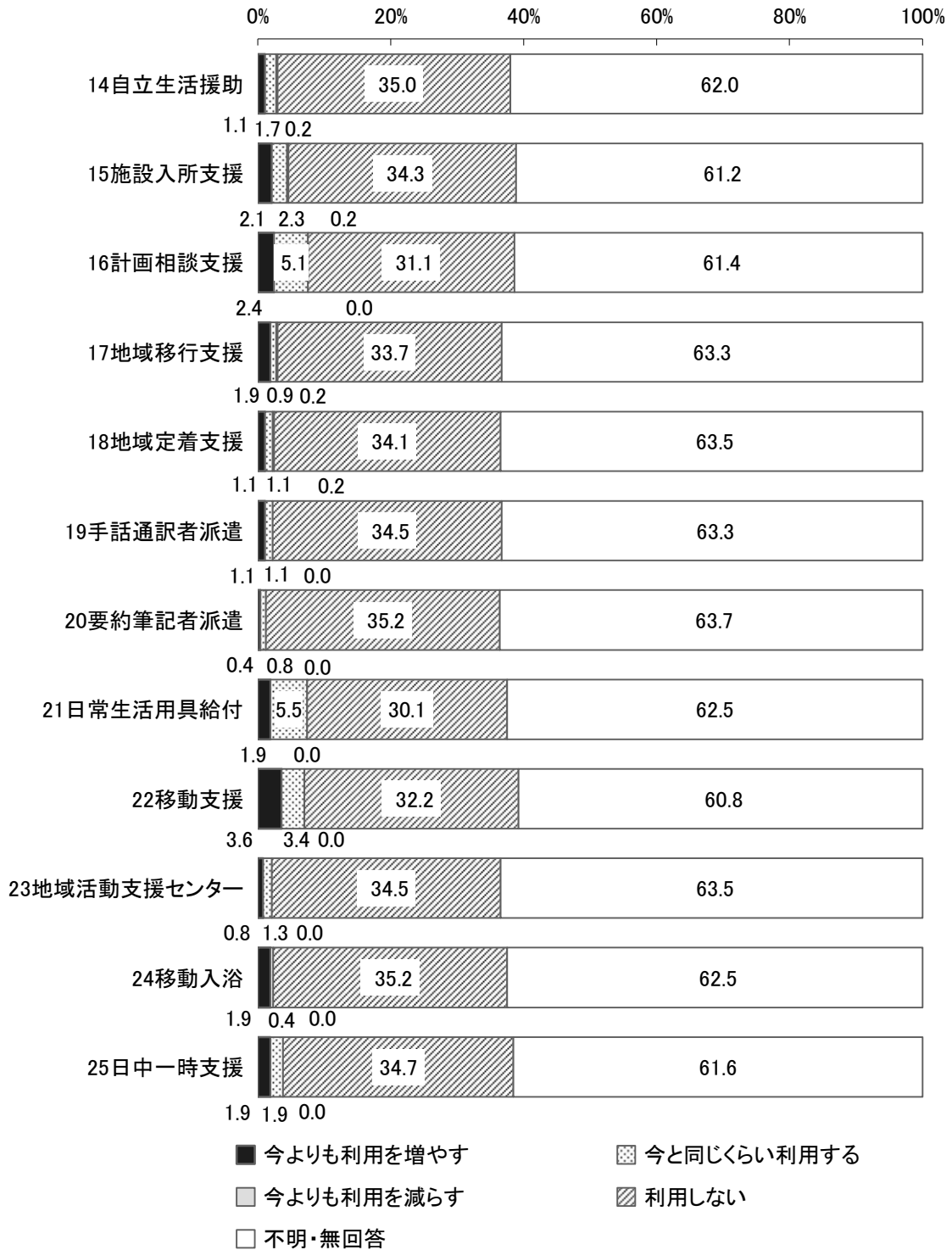
今後のサービス利用意向

身体障害における今後のサービスの利用意向は、「今よりも利用を増やす」が「1 居宅介護（ホームヘルプ）」で4.5%と最も高く、次いで「12 短期入所（ショートステイ）」で4.0%となっています。

■身体障害

・ N=531

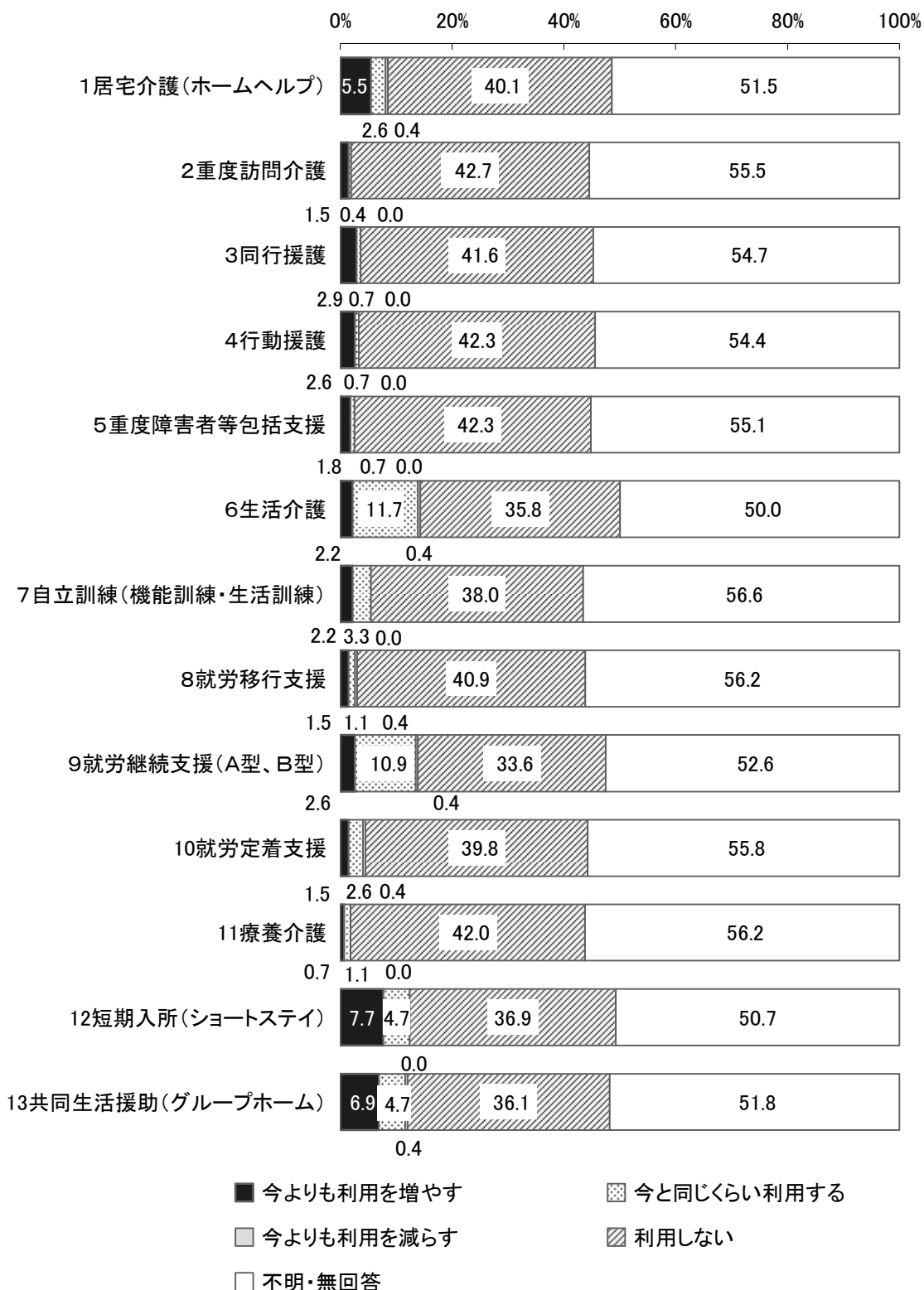


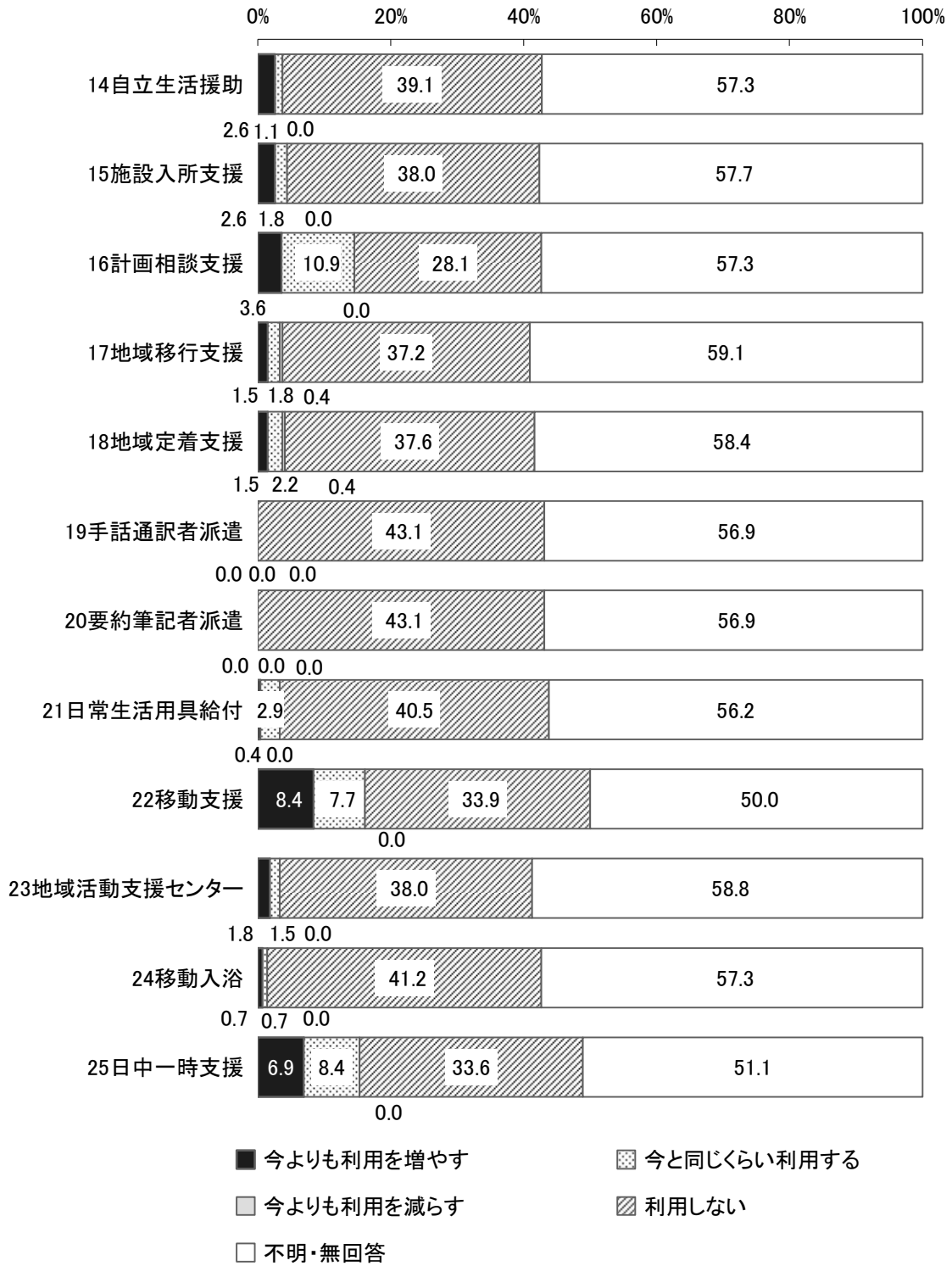


知的障害における今後のサービスの利用意向は、「今よりも利用を増やす」が「22 移動支援」で8.4%と最も高く、次いで「12 短期入所（ショートステイ）」で7.7%となっています。

■知的障害

・ N=274

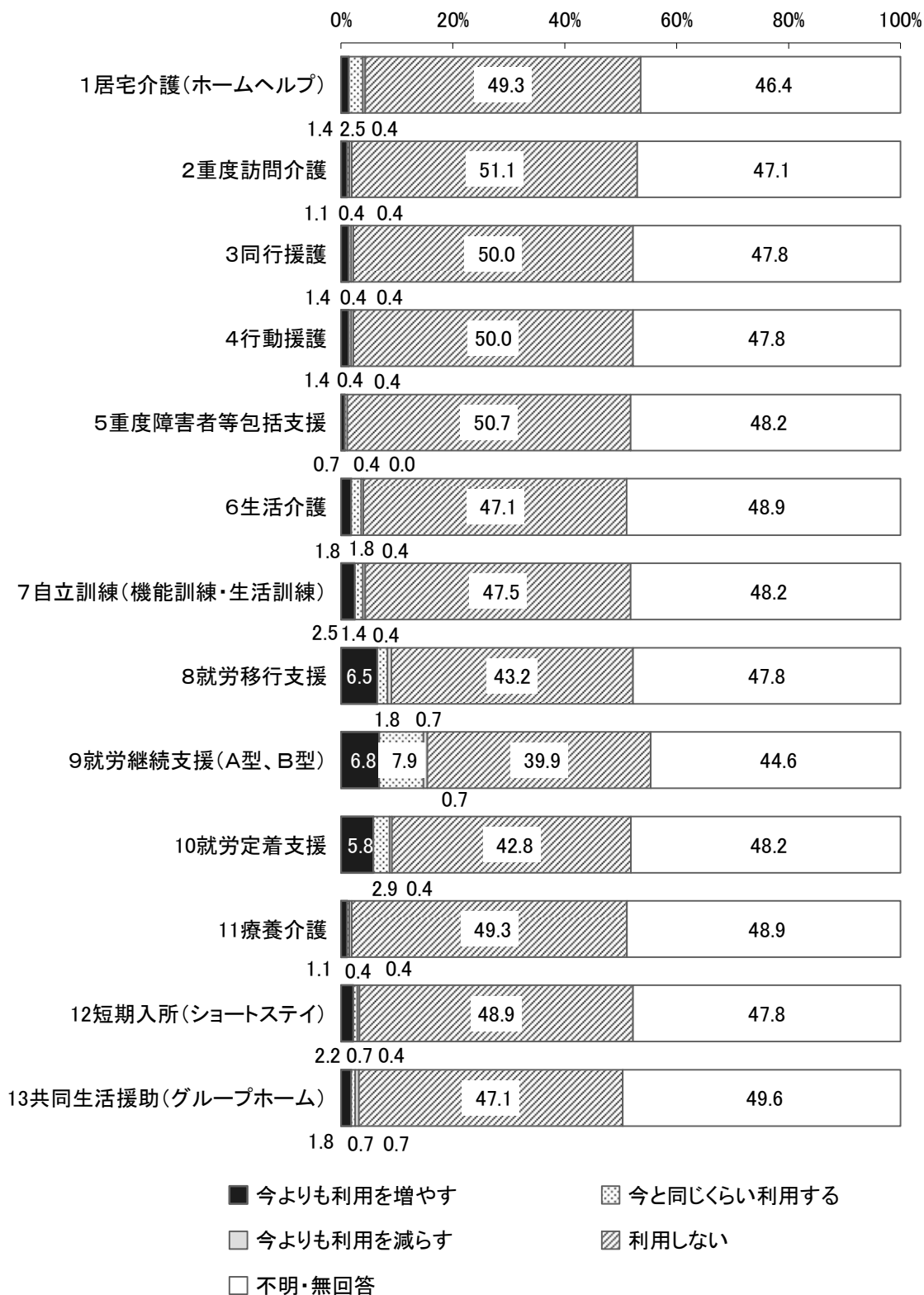


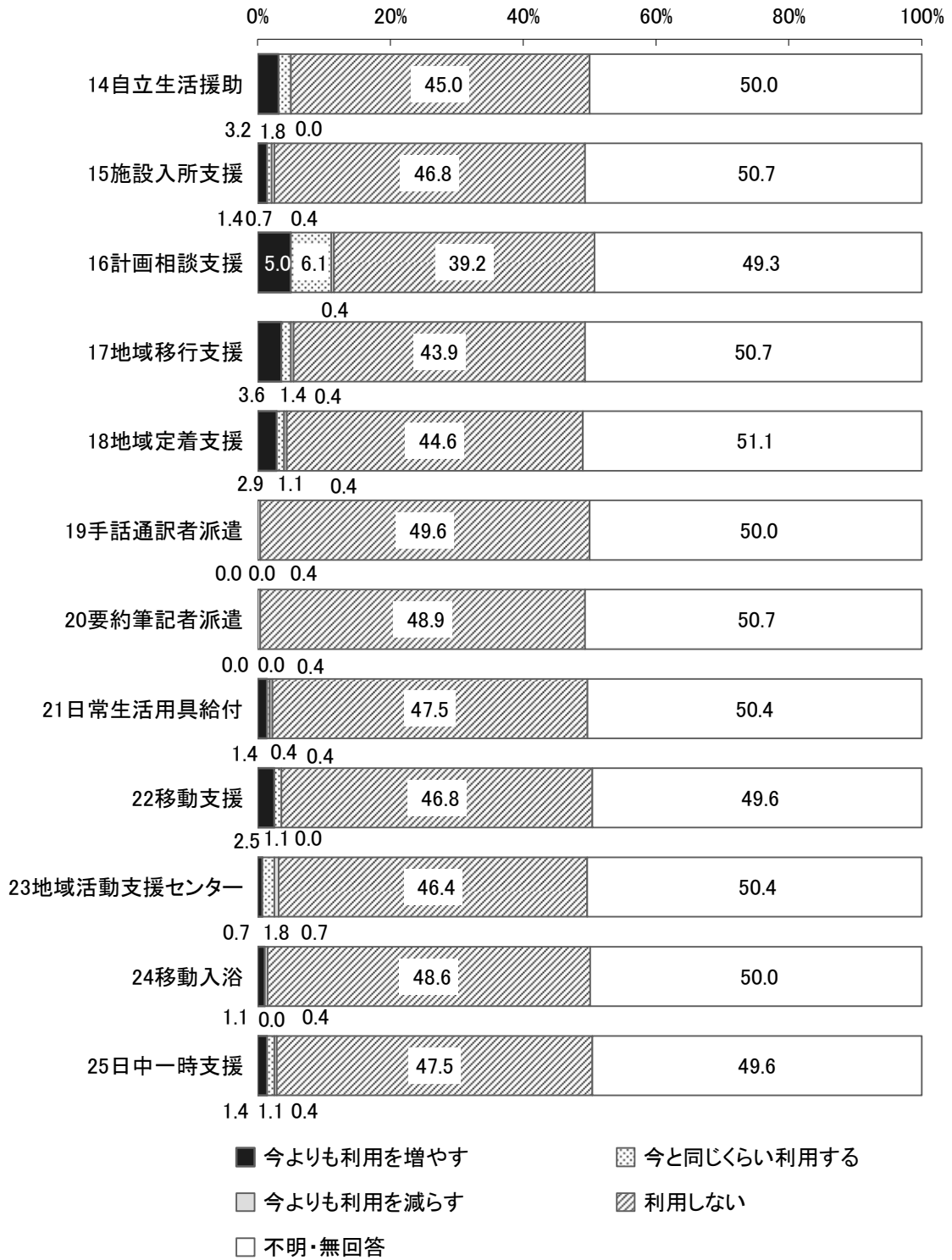


精神障害における今後のサービスの利用意向は、「今よりも利用を増やす」が「9 就労継続支援（A型、B型）」で6.8%と最も高く、次いで「8 就労移行支援」で6.5%となっています。

■精神障害

・ N=278

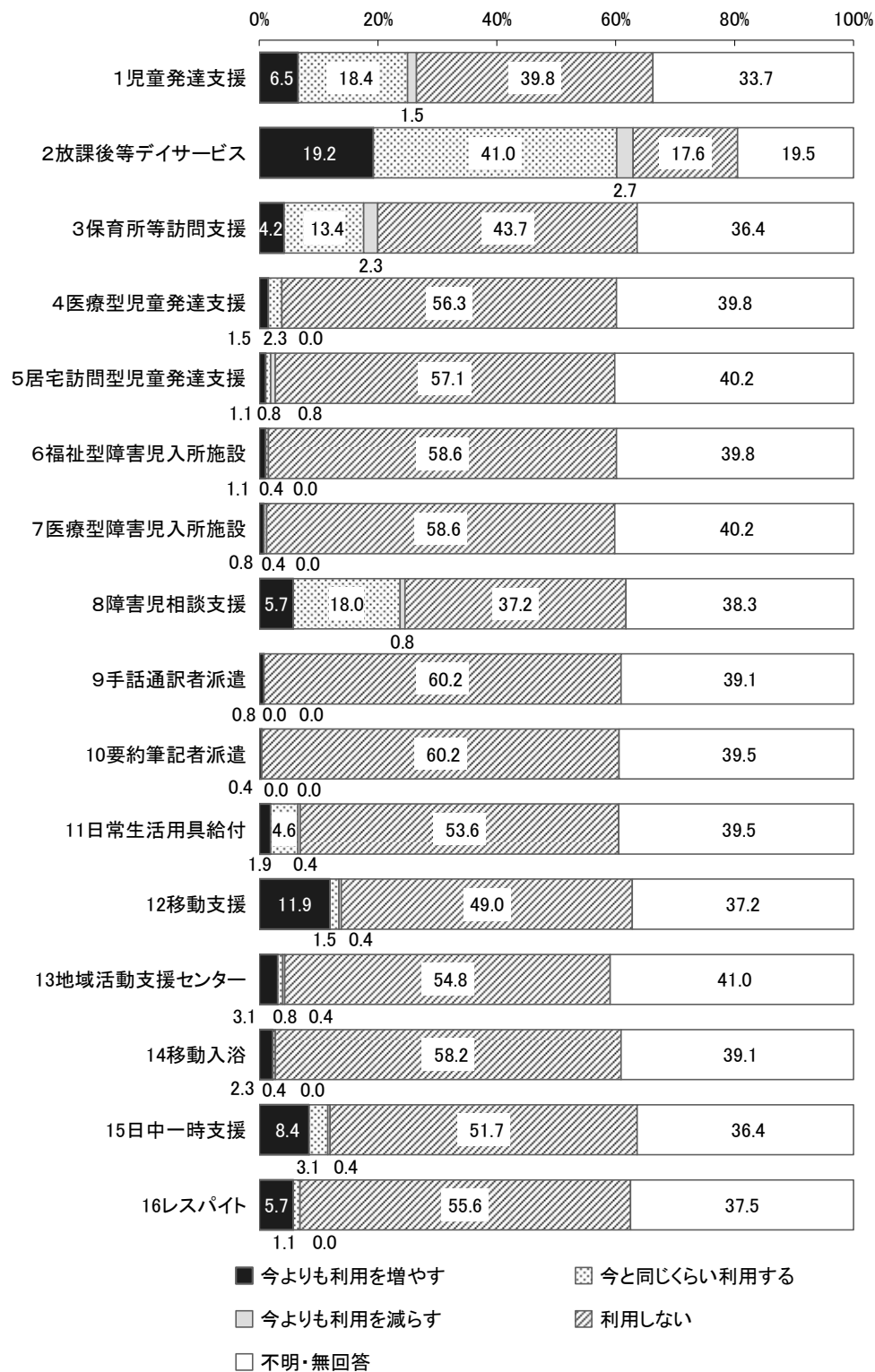




障害児における今後のサービスの利用意向は、「今よりも利用を増やす」が「2 放課後等デイサービス」で19.2%と最も高く、次いで「12 移動支援」で11.9%となっています。

■障害児

・ N=261



47 特に充実・改善してほしいものはどれですか。(ア)に 46 の1～25 のサービスから3つまでお選びください。また、(ア)で選んだサービスの充実・改善してほしい内容を、(イ)1～8からお選びください。

(複数回答: 障害者問 38、障害児問 39)

身体障害において特に充実・改善してほしいものは、「12 短期入所 (ショートステイ)」で「事業者の数の充実」が12件と最も多くなっています。

■身体障害

(単位: 件)

区分	事業者の数の充実	利用時間の拡大	サービスの質 (技術)の向上	事業所の対応の 改善	サービスの利用 手続き	サービスに関する 情報提供	利用者負担が 大きい	その他	不明・無回答
1 居宅介護(ホームヘルプ) (N=29)	8	10	4	3	4	2	7	1	3
2 重度訪問介護(N=3)	1	0	1	1	0	0	1	0	2
3 同行援護(N=5)	2	3	0	1	0	0	0	2	0
4 行動援護(N=7)	0	1	2	0	0	1	2	0	1
5 重度障害者等包括支援(N=2)	0	0	0	0	0	0	0	0	2
6 生活介護(N=21)	4	9	6	1	3	4	3	2	4
7 自立訓練(機能訓練・生活訓練) (N=16)	4	4	3	1	4	6	3	1	2
8 就労移行支援(N=9)	1	1	1	0	2	2	1	2	2
9 就労継続支援(A型、B型) (N=12)	3	1	2	4	2	2	0	2	0
10 就労定着支援(N=3)	2	0	1	1	1	2	0	0	0
11 療養介護(N=4)	3	1	0	1	2	2	2	0	0
12 短期入所(ショートステイ) (N=27)	12	8	8	4	6	7	7	3	1
13 共同生活援助(グループホーム) (N=15)	7	3	2	1	4	0	5	1	2
14 自立生活援助(N=14)	2	1	6	1	6	7	1	0	0
15 施設入所支援(N=15)	9	2	4	2	2	2	6	0	0
16 計画相談支援(N=9)	2	2	2	0	1	4	0	0	0
17 地域移行支援(N=4)	1	1	1	1	2	1	1	0	1
18 地域定着支援(N=1)	0	0	0	0	0	1	0	0	0
19 手話通訳者派遣(N=14)	6	5	3	3	5	4	0	1	0
20 要約筆記者派遣(N=5)	3	1	3	2	2	2	0	0	0
21 日常生活用具給付(N=10)	1	2	4	1	2	2	1	2	2
22 移動支援(N=21)	6	8	4	2	3	4	2	0	3
23 地域活動支援センター(N=10)	2	4	3	1	1	2	1	1	2
24 移動入浴(N=7)	4	4	3	2	0	3	1	0	0
25 日中一時支援(N=11)	4	4	3	1	2	5	0	0	2

知的障害において特に充実・改善してほしいものは、「13 共同生活援助（グループホーム）」で「事業者の数の充実」が24件と最も多くなっています。

■知的障害

(単位:件)

区分	事業者の数の充実	利用時間の拡大	サービスの質 (技術)の向上	事業所の対応の 改善	サービスの利用 手続き	サービスに関する 情報提供	利用者負担が 大きい	その他	不明・無回答
1 居宅介護(ホームヘルプ) (N=12)	6	6	3	2	1	1	1	1	0
2 重度訪問介護(N=2)	0	0	0	0	0	0	0	0	2
3 同行援護(N=6)	2	2	1	2	0	1	0	2	1
4 行動援護(N=2)	0	0	0	0	0	0	0	0	2
5 重度障害者等包括支援(N=2)	1	0	0	0	0	0	0	0	1
6 生活介護(N=13)	3	8	4	1	0	2	1	2	3
7 自立訓練(機能訓練・生活訓練) (N=3)	1	0	0	0	1	2	0	0	1
8 就労移行支援(N=8)	3	1	4	0	1	4	0	0	1
9 就労継続支援(A型、B型) (N=13)	4	4	4	4	1	3	0	1	0
10 就労定着支援(N=2)	0	1	1	1	1	1	0	0	0
11 療養介護(N=1)	0	1	0	0	0	0	0	0	0
12 短期入所(ショートステイ) (N=23)	14	8	8	5	4	5	2	1	0
13 共同生活援助(グループホーム) (N=39)	24	4	11	5	3	10	6	3	3
14 自立生活援助(N=11)	6	0	1	1	3	3	0	0	1
15 施設入所支援(N=7)	4	0	2	1	2	3	0	0	1
16 計画相談支援(N=6)	2	2	2	2	0	1	0	0	0
18 地域定着支援(N=2)	0	1	0	0	0	0	0	1	0
19 手話通訳者派遣(N=2)	1	1	1	2	0	0	0	0	0
20 要約筆記者派遣(N=1)	1	1	1	1	0	0	0	0	0
21 日常生活用具給付(N=1)	0	0	0	0	0	0	0	1	0
22 移動支援(N=28)	15	8	7	4	5	4	2	2	1
23 地域活動支援センター(N=6)	1	2	1	2	2	2	1	0	0
24 移動入浴(N=1)	0	1	0	0	0	0	0	0	0
25 日中一時支援(N=18)	12	10	6	2	2	2	0	1	1

※「17 地域移行支援」については回答が0であったため、表記なし。

精神障害において特に充実・改善してほしいものは、「9 就労継続支援（A型、B型）」で「事業所の対応の改善」が15件と最も多くなっています。

■精神障害

(単位:件)

区分	事業者の数の充実	利用時間の拡大	サービス(技術)の向上	事業所の対応の改善	サービスの利用手続き	サービスに関する情報提供	利用者負担が大きい	その他	不明・無回答
1 居宅介護(ホームヘルプ)(N=8)	2	4	2	1	1	1	0	1	0
2 重度訪問介護(N=2)	1	0	1	2	0	0	1	0	0
3 同行援護(N=3)	3	2	1	2	2	2	2	2	0
4 行動援護(N=4)	0	1	0	0	2	1	2	1	1
6 生活介護(N=5)	2	2	3	2	3	2	2	2	1
7 自立訓練(機能訓練・生活訓練)(N=4)	1	0	0	0	1	1	0	1	0
8 就労移行支援(N=20)	2	5	8	7	4	8	1	2	1
9 就労継続支援(A型、B型)(N=33)	12	6	8	15	4	3	2	4	3
10 就労定着支援(N=18)	5	3	5	4	5	3	0	1	1
11 療養介護(N=2)	1	2	1	1	1	1	1	0	0
12 短期入所(ショートステイ)(N=2)	1	0	1	1	0	1	0	0	0
13 共同生活援助(グループホーム)(N=7)	6	2	2	1	2	2	1	2	0
14 自立生活援助(N=9)	4	2	5	1	2	2	0	1	0
15 施設入所支援(N=1)	1	0	0	0	0	0	1	0	0
16 計画相談支援(N=11)	1	5	4	1	3	3	0	2	1
17 地域移行支援(N=2)	0	0	0	0	1	1	0	0	0
18 地域定着支援(N=4)	1	2	1	0	0	2	0	1	0
21 日常生活用具給付(N=1)	0	0	0	0	0	0	0	0	1
22 移動支援(N=7)	1	2	1	0	2	2	3	0	3
23 地域活動支援センター(N=6)	2	1	3	1	0	2	1	1	0

※「5 重度障害者等包括支援」「19 手話通訳者派遣」「20 要約筆記者派遣」「24 移動入浴」「25 日中一次支援」については回答が0であったため、表記なし。

障害児で特に充実・改善してほしいものは、「2 放課後等デイサービス」で「利用時間の拡大」が47件と最も多くなっています。

■障害児

(単位:件)

区分	事業者の数の充実	利用時間の拡大	サービス(技術)の向上	事業所の対応の改善	サービスの利用手続き	サービスに関する情報提供する	利用者負担が大きい	その他	不明・無回答
1 児童発達支援(N=55)	29	23	23	9	9	17	7	7	2
2 放課後等デイサービス(N=98)	45	47	41	18	15	21	20	13	3
3 保育所等訪問支援(N=24)	14	5	8	2	2	6	1	2	0
4 医療型児童発達支援(N=4)	2	0	1	0	0	0	0	2	0
5 居宅訪問型児童発達支援(N=1)	1	0	1	0	0	0	0	0	0
6 福祉型障害児入所施設(N=7)	5	0	1	1	0	3	0	1	0
7 医療型障害児入所施設(N=2)	2	1	1	0	0	0	0	0	0
8 障害児相談支援(N=14)	4	1	6	5	6	8	1	1	0
11 日常生活用具給付(N=4)	1	0	1	1	1	1	1	1	0
12 移動支援(N=34)	18	9	5	3	6	7	6	6	3
13 地域活動支援センター(N=3)	0	1	1	0	0	2	0	0	0
14 移動入浴(N=1)	1	0	0	0	0	0	0	0	0
15 日中一時支援(N=17)	14	8	7	2	3	6	0	0	0
16 レスパイト(N=7)	5	1	3	1	2	3	0	1	0

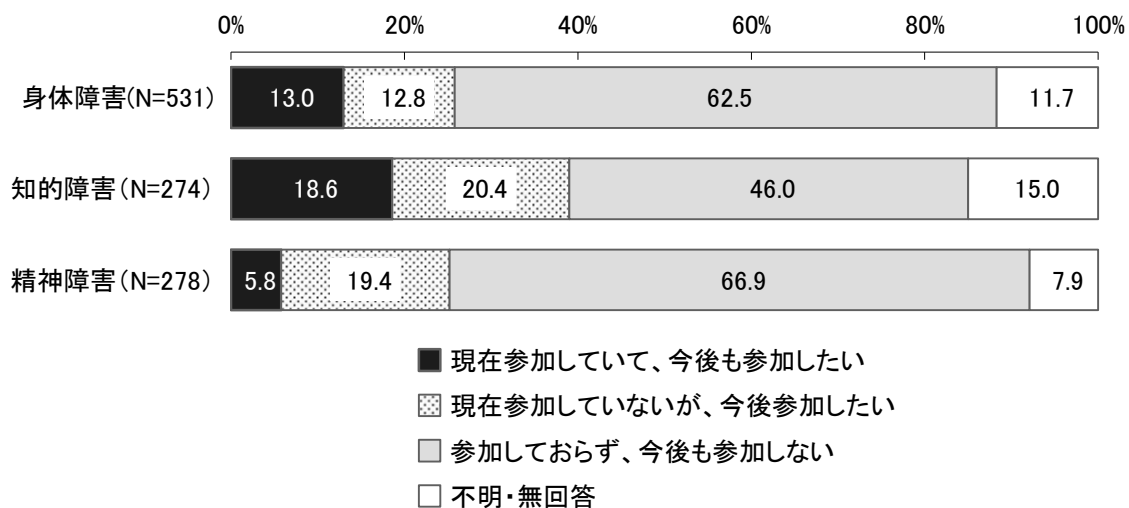
※「9 手話通訳者派遣」「10 要約筆記者派遣」については回答が0であったため、表記なし。

(9) スポーツ・文化芸術活動について

48 あなたはスポーツや文化芸術活動に参加していますか。

(単数回答: **障害者** 問 39)

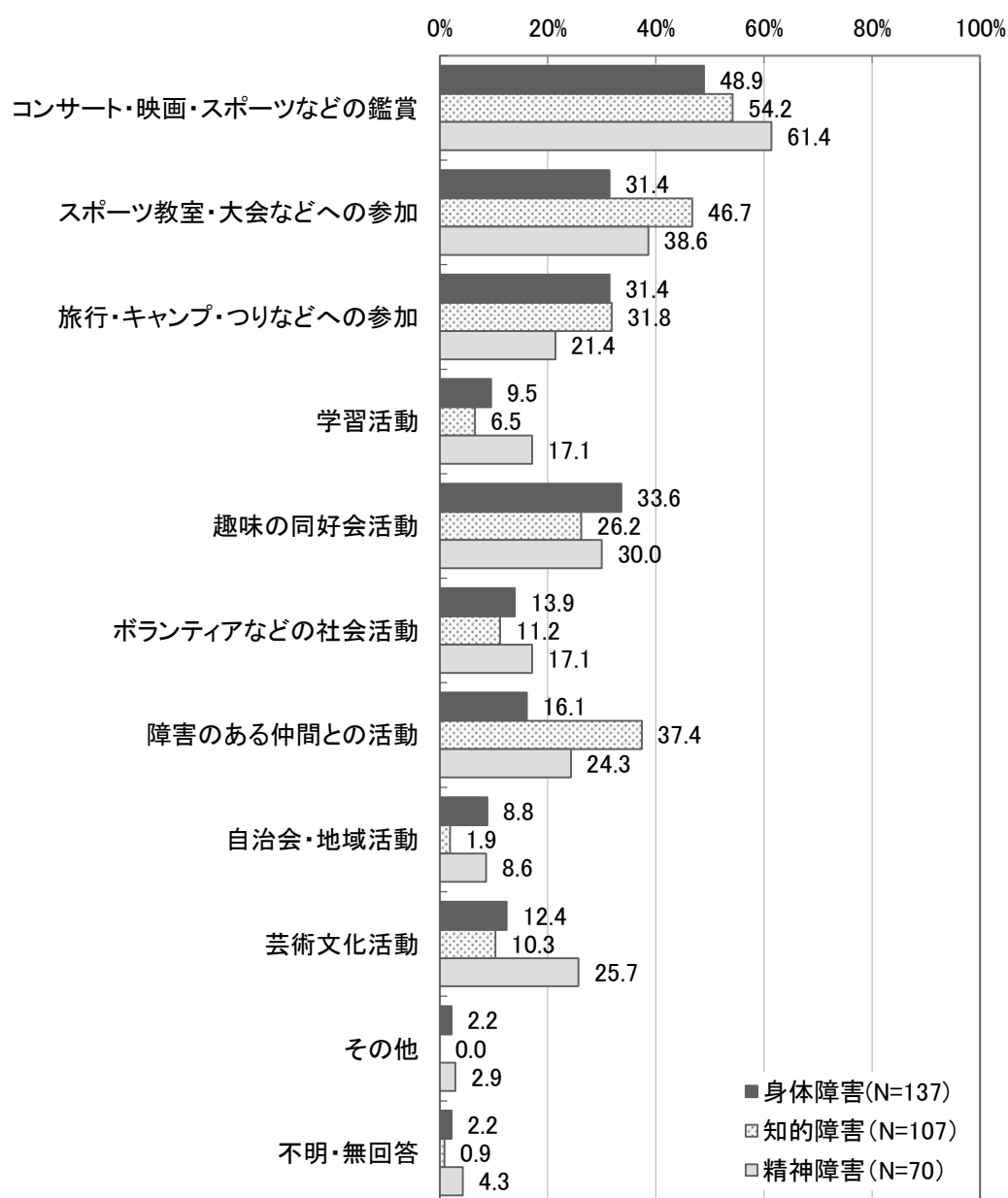
スポーツや文化芸術活動への参加状況は、「参加しておらず、今後も参加しない」が身体障害で 62.5%、知的障害で 46.0%、精神障害で 66.9%と、それぞれ最も高くなっています。



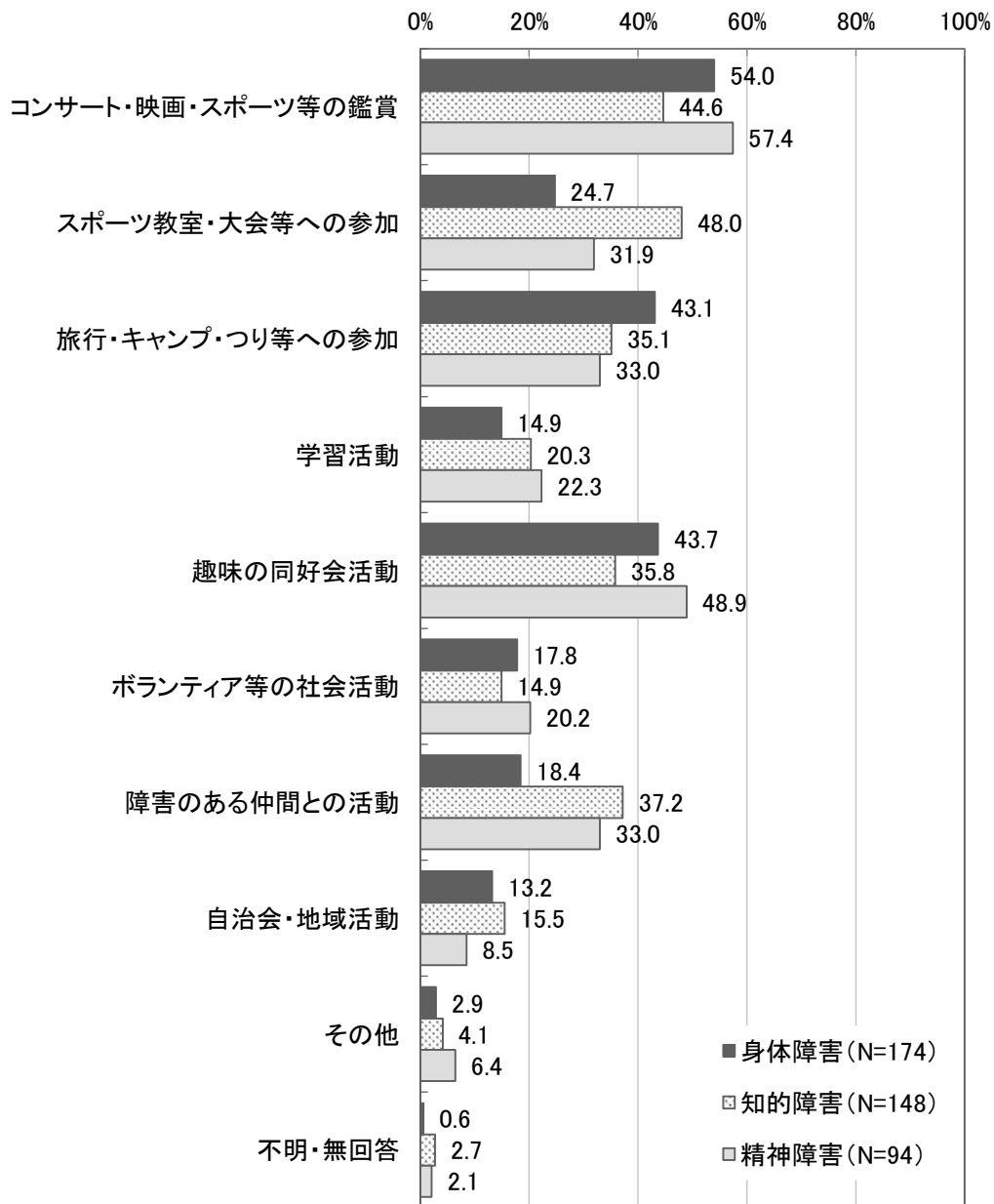
49 スポーツや文化芸術活動について、今後どのような活動をしたいですか。(現在行っている活動も含む)

※48で「現在参加していて、今後も参加したい」「現在参加していないが、今後参加したい」を回答した方
(複数回答:障害者問40)

今後の活動の希望は、「コンサート・映画・スポーツなどの鑑賞」が身体障害で48.9%、知的障害で54.2%、精神障害で61.4%と、それぞれ最も高くなっています。



◆H28 年調査(参考)



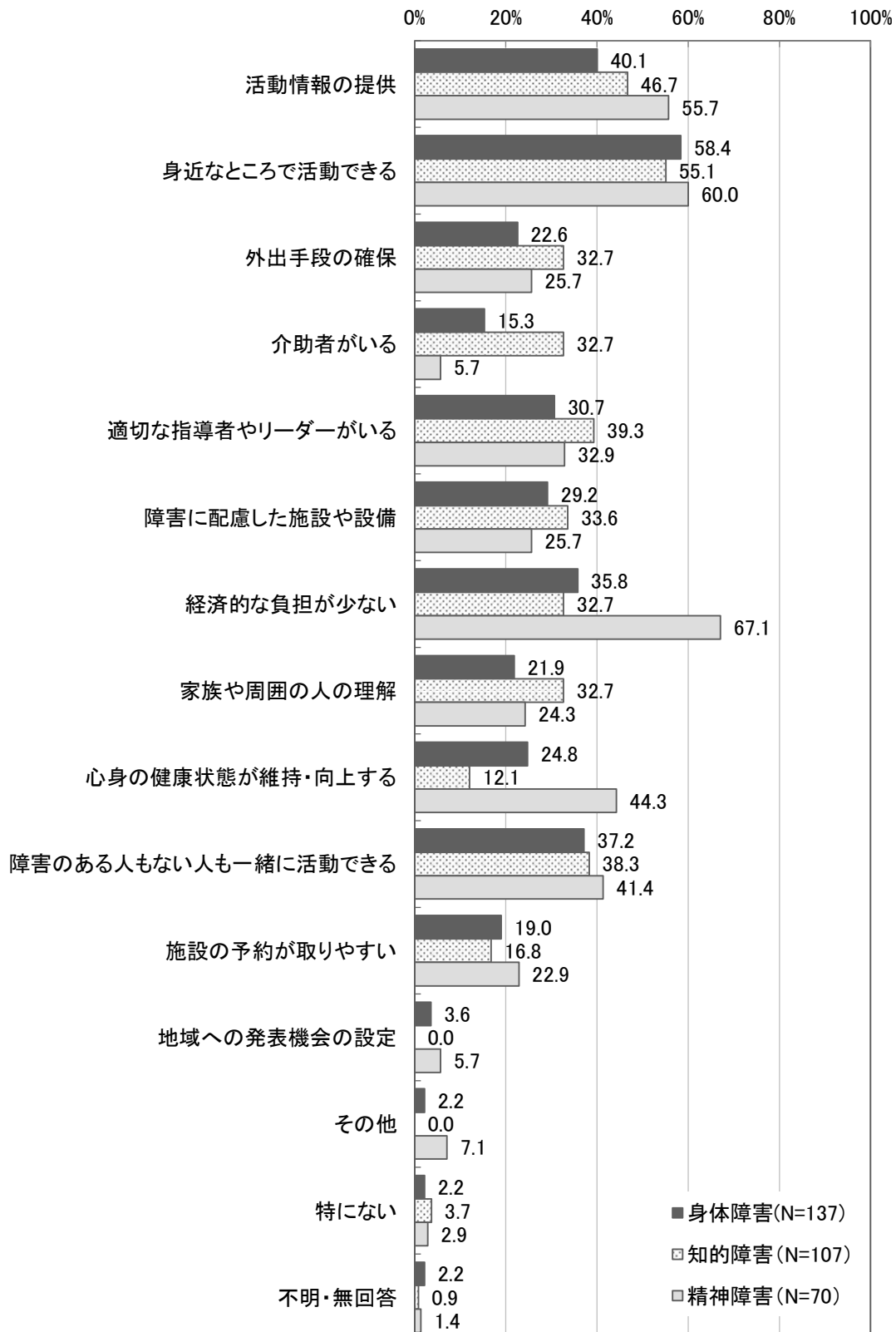
※調査対象が平成 28 年度調査は全年齢、今回調査は 18 歳以上と異なっているため、参考値として掲載。

50 49 の活動に参加するにあたって、どのような条件が必要だと思いますか。

※48 で「現在参加していて、今後も参加したい」「現在参加していないが、今後参加したい」を回答した方

(複数回答: 障害者問 41)

活動参加への条件は、「身近なところで活動できる」が身体障害で 58.4%、知的障害で 55.1%、「経済的な負担が少ない」が精神障害で 67.1%と、それぞれ最も高くなっています。



年齢別で見ると、18～39歳で「外出手段の確保」が34.6%と、他の年代と比べて高くなっています。

■年齢区分別クロス集計

(単位：%)

区分	活動情報の提供	身近なところで活動できる	外出手段の確保	介助者がいる	適切な指導者やリーダーがいる	障害に配慮した施設や設備	経済的な負担が少ない	家族や周囲の人の理解
【年齢区分別】								
18～39歳(N=107)	46.7	54.2	34.6	26.2	35.5	33.6	41.1	32.7
40～64歳(N=104)	50.0	59.6	22.1	15.4	33.7	26.0	46.2	25.0
65歳以上(N=65)	33.8	61.5	15.4	4.6	29.2	18.5	35.4	18.5

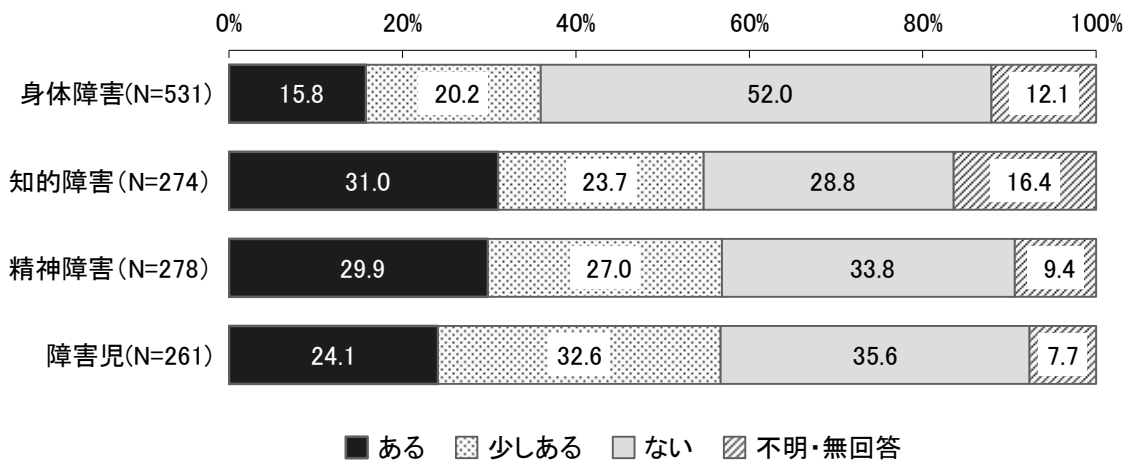
区分	心身の健康状態が維持・向上する	障害のある人もない人も一緒に活動できる	施設の予約が取りやすい	地域への発表機会の設定	その他	特にない	不明・無回答
【年齢区分別】							
18～39歳(N=107)	21.5	43.0	20.6	0.9	0.9	3.7	0.9
40～64歳(N=104)	26.9	39.4	21.2	3.8	4.8	3.8	1.9
65歳以上(N=65)	32.3	35.4	15.4	6.2	1.5	1.5	3.1

(10) 権利擁護について

51 あなたは、障害があることで差別や嫌な思いをする(した)ことがありますか。

(単数回答: 障害者問 42、障害児問 40)

障害があることで差別や嫌な思いをする(した)ことは、「ある」「少しある」が身体障害で36.0%、知的障害で54.7%、精神障害で56.9%、障害児で56.7%となっています。

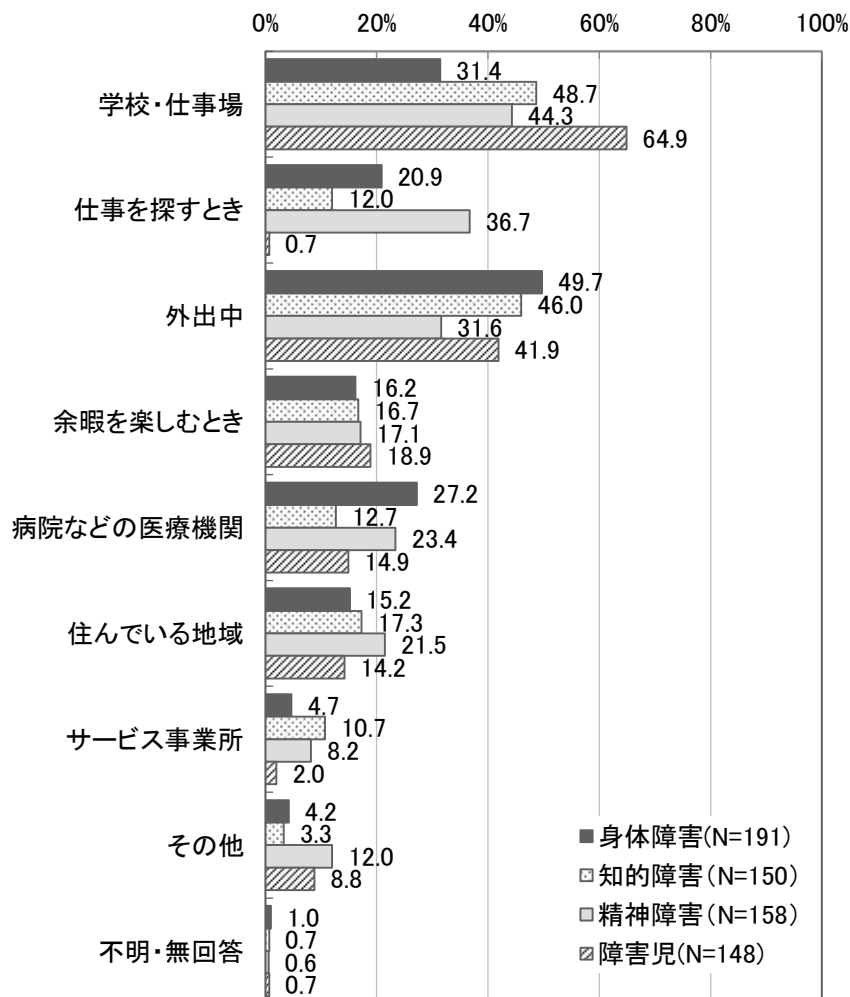


52 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。

※51で「ある」「少しある」を回答した方

(複数回答: 障害者問 43、障害児問 41)

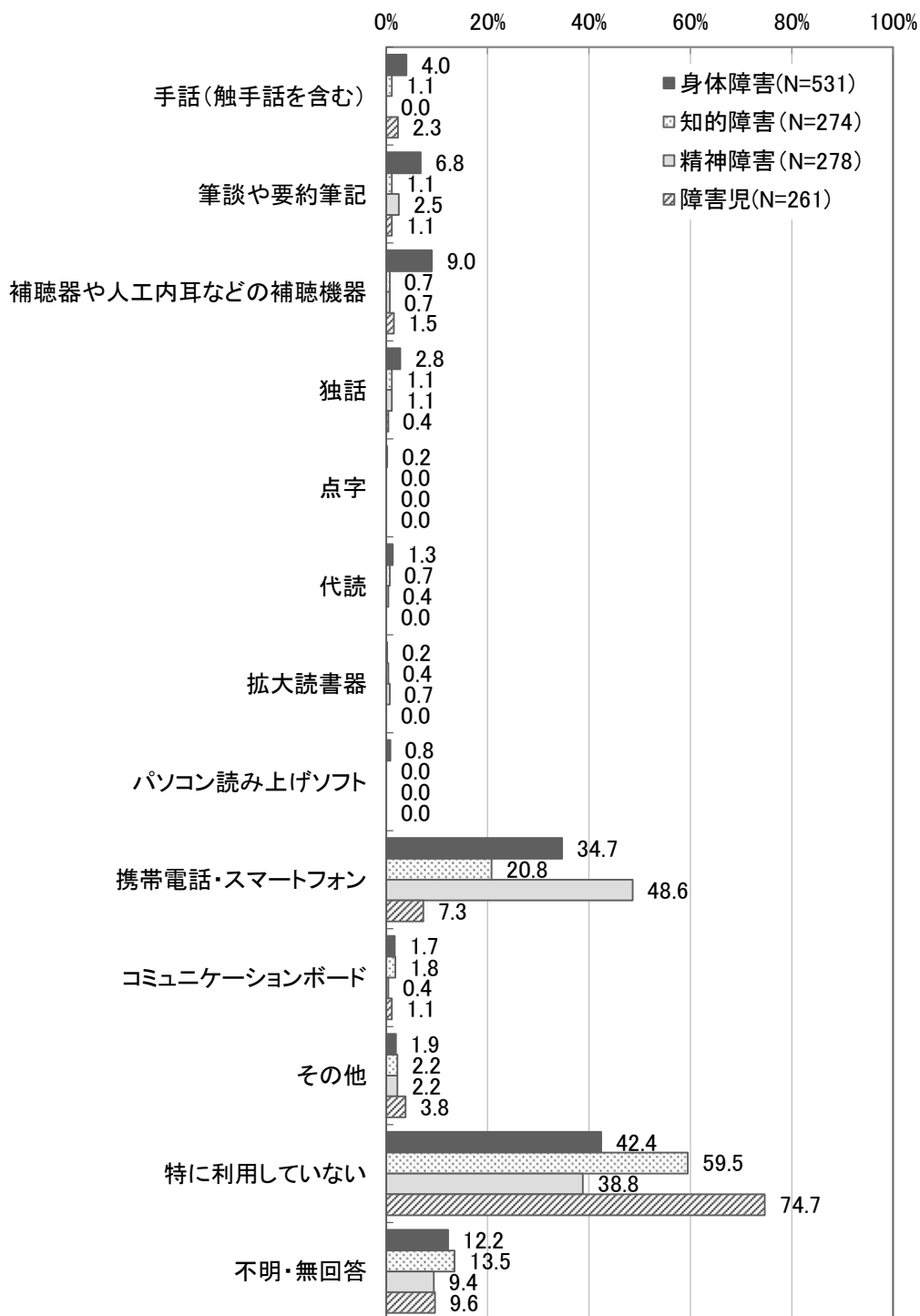
差別や嫌な思いをした場所は、「外出中」が身体障害で49.7%、「学校・仕事場」が知的障害で48.7%、精神障害で44.3%、障害児で64.9%と、それぞれ最も高くなっています。



53 あなたが普段のコミュニケーションに利用しているものは何ですか。

(複数回答: 障害者問 44、障害児問 42)

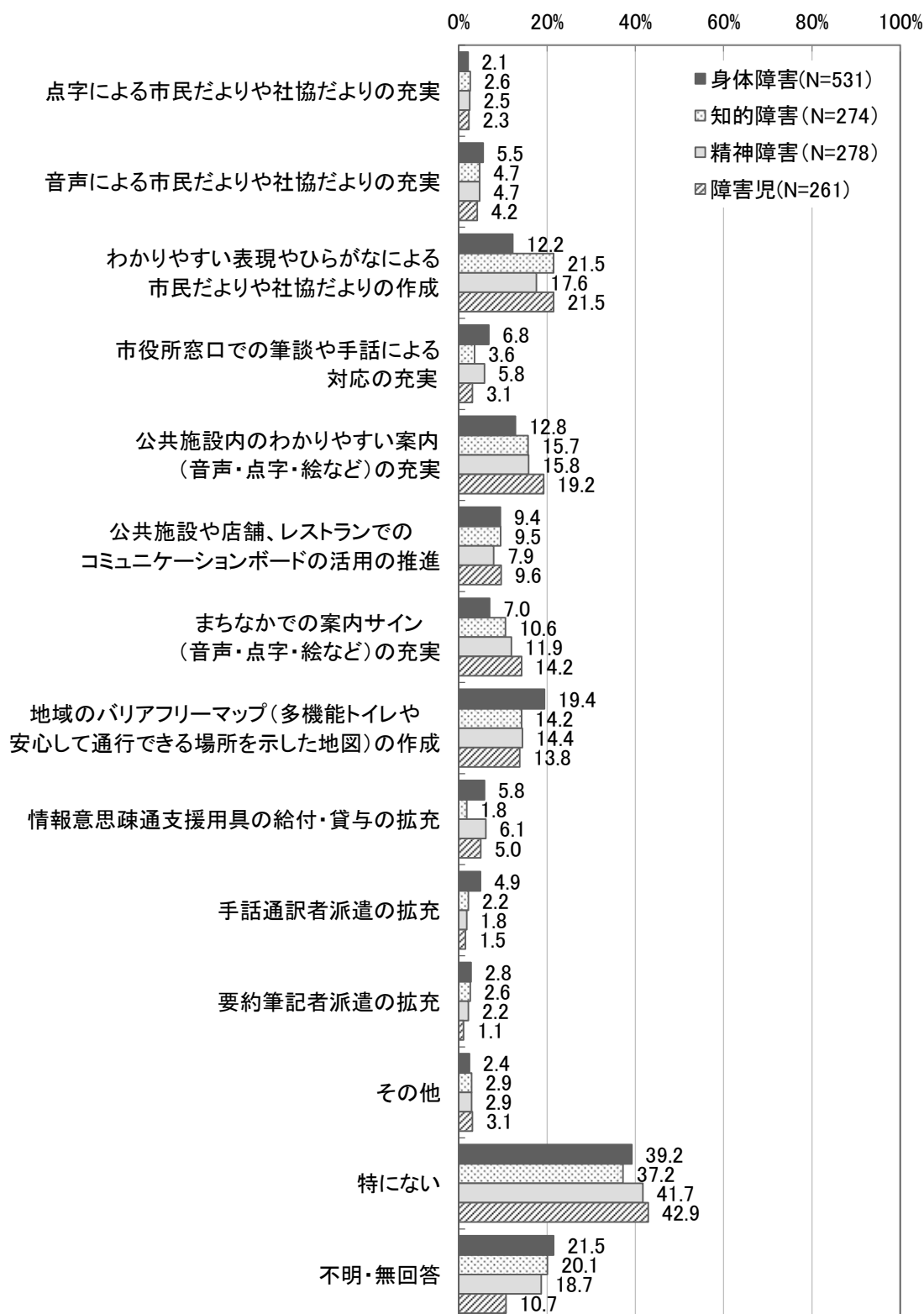
コミュニケーションの方法は、「特に利用していない」を除いて、「携帯電話・スマートフォン」が身体障害で34.7%、知的障害で20.8%、精神障害で48.6%、障害児で7.3%と、それぞれ最も高くなっています。



54 あなたは情報バリアフリー化について、何を求めますか。

(複数回答: 障害者問 45、障害児問 43)

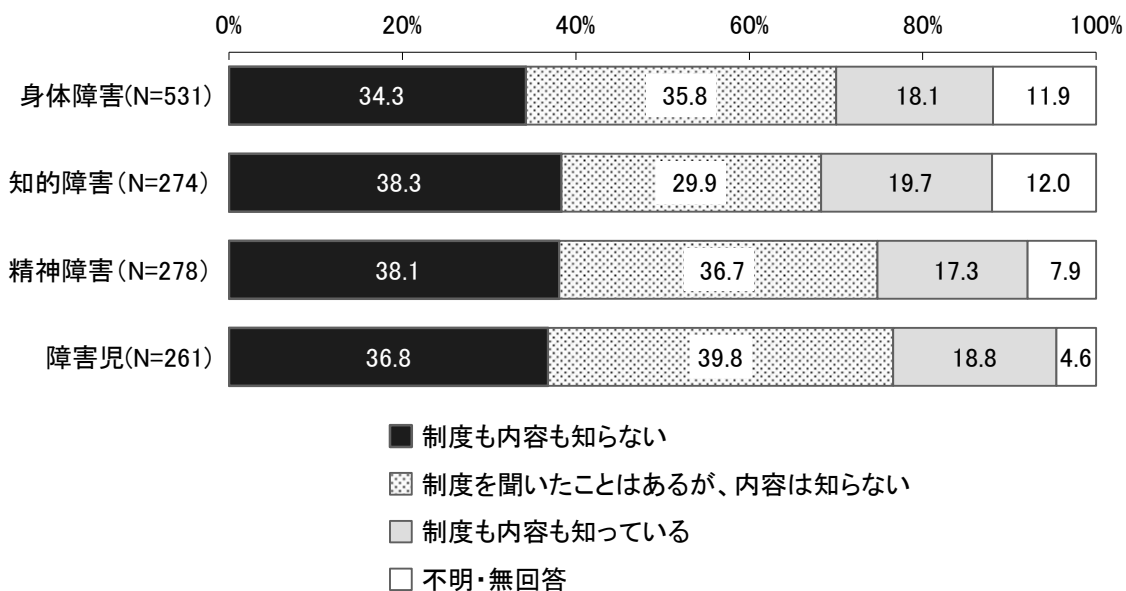
情報バリアフリー化について求めるものは、「特にない」を除いて、「地域のバリアフリーマップ（多機能トイレや安心して通行できる場所を示した地図）の作成」が身体障害で 19.4%、「わかりやすい表現やひらがなによる市民だよりや社協だよりの作成」が知的障害で 21.5%、精神障害で 17.6%、障害児で 21.5%と、それぞれ最も高くなっています。



55 成年後見制度について知っていますか。

(単数回答: 障害者問 46、障害児問 44)

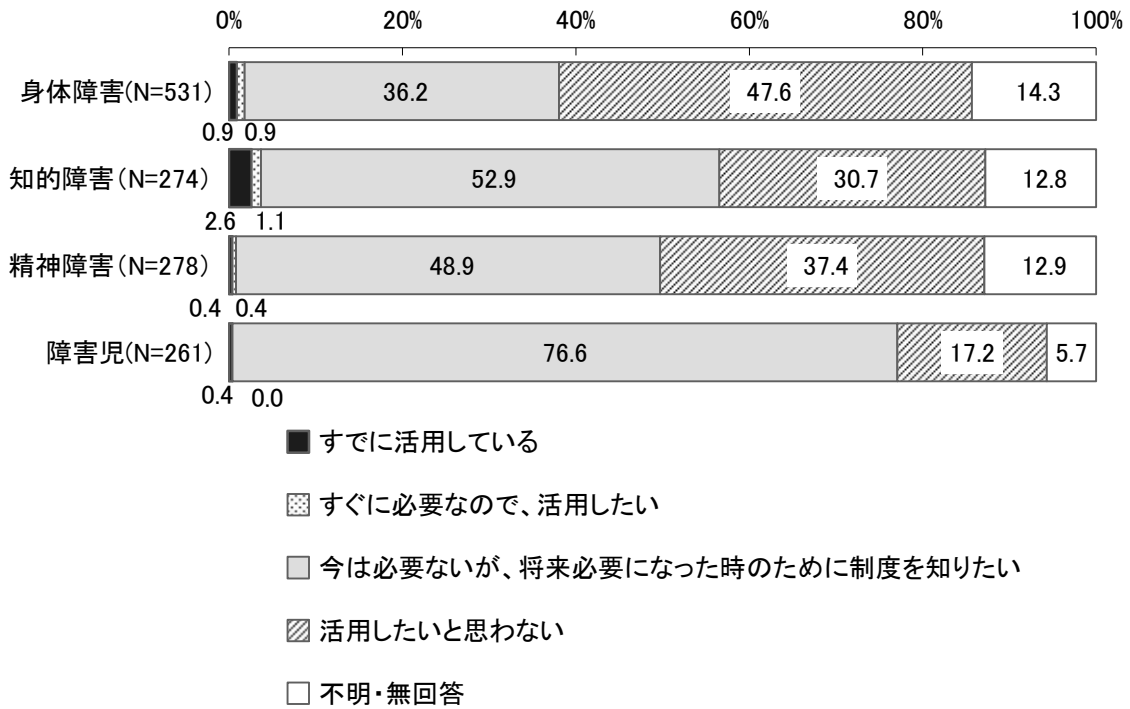
成年後見制度の認知度は、「制度を聞いたことはあるが、内容は知らない」が身体障害で 35.8%、障害児で 39.8%、「制度も内容も知らない」が知的障害で 38.3%、精神障害で 38.1%と、それぞれ最も高くなっています。



56 成年後見制度を活用したいと思いますか。

(単数回答: 障害者問 47、障害児問 45)

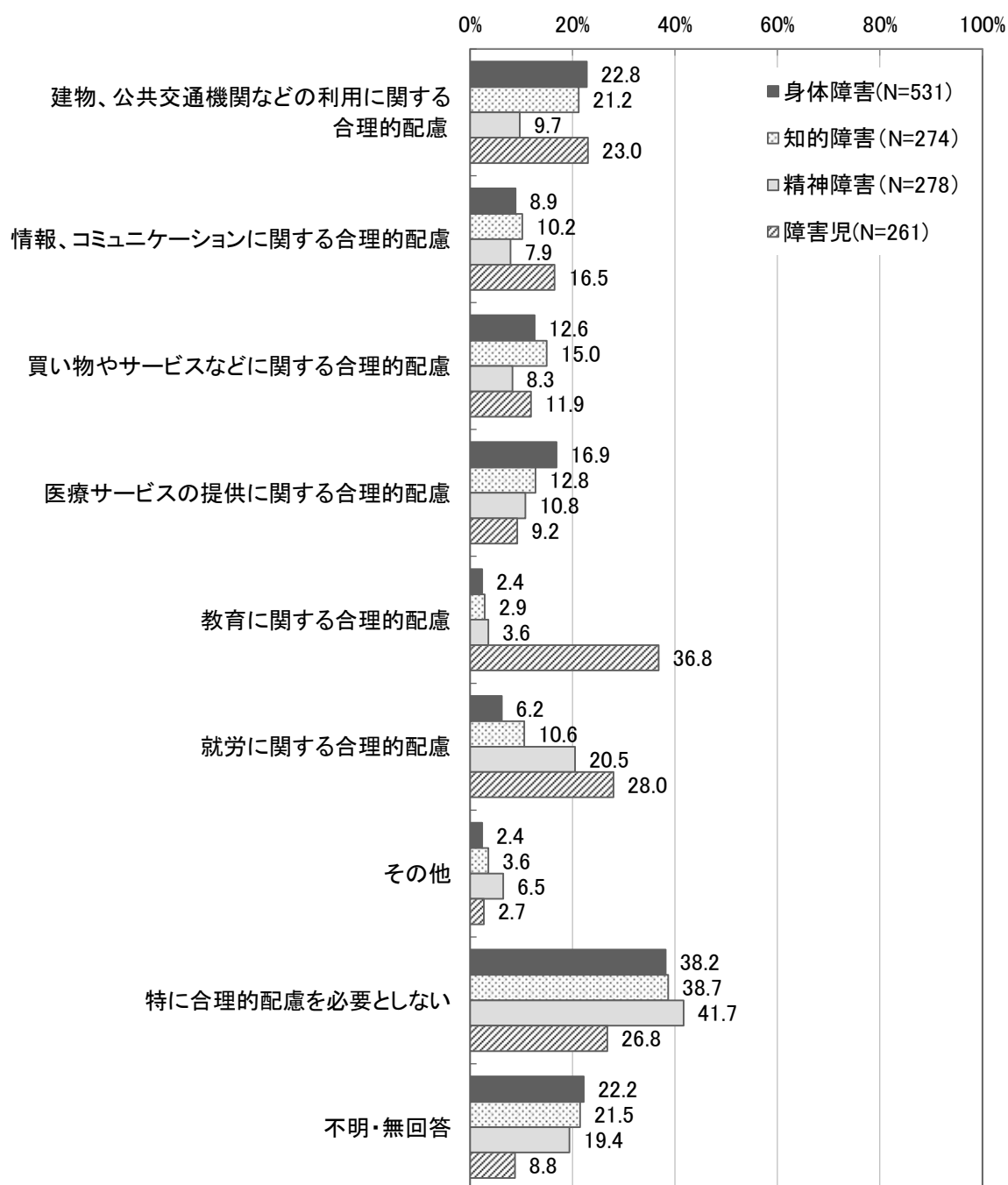
成年後見制度の利用意向は、「活用したいと思わない」が身体障害で47.6%、「今は必要ないが、将来必要になった時のために制度を知りたい」が知的障害で52.9%、精神障害で48.9%、障害児で76.6%と、それぞれ最も高くなっています。



57 あなたは普段生活するうえで周りに配慮してもらいたい(気遣ってもらいたい)と感じることはありますか。どんなことがあるとよいと思いますか。

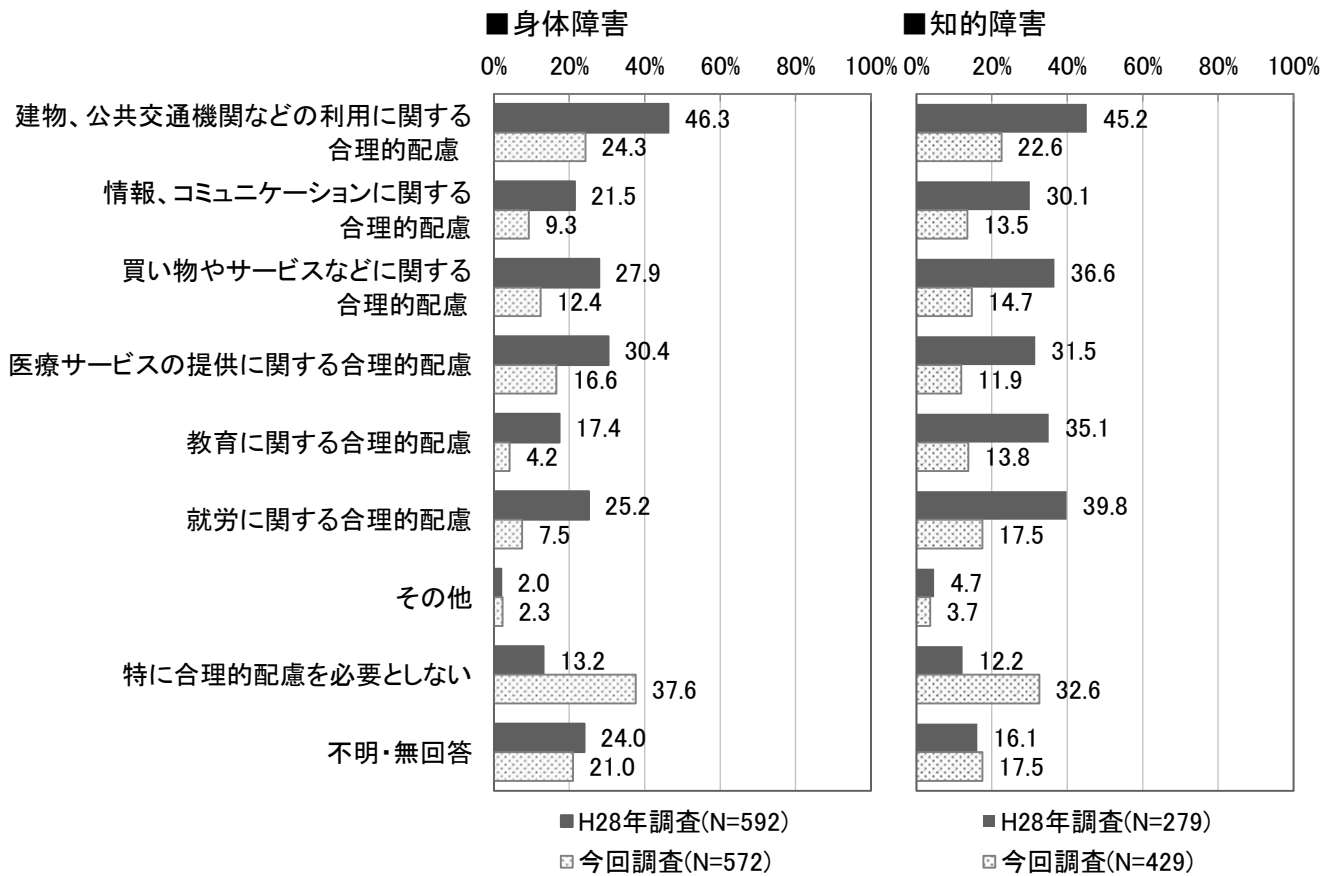
(複数回答: 障害者問 48、障害児問 46)

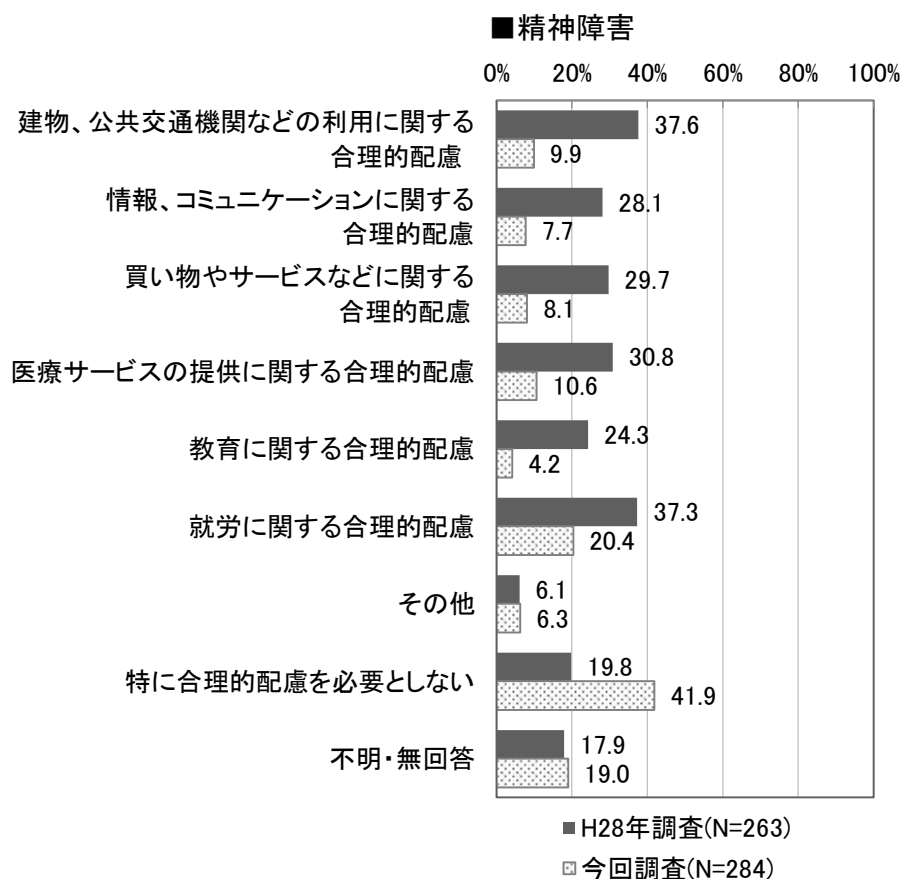
合理的配慮に求めることは、「特に合理的配慮を必要としない」を除いて、「建物、公共交通機関などの利用に関する合理的配慮」が身体障害で22.8%、知的障害で21.2%、「就労に関する合理的配慮」が精神障害で20.5%、「教育に関する合理的配慮」が障害児で36.8%と、それぞれ最も高くなっています。



◆経年比較

H28年調査と比較すると、いずれの障害も「特に合理的配慮を必要としない」が高くなっています。





- 建物、公共交通機関などの利用に関する合理的配慮 とは・・・
電車やバスの乗り降りに携帯スロープを使う、電車内の案内を音声で行う、など
- 情報、コミュニケーションに関する合理的配慮 とは・・・
点字や録音、拡大文字でパンフレットや案内をつくる、イベントで手話通訳や要約筆記をつける、分かりやすい表現を使って情報を伝える、など
- 買い物やサービスなどに関する合理的配慮 とは・・・
ショーケースの位置を低くする、買い物のサポートをする、点字のメニューを用意する、申し込み窓口での代筆を認める、など
- 医療サービスの提供に関する合理的配慮 とは・・・
医師や看護師が筆談で対応する、院内放送を電光表示や文字表示でも知らせる、など
- 教育に関する合理的配慮 とは・・・
点字や音声・拡大文字の教材を使う、障害に応じて試験の時間を延長する、など
- 就労に関する合理的配慮 とは・・・
採用試験を点字や音声で行う、休憩できる部屋や車いすでも利用できる机を用意する、交通機関の混雑を避けるため勤務時間をずらす、など
- 就労に関する合理的配慮 とは・・・
採用試験を点字や音声で行う、休憩できる部屋や車いすでも利用できる机を用意する、交通機関の混雑を避けるため勤務時間をずらす、など

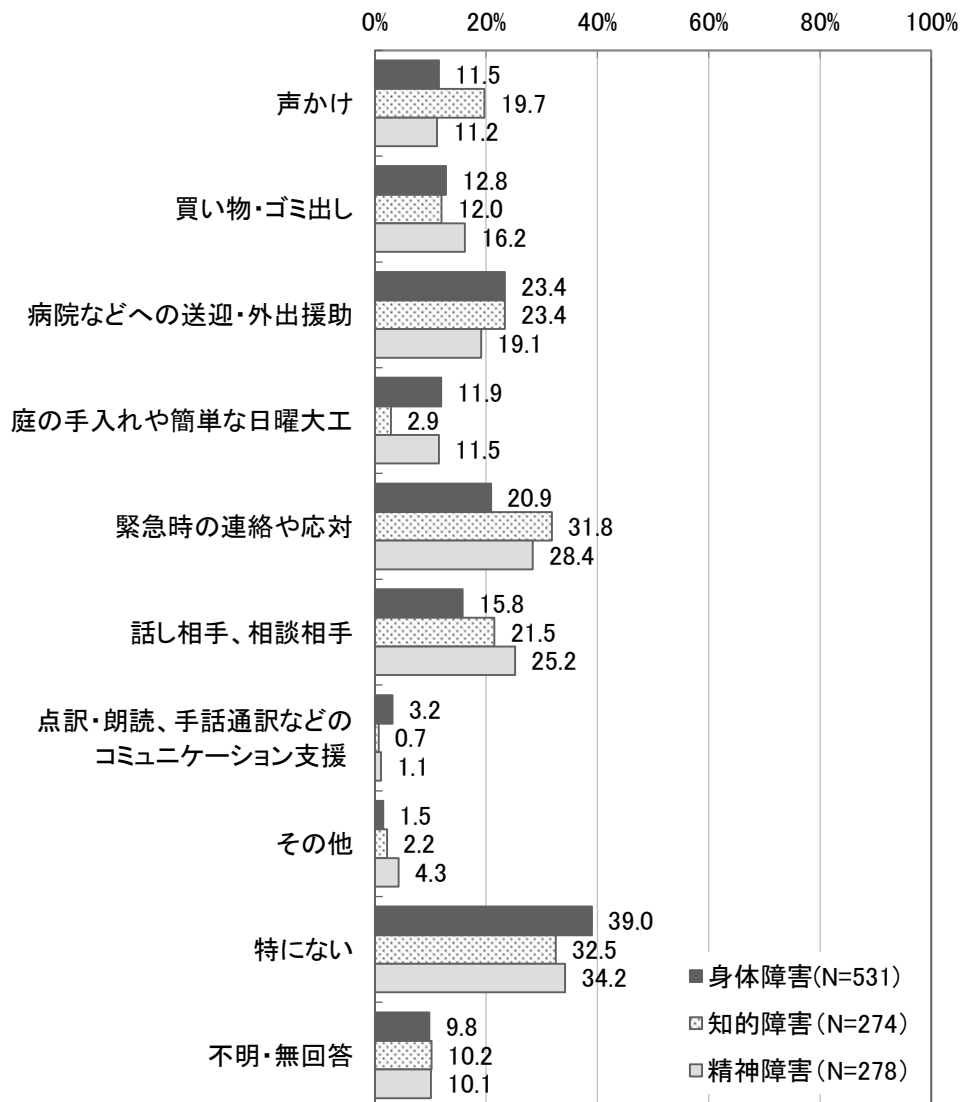
※今回調査における障害者と障害児の回答者を合算しているため、今回調査のN数と異なる。

(11) 地域の福祉について

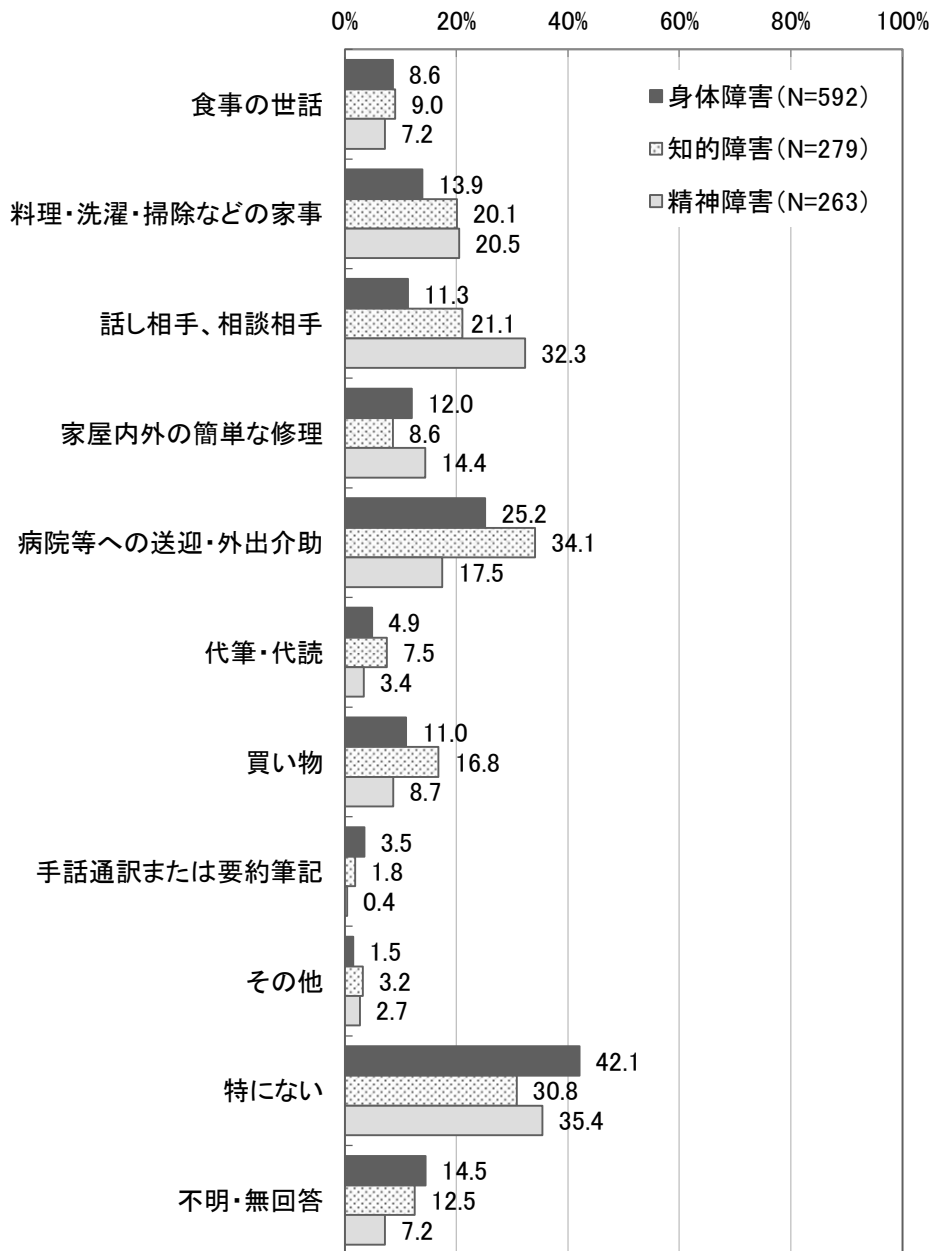
58 次のサービスの中で、あなたが受けたいと思うボランティアはどれですか。

(複数回答: 障害者問 49)

受けたいと思うボランティアは、「特にない」を除いて、「病院などへの送迎・外出援助」が身体障害で23.4%、「緊急時の連絡や対応」が知的障害で31.8%、精神障害で28.4%と、それぞれ最も高くなっています。



◆H28 年調査(参考)

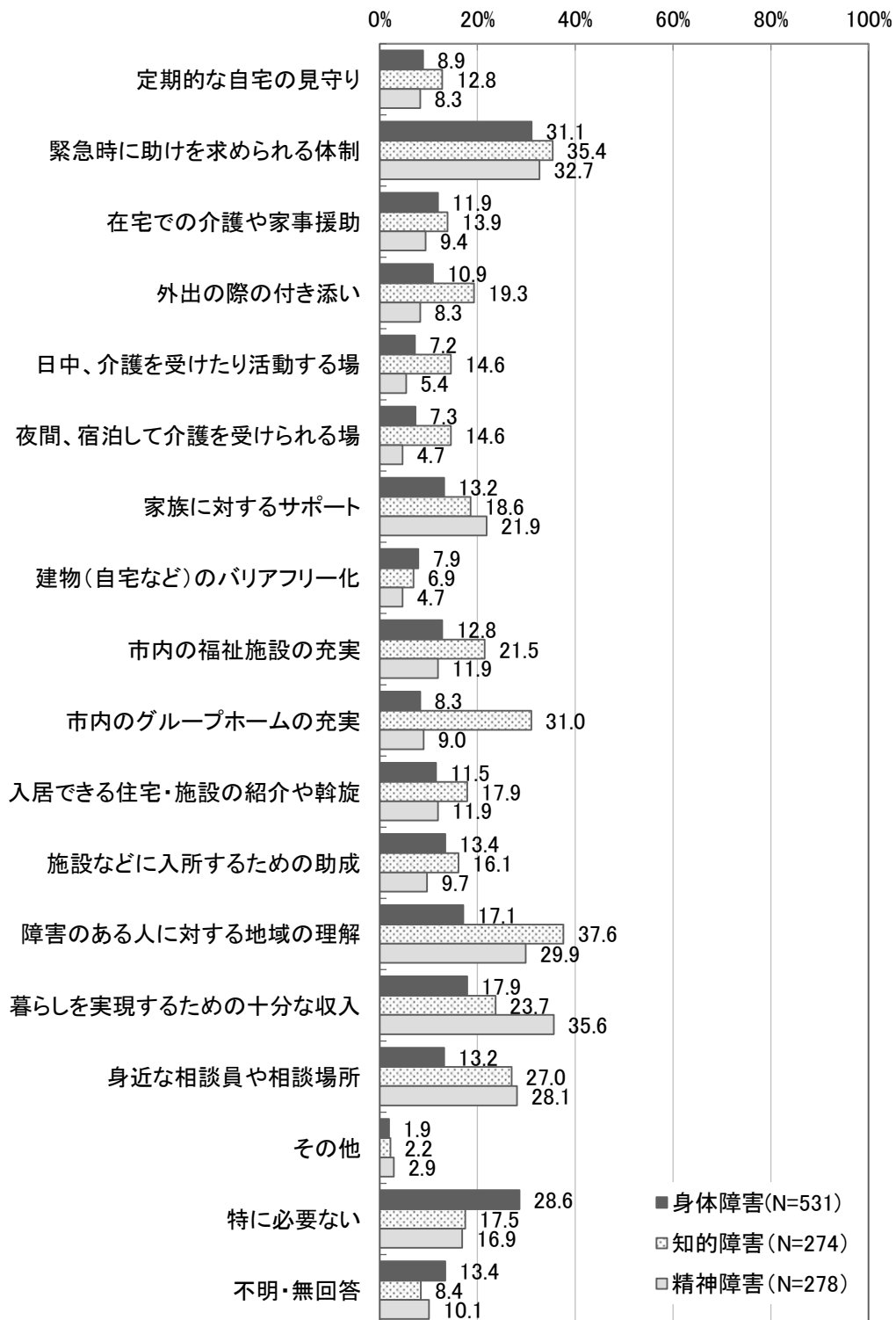


※調査対象が平成 28 年度調査は全年齢、今回調査は 18 歳以上と異なっているため、参考値として掲載。

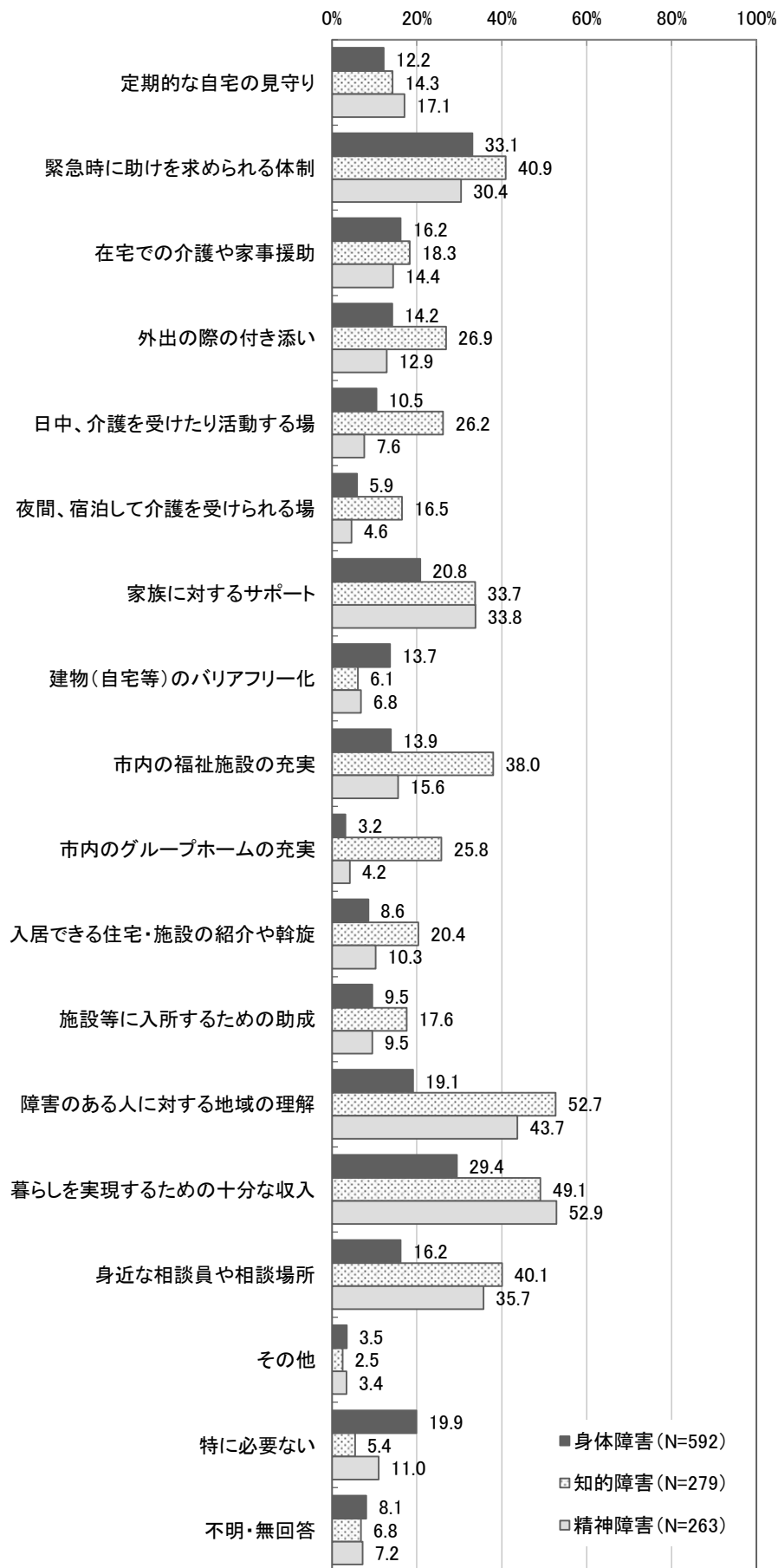
59 現在暮らしている地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。

(複数回答: 障害者 問 50)

地域で生活するための支援は、「緊急時に助けを求められる体制」が身体障害で31.1%、「障害のある人に対する地域の理解」が知的障害で37.6%、「暮らしを実現するための十分な収入」が精神障害で35.6%と、それぞれ最も高くなっています。



◆H28 年調査(参考)

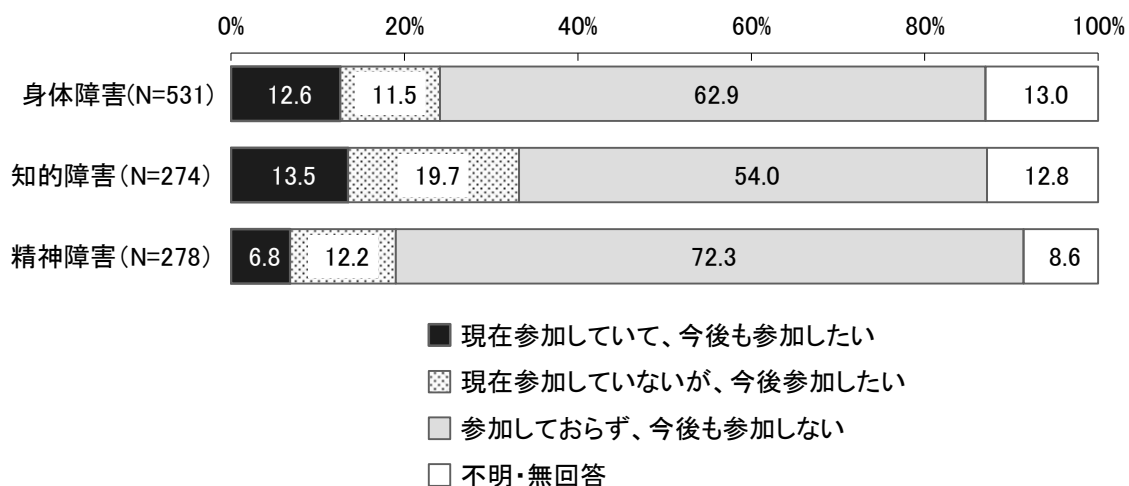


※調査対象が平成 28 年度調査は全年齢、今回調査は 18 歳以上と異なっているため、参考値として掲載。

60 あなたは地域の活動や行事に参加していますか。

(単数回答:障害者問 51)

地域活動・行事への参加状況は、「参加しておらず、今後も参加しない」が身体障害で62.9%、知的障害で54.0%、精神障害で72.3%と、それぞれ最も高くなっています。

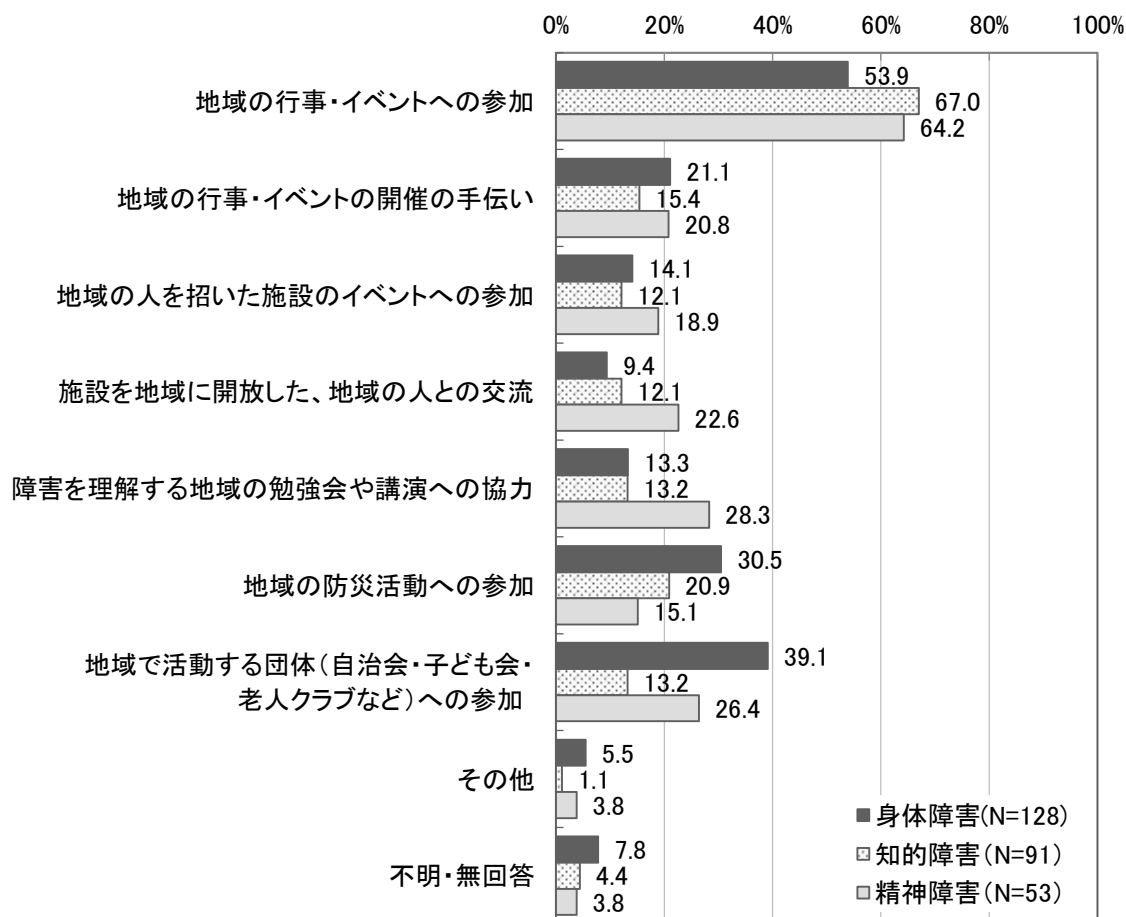


61 あなたはどのような地域の活動や行事に参加したいですか。(現在行っていることを含む)

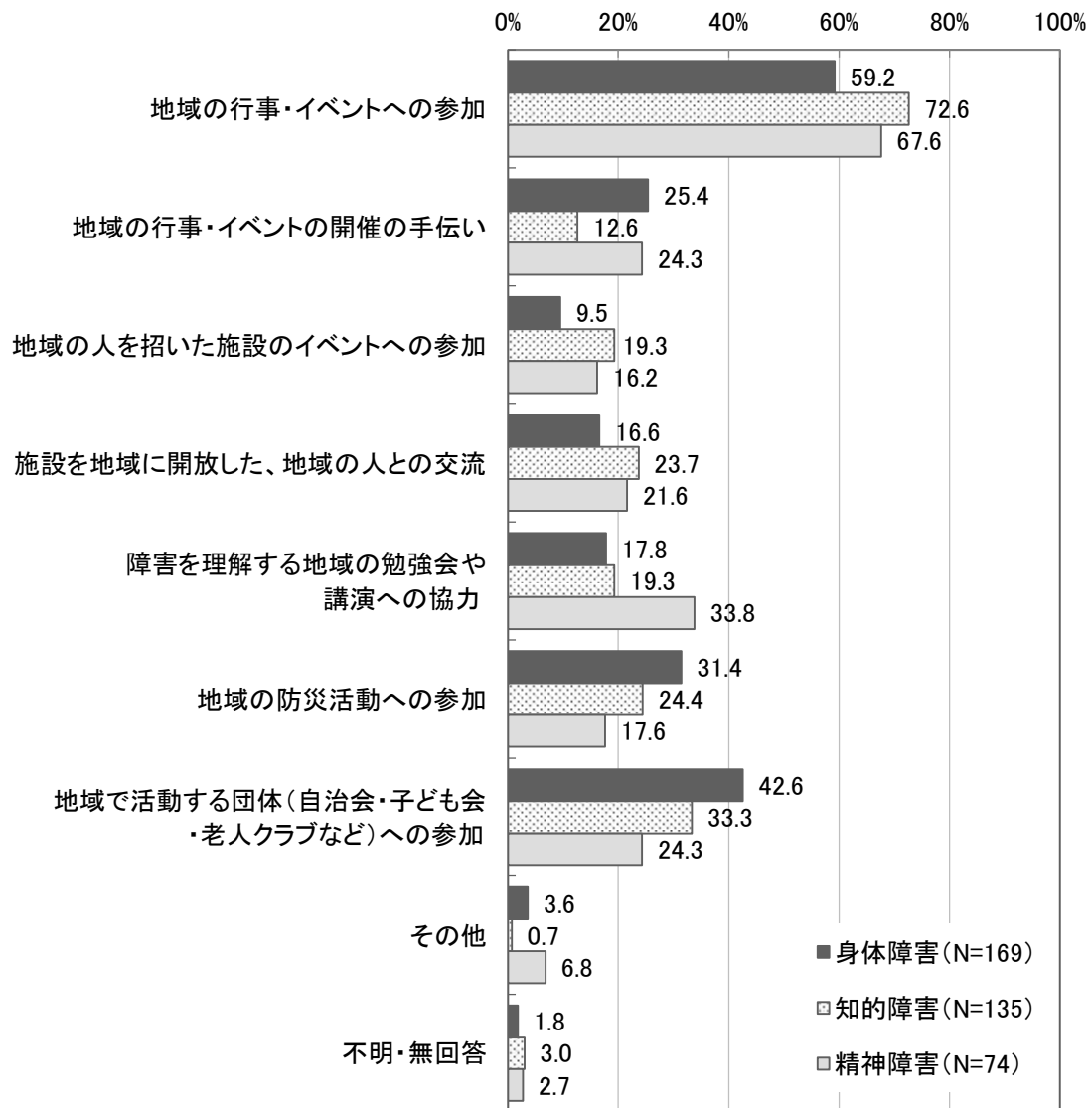
※60 で「現在参加していて、今後も参加したい」「現在参加していないが、今後参加したい」と回答した方

(複数回答:障害者問 52)

参加したい地域活動・行事は、「地域の行事・イベントへの参加」が身体障害で53.9%、知的障害で67.0%、精神障害で64.2%と、それぞれ最も高くなっています。



◆H28 年調査(参考)



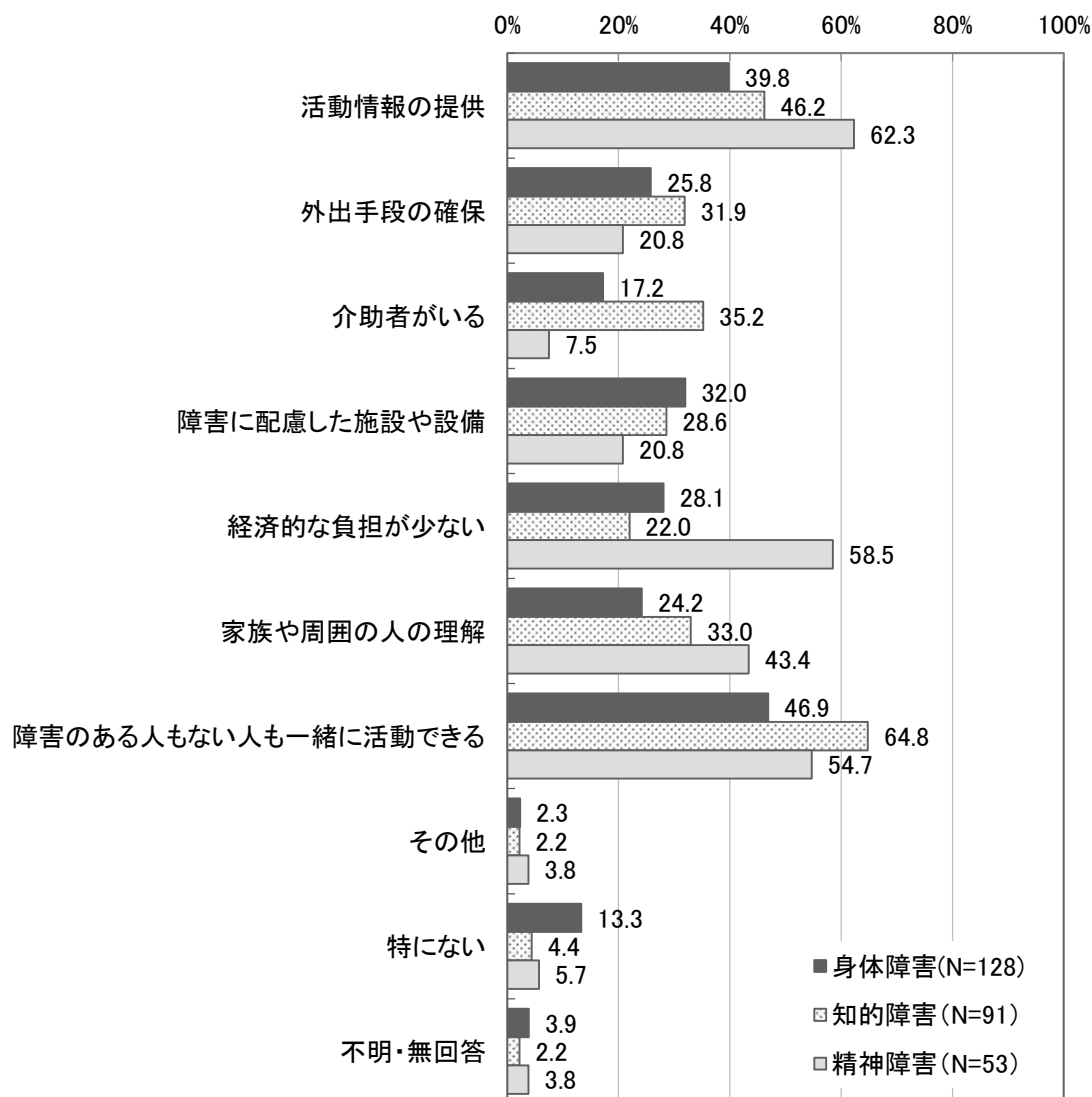
※調査対象が平成 28 年度調査は全年齢、今回調査は 18 歳以上と異なっているため、参考値として掲載。

62 61の活動や行事に参加するにあたって、どのような条件が必要だと思いますか。

※60で「現在参加している、今後も参加したい」「現在参加していないが、今後参加したい」と回答した方

(複数回答: 障害者問 53)

地域活動参加にあたっての条件は、「障害のある人もない人も一緒に活動できる」が身体障害で46.9%、知的障害で64.8%、「活動情報の提供」が精神障害で62.3%と、それぞれ最も高くなっています。



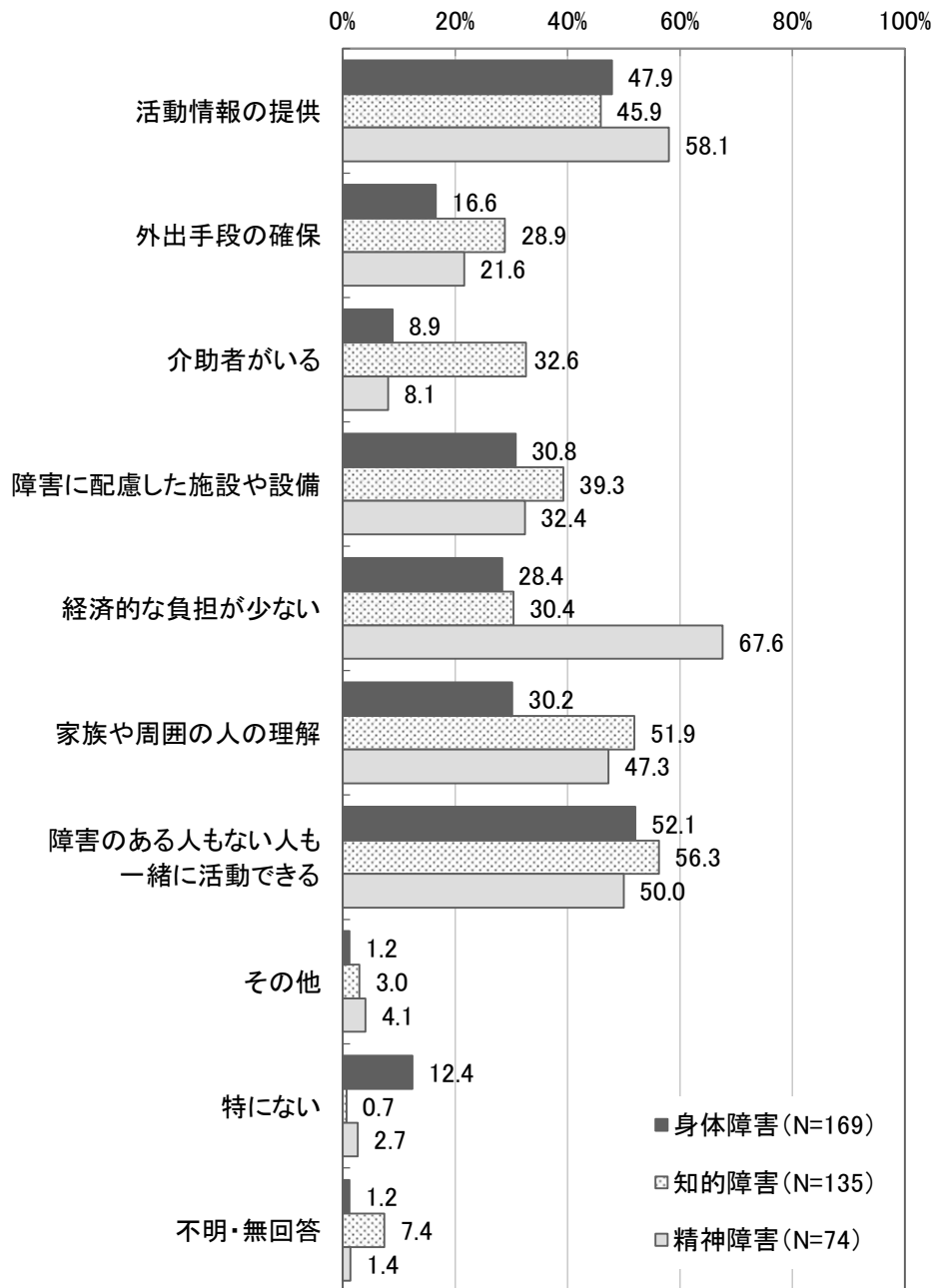
年齢別で見ると、18～39歳で「外出手段の確保」が33.7%と他の年代と比べて高くなっています。

■年齢区分別クロス集計

(単位：%)

区分	活動情報の提供	外出手段の確保	介助者がいる	障害に配慮した施設や設備	経済的な負担が少ない	家族や周囲の人の理解	障害のある人も一緒に活動できる	その他	特になし	不明・無回答
【年齢区分別】										
18～39歳(N=83)	53.0	33.7	30.1	31.3	36.1	41.0	62.7	2.4	6.0	2.4
40～64歳(N=83)	43.4	19.3	18.1	28.9	30.1	31.3	56.6	2.4	9.6	3.6
65歳以上(N=73)	45.2	17.8	5.5	17.8	31.5	17.8	41.1	2.7	12.3	2.7

◆H28 年調査(参考)



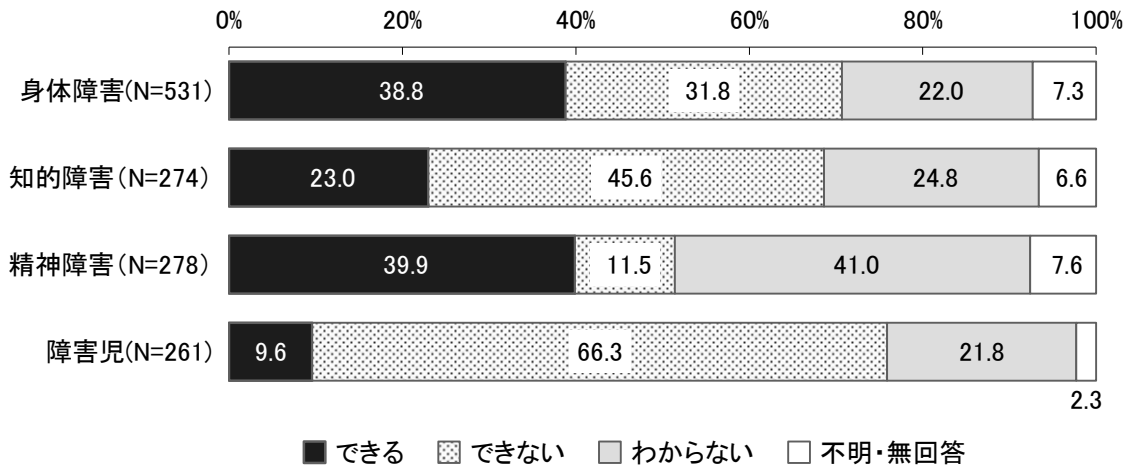
※調査対象が平成 28 年度調査は全年齢、今回調査は 18 歳以上と異なっているため、参考値として掲載。

(12) 災害時のことについて

63 あなたは、火事や地震などの災害時に一人で避難できますか。

(単数回答: 障害者問 54、: 障害児問 47)

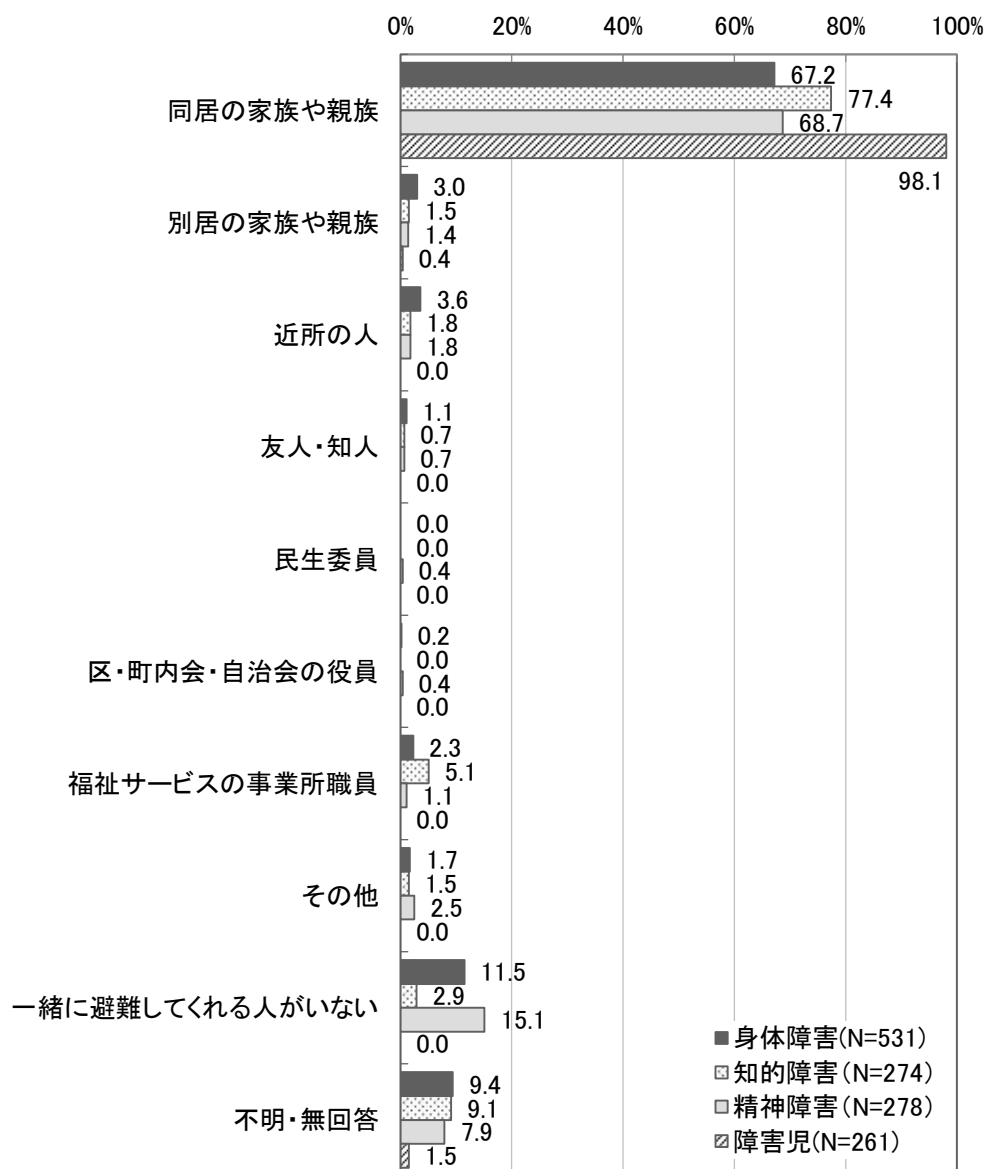
災害時に避難できるかについては、「できる」が身体障害で38.8%、「できない」が知的障害で45.6%、障害児で66.3%、「わからない」が精神障害で41.0%と、それぞれ最も高くなっています。



64 自宅にいる時に、一緒に避難場所まで避難してもらう人はだれですか。

(単数回答: 障害者問 55、: 障害児問 48)

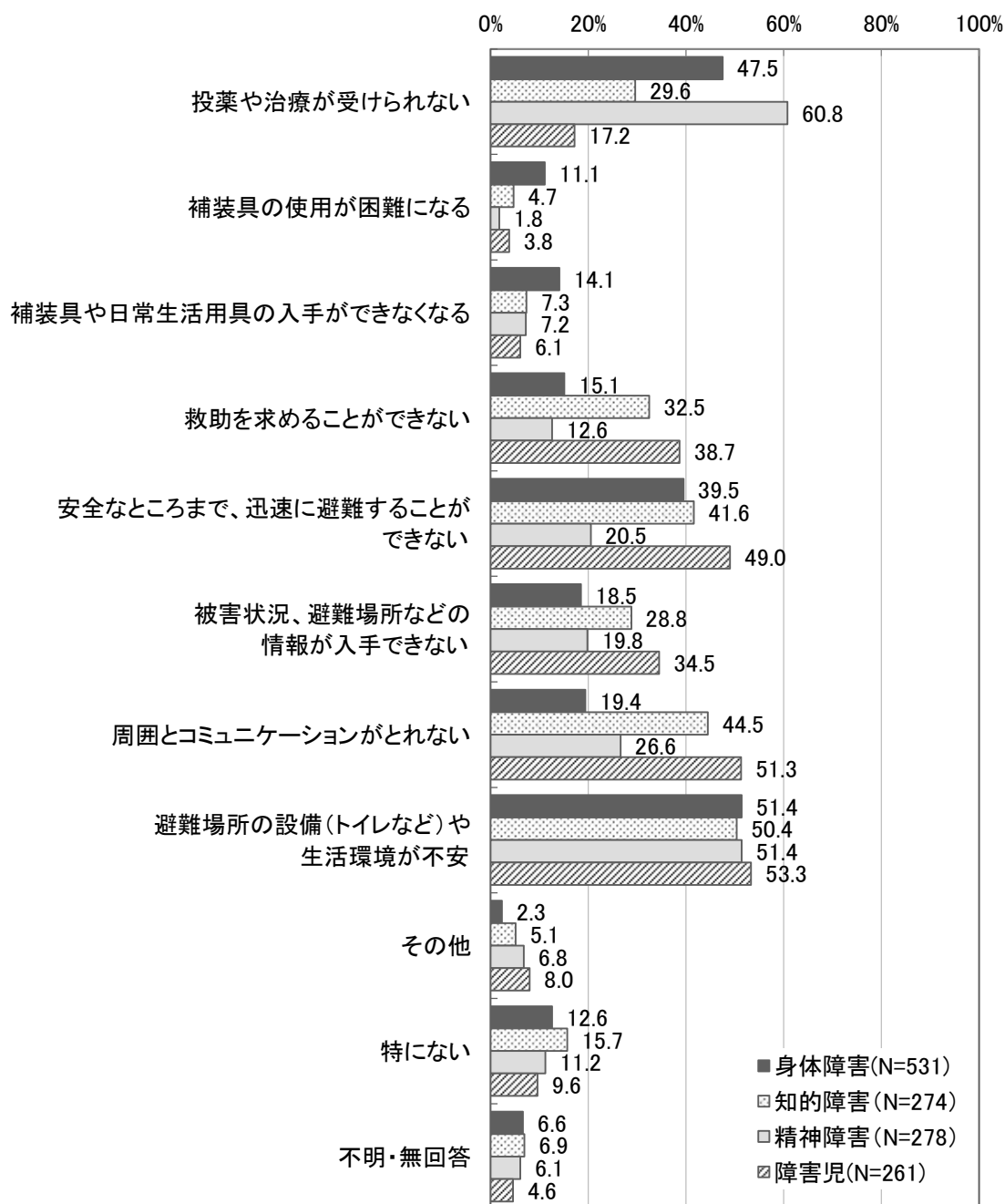
一緒に避難してもらう人は、「同居の家族や親族」が身体障害で67.2%、知的障害で77.4%、精神障害で68.7%、障害児で98.1%と、それぞれ最も高くなっています。なお、「一緒に避難してくれる人がいない」が身体障害で11.5%、精神障害で15.1%となっています。



65 火事や地震などの災害時に困ることは何ですか。

(複数回答: 障害者問 56、: 障害児問 49)

災害時に困ると思われることは、「避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安」が身体障害で51.4%、知的障害で50.4%、障害児で53.3%、「投棄や治療が受けられない」が精神障害で60.8%と、それぞれ最も高くなっています。



(13) 障害者施策のことについて

66 刈谷市の障害福祉についてどのような取組みが必要だと思いますか。

(単数回答: 障害者問 57、: 障害児問 50)

【重要度・満足度】(ポートフォリオ分析)

「重要度」とは、今後重視する取組みとして市民が重要だと感じている度合いであり、「満足度」とは、現時点で市民が各項目について満足している度合いのことです。

障害者に関する施策9項目について、満足度・重要度ともに5段階評価で得た回答を、「満足」「非常に重要」を5点、「まあ満足」「重要」を4点、「普通」を3点、「やや不満」「あまり重要ではない」を2点、「不満」「重要でない」を1点として点数化し、その数値に回答者数を乗じて施策ごとの平均点を算出しました。

【重要度と満足度の関係】

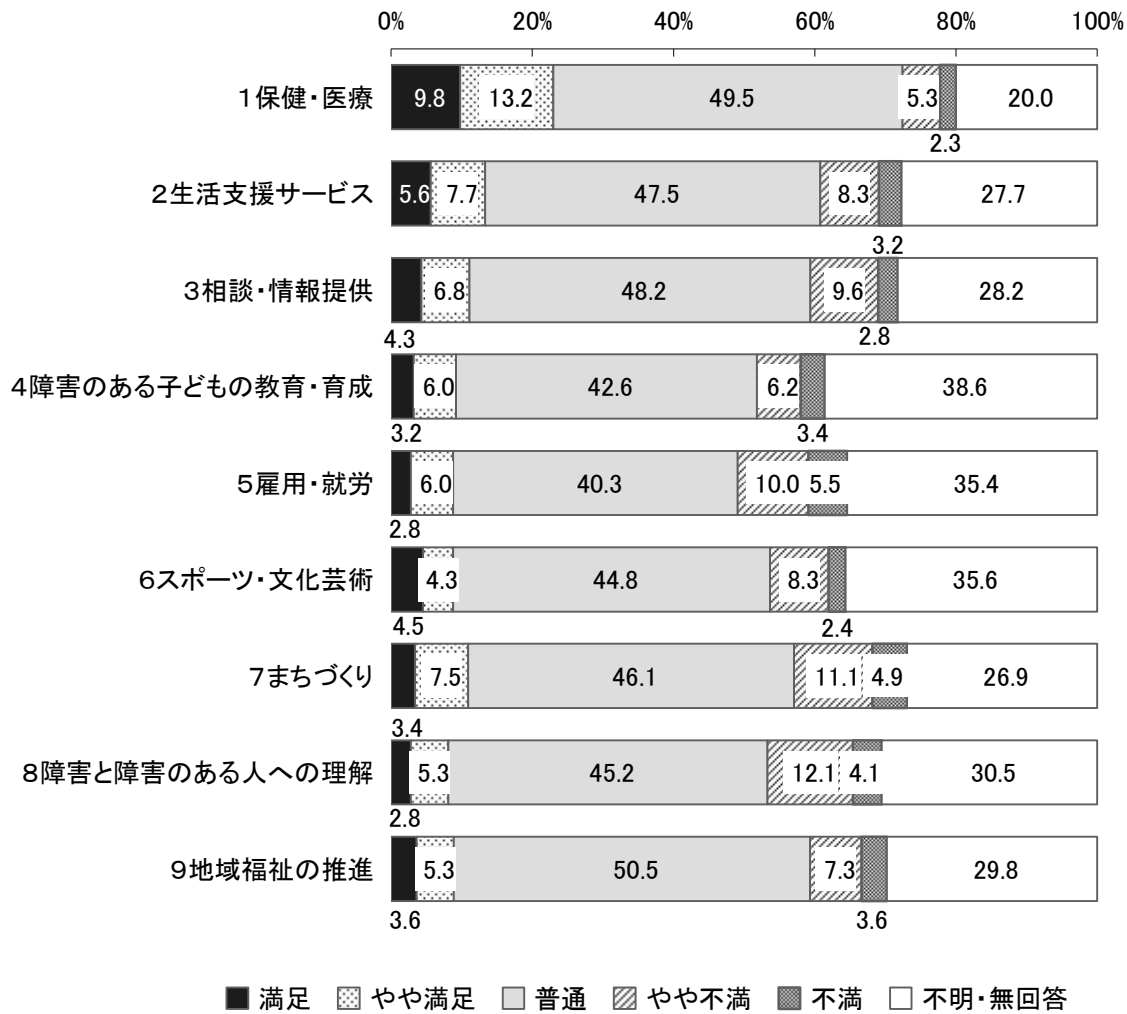
I. 重点取組エリア 満足度は低い、重要度が高い ⇒特に取り組むべき施策	II. 継続取組エリア 満足度が高く、重要度も高い ⇒継続して取り組むべき施策
満足度が低く、重要度も低い ⇒現状どおりで進め、施策の重要度を高めるための取組みを進める施策	満足度は高いが、重要度が低い ⇒現状どおりで進め、状況によっては見直しを行う必要のある施策
III. 取組強化エリア	IV. 取組検討エリア

身体障害の施策の満足度は、「満足」「やや満足」が「1 保健・医療」で23.0%、「不満」「やや不満」が「8 障害と障害のある人への理解」で16.2%と、それぞれ最も高くなっています。

また、施策の重要度は、「重要」「やや重要」が「1 保健・医療」で53.5%、「重要でない」「あまり重要でない」が「6 スポーツ・芸術文化」で3.4%と、それぞれ最も高くなっています。

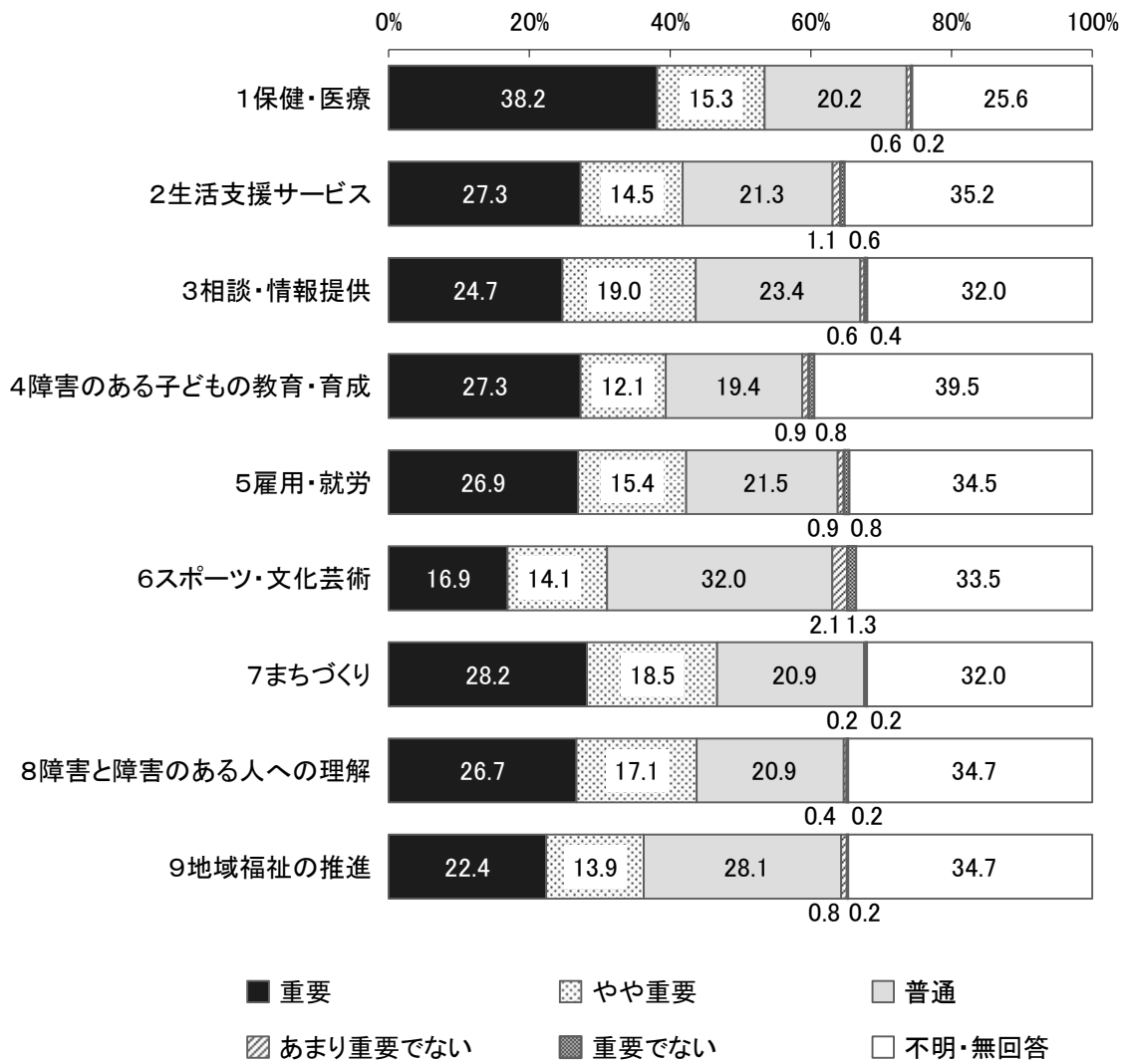
■身体障害（満足度）

・ N=531



■身体障害（重要度）

・ N=531



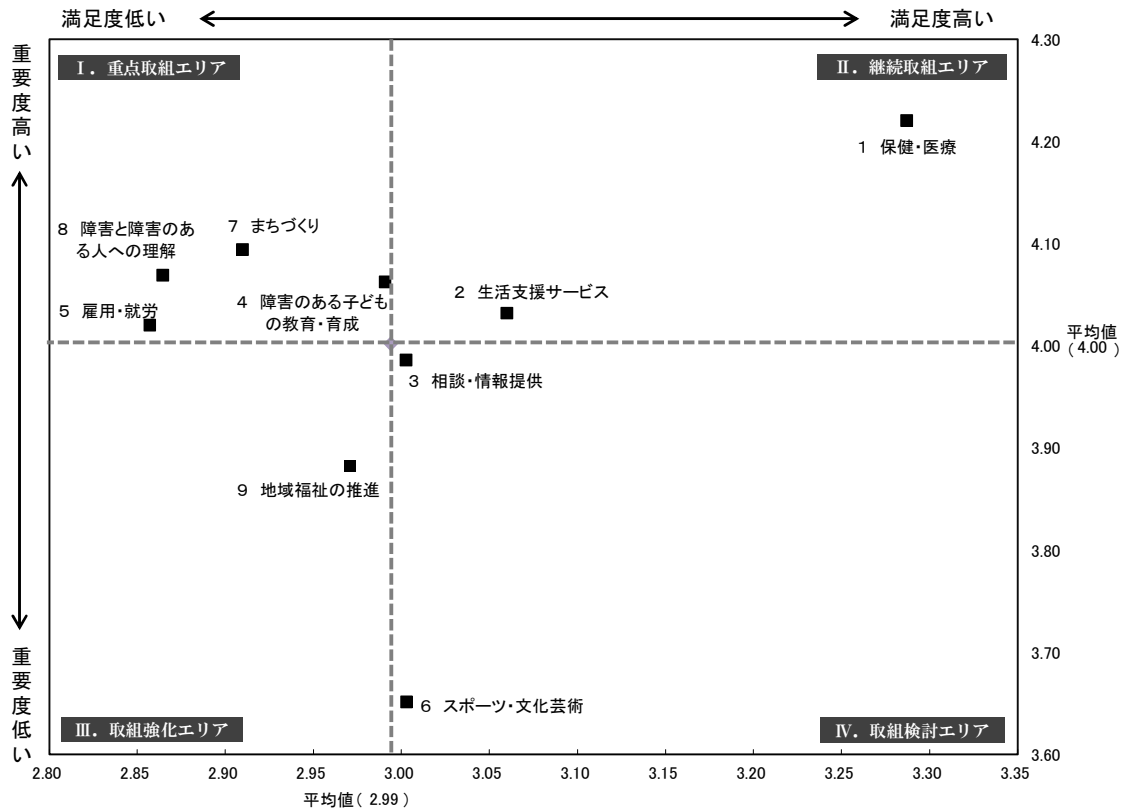
■満足度・重要度のポートフォリオ分析

身体障害では、『I. 重点取組エリア』には、「4 障害のある子どもの教育・育成」「5 雇用・就労」「7 まちづくり」「8 障害と障害のある人への理解」の4項目が該当しています。

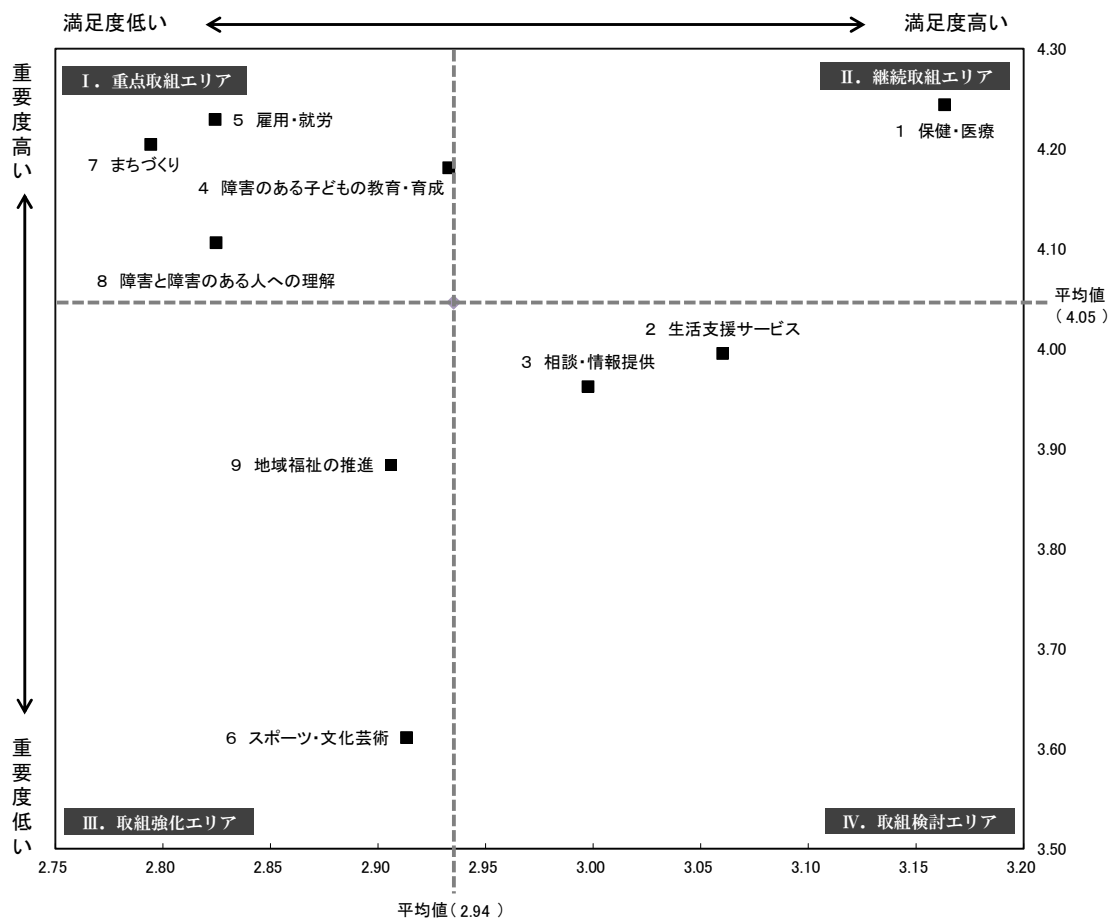
『II. 継続取組エリア』には、「1 保健・医療」の2項目が該当しています。

『III. 取組強化エリア』には、「9 地域福祉の推進」が該当しています。

『IV. 取組検討エリア』には、「3 相談・情報提供」「6 スポーツ・文化芸術」の2項目が該当しています。



◆H28 年調査参考（身体障害）



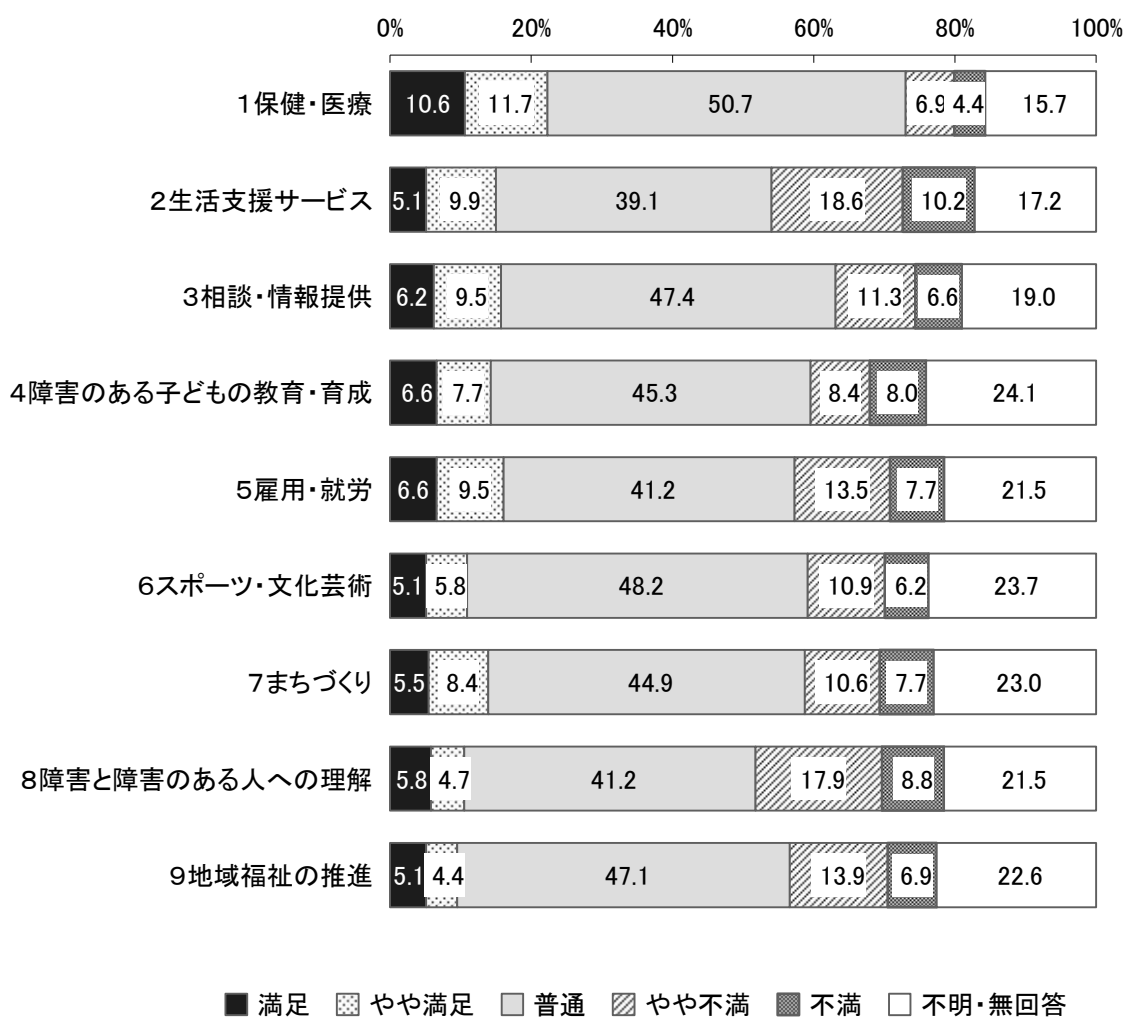
※調査対象が平成 28 年度調査は全年齢、今回調査は 18 歳以上と異なっているため、参考値として掲載。

知的障害の施策の満足度は、「満足」「やや満足」が「1 保健・医療」で22.3%、「不満」「やや不満」が「2生活支援サービス」で28.8%と、それぞれ最も高くなっています。

また、施策の重要度は、「重要」「やや重要」が「7 まちづくり」と「8 障害と障害のある人への理解」で54.4%、「重要でない」「あまり重要でない」が「6 スポーツ・芸術文化」で6.2%と、それぞれ最も高くなっています。

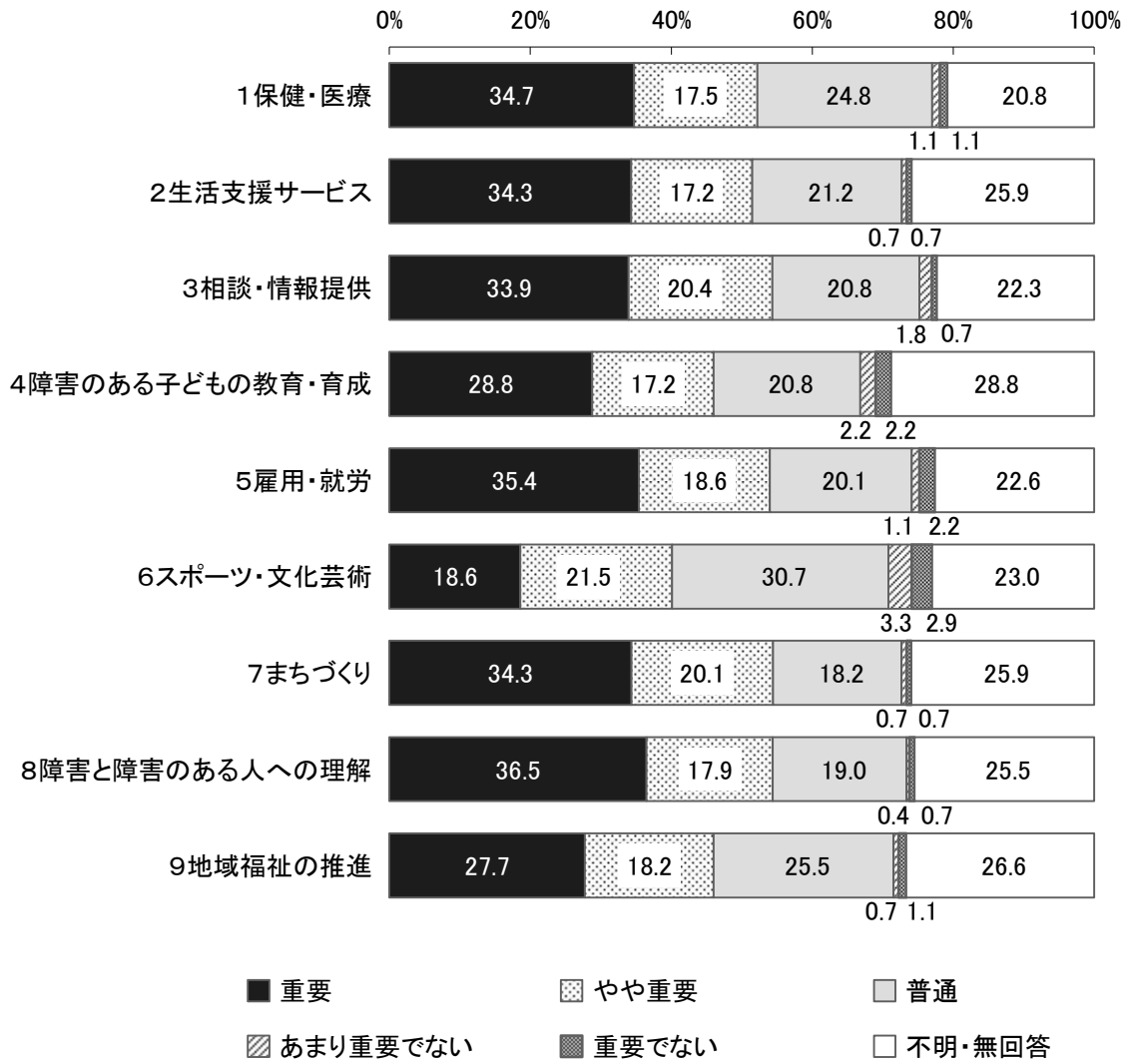
■知的障害（満足度）

・ N=274



■知的障害（重要度）

・ N=274



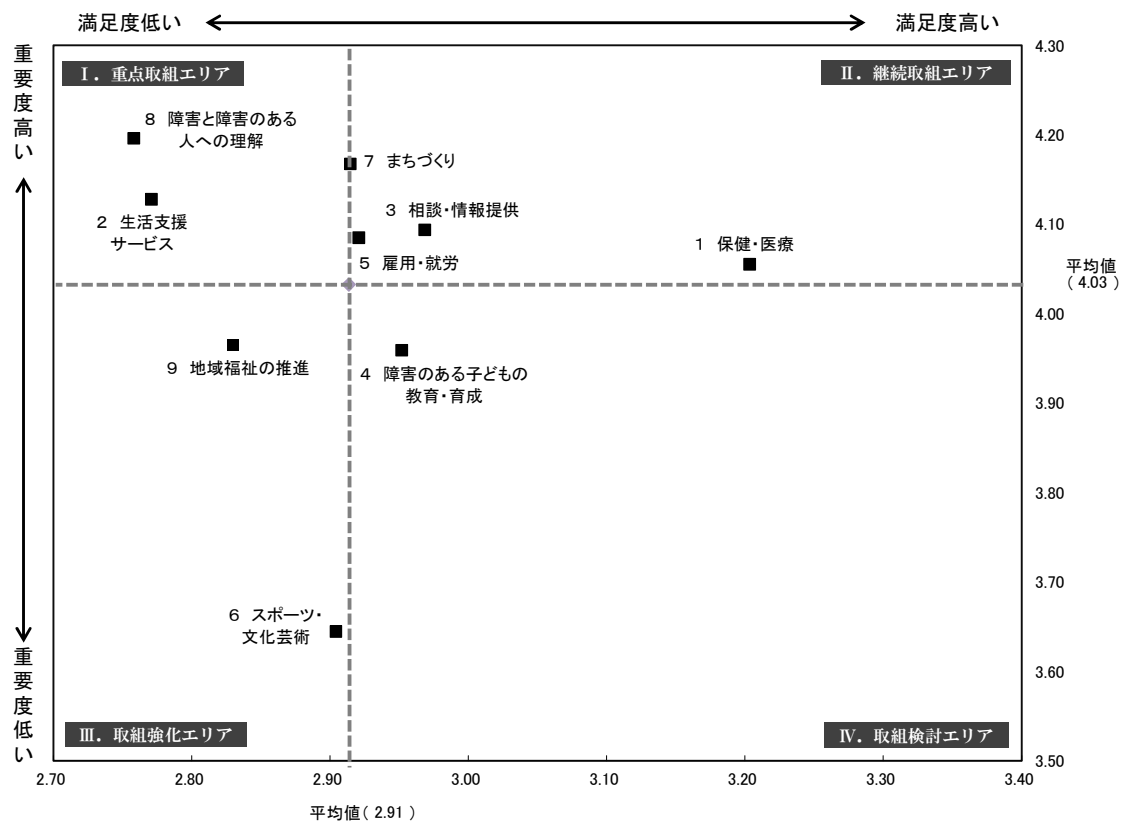
■満足度・重要度のポートフォリオ分析

知的障害では、『Ⅰ.重点取組エリア』には、「2 生活支援サービス」「8 障害と障害のある人への理解」の2項目が該当しています。

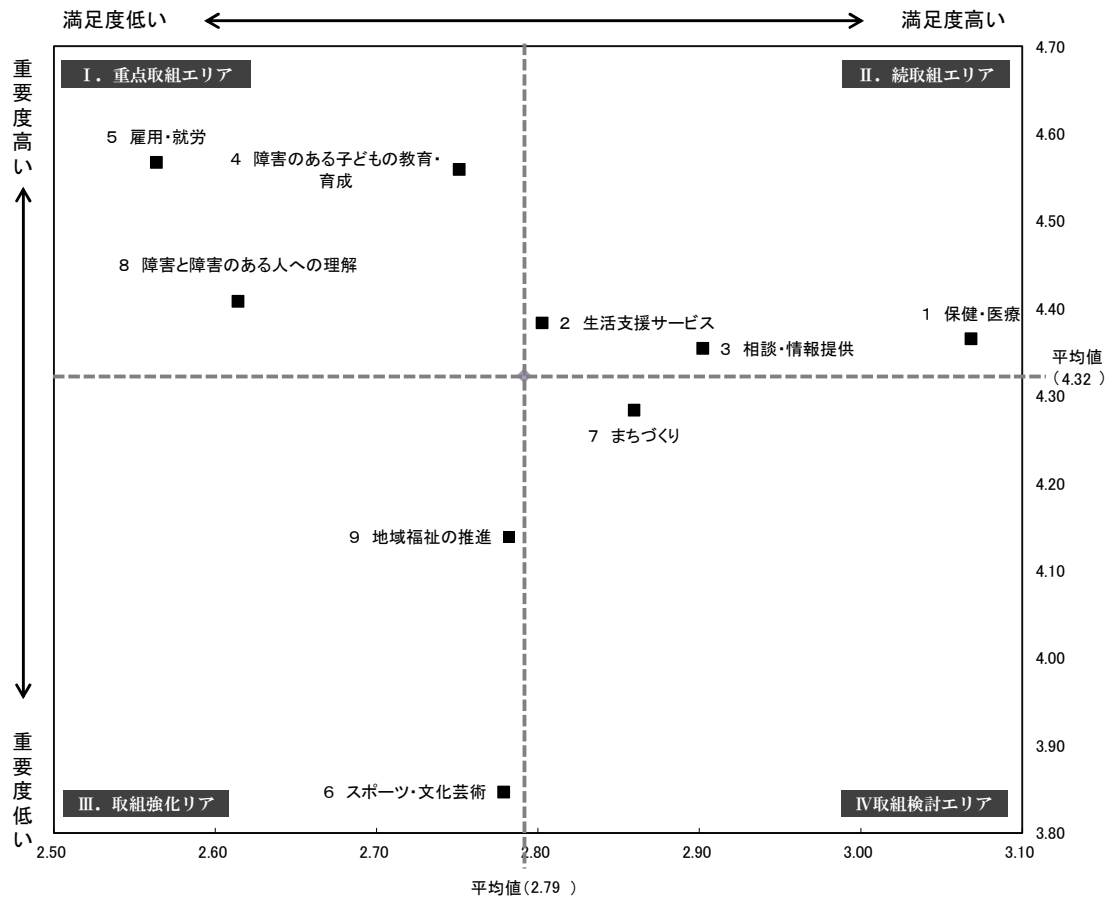
『Ⅱ.継続取組エリア』には、「1 保健・医療」「3 相談・情報提供」「5 雇用・就労」「7 まちづくり」の4項目が該当しています。

『Ⅲ.取組強化エリア』には、「6 スポーツ・文化芸術」「9 地域福祉の推進」の2項目が該当しています。

『Ⅳ.取組検討エリア』には、「4 障害のある子どもの教育・育成」が該当しています。



◆H28 年調査(参考) (知的障害)



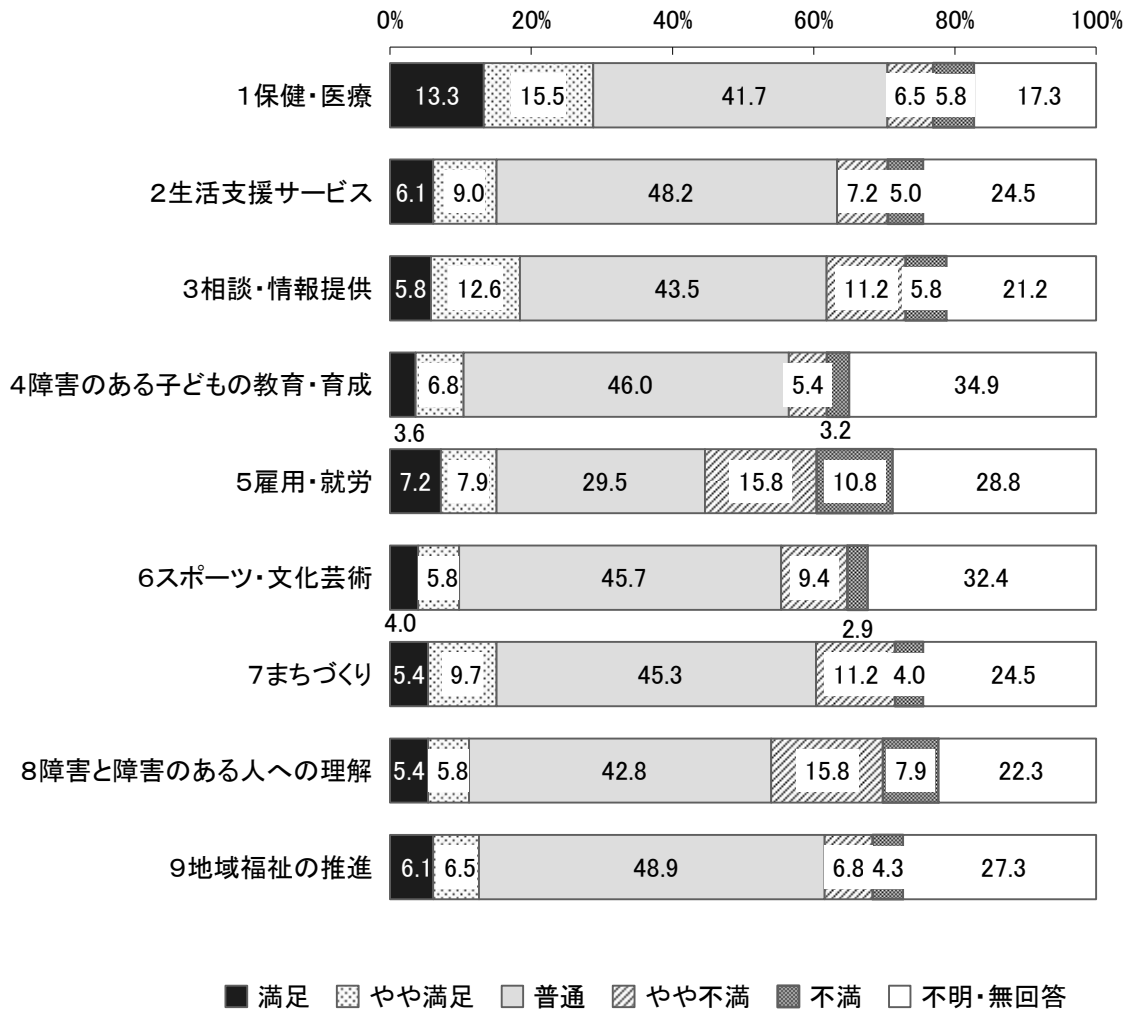
※調査対象が平成 28 年度調査は全年齢、今回調査は 18 歳以上と異なっているため、参考値として掲載。

精神障害の施策の満足度は、「満足」「やや満足」が「1 保健・医療」で28.8%、「不満」「やや不満」が「5 雇用・就労」で26.6%と、それぞれ最も高くなっています。

また、施策の重要度は、「重要」「やや重要」が「5 雇用・就労」で55.4%、「重要でない」「あまり重要でない」が「6 スポーツ・芸術文化」で4.4%と、それぞれ最も高くなっています。

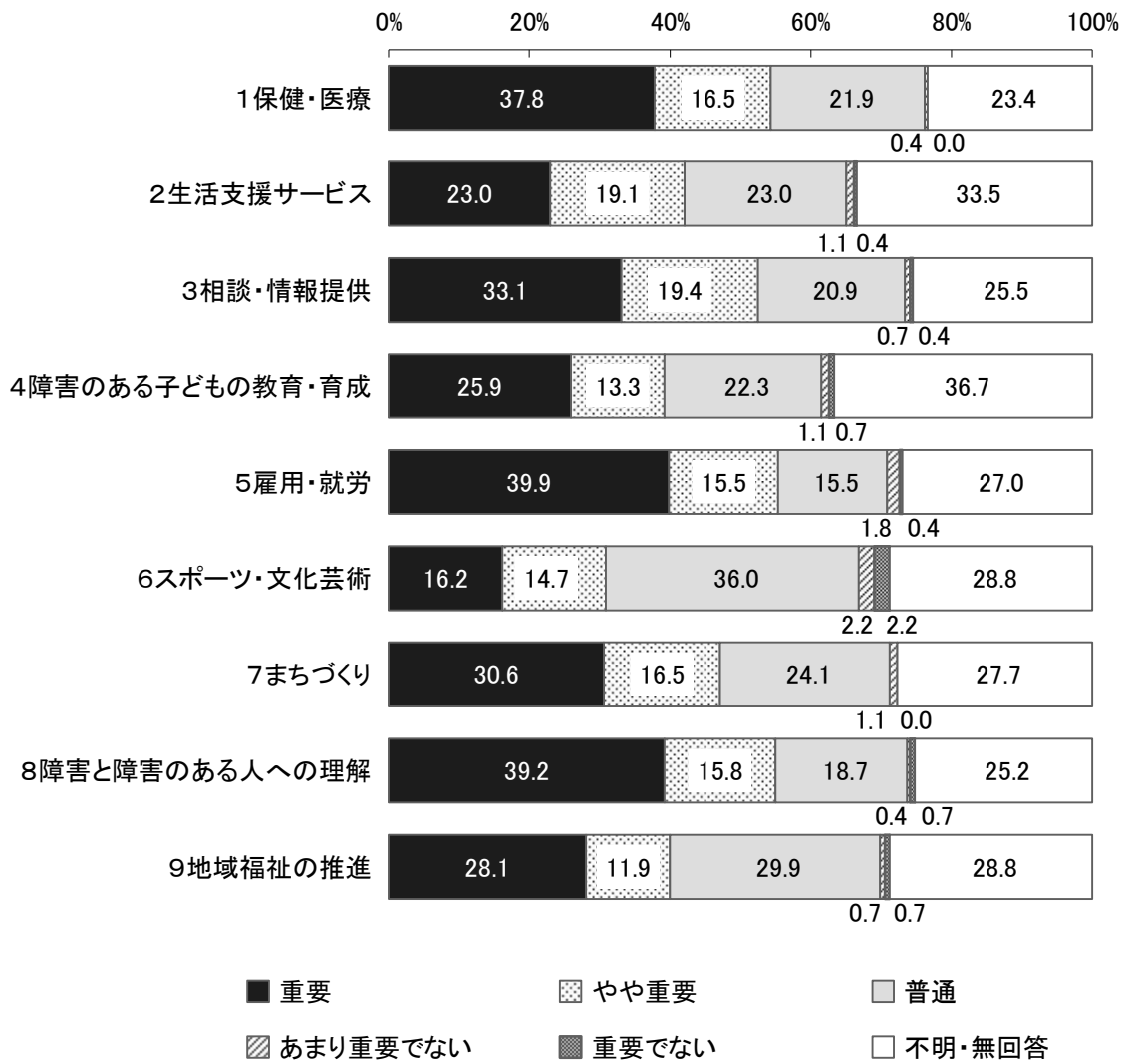
■精神障害（満足度）

・ N=278



■精神障害（重要度）

・ N=278



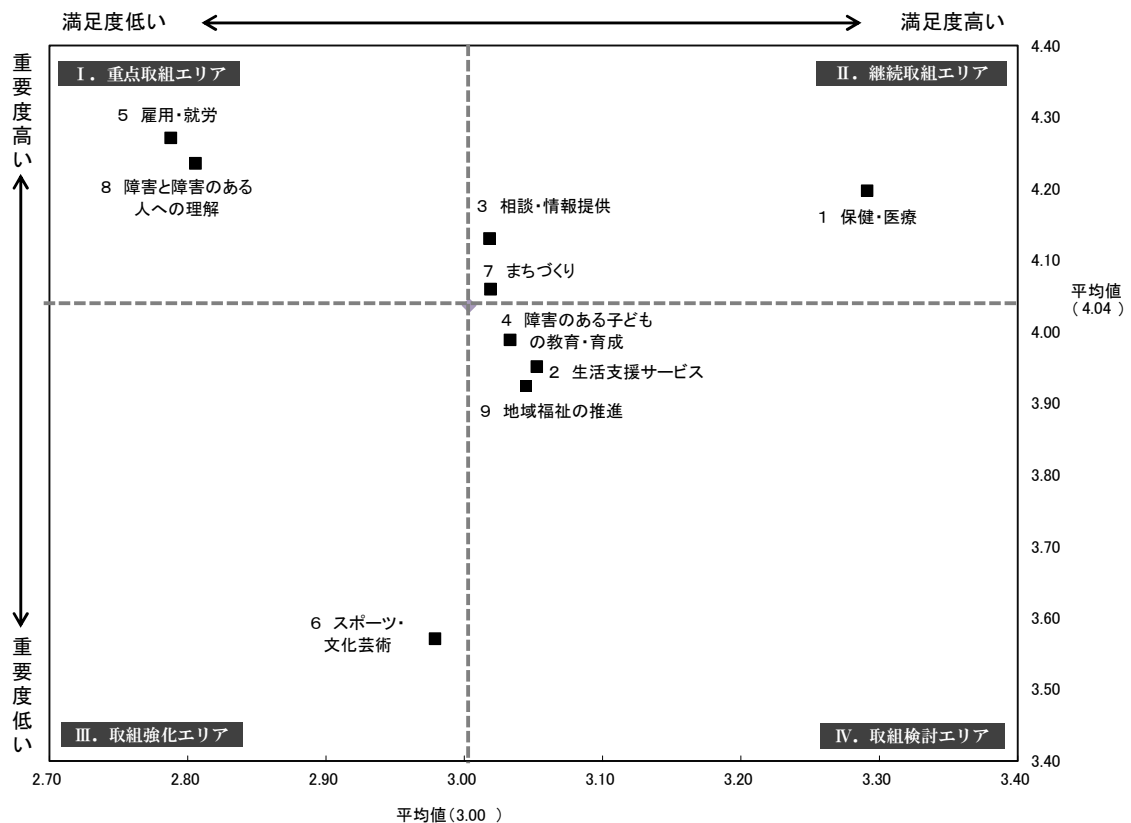
■満足度・重要度のポートフォリオ分析

精神障害では、『Ⅰ.重点取組エリア』には、「5 雇用・就労」「8 障害と障害のある人への理解」の2項目が該当しています。

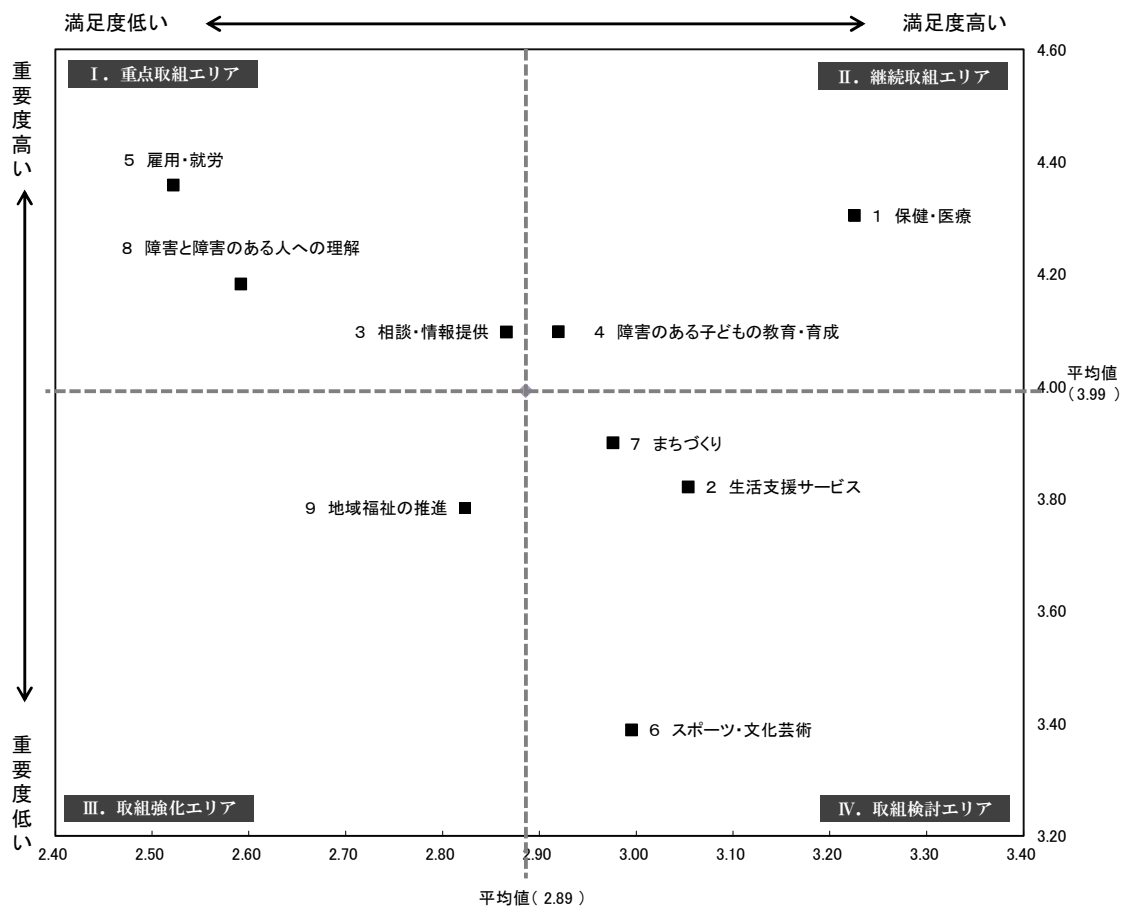
『Ⅱ.継続取組エリア』には、「1 保健・医療」「3 相談・情報提供」「7 まちづくり」の3項目が該当しています。

『Ⅲ.取組強化エリア』には、「6 スポーツ・文化芸術」が該当しています。

『Ⅳ.取組検討エリア』には、「2 生活支援サービス」「4 障害のある子どもの教育・育成」「9 地域福祉の推進」の3項目が該当しています。



◆H28年調査(参考)(精神障害)



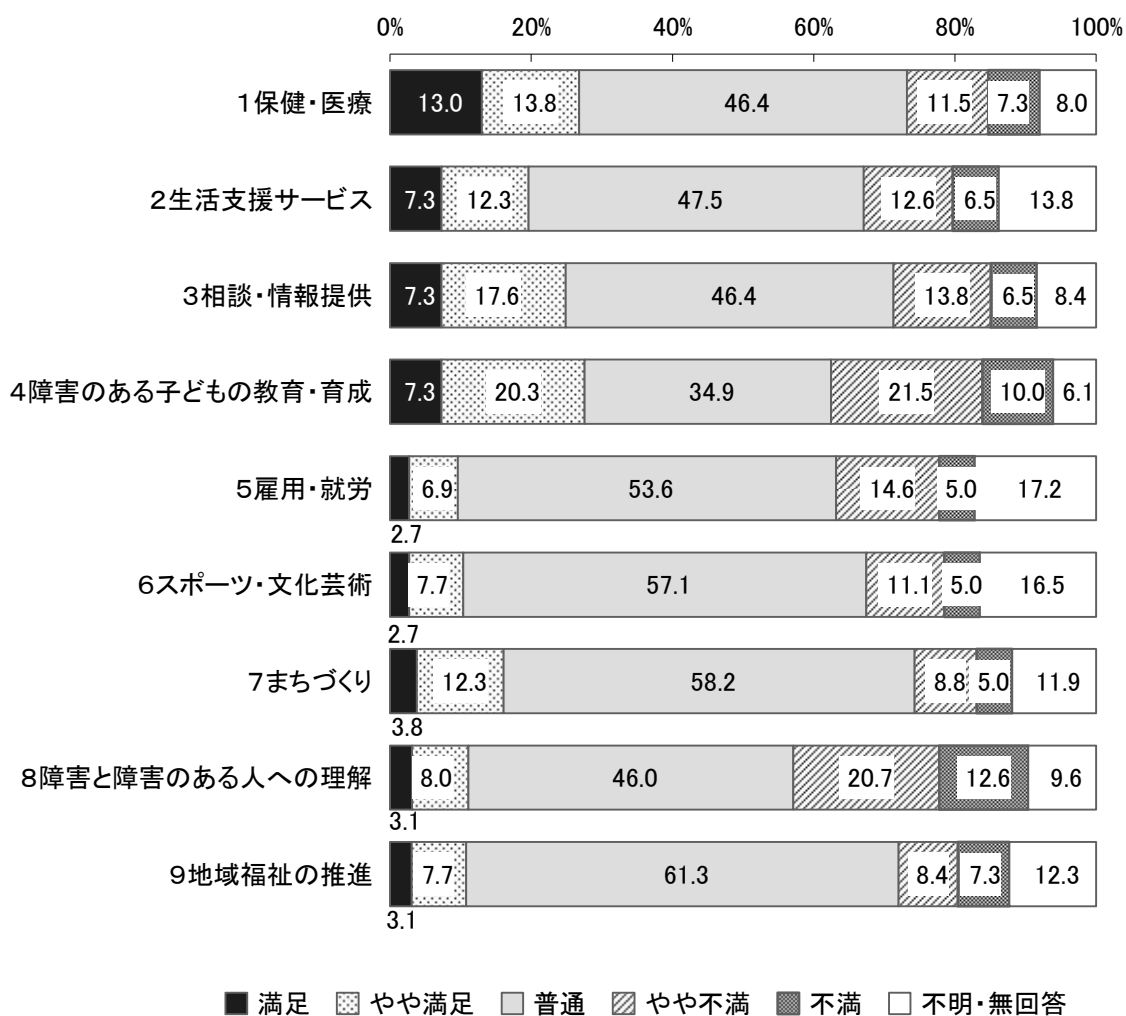
※調査対象が平成28年度調査は全年齢、今回調査は18歳以上と異なっているため、参考値として掲載。

障害児の施策の満足度は、「満足」「やや満足」が「4 障害のある子どもの教育・育成」で27.6%、「不満」「やや不満」が「8 障害者と障害のある人への理解」で33.3%と、それぞれ最も高くなっています。

また、施策の重要度は、「重要」「やや重要」が「4 障害のある子どもの教育・育成」で85.1%、「重要でない」「あまり重要でない」が「6 スポーツ・芸術文化」で7.2%と、それぞれ最も高くなっています。

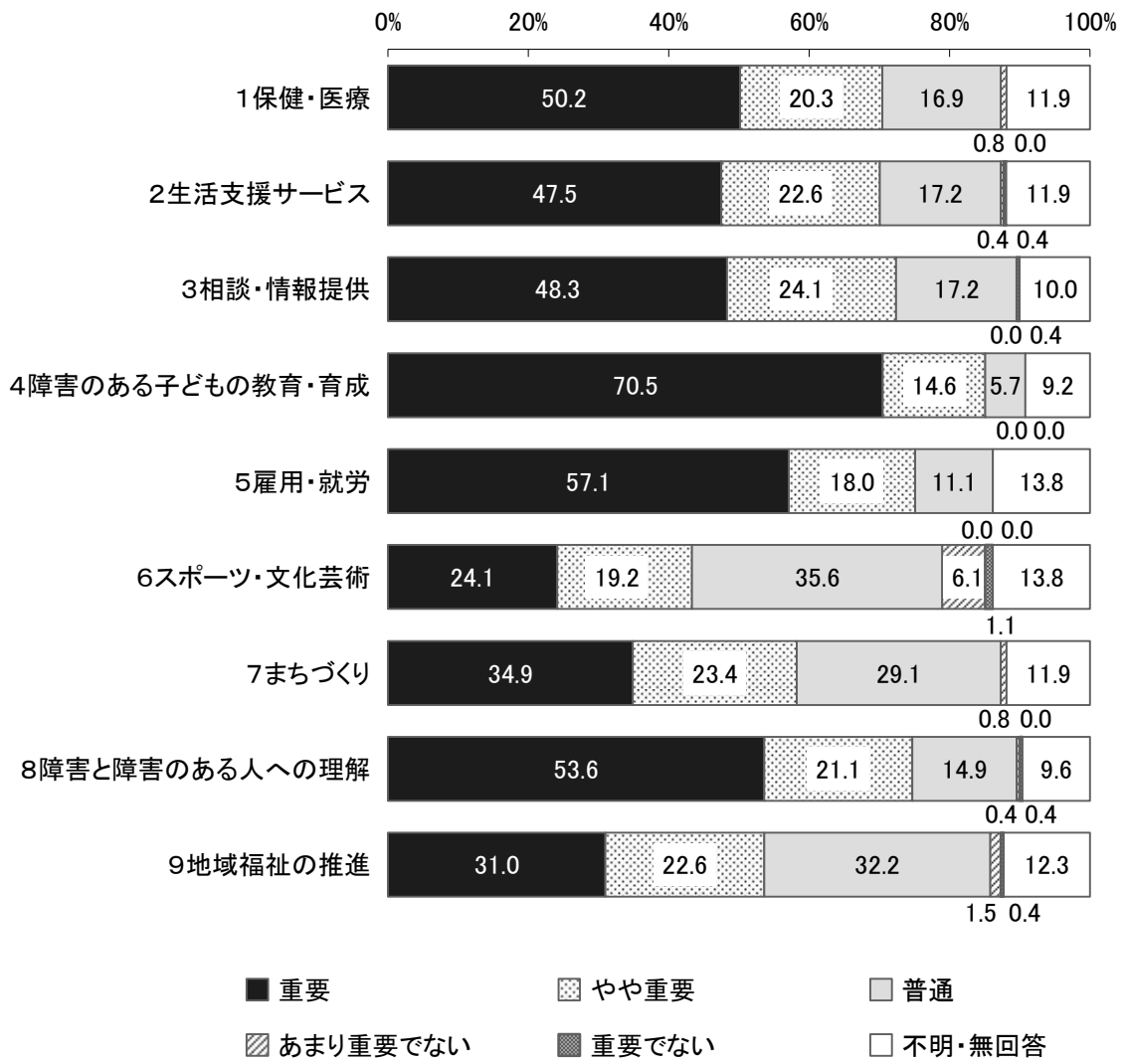
■障害児（満足度）

・ N=261



■障害児（重要度）

・ N=261



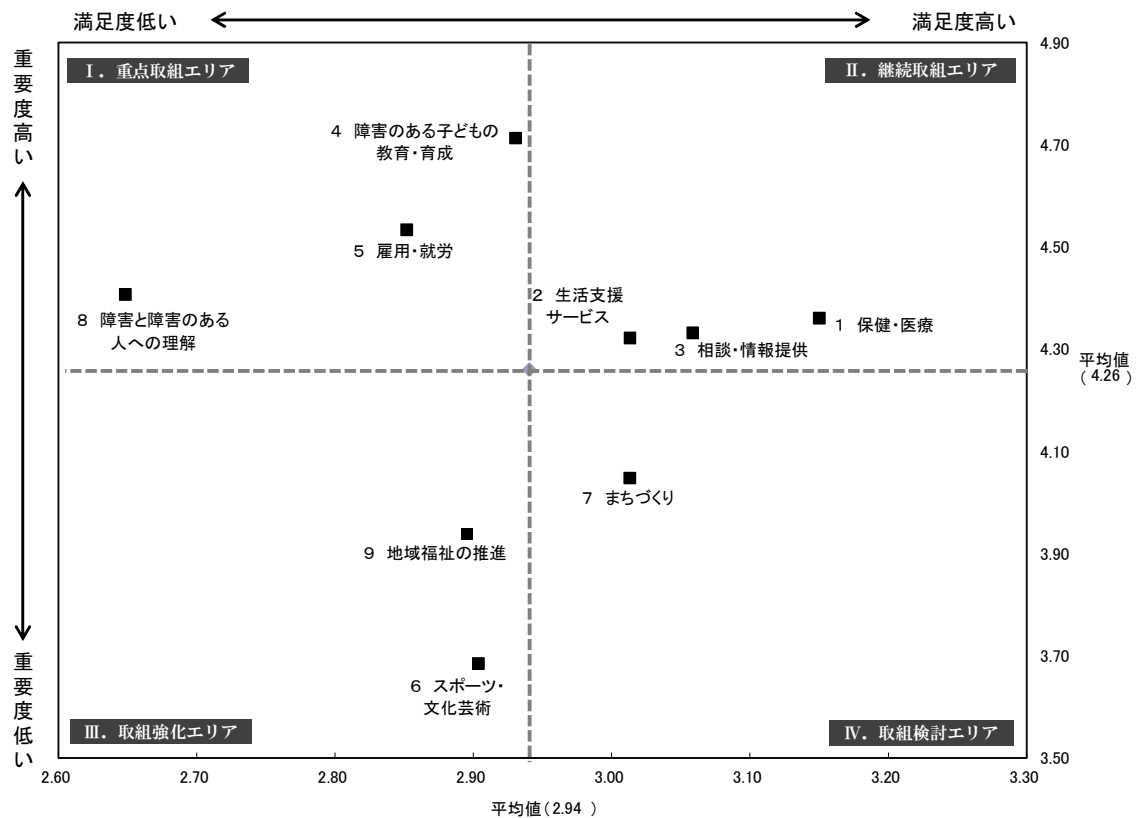
■満足度・重要度のポートフォリオ分析

障害児では、『Ⅰ.重点取組エリア』には、「4 障害のある子どもの教育・育成」「5 雇用・就労」「8 障害と障害のある人への理解」の3項目が該当しています。

『Ⅱ.継続取組エリア』には、「1 保健・医療」「2 生活支援サービス」「3 相談・情報提供」の3項目が該当しています。

『Ⅲ.取組強化エリア』には、「6 スポーツ・文化芸術」「9 地域福祉の推進」の2項目が該当しています。

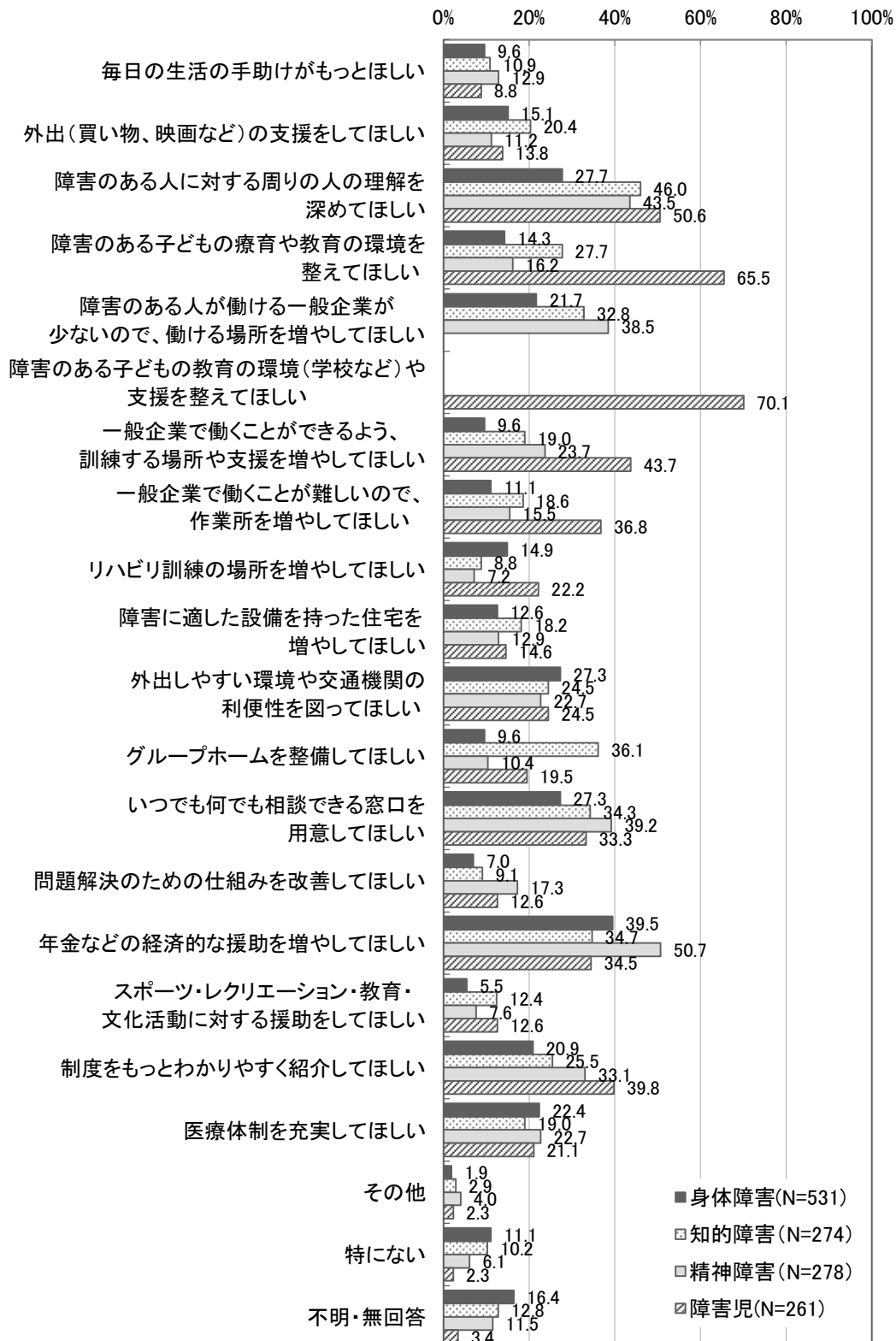
『Ⅳ.取組検討エリア』には、「7 まちづくり」が該当しています。



67 あなたが暮らしやすくなるために、特にしてほしいことはどのようなことですか。してほしいと思われることすべてに○をつけてください。

(複数回答: 障害者問 58、障害児問 51)

暮らしやすくなるための要望は、「年金などの経済的な援助を増やしてほしい」が身体障害で 39.5%、精神障害で 50.7%、「障害のある人に対する周りの人の理解を深めてほしい」が知的障害で 46.0%、「障害のある子どもの教育の環境（学校など）や支援を整えてほしい」が障害児で 70.1%と、それぞれ最も高くなっています。



年齢別でみると、18～39歳で「グループホームを整備してほしい」が30.5%と、他の年代と比べて高くなっています。

■年齢区分別クロス集計

(単位：%)

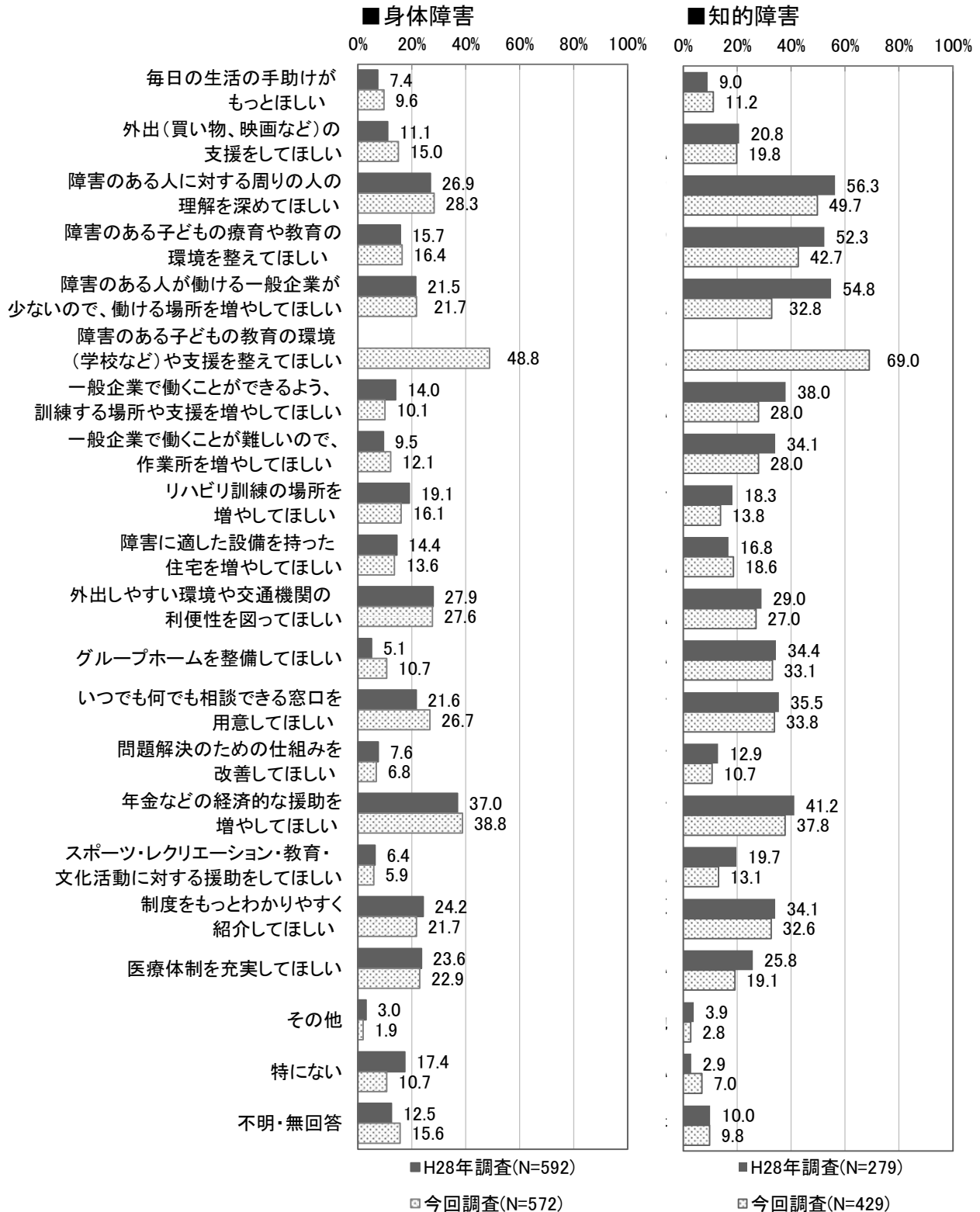
区分	毎日の生活の手助けがもっとほしい	外出(買い物、映画など)の支援をしてほしい	障害のある人に対する周りの人の理解を深めてほしい	障害のある子どもの療育や教育の環境を整えてほしい	障害のある人が働ける一般企業が少ないので、働ける場所を増やしてほしい	一般企業で働くことができるよう、訓練する場所や支援を増やしてほしい	一般企業で働くことが難しいので、作業所を増やしてほしい	リハビリ訓練の場所を増やしてほしい	障害に適した設備を持った住宅を増やしてほしい	外出しやすい環境や交通機関の利便性を図ってほしい
【年齢区分別】										
18～39歳(N=279)	11.8	16.5	50.5	30.5	42.3	26.2	17.9	8.6	17.9	24.7
40～64歳(N=330)	8.2	14.5	39.1	14.2	33.6	19.7	18.5	8.2	13.9	22.4
65歳以上(N=326)	9.8	12.0	16.9	12.3	15.0	4.0	6.7	15.0	9.8	26.4

区分	グループホームを整備してほしい	いつでも何でも相談できる窓口を用意してほしい	問題解決のための仕組みを改善してほしい	年金などの経済的な援助を増やしてほしい	スポーツ・レクリエーション・教育・文化活動に対する援助をしてほしい	制度をもっとわかりやすく紹介してほしい	医療体制を充実してほしい	その他	特になし	不明・無回答
【年齢区分別】										
18～39歳(N=279)	30.5	37.6	14.7	43.0	11.1	33.7	20.8	3.2	9.7	7.5
40～64歳(N=330)	11.2	32.4	11.2	47.0	8.2	26.4	21.8	2.7	8.8	11.2
65歳以上(N=326)	6.1	24.8	4.0	34.0	3.7	17.5	20.2	2.1	10.7	23.0

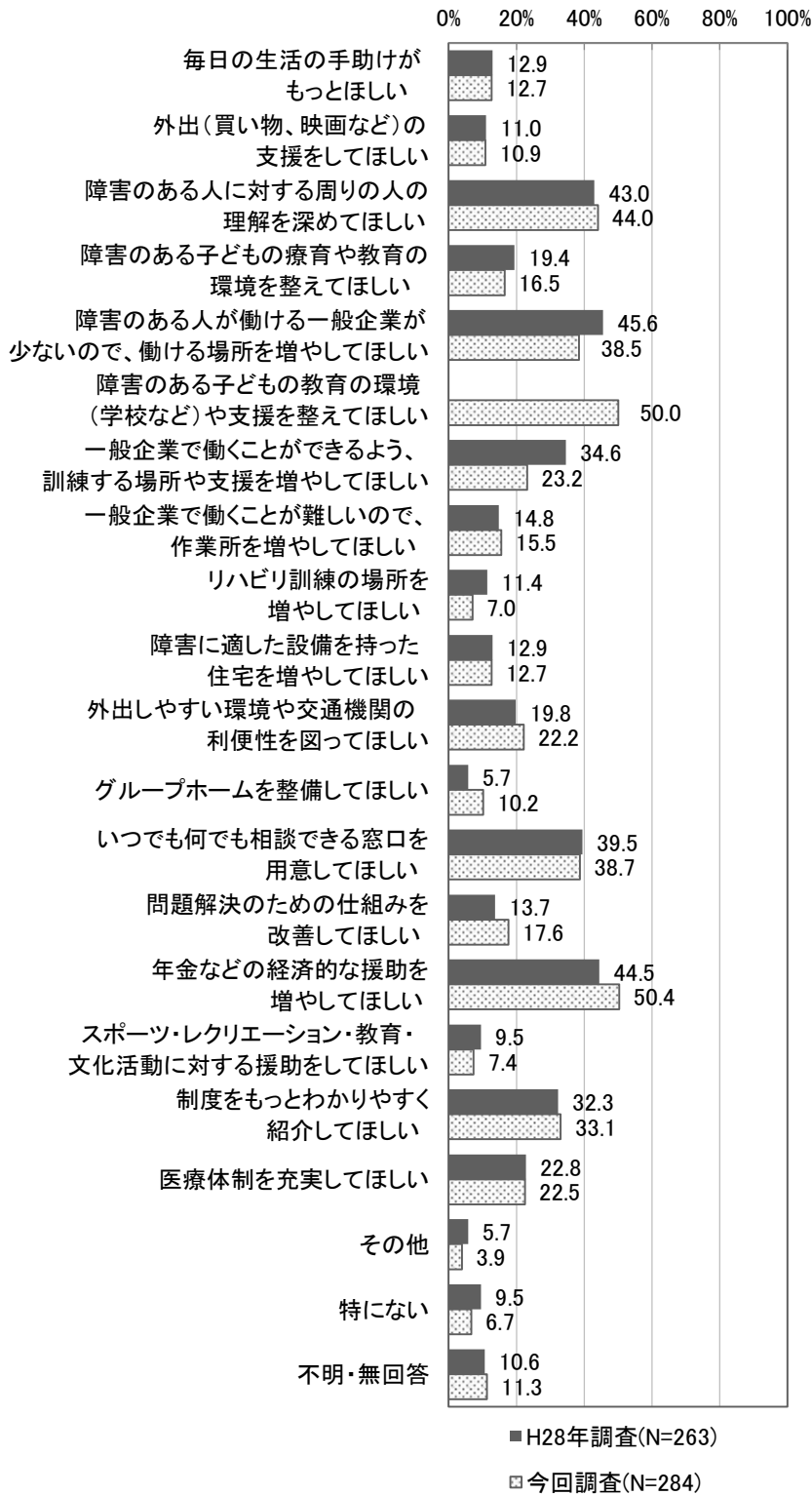
※障害児調査には「障害のある人が働ける一般企業が少ないので、働ける場所を増やしてほしい」の選択肢なし、障害者調査には「障害のある子どもの教育の環境(学校など)や支援を整えてほしい」の選択肢なし。

◆経年比較

H28年調査と比較すると、身体障害で「グループホームを整備してほしい」が5.6ポイント、精神障害で「年金などの経済的な援助を増やしてほしい」が5.9ポイントそれぞれ高くなっています。



■精神障害



※障害児調査の選択肢「障害のある子どもの教育の環境(学校など)や支援を整えてほしい」は、今回調査の新規選択肢である。選択肢「障害のある人が働ける一般企業が少ないので、働ける場所を増やしてほしい」の今回調査数値は、障害者のみの値である。

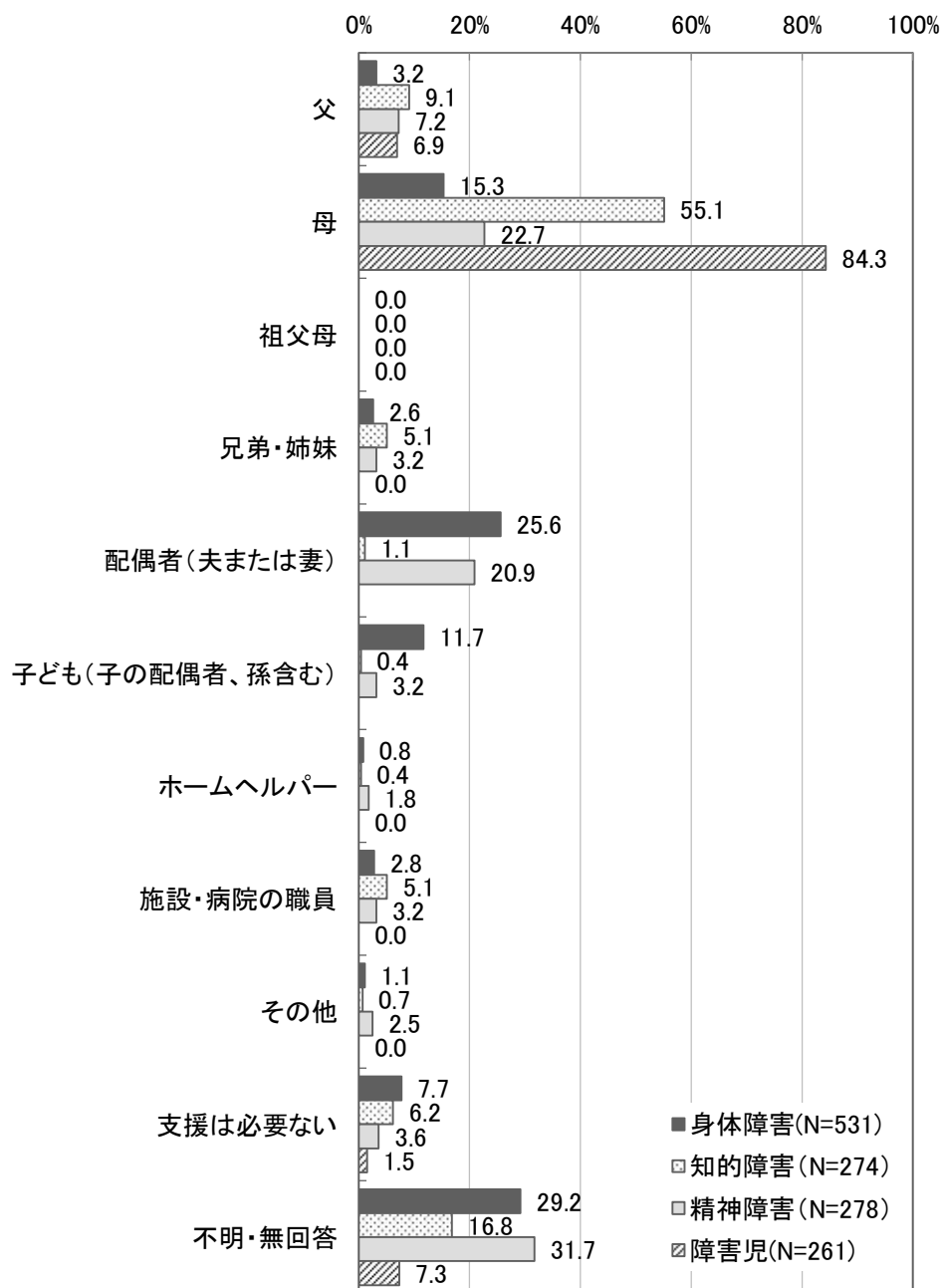
※今回調査における障害者と障害児の回答者を合算しているため、今回調査のN数と異なる。

(14) 支援者について

68 調査の対象者(障害のある方)を支援している方は主にどなたですか。主な方1名についてお答えください。

(単数回答: 障害者問 59、障害児問 52)

主な支援者は、「配偶者(夫または妻)」が身体障害で25.6%、「母」が知的障害で55.1%、精神障害で22.7%、障害児で84.3%と、それぞれ最も高くなっています。



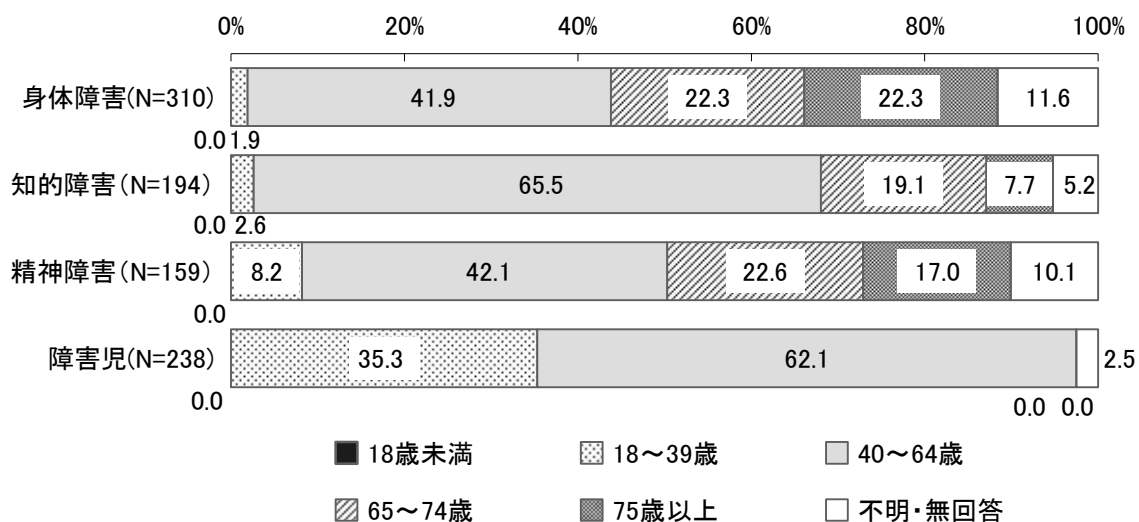
※障害児調査には「配偶者(夫または妻)」と「子ども(子の配偶者、孫含む)」の選択肢なし。

69 主な支援者の年齢は、何歳ですか。

※68 で「父」「母」「祖父母」「兄弟・姉妹」「配偶者」「子ども(子の配偶者、孫含む)」と回答した方

(数量回答: 障害者問 60、障害児問 53)

主な支援者の年齢は、「40～64歳」が身体障害で41.9%、知的障害で65.5%、精神障害で42.1%、障害児で62.1%と、それぞれ最も高くなっています。

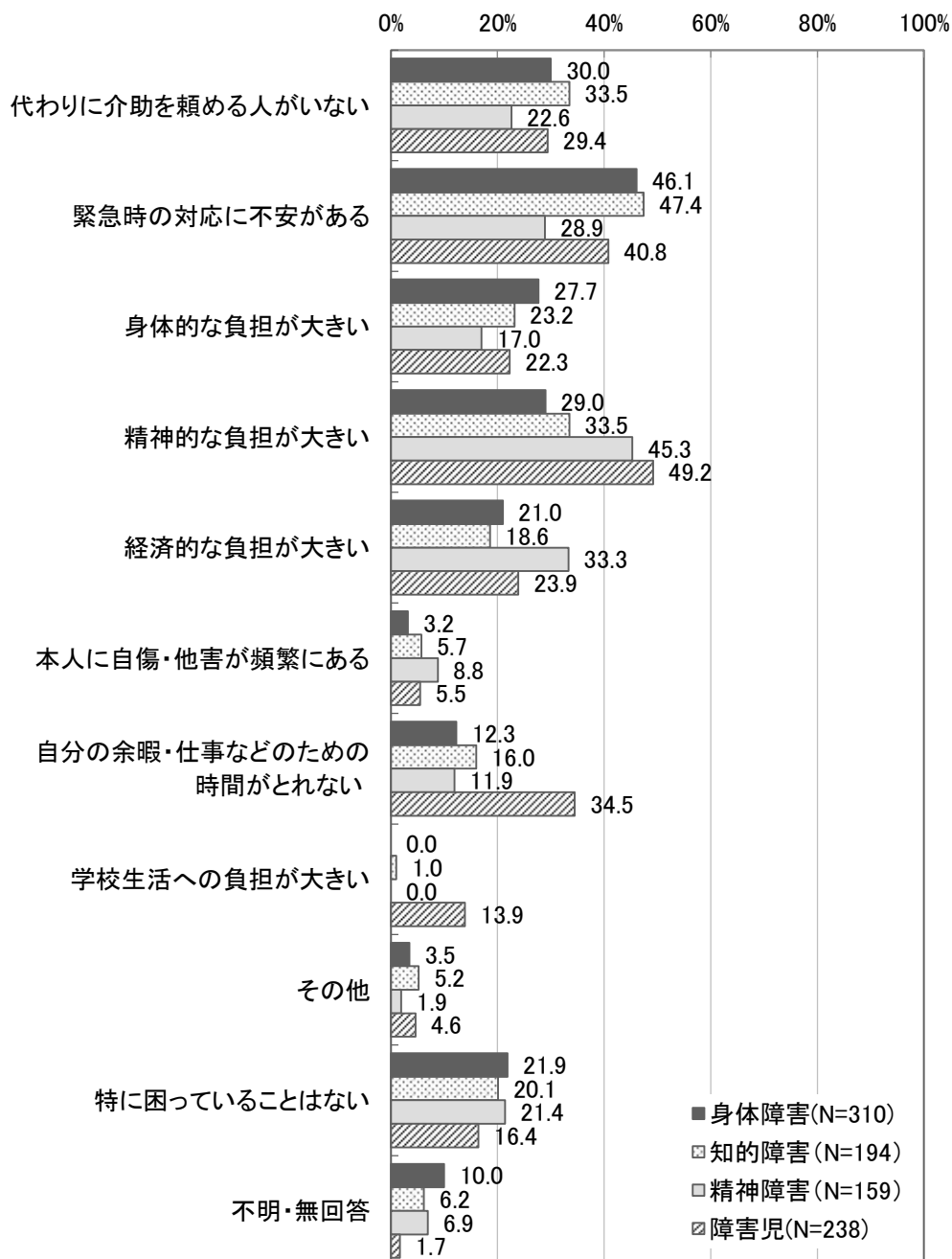


70 介助について、困っていることは何ですか。

※68 で「父」「母」「祖父母」「兄弟・姉妹」「配偶者」「子ども(子の配偶者、孫含む)」と回答した方

(複数回答: 障害者問 61、障害児問 54)

介助について困っていることは、「緊急時の対応に不安がある」が身体障害で46.1%、知的障害で47.4%、「精神的な負担が大きい」が精神障害で45.3%、障害児で49.2%と、それぞれ最も高くなっています。なお、「自分の余暇・仕事などのための時間がとれない」が障害児で34.5%となっています。



当事者の年齢別で見ると、65歳以上で「身体的な負担が大きい」が25.4%と、他の年代と比べて高くなっています。

■年齢区分別クロス集計(当事者)

(単位：%)

区分	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	本人に自傷・他害が頻繁にある
【年齢区分別】						
18～39歳(N=195)	28.2	42.1	19.0	33.8	22.6	6.2
40～64歳(N=168)	23.8	37.5	20.2	35.7	27.4	4.2
65歳以上(N=189)	31.2	42.3	25.4	29.1	21.2	2.6

区分	自分の余暇・仕事などのための時間がとれない	学校生活への負担が大きい	その他	特に困っていることはない	不明・無回答
【年齢区分別】					
18～39歳(N=195)	15.4	1.0	5.6	22.6	6.2
40～64歳(N=168)	10.1	0.0	1.2	21.4	7.7
65歳以上(N=189)	12.2	0.0	4.2	24.9	11.1

支援者の年齢別で見ると、18～39歳で「経済的な負担が大きい」が39.1%、75歳以上で「身体的な負担が大きい」が33.7%と、他の年代と比べてそれぞれ高くなっています。

■年齢区分別クロス集計(支援者)

(単位：%)

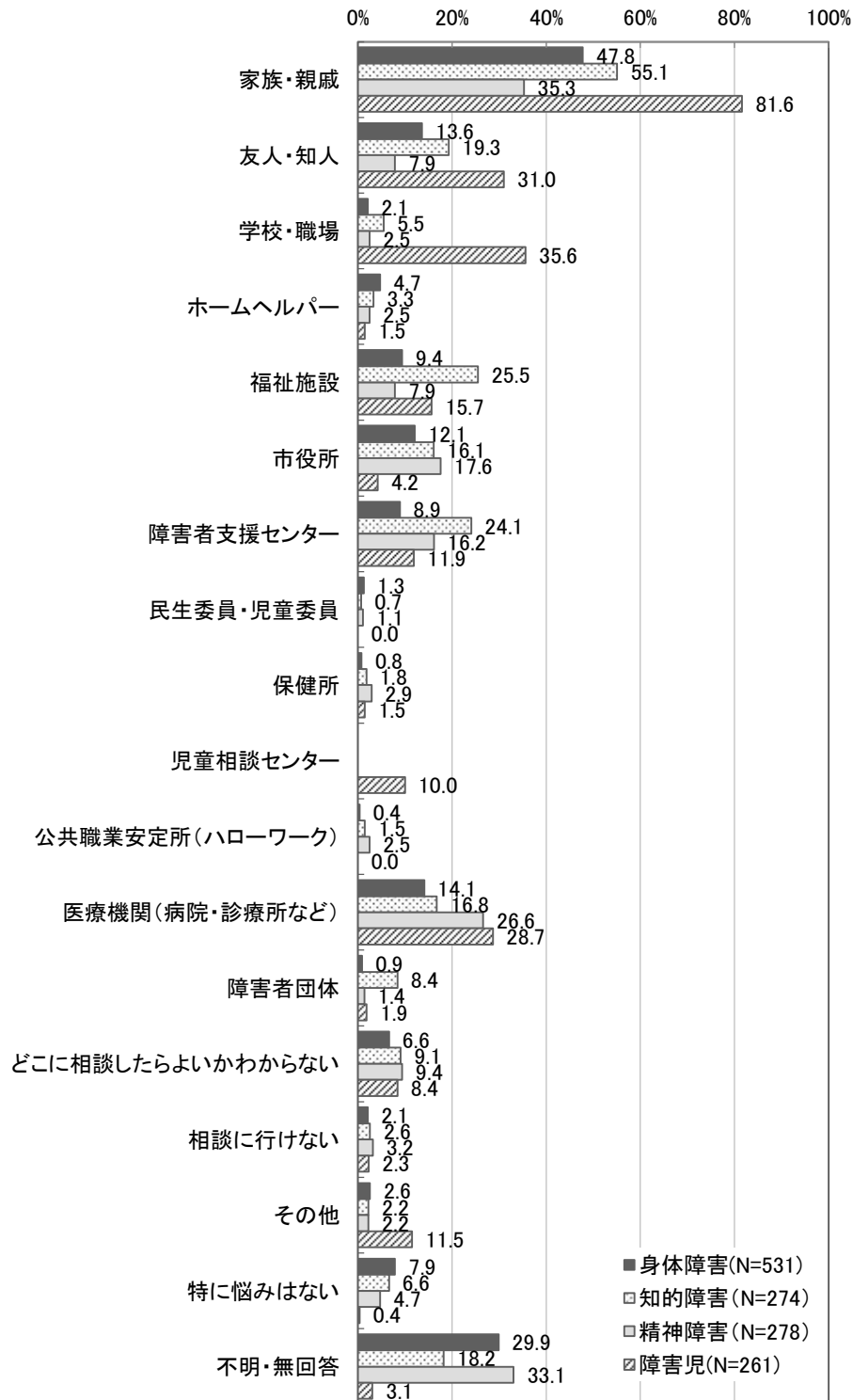
区分	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	本人に自傷・他害が頻繁にある
【年齢区分別】						
18～39歳(N=23)	17.4	39.1	4.3	30.4	39.1	8.7
40～64歳(N=273)	29.7	45.1	19.4	34.8	24.2	4.0
65～74歳(N=125)	31.2	45.6	25.6	32.0	27.2	4.0
75歳以上(N=95)	29.5	33.7	33.7	40.0	21.1	6.3

区分	自分の余暇・仕事などのための時間がとれない	学校生活への負担が大きい	その他	特に困っていることはない	不明・無回答
【年齢区分別】					
18～39歳(N=23)	13.0	0.0	8.7	17.4	8.7
40～64歳(N=273)	18.7	0.7	4.0	22.3	3.7
65～74歳(N=125)	8.8	0.0	4.0	23.2	7.2
75歳以上(N=95)	4.2	0.0	0.0	22.9	37.5

71 支援者が困ったときに相談する相手は誰(どこ)ですか。

(複数回答: 障害者問 62、障害児問 55)

相談する相手は、「家族・親戚」が身体障害で47.8%、知的障害で55.1%、精神障害で35.3%、障害児で81.6%と、それぞれ最も高くなっています。なお、知的障害で「福祉施設」が25.5%、「障害者支援センター」が24.1%、精神障害で「医療機関(病院・診療所など)」が26.6%、障害児で「学校・職場」が35.6%と、それぞれ高くなっています。

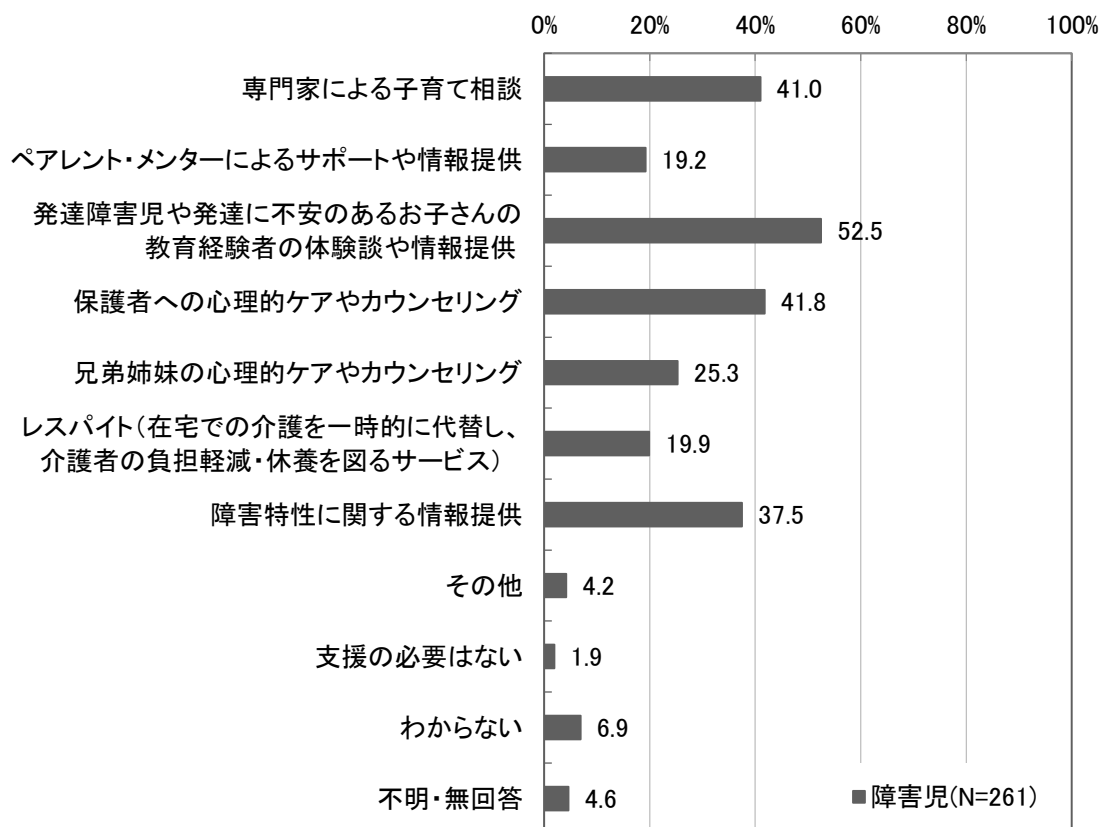


※障害者調査には「児童相談センター」の選択肢なし。

72 保護者や家族へどのような支援が必要ですか。(障害児)

(複数回答: 障害児問 56)

保護者や家族への支援は、「発達障害児や発達に不安のあるお子さんの教育経験者の体験談や情報提供」が52.5%と最も高く、次いで「保護者への心理的ケアやカウンセリング」が41.8%となっています。



3 調査票

かりやししょうがいしゃいかく かりやししょうがいふくしけいかく
刈谷市障害者計画・刈谷市障害福祉計画
 かりやししょうがいふくしけいかく
刈谷市障害児福祉計画策定にかかるアンケート

皆さまには、日本語より福祉意識の醸成にご協力いただき、深くお礼申し上げます。
 刈谷市では、障害のある方の生活意識の向上に向けて、平成30年3月に策定しました「刈谷市障害者計画」、令和3年3月に策定しました「第6期刈谷市障害福祉計画・第2期刈谷市障害児福祉計画」の策定を行います。

あなたをはじめ、市内にお住まいの障害者手帳をお持ちの労務及び障害福祉サービスなどを利用されている方に、この調査票を送らせていただきました。お忙しいところお手紙をおかけいたしますが、安心して暮らせる福祉社会の実現のための基礎資料として活用させていただきますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、本調査は無記名での回答となっており、個人のプライバシーがもれることは決してありません。

令和4年11月
 刈谷市長 稲垣 武

- ご記入について
 - ・該当しないサービスや分からない返事は、ご回答いただくなくてもかまいません。できる限り、多くのご意見をいただきたいと考えておりますので、すべて回答できなくてもご返信をお願いいたします。
 - ・何らかのご事情によりご本人が記入できない場合は、ご家族の労などが代筆してください。
 - ・質問に添削があるものは、あてはまる箇所は○をつけてください。回答が「その他」にあてはまる場合は、()内に詳細にご記入ください。
 - ・特に指定のない限り、令和4年11月1日現在の内容でご記入ください。

- 調査票の送達について
 - ・ご記入いただいた調査票は、封筒の送達用封筒(お手紙袋)に入れ、12月9日(金)までに投函くださいますようお願いいたします。
 - ・インターネットでご回答いただくこともできます。
 - ・若手のQRコードからWebサイトにアクセスし、随時にご回答ください。
 - ・インターネットでご回答いただいた方は、本調査票での回答は不要です。



■調査についてのお問い合わせ
 刈谷市福祉総務課 電話 (0566) 62-1208 FAX (0566) 24-3481
 担当：佐藤、大野 <調査サイトのQRコード>

問1 このアンケートの記入方法について、あてはまるものをお書きください。(○は1つだけ)

- 1 本人(産名の労をいいます。)がご自身で記入
- 2 家族や介護者などが本人に意向を確認しながら、代わりに記入
- 3 本人の意向の確認が難しいため、家族や介護者などが本人の意向をくみとって記入

※これ以降、この調査票が郵送された宛名の労を「あなた」とお呼びしますので、ご本人(この調査票の対象者：障害のある方)の状況などについて、お書きください。

1 あなた(障害のあるご本人)の年齢、ご家族について

問2 あなたの年齢をお書きください。(数字を記入) ※令和4年11月1日現在
 ()歳

問3 あなたの性別をお書きください。(○は1つだけ)
 1 男性 2 女性 3 その他

問4 あなたの居住地(中学校区別)は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)
 ご不明の場合は、お住まいの町名をお書きください。

- 1 富士松中学校区 4 刈谷南中学校区 7 町名
- 2 雁が音中学校区 5 依佐美中学校区 ()
- 3 刈谷東中学校区 6 朝日中学校区

問5 いま、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。(○はいくつでも)
 ※グループホーム、福祉施設などを利用されている方は「6 その他」としてください。

- 1 親 5 子ども(子の配偶者、孫含む)
- 2 祖父母 6 その他()
- 3 兄弟・姉妹 7 いない(一人で暮らしている)
- 4 配偶者(または養)

2 障害の状況について

問6 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

- 1 1級 4 4級 7 持っていない
- 2 2級 5 5級
- 3 3級 6 6級

問13 あなたは、障害者総合支援法の障害支援区分認定を受けていますか。(○は1つだけ)

- 1 区分1
- 2 区分2
- 3 区分3
- 4 区分4
- 5 区分5
- 6 区分6
- 7 非該当
- 8 わからない

問14 あなたは、現在医療的ケアを受けていますか。(○は1つだけ)

- 1 受けている
- 2 受けていない

※ 医療的ケア：たんの吸引や経管栄養などの行為。

※問14で「1 受けている」と回答した方におたずねします。

問15 あなたが現在受けている医療的ケアをお書きください。(○はいくつでも)

- 1 気管切開
- 2 人工呼吸器 (レスピレーター)
- 3 吸入
- 4 吸引
- 5 胃ろう・腸ろう
- 6 経管栄養
- 7 中心静脈栄養 (IVH)
- 8 尿管
- 9 カテーテル留置
- 10 ストーマ (人工肛門・人工膀胱)
- 11 尿管留置
- 12 その他 ()

問16 あなたは重症心身障害の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

- 1 受けている
- 2 受けていない

※ 重症心身障害：重度の身体自由と重度の知的障害とが重複した状態のこと。

3 生活支援について

問17 現住、どこで暮らしていますか。(○は1つだけ)

- 1 自宅でひとり暮らしをしている
- 2 自宅で家族と暮らしている
- 3 福祉施設 (障害者施設、高齢者施設) で暮らしている
- 4 グループホームで暮らしている
- 5 病院に入院中
- 6 その他 ()

問18 今後3年以内、どのような暮らし方を希望しますか。(○は1つだけ)

- 1 自宅でひとり暮らしをしたい
- 2 自宅で家族と一緒に暮らしたい
- 3 福祉施設 (障害者施設、高齢者施設) で暮らしたい
- 4 グループホームなどで仲間と地域で共同生活がしたい
- 5 その他 ()

問7 あなたの障害はどのような障害ですか。身体障害者手帳の内容からお書きください。(○はいくつでも)

- 1 視覚障害
- 2 聴覚障害、平衡機能障害
- 3 音声・言語、そしゃく機能障害
- 4 肢体不自由 (上肢)
- 5 肢体不自由 (下肢)
- 6 肢体不自由 (体幹)
- 7 内臓障害 (1～6以外)

問8 あなたは、療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

- 1 A判定
- 2 B判定
- 3 C判定
- 4 持っていない

問9 あなたは、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

- 1 1級
- 2 2級
- 3 3級
- 4 精神障害があるが手帳を持っていない
- 5 持っていない

問10 あなたは難病の診断を受けていますか。(○は1つだけ)

- 1 受けている
- 2 受けていない

※ 難病 (特定疾患)：治療法が確立していない疾病。

問11 あなたの障害の診断、障害者医療の受給などについてお聞します。(あてはまるものすべてに○)

- 1 発達障害と診断されている*
- 2 高度脳機能障害と診断されている**
- 3 障害者医療費助成を受給している
- 4 どれもあてはまらない

※1 発達障害：自閉症やアスペルガー症候群などの広汎性発達障害 (社会性の発達・コミュニケーション能力に障害があるなど)、学習障害 (聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する能力のうち特定のもののだけができないなど)、学習障害 (AD/HD) (注意欠陥多動性障害) (注意欠陥の注意欠陥や集中力が弱く、落ち着きがないなど) などがあります。

※2 高度脳機能障害：事故や病気などで脳が損傷を受けたため、記憶障害 (記憶を思い出せない、新しいことを覚えられないなど)、注意障害 (集中できないなど)、遂行機能障害 (計画的な行動ができないなど)、社会的行動障害 (場面にあった行動ができないなど) などがある障害。

※問11で「2 高度脳機能障害と診断されている」と回答した方におたずねします。

問12 その関連障害をお書きください。(○はいくつでも)

- 1 視覚障害
- 2 聴覚障害
- 3 音声・言語、そしゃく機能障害
- 4 肢体不自由 (上肢)
- 5 肢体不自由 (下肢)
- 6 肢体不自由 (体幹)
- 7 内臓障害 (1～6以外)
- 8 どれもあてはまらない

問19 希望する暮らしを送るためには、どのような支援があればよいと思いますか。(〇は1つでも)

- 1 在宅で医療的ケアなどが適切に得られること
- 2 生活に合った住居の確保
- 3 必要な在宅サービスが適切に利用できること
- 4 生活訓練などの充実
- 5 経済的な負担の軽減
- 6 相談対応などの充実
- 7 地域住民などの理解
- 8 コミュニケーションについての支援
- 9 その他()

4 日中活動や雇用・就労について

問20 あなたはどのくらい外出していますか。(通勤・通学・通院などを含みます)
(〇は1つだけ)

- 1 週に4日以上
- 2 週に2、3日
- 3 週に1日
- 4 月に2、3日
- 5 月に1日
- 6 月に数日
- 7 外出しない

問21 あなたは外出を希望したいと願いますか。(〇は1つだけ)

- 1 希望したい
- 2 そのままでよい
- 3 減らしたい
- 4 わからない

問22 あなたが外出するときに関することは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 公共交通機関が少ない(ない)
- 2 別乗やバスの乗り降りが困難
- 3 道路や駅に階段や段差が多い
- 4 切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい
- 5 外出先の建物の設備が未便(通路、トイレ、エレベーターなど)
- 6 介助者が確保できない
- 7 外出にお金がかる
- 8 周囲の目が気になる
- 9 発作などの実際の身体の变化が心配
- 10 帰った時にどうすればいいのかわからない
- 11 その他()

問23 あなたは、平日の自宅で主にどのような活動を行っていますか。(〇は1つだけ)

- 1 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている
- 2 ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている
- 3 専業主婦(主夫)をしている
- 4 福祉施設、作業所などに通っている(就労継続支援A型も含む)
- 5 病院などのデイケアに通っている
- 6 リハビリテーションを受けている
- 7 自宅ですべてしている
- 8 入所している施設や病院などで過ごしている
- 9 大学、専門学校、職業訓練校などに通っている
- 10 特別支援学校(高等部)に通っている
- 11 一般の高校に通っている
- 12 その他()

※問23で「1. 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」と回答した方にお
たずねします。

問24 あなたはどのような勤務形態で働いていますか。(〇は1つだけ)

- 1 常勤で他の職种と勤務条件などに違いはない
- 2 常勤で短時間勤務などの雇者配置がある
- 3 パート・アルバイトなどの非常勤職員、派遣職員
- 4 自営業、家族経営など
- 5 その他()

問25 現在の仕事について、どのような悩みや不満がありますか。(〇はいくつでも)

- 1 仕事の内容が雇者の程度に合っていない
- 2 労働時間や給料に不満がある
- 3 賃金や待遇に不満がある
- 4 職場内で雇者に対する理解が不足している
- 5 通勤が大変である
- 6 トイレなどの職場の設備が不十分
- 7 相談できる人や援助者がいない
- 8 仕事での身体的変化に不安がある
- 9 自分の考えや思ったことが伝えられない
- 10 その他()
- 11 特に悩みや不満はない

※前23で「1」以外と回答した方におたずねします。

前26 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いませんか。(○はい1つだけ)

1	仕事をしたい	2	仕事はしたくない、できない
---	--------	---	---------------

※前26で「1」仕事をしたいと回答した方におたずねします。

前27 収入を得る仕事をするために、職業訓練などを受けたいと思いませんか。(○はい1つだけ)

1	すでに職業訓練を受けている	3	職業訓練を受けたくない、受ける必要はない
2	職業訓練を受けたい		

前28 あなたは、障害者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいいくつでも)

1	通勤手段の確保	8	職場で介助や援助などが受けられること
2	勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮	9	賃金が悪くなったりした時に気軽に通院できること
3	短時間勤務や勤務日数などの配慮	10	就労後のフォローなど職場と支援機関の連携
4	勤務時間や日給が賃金に合わせ変更できること	11	企業ニーズに合った就労訓練
5	在宅勤務の拡充	12	仕事についての職場外での相談対応、支援
6	職場の障害者支援	13	その他 ()
7	職場の上司や同僚に障害の理解があること		

5 相談状況や情報取得について

前29 現在、あなたは悩んでいることや相談したいことがありますか。(○はいいくつでも)

1	自分の健康や福祉のこと	10	話し相手がないこと
2	生活費など経済的なこと	11	福祉サービスに関すること
3	介助や介護のこと	12	家族や地域での人間関係のこと
4	家事(料理・掃除・洗濯など)のこと	13	職場や施設内での人間関係のこと
5	住まいのこと	14	虐待や権利擁護のこと
6	外出や移動のこと	15	差別に関すること
7	就学や進学のこと	16	意思疎通ができないこと
8	仕事や就職のこと	17	その他 ()
9	緊急時や災害時のこと	18	特になし

前30 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。(○はいいくつでも)

1	家族や親せき	8	福祉のケースワーカーや介護福祉のケアマネジャー
2	友人・知人	9	民生委員・児童委員
3	近所の人	10	学校などの教職員
4	職場の上司や同僚	11	相談支援事業所などの民間の相談窓口
5	ホームヘルパーなどサービス事業所の人	12	行政機関の相談窓口
6	障害者団体や家族会	13	その他 ()
7	かかりつけの医師や看護師		

前31 あなたは、生活上の悩みや不安を相談する場合、相談先に求めるものは何ですか。(主なものを2つまでに○)

1	市役所など、中心部にあること	5	平日や平日後などでも相談できること
2	行きやすい、身近な地域で相談できること	6	1つの窓口で対応できること
3	相談対応する職員に専門性があること	7	定期的に訪問や電話をしてもらえること
4	SNSなどで気軽に相談できること	8	その他 ()

前32 あなたは、障害のことで福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(○はいいくつでも)

1	メディア(新聞、雑誌の広告、テレビやラジオのニュース)	9	かかりつけの医師や看護師
2	市役所より	10	福祉のケースワーカーや介護福祉のケアマネジャー
3	障害福祉ガイド	11	民生委員・児童委員
4	インターネット	12	学校などの教職員
5	障害者支援センター	13	相談支援事業所などの民間の相談窓口
6	家族や親せき、友人・知人	14	市役所などの行政機関
7	サービス事業所や施設の職員	15	その他 ()
8	障害者団体や家族会(団体の職員など)		

項目	現在の利用	今後の利用	今後3年以内の利用
	利用している	利用していない	今よりも同じくらい利用する
			今よりも少し利用を減らす
			今よりも利用しない
⑤ 地域生活支援事業			
19 宇治運動者派遣			
20 豊後運動者派遣			
21 百瀬生活支援センター			
22 移動支援			
23 地域活動支援センター			
24 移動入浴			
25 百中一歩支援			

問38 ※問37のサービスで過去に利用があり現在利用していない方、利用したことのない方もご記入ください。

(ア) 常に充実・改善してほしいものはどれですか。(ア)に問37の1～25のサービスから3つまでお選びください。(数字を記入) ※無理に3つ選ぶ必要はありません。

(イ) (ア)で選んだサービスの充実・改善してほしい内容を、(イ)1～8からお選びください。(あてはまる数字をすべて記入)

(ア) サービス	(イ) 充実・改善してほしい内容 (以下の1～8より選択)
1	<input checked="" type="checkbox"/> 1
2	<input checked="" type="checkbox"/> 1
3	<input checked="" type="checkbox"/> 1

(イ)の内容を以下からお選びください

1 事業者の職の充実	4 事業者の対応の改善	7 利用者負担が大きい
2 利用時間の拡大	5 サービスの利用手続き	8 その他 (具体的な内容を(イ)の()内にご記入ください)
3 サービスの質(技術)の向上	6 サービスに関する情報提供	

8 スポーツ・文化芸術活動について

問39 あなたはスポーツや文化芸術活動に参加していますか。(○は1つだけ)

- 1 現在参加している、今後も参加したい 3 参加しておらず、今後も参加しない
 2 現在参加していないが、今後参加したい

※問39で「1 現在参加している、今後も参加したい」「2 現在参加していないが、今後参加したい」と回答した方にお答えします。

問40 スポーツや文化芸術活動について、今後どのような活動をしたいですか。(現在行っている活動も含む) (○はいくつでも)

- 1 コンサート・映画・演劇・スポーツなどの鑑賞 6 ボランティアなどの社会活動
 2 スポーツ教室・大会などへの参加 7 障害のある仲間との活動
 3 旅行・キャンプ・つりなどへの参加 8 自治会・地域活動
 4 学習活動 9 芸術文化活動
 5 趣味の同好会活動 10 その他 ()

問41 問40の活動に参加するにあたって、どのような条件が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 活動情報の提供 8 家族や周囲の人の理解
 2 身近なところで活動できる 9 心身の健康状態が維持・向上する
 3 外出手段の確保 10 障害のある人もない人も一緒に活動できる
 4 介助者がいる 11 施設の予約が取りやすい
 5 適切な指導者やリーダーがいる 12 地域への発表機会の設定
 6 障害に配慮した施設や設備 13 その他 ()
 7 経済的な負担が少ない 14 特になし

9 権利擁護について

問42 あなたは、障害があることで差別や嫌な思いをする(した)ことがありますか。(○は1つだけ)

- 1 ある 2 少しある 3 ない

※問42で「1 ある」「2 少しある」と回答した方にお答えします。

問43 どのような場所で差別や嫌な思いをされましたか。(○はいくつでも)

- 1 学校・仕事場 4 余暇を楽しむとき 7 サービス事業所
 2 仕事を探すとき 5 病院などの医療機関 8 その他
 3 外出中 6 住んでいる地域 ()

問50 現在暮らしている地域で生活するために、どのような支援があればよいと願いますか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 定期的な自宅の見守り | 10 市内のグループホームの充実 |
| 2 緊急時に助けを求められる体制 | 11 入居できる住宅・施設の紹介や建設 |
| 3 在宅での介護や家事援助 | 12 施設などに入所するための助成 |
| 4 外出の際の付き添い | 13 障害のある人に対する地域の遊樂 |
| 5 日中、介護を受けたり活動する場 | 14 暮らしを実現するための「丁寧なケア」 |
| 6 夜勤、宿泊して介護を受けられる場 | 15 身近な相談員や相談場所 |
| 7 家族に対するサポート | 16 その他 () |
| 8 建替(自宅など)のバリアフリー化 | 17 特に必要ない |
| 9 市内の施設施設の充実 | |

問51 あなたは地域の活動や行事に参加していますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 現在参加していて、今後も参加したい | 3 参加しておらず、今後も参加しない |
| 2 現在参加していないが、今後参加したい | |

※問51で「1 現在参加していて、今後も参加したい」「2 現在参加していないが、今後参加したい」と回答した方におたずねします。

問52 あなたはどのような地域の活動や行事に参加したいですか。(現在行っていることを含む) (〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-----------------------------------|
| 1 地域の行事・イベントへの参加 | 6 地域の防災活動への参加 |
| 2 地域の行事・イベントの開催の手伝い | 7 地域で活動する団体(自治会・子ども会・老人クラブなど)への参加 |
| 3 地域の人を招いた施設のイベントへの参加 | 8 その他 () |
| 4 施設を地域に開放した、地域のひととの交流 | |
| 5 障害を理解する地域の勉強会や講座への協賛 | |

※問51で「1 現在参加していて、今後も参加したい」「2 現在参加していないが、今後参加したい」と回答した方におたずねします。

問53 問52の活動や行事に参加するにあたって、どのような条件が必要だと願いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1 活動情報の提供 | 6 家族や周囲の人の理解 |
| 2 外出手段の確保 | 7 障害のある人もない人も一緒に活動できる |
| 3 介助者がいる | 8 その他 () |
| 4 障害に配慮した施設や設備 | 9 特にない |
| 5 経済的な負担が少ない | |

11 災害時のことについて

問54 あなたは、火事や地震などの災害時に一人で避難できますか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|-------|--------|---------|
| 1 できる | 2 できない | 3 わからない |
|-------|--------|---------|

問55 自宅にいる時に、一緒に避難場所まで避難してもらう人は誰ですか。(〇は1つだけ)

- | | |
|------------|-------------------|
| 1 同居の家族や親族 | 6 良・近所の人 |
| 2 別居の家族や親族 | 7 福祉サービスの事業所職員 |
| 3 近所の犬 | 8 その他 () |
| 4 友人・知人 | 9 一緒に避難してくれる人がいない |
| 5 独居要員 | |

問56 火事や地震などの災害時にすることは何ですか。(〇はいくつでも)

- | |
|---------------------------|
| 1 投棄や岩盤が受けられない |
| 2 乗員の使用が困難になる |
| 3 乗員と日常生活用具の入手ができなくなる |
| 4 救助を要することができない |
| 5 安全なところまで、迅速に避難することができない |
| 6 被害状況、避難場所などの情報が入手できない |
| 7 周囲とコミュニケーションがとれない |
| 8 避難場所の設備(トイレなど)や生活物資が不足 |
| 9 その他 () |
| 10 特にない |

12 障害者施策のことについて

前57 刈谷市の障害福祉についてどのような取組みが必要だと感じますか。

(1) 次の1～9の項目について、「(1)現在の満足度」をお書きください。
(それぞれ○は1つだけ)

(2) 「(2)今後の重要度」について、今後の市の取組において、どの分野を重要視すべきをお書きください。(それぞれ○は1つだけ)

項目	(1)現在の満足度					(2)今後の重要度				
	満足 5	やや 満足 4	やや 不満 3	不満 2	重要 でない 1	満足 5	やや 重要 4	やや 重要 3	重要 でない 2	重要 でない 1
1 「保健・医療」 障害の原因となる疾病の予防、障害の新規発症・与障発症のための保健事業や医療の実施体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 「生活支援サービス」 訪問サービスや自立支援サービス、グループホームなどの生活の場での障害や生活支援サービスの充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 「相談・情報提供」 身近なところで相談でき、情報を得られるような相談体制の整備や障害のある人の権利を守るための権利擁護事業の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 「障害のある子どもの教育・育成」 障害のある子どもたちが、自立した生活を営むことができるための療育指導や特別支援教育の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 「雇用・就労」 経済的基礎となる就労機会や雇用の場の拡大、障害のある人の雇用に際した就労支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 「スポーツ・文化芸術」 障害のある人の生活を豊かにするスポーツ・レクリエーション活動、文化芸術活動などへの参加機会の拡充、参加促進のための配慮・支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

16

項目	(1)現在の満足度					(2)今後の重要度				
	満足 5	やや 満足 4	やや 不満 3	不満 2	重要 でない 1	満足 5	やや 重要 4	やや 重要 3	重要 でない 2	重要 でない 1
7 「まちづくり」 公共施設のバリアフリー化や地域における防災活動を進め、障害のある人が安心して暮らせるまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 「障害と障害のある人への理解」 学校教育や社会教育などの機会を活用した障害や障害のある人への正しい理解の促進と、共生社会の実現に向けた普及	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 「地域福祉の推進」 地域における自治的・積極的な福祉活動の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

前58 あなたが暮らしやすくなるために、特にしてほしいことはどのようなことですか。してほしいと思われたいことをすべて○をつけてください。(○はいくつでも)

1 自治の生活の手助けがもっとほしい
2 外出（買い物、映画など）の支援をしてほしい
3 障害のある人に対する周りの人の理解を深めてほしい
4 障害のある子どもの療育や教育の環境を整えてほしい
5 障害のある人が働ける一般企業が少ないので、働ける場所を増やしてほしい
6 一般企業で働くことができるよう、訓練する場所や支援を増やしてほしい
7 一般企業で働くことが難しいので、作業所を増やしてほしい
8 リハビリ訓練の場所を増やしてほしい
9 障害に合った設備を持った住宅を増やしてほしい
10 外出しやすい環境や交通機関の利便性を図ってほしい
11 グループホームを整備してほしい
12 いつでも何でも相談できる窓口を用意してほしい
13 参加機会のための仕組みを改善してほしい
14 学童などの継続的な援助を増やしてほしい
15 スポーツ・レクリエーション・教育・文化活動に対する援助をしてほしい
16 訓練をもっとわかりやすく紹介してほしい
17 差別を無くすための取り組みを改善してほしい
18 その他（ ）
19 特にない

17

※ここからは支援者への質問です。主な支援者がいる場合にご記入ください。

13 支援者へのおたずね

問59 調査の対象者（障害のある方）を支援している方は主に誰ですか。主な方1名についてお答えください。（〇は1つだけ）

1 父	6 子ども（子の配偶者、孫含む）
2 母	7 ホームヘルパー
3 祖父母	8 施設・病院の職員
4 兄弟・姉妹	9 その他（ ）
5 配偶者（夫または妻）	10 支援は必要ない

※問59で「1」～「6」と回答した方におたずねします。
問60 主な支援者の年齢は、何歳ですか。（数字を記入） ※令和4年11月1日現在（ ）歳

問61 介助について、困っていることは何ですか。（〇はいくつでも）

1 代わりに介助を頼める人がいない	6 本人に盲導・他者が視線にある
2 緊急時の対応に不安がある	7 自分の赤痢・仕事などのための時間がとれない
3 身体的な負担が大きい	8 学校生活への負担が大きい
4 精神的な負担が大きい	9 その他（ ）
5 経済的な負担が大きい	10 特に困っていることはない

問62 支援者が困ったときに相談する相手は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

1 家族・親戚	9 保健所
2 友人・知人	10 公共職業安定所（ハローワーク）
3 学校・職場	11 医療機関（病院・診療所など）
4 ホームヘルパー	12 障害者団体
5 福祉施設	13 どこに相談したらよいかわからない
6 市役所	14 相談に行けない
7 障害者支援センター	15 その他（ ）
8 民生委員・児童委員	16 特に悩みはない

※ここからはすべての方が対象です。
◎ご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

かりやろししょうがいしゃけいめく
刈谷市障害者計画・刈谷市障害福祉計画
 かりやろししょうがいしゃけいめく
刈谷市障害者計画

皆さまには、日本語より福祉啓蒙の飛躍にご協力いただき、深くお礼申しあげます。
 刈谷市では、障害のある方の生活支援の向上に向けて、平成30年3月に策定しました「刈谷市障害者計画」、令和3年3月に策定しました「第6期刈谷市障害福祉計画・第2期刈谷市障害者福祉計画」の見直しを行います。

あなたをはじめ、市内にお住まいの18歳未満の障害者手帳をお持ちの方々の障害福祉サービスなどを利用されている方に、この調査票を送らせていただきました。お忙しいところお手紙をおかけいたしますが、安心して暮らせる福祉社会の実現のための基礎資料として活用させていただきますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、本調査は無記名での回答となっており、個人のプライバシーがもれることは決してありません。

令和4年11月

刈谷市長 尾道 誠

■ご記入について

- ・該当しないサービスや分からない設備は、ご回答いただく必要もありません。できる限り、多くのご意見をいただきたいと考えておりますので、すべて回答できなくてもご送付をお願いいたします。
- ・前らかのご準備によりご記入ができません場合は、ご家族の方などが代筆してください。
- ・質問に返答がない場合は、あてはまる箇所に○をつけてください。回答が「その他」にあてはまる場合は、()内に詳細にご記入ください。
- ・特に指定のない限り、令和4年11月1日現在の内容でご記入ください。

■調査票の送付について

- ・ご記入いただいた調査票は、封筒の裏面に「切手未貼」に入れ、12月9日(金)までに投函ください。
- ・インターネットでご回答いただくこともできます。
- ・右下のQRコードからWebサイトにアクセスし、説明にそってご回答ください。
- ・インターネットでご回答いただいた方は、本調査票での回答は不要です。



QRコードからWebサイトにアクセスし、説明にそってご回答ください。

■調査についてのお問い合わせ
 刈谷市福祉総課 電話 (0566) 62-1208 FAX (0566) 24-3481
6442 担当：佐藤、大野
 <調査サイトのQRコード>

前1 このアンケートの記入方法について、あてはまるものをお書きください。(○は1つだけ)

- 1 本人(障害者の)をいいます。()がご自身で記入
- 2 家族や介護者などが本人に意向を確認しながら、代わりに記入
- 3 本人の意向の確認が難しいため、家族や介護者などが本人の意向をくみとって記入

※これ以降、この調査票が郵送された宛先の方を「あなた」とお呼びしますので、ご本人(この調査票の対象者：障害のある方)の状況などについて、お書きください。

1 あなた(障害のあるご本人)の年齢、ご家族について

前2 あなたの年齢をお書きください。(数字を記入) ※令和4年11月1日現在
 ()歳

前3 あなたの性別をお書きください。(○は1つだけ)
 1 男性 2 女性 3 その他

前4 あなたの居住地(中学校区別)は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)
 ご不明の場合は、お住まいの町名をお書きください。

- 1 富士松中学校区 4 刈谷南中学校区 7 障害
- 2 藤が丘中学校区 5 依佐美中学校区 ()
- 3 刈谷東中学校区 6 朝日中学校区

前5 いま、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。(○はいくつでも)
 ※グループホーム、福祉施設などを利用されている方は「4 その他」としてください。

- 1 親 3 兄弟・姉妹
- 2 祖父母 4 その他 ()

2 障害の状況について

前6 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

- 1 1級 4 4級 7 持っていない
- 2 2級 5 5級
- 3 3級 6 6級

問7 あなたの障害はどのような障害ですか。身体障害者手帳の内容からお書きください。
(○はいくつでも)

- 1 視覚障害
- 2 聴覚障害、半聴覚障害
- 3 音声・言語・そしゃく機能障害
- 4 肢体不自由（上肢）
- 5 肢体不自由（下肢）
- 6 肢体不自由（体幹）
- 7 内臓障害（1～6以外）

問8 あなたは、療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

- 1 A判定
- 2 B判定
- 3 C判定
- 4 持っていない

問9 あなたは、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

- 1 1級
- 2 2級
- 3 3級
- 4 精神障害があるが手帳を持っていない
- 5 持っていない

問10 あなたは強弱の診断を受けていますか。(○は1つだけ)

- 1 受けている
- 2 受けていない

※ 強弱（特定疾患）：治療法が確立していない疾病。

問11 あなたの障害の診断、障害者医療の受給などについてお聞きします。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 発達障害と診断されている※1
- 2 高度脳機能障害と診断されている※2
- 3 障害者医療費助成を受けている
- 4 どれもあてはまらない

※1 発達障害：自閉症やアスペルガー症候群などの広汎性発達障害（社会性の発達・コミュニケーション能力に障害があるなど）、学習障害（聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する能力のうち特定のもののだけができないなど）、注意欠陥多動性障害（AD/HD）（年齢相応の注意方や実行力が続かず、落ち着きがないなど）などがあります。

※2 高度脳機能障害：事故や病気などで脳が損傷を受けたため、記憶障害（記憶を思い出せない、新しいことを覚えられないなど）、注意障害（意識が真中でできないなど）、遂行機能障害（計画的な行動ができないなど）、社会的行動障害（場面にあった行動ができないなど）などがおこる障害。

問11で「2. 高度脳機能障害と診断されている」と回答した方におたずねします。

問12 その関連障害をお書きください。(○はいくつでも)

- 1 視覚障害
- 2 聴覚障害
- 3 音声・言語・そしゃく機能障害
- 4 肢体不自由（上肢）
- 5 肢体不自由（下肢）
- 6 肢体不自由（体幹）
- 7 内臓障害（1～6以外）
- 8 どれもあてはまらない

問13 あなたは重症心身障害者の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

- 1 受けている
- 2 受けていない

※ 重症心身障害者：重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態のこと。

問14 あなたは、現在医療的ケアを受けていますか。(○は1つだけ)

- 1 受けている
- 2 受けていない

※ 医療的ケア：たんの吸引や経管栄養などの医行為。

問14で「1. 受けている」と回答した方におたずねします。

問15 あなたが現在受けている医療的ケアをお書きください。(○はいくつでも)

- 1 気管切開
- 2 人工呼吸器（レスピレーター）
- 3 吸引
- 4 吸引
- 5 嚥下・嚥ろう
- 6 鼻経管栄養
- 7 中心静脈栄養（IVH）
- 8 送精
- 9 カテーテル留置
- 10 ストーマ（人工肛門・人工膀胱）
- 11 経管留置
- 12 その他（ ）

3 生活支援について

問16 現在、どこで暮らしていますか。(○は1つだけ)

- 1 自宅ひとり暮らしをしている
- 2 自宅で家族と暮らしている
- 3 施設施設（障害者施設）で暮らしている
- 4 グループホームで暮らしている
- 5 病院に入院中
- 6 その他（ ）

問17 あなたが外出するときに困ることは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 公共交通機関が少ない（ない）
- 2 別乗やバスの乗り降りが困難
- 3 道路や駅に階段や段差が多い
- 4 切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい
- 5 外出先の建物の設備が未便（通称、トイレ、エレベーターなど）
- 6 介助者が確保できない
- 7 外出にお金がかる
- 8 周囲の目が気になる
- 9 発作などの突然の身体の変化が心配
- 10 困った時にどうすればいいのか心配
- 11 その他（ ）

4 療育・教育・就学・就職について

問18 あなたは療育についてどのようなことを求めますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1 療育の早期発見・早期療育システムの確立 | 9 専門的な医療機関の紹介 |
| 2 家庭での療育の充実 | 10 医療的ケアを必要とする子への支援 |
| 3 日中、療育を受けられる場の充実 | 11 障害やサービスについての情報提供 |
| 4 夜間、療育を受けられる場の充実 | 12 療育に関する相談体制の充実 |
| 5 療育の特性に合ったきめ細やかな支援 | 13 教育・保健・医療・福祉など関係機関の連携 |
| 6 療育の有無にかかわらずわからない交流 | 14 その他 |
| 7 障害を持つ親の団体などの紹介 | () |
| 8 保護者への精神的な支援 | 15 特になし |

問19 あなたはどのくらい外出していますか。(通勤・通学・通院などを答えます)

- (〇は1つだけ)
- | | | |
|----------|----------|---------|
| 1 週に4日以上 | 4 月に2、3日 | 7 外出しない |
| 2 週に2、3日 | 5 月に1日 | |
| 3 週に1日 | 6 年に数回 | |

問20 あなたは外出を減やしたいと願いますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-----------|---------|
| 1 減やしたい | 3 減らしたい |
| 2 そのままでよい | 4 わからない |

問21 あなたの自中の過ごし方について、(1)現在通っている場所と、(2)希望する(していた)場所についてお答えください。(現在と希望が同じ場合は同じものに〇をつけてください) (それぞれ〇は1つだけ)

- | | | |
|--------|----------------------|----------------|
| (1) 現在 | 1 保育園・幼稚園 | 5 職業訓練施設、作業所など |
| | 2 小学校・中学校・高等学校(普通学級) | 6 施設 |
| | 3 小学校・中学校(特別支援学級) | 7 医療機関 |
| | 4 特別支援学校(小・中・高等部) | 8 自宅 |
| (2) 希望 | 1 保育園・幼稚園 | 5 職業訓練施設、作業所など |
| | 2 小学校・中学校・高等学校(普通学級) | 6 施設 |
| | 3 小学校・中学校(特別支援学級) | 7 医療機関 |
| | 4 特別支援学校(小・中・高等部) | 8 自宅 |

※問21で「(1)現在」と「(2)希望」の回答が異なる方にお答えをお願いします。

問22 希望と違う場所で自中を通している理由は、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1 通学・通学・通学的手段(送迎バスなど)がない | 5 医療的ケアが受けられる体制でない |
| 2 学習サポート体制が整っていない | 6 療育の障害についての理解が得られない |
| 3 必要な設備が整っていない | 7 その他 |
| 4 介助が受けられる体制でない | () |

問23 障害のある児童・生徒の就学環境として望ましいと思うものは、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

- | |
|---|
| 1 普通学校において、できるだけ他の児童・生徒と同じ教育やサポートを受けられる環境 |
| 2 普通学校の特別支援学級において、他の児童・生徒と交流しながら、できるだけ専門的な教育やサポートを受けられる環境 |
| 3 特別支援学校において、専門的な教育やサポートを受けられる環境 |
| 4 その他() |

問24 保育園や幼稚園、学校生活を送る上で充実してほしいことは、次のうちどれですか。現在学校などに通っている・いないにかかわらずお答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 通園・通学に対する支援 | 6 障害に対する療育の提供 |
| 2 学習中のサポート体制 | 7 他の児童・生徒や保護者の理解促進 |
| 3 学習・学校生活に必要な設備の整備 | 8 医療的ケアが提供できる体制 |
| 4 園内・校内での介助 | 9 その他() |
| 5 進学・就職に関する支援 | 10 特になし |

問25 18歳になるまで、どのような暮らし方を希望しますか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|---|-------------------|---|--------------------------|
| 1 | 自宅でひとり暮らしをしたい | 4 | グループホームなどで仲間と地域で共同生活がしたい |
| 2 | 自宅で家族と一緒に暮らしたい | 5 | その他() |
| 3 | 福祉施設(障害者施設)で暮らしたい | | |

※問26～29までは、19歳以降の働き方や暮らし方についてお聞きます。

問26 あなたが18歳になったとき、どのような進路を希望しますか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|---|--------------------|---|------------|
| 1 | 学校・大学・専門学校などに進学したい | 4 | 福祉施設に就職したい |
| 2 | 一般企業に就職したい | 5 | その他() |
| 3 | 福祉施設に就労したい | 6 | 特に考えていない |

問27 18歳以降、どのような暮らし方を希望しますか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|---|-------------------------|---|--------------------------|
| 1 | 自宅でのひとり暮らしをしたい | 4 | グループホームなどで仲間と地域で共同生活がしたい |
| 2 | 自宅で家族と一緒に暮らしたい | 5 | その他() |
| 3 | 福祉施設(障害者施設、高齢者施設)で暮らしたい | 6 | その他() |

問28 将来、働くことについて、どのようにお考えですか。(○は1つだけ)

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1 | 一般の職場で働きたい |
| 2 | 自宅でできる仕事をしたい |
| 3 | 一般の職場ではなく障害のある人のための施設で仲間と生産活動をしたい |
| 4 | 障害や病気などで働くことができない |
| 5 | 働きたくない、働くつもりはない |
| 6 | わからない、まだ考えたことがない |
| 7 | その他 |

問29 希望する暮らしを遂げるためには、どのような支援があればよいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|----------------------|---|------------------|
| 1 | 自宅で遠隔的ケアなどが適切に得られること | 6 | 相談対応などの充実 |
| 2 | 生活に適した住居の確保 | 7 | 地域住民などの理解 |
| 3 | 必要な生活サービスが適切に利用できること | 8 | コミュニケーションについての支援 |
| 4 | 生活訓練などの充実 | 9 | その他() |
| 5 | 経済的な負担の軽減 | | |

5 相談状況や情報取得について

問30 現在、あなたは悩んでいることや相談したいことがありますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|-------------------|----|-----------------|
| 1 | 自分の健康や岩盤のこと | 10 | 話し相手がいらないこと |
| 2 | 生活費など経済的なこと | 11 | 福祉サービスに関すること |
| 3 | 介護や介護のこと | 12 | 家族や地域での人間関係のこと |
| 4 | 家事(料理・掃除・洗濯など)のこと | 13 | 職場や施設内での人間関係のこと |
| 5 | 住まいのこと | 14 | 虐待や権利保護のこと |
| 6 | 外出や移動のこと | 15 | 差別に関すること |
| 7 | 就学や進学のこと | 16 | 意思表明ができないこと |
| 8 | 仕事や就労のこと | 17 | その他() |
| 9 | 緊急時や災害時のこと | 18 | 特になし |

問31 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|--------------------|----|-------------------------|
| 1 | 家族や親せき | 8 | 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー |
| 2 | 友人・知人 | 9 | 児童委員・児童委員 |
| 3 | 近所の父 | 10 | 学校などの教職員 |
| 4 | 職場の上司や同僚 | 11 | 相談支援事業所などの民間の相談窓口 |
| 5 | ホームヘルパーなどサービス事業所の父 | 12 | 行政機関の相談窓口 |
| 6 | 障害者団体や家族会 | 13 | その他() |
| 7 | かかりつけの医師や看護師 | | |

問32 あなたが、生活上の悩みや不安を相談する場合、相談先に求めるものは何ですか。(生なものを2つまでに○)

- | | | | |
|---|---------------------|---|--------------------|
| 1 | 市役所など、中心部にあること | 5 | 5日や平日夜などでも相談できること |
| 2 | 行きやすい、身近な地域で相談できること | 6 | 1つの窓口で対応できること |
| 3 | 相談対応する職員に専門性があること | 7 | 定期的に訪問や電話をしてもらえること |
| 4 | SNSなどで気軽に相談できること | 8 | その他() |

問33 あなたは、障害のことで福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|---|-------------------------|----|-------------------------|
| 1 | 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース | 9 | かかりつけの医師や看護師 |
| 2 | 市役所 | 10 | 障害のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー |
| 3 | 障害福祉ガイド | 11 | 良生委員・児童委員 |
| 4 | インターネット | 12 | 学校などの教職員 |
| 5 | 障害者支援センター | 13 | 相談支援事業所などの民間の相談窓口 |
| 6 | 家族や親せき、友人・知人 | 14 | 市役所などの行政機関 |
| 7 | サービス事業所や施設職員 | 15 | その他() |
| 8 | 障害者団体や家族会(団体の機関誌など) | | |

問34 あなたは、次の機器を使っていますか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|---|----------|---|----------------------|
| 1 | スマートフォン | 4 | 携帯電話・PHS(スマートフォンを除く) |
| 2 | パソコン | 5 | どれも使っていない |
| 3 | タブレット型端末 | | |

問35 あなたは、障害のことで福祉サービスなどに関する情報を知るために、問34のような機器を使っていますか(使っていますか)。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|---|---------------|---|--------|
| 1 | 使いたい(使っている) | 3 | 使いたくない |
| 2 | 利用方法が分かれば使いたい | | |

6 保健医療について

問36 あなたの現在の通院状況(リハビリを含む)は次のうち、どれですか。

(〇はいくつでも)

- | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|---------|
| 1 | 週に4日以上 | 4 | 月に2、3回 | 7 | 入院中 |
| 2 | 週に2、3回 | 5 | 月に1回 | 8 | 通院していない |
| 3 | 週に1回 | 6 | 年に数回 | | |

問37 医師を受ける上で、困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----|---------------------------|
| 1 | 通院や入院するときに付き添いをしてくれる人がいない |
| 2 | 医師・看護師などに病気の症状を正しく伝えられない |
| 3 | 医師・看護師などの指示や説明がよくわからない |
| 4 | 専門的な治療をしてくれる病院が近くにない |
| 5 | いくつもの病院に通わなければならない |
| 6 | 気軽に診察を頼める医師がいない |
| 7 | 医師の負担が大きい |
| 8 | 医師の対応がわかりにくい |
| 9 | その他() |
| 10 | 特に困っていない |

7 障害福祉サービスなどについて

問38 各サービスにおいて、現在のサービスの利用状況と今後の利用意向をお答えください。
(それぞれ〇は1つだけ)

項目	現在の利用		今後3年以内の利用	
	利用している	利用していない	等々と同じくらい利用する	等々よりも利用を減らす
① 児童福祉サービス				
1 児童発達支援				
2 放課後等デイサービス				
3 保育所等訪問支援				
4 医療型児童発達支援				
5 居宅訪問型児童発達支援				
6 福祉型障害児入所施設				
7 医療型障害児入所施設				
8 障害児相談支援				
② 地域生活支援事業				
9 子育て支援事業				
10 契約筆記者派遣				
11 日常生活用具給付				
12 移動支援				
13 地域活動支援センター				
14 移動支援				
15 日中一時支援				
16 レスパイト				

問39 ※問38のサービスで過去に利用があり現在利用していない方、利用したことのない方もご記入ください。

(ア) 特に関心・改善してほしいものはどれですか。(ア)に前ページの1～16のサービスから3つまでお選びください。(数字を記入) ※無理に3つ選ぶ必要はありません。

(イ) (ア)で選んだサービスの充実・改善してほしい内容を、(イ)1～8からお選びください。(あてはまる数字をすべて記入)

(ア) サービス	(イ) 充実・改善してほしい内容 (以下の1～8より選択)
1	— ()
2	— ()
3	— ()

(イ)の内容を以下からお選びください

1 事業者の充実	4 事業所の対応の改善	7 利用者負担が大きい
2 利用時間の拡大	5 サービスの利用手続き	8 その他 (具体的な内容を(イ)の()内にご記入ください)
3 サービスの質(技術)の向上	6 サービスに関する情報提供	

8 権利擁護について

問40 あなたは、随書があることで差別や嫌な思いをする(した)ことがありますか。

(〇は1つだけ)

1 ある	2 少しある	3 ない
------	--------	------

※問40で「1 ある」「2 少しある」と回答した方におたずねします。

問41 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(〇はいくつでも)

1 学校・仕事場	5 病院などの医療機関
2 仕事を探すとき	6 住んでいる地域
3 外出中	7 サービス事業所
4 赤痢を染しむとき	8 その他 ()

問42 あなたが普段のコミュニケーションに利用しているものは何ですか。(〇はいくつでも)

1 手話 (植字器を含む)	5 点字	9 携帯電話・スマートフォン
2 筆談や契約筆記	6 代読	10 コミュニケーションボード
3 簡易書式入力装置などの簡易機器	7 拡大読書器	11 その他 ()
4 録音	8 パソコン読み上げソフト	12 特に利用していない

問43 あなたは情報バリアフリー化について、何を求めますか。(〇はいくつでも)

- 1 点字による市民だよりや社畜だよりの充実
- 2 音声による市民だよりや社畜だよりの充実
- 3 わかりやすい装束やひらがなによる市民だよりや社畜だよりの作成
- 4 市役所窓口での筆談や手話による対応の充実
- 5 公共施設内のわかりやすい案内(音声・点字・絵など)の充実
- 6 公共施設や店舗、レストランでのコミュニケーションボードの活用促進
- 7 まちなかでの案内サイン(音声・点字・絵など)の充実
- 8 地域のバリアフリーマップ(多機能トイレや安心して通行できる場所を示した地図)の作成
- 9 情報意識向上支援用員の紹介・貸与の拡充
- 10 手話通訳者派遣の拡充
- 11 契約筆記者派遣の拡充
- 12 その他()
- 13 特になし

問44 情報バリアフリーとは…?

年齢や障害に関係なく、誰もが必要な情報やサービスを利用できるようにすること。

問44 成年後見制度について知っていますか。(〇は1つだけ)

- 1 制度も内容も知らない
- 2 制度を聞いたことはあるが、内容は知らない
- 3 制度も内容も知っている

成年後見制度とは…?

認知症、知的障害、精神障害などにより物事を判断する能力が十分でない方について、本人の権利を守る活動者(「成年後見人」など)を選ぶことで、本人を法的に支援する制度。
対台市では主に下記の場所が相談を受け付けています。

■対台市成年後見支援センター

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始は休み)
〒448-0024 対台市下重原町3丁目120番地 TEL 0566-23-6954 FAX 0566-25-2988

問45 成年後見制度を活用したいと思っていますか。(〇は1つだけ)

- 1 すでに活用している
- 2 すぐに必要なで、活用したい
- 3 今は必要ないが、将来必要になった時のために制度を知りたい
- 4 活用したいと思わない

問46 あなたは普段生活するうえで周りに配慮してもらいたい(気遣ってもらいたい)と感じることはありますか。どんなことがあるとよいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 建物、公共交通機関などの利用に関する合理的配慮(電車やバスの乗り降りに携帯スロープを使う、電車内の案内を音声で行う、など)
- 2 情報、コミュニケーションに関する合理的配慮(点字や録音、拡大文字でパンフレットや案内をつくる、イベントで手話通訳や筆談をつける、分かりやすい装束を履いて情報を受ける、など)
- 3 重い物やサービスなどに関する合理的配慮(ショッピングカートの位置を低くする、重い物のサポートをする、点字のメニューを用意する、申し込み窓口での代筆を認める、など)
- 4 医療サービスの提供に関する合理的配慮(医師や看護師が筆談で対応する、院内放送を電光表示や文字表示でも知らせる、など)
- 5 教育に関する合理的配慮(点字や音声、拡大文字の教材を使う、障害に応じて試験の時間を延長する、など)
- 6 就労に関する合理的配慮(採用試験を点字や音声で行う、休憩できる部屋や重い仕事でも利用できる机を用意する、交通機関の混雑を避けるための通勤時間をずらす、など)
- 7 その他()
- 8 特に合理的配慮を必要としない

「合理的配慮」とは…?

障害者から助けてほしいと言われたとき、負担になりすぎない範囲で対応すること。

9 さいがいし 災害時のことについて

問47 あなたは、火事や地震などの災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)

1	できる	2	できない	3	わからない
1	同居の家族や親族	6	区・町内会・自治会の役員	9	一緒に避難するまで避難してもらえない
2	別居の家族や親族	7	福祉サービスの事業所職員	10	()
3	近所の父	8	その他()		
4	友人・知人	9	一緒に避難してくれる人がいない		
5	民生委員				

問49 火事や地震などの災害時に困ることは何ですか。(○はいくつでも)

1	投棄や治療が受けられない
2	構成員の役割が困難になる
3	構成員や日常生協前員の人手が不足する
4	救助を求めることができない
5	安全なところまで、迅速に避難することができない
6	被害状況、避難場所などの情報が入手できない
7	周囲とコミュニケーションがとれない
8	避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不便
9	その他()
10	特になし

10 しょうがいし 障害者施策のことについて

問50 刈谷市の障害福祉についてどのような取組みが必要だと感じますか。

(1) 次の1～9の項目について、「(1)現在の満足度」をお答えください。
(それぞれ○は1つだけ)

(2) 「(2)今後の重要度」について、今後の市の取組においてどの分野を重要視すべきかをお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

項目	(1)現在の満足度			(2)今後の重要度		
	満足	やや満足	不満足	重要	やや重要	あまり重要でない
1 「保健・医療」 障害の原因となる疾病の予防、障害の早期発見・早期治療のための保健事業や医療の充実体制の充実	5	4	3	2	1	5
2 「生活支援サービス」 訪問サービスや日中活動サービス、グループホームなどの生活の確保や生活支援サービスの充実	5	4	3	2	1	5
3 「相談・情報提供」 身近なところで相談でき、情報を得られるような相談体制の整備や障害のある人の権利を守るための権利擁護事業の推進	5	4	3	2	1	5
4 「障害のある子どもたちの教育・育成」 障害のある子どもたちが、自立した生活を営むことができるための教育指導や特別支援教育の充実	5	4	3	2	1	5
5 「雇用・就労」 経済的基盤となる就労機会や雇用の場の拡大、障害のある人の雇用に際した就労支援	5	4	3	2	1	5
6 「スポーツ・文化芸術」 障害のある人の生活を豊かにするスポーツ・レクリエーション活動、文化芸術活動などへの参加機会の拡充、参加促進のための配属・支援	5	4	3	2	1	5

項目	(1)現在の満足度					(2)今後の満足度				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	重要	やや重要	普通	やや重要でない	重要でない
7 「まちづくり」 公共施設のバリアフリー化や地域における 防災活動を基め、被害のある人が安心して暮 らせるまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 「障害と障害のある人への理解」 学校教育や社会教育などの機会を活用し た障害や障害のある人への正しい理解の 促進と其に社会の実践に向けた普及	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 「地域福祉の推進」 地域における盲唼・弱唼的な福祉活動の支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問51 あなたが暮らしやすくするための、特にしてほしいことはどのようなことですか。してほ
しいと思われることすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 毎日の生活の手助けがもっとほしい	
2 外出(買い物、病院など)の支援をしてほしい	
3 障害のある人に対する周りの人の理解を深めてほしい	
4 障害のある子どもたちの療育環境(施設など)や支援を望んでほしい	
5 障害のある子どもたちの教育の環境(学校など)や支援を望んでほしい	
6 一般企業で働くことができるよう、訓練する場所や支援を望んでほしい	
7 一般企業で働くことが望ましいので、働ける場所や作業所を増やしてほしい	
8 リハビリ訓練の場所を増やしてほしい	
9 障害に合った設備を持った住宅を増やしてほしい	
10 外出しやすい環境や交通機関の利便性を願ってほしい	
11 グループホームを整備してほしい	
12 いつでも何でも相談できる窓口を用意してほしい	
13 問題解決のための仕組みを改善してほしい	
14 年金などの経済的な援助を増やしてほしい	
15 スポーツ・レクリエーション・教育・文化活動に対する援助をしてほしい	
16 制度をもっとわかりやすく紹介してほしい	
17 医療体制を充実してほしい	
18 その他()	
19 特になし	

※ここからは支援者への質問です。至な支援者がいる場合にご記入ください。

11 支援者について

問52 調査の対象者(障害のある方)を支援している方は至は至にどなたですか。至な方1名につ
いてお答えください。(○は1つだけ)

1 父	5 ホームヘルパー
2 母	6 施設・病院の職員
3 祖父母	7 その他()
4 兄弟・姉妹	8 支援は必要ない

※問52で「1」～「4」と回答した方におたずねします。

問53 至な支援者の年齢は、何歳ですか。(数字を記入) ※令和4年11月1日現在
()歳

問54 介助について、困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

1 代わりに介助を頼める人がいない	6 笨次に盲唼・聴唼が弊害にある
2 緊急時の対応に不安がある	7 自分の余暇・仕事などのための時間がとれない
3 身体的な負担が大きい	8 学校生活への負担が大きい
4 精神的な負担が大きい	9 その他()
5 経済的な負担が大きい	10 特につづいていることはない

問55 至な支援者が困ったときに相談する相手は誰(どこ)ですか。(○はいくつでも)

1 家族・親戚	10 児童相談センター
2 友だ・知人	11 公共機関(警察、消防、ハローワーク)
3 学校・職場	12 医療機関(病院・診療所など)
4 ホームヘルパー	13 障害者団体
5 福祉施設	14 どこに相談したらよいか分からない
6 市役所	15 相談に行けない
7 障害者支援センター	16 その他()
8 民生委員・児童委員	17 特につづかない
9 保健所	

問56. 保護者や家族へどのような支援が必要ですか。(〇はいくつでも)

- 1 専門家による子育て相談
- 2 ペアレント・メンターによるサポートや情報提供
- 3 発達障害児や発達に不安のあるお子さんの教習経験者の体験談や情報提供
- 4 保護者への心理的ケアやカウンセリング
- 5 兄弟姉妹の心理的ケアやカウンセリング
- 6 レスパイト（在宅での介護を一時的に代替し、介護者の負担軽減・休養を図るサービス）
- 7 障害特性に関する情報提供
- 8 その他（ ）
- 9 支援は必要ない
- 10 わからない

※ここからはすべての方が対象です。

◎ご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

刈谷市障害者計画・刈谷市障害福祉計画・
刈谷市障害児福祉計画策定にかかるアンケート
結果報告書

令和5年3月発行

発行 刈谷市

調査・編集 福祉健康部 福祉総務課

〒448-8501 愛知県刈谷市東陽町1丁目1番地

T E L : 0566-62-1208